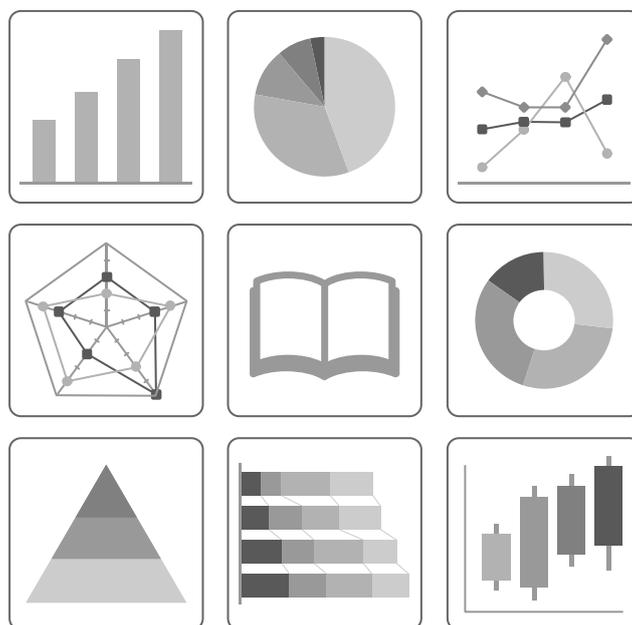


長岡京市
第2期子ども・子育て支援事業計画にかかる
ニーズ調査
調査結果報告書



平成31年3月

長岡京市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前児童	2
(1)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	2
(2)	子どもの育ちをめぐる環境について	6
(3)	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	20
(4)	お子さんの保護者の就労状況について	34
(5)	お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について	49
(6)	幼児教育・保育の無償化が実施された場合を想定して、お子さんの教育・保育の利用意向について	60
(7)	お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	63
(8)	お子さんの土曜・休日、長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について	73
(9)	お子さんの病気の際の対応について	86
(10)	お子さんの不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	92
(11)	お子さんの、小学校就学後の放課後の過ごし方について	98
(12)	子育て支援対策の全般とその他について	112
2	小学生児童	116
(1)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	116
(2)	子どもの育ちをめぐる環境について	121
(3)	お子さんの保護者の就労状況について	129
(4)	お子さんの放課後児童クラブの利用について	146
(5)	お子さんの病気の際の対応について	158
(6)	宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について	162
(7)	子育て支援対策の全般とその他について	163

Ⅲ	自由意見	167
1	就学前児童	167
2	小学生児童	171
Ⅳ	調査票	176
1	就学前児童	176
2	小学生児童	189

I 調査の概要

1 調査の目的

長岡京市第2期子ども・子育て支援事業計画の策定の基礎資料とするため、調査を実施しました。

2 調査対象

長岡京市在住の就学前のお子さんがいらっしゃるご家庭、小学1年生から4年生のお子さんがいらっしゃるご家庭を無作為抽出

3 調査期間

平成30年11月27日から平成30年12月21日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童	1,600通	922通	57.6%
小学生児童	800通	486通	60.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・子どもの年齢については、『0歳（H29.10-H30.9）』『1歳（H28.10-H29.9）』『2歳（H27.10-H28.9）』『3歳（H26.10-H27.9）』『4歳（H25.10-H26.9）』『5歳（H24.10-H25.9）』『6歳（H24.4-H24.9）』としています。

II 調査結果

1 就学前児童

(1) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地域の小学校区はどこですか。(○は1つ)

「長岡第五小学校」の割合が16.5%と最も高く、次いで「神足小学校」の割合が11.9%、「長岡第九小学校」の割合が10.5%となっています。

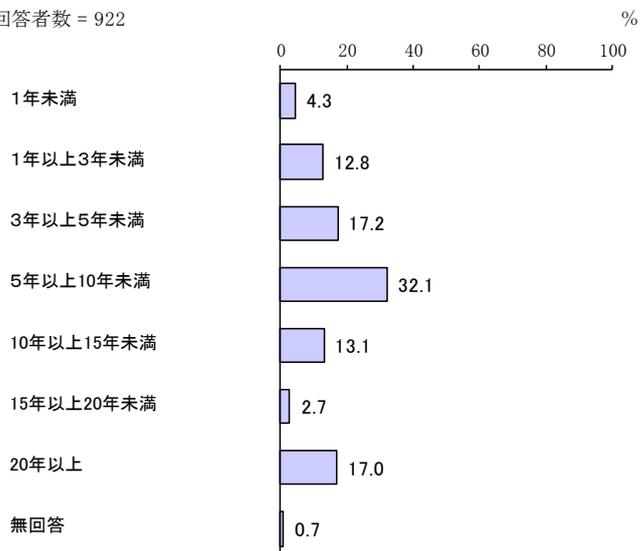
回答者数 = 922



問2 長岡京市にお住まいになって、通算して何年になりますか。(○は1つ)

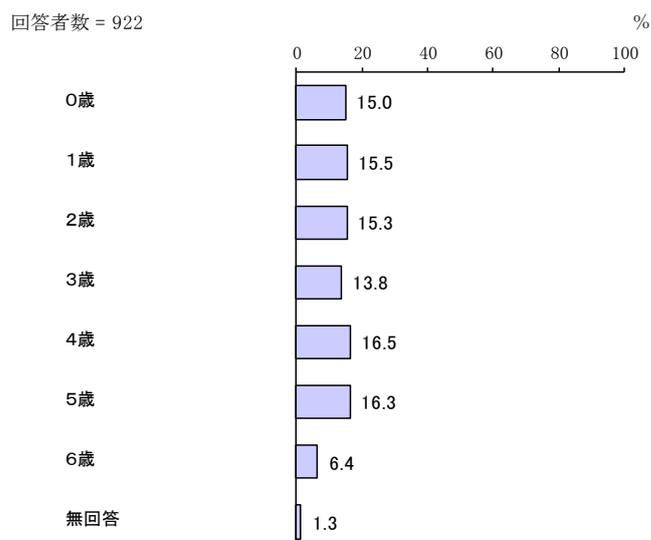
「5年以上10年未満」の割合が32.1%と最も高く、次いで「3年以上5年未満」の割合が17.2%、「20年以上」の割合が17.0%となっています。

回答者数 = 922



問3 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

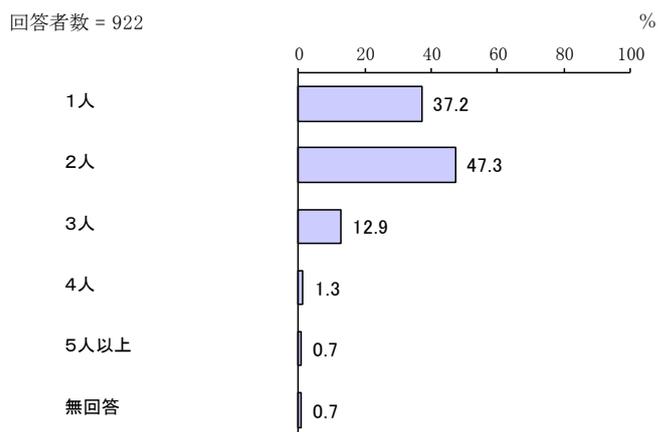
「4歳」の割合が16.5%と最も高く、次いで「5歳」の割合が16.3%、「1歳」の割合が15.5%となっています。



問4 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月についてもご記入ください。

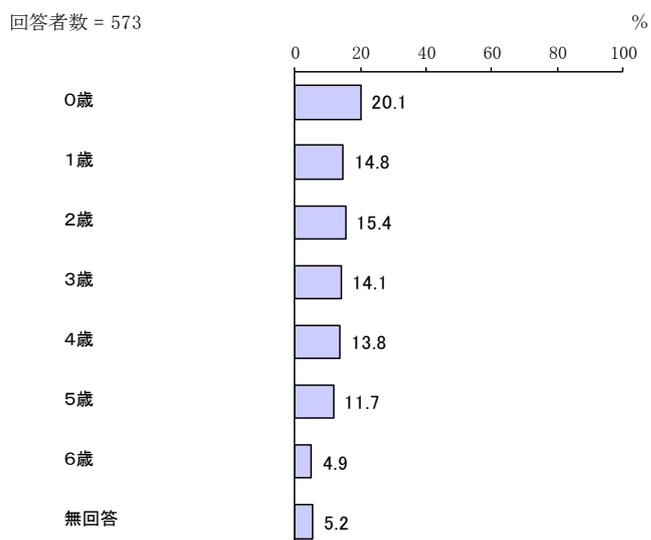
ア 子どもの数

「2人」の割合が47.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が37.2%、「3人」の割合が12.9%となっています。



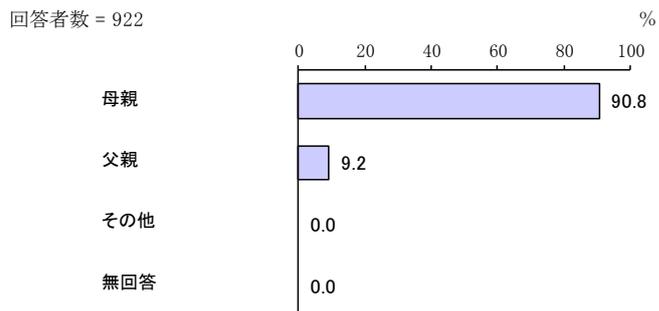
イ 末子の年齢

「0歳」の割合が20.1%と最も高く、次いで「2歳」の割合が15.4%、「1歳」の割合が14.8%となっています。



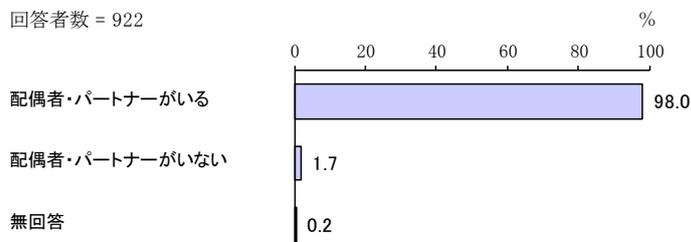
問5 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

「母親」の割合が 90.8%、「父親」の割合が 9.2%となっています。



問6 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

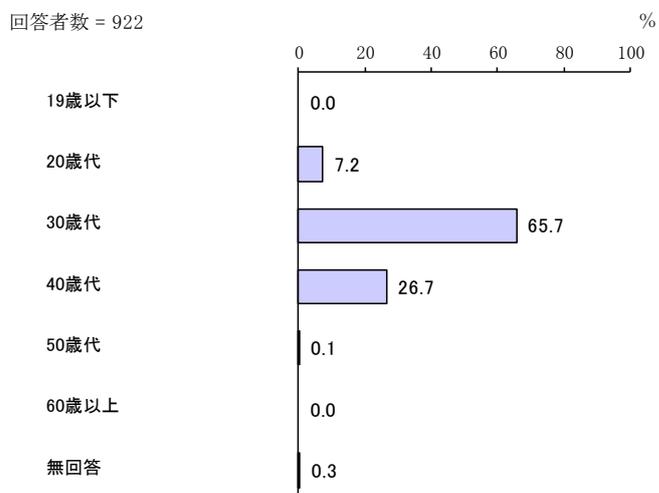
「配偶者・パートナーがいる」の割合が 98.0%、「配偶者・パートナーがいない」の割合が 1.7%となっています。



問7 母親、父親の該当する年齢階層に〇をつけてください。(母親、父親、それぞれ〇は1つ)

ア 母親

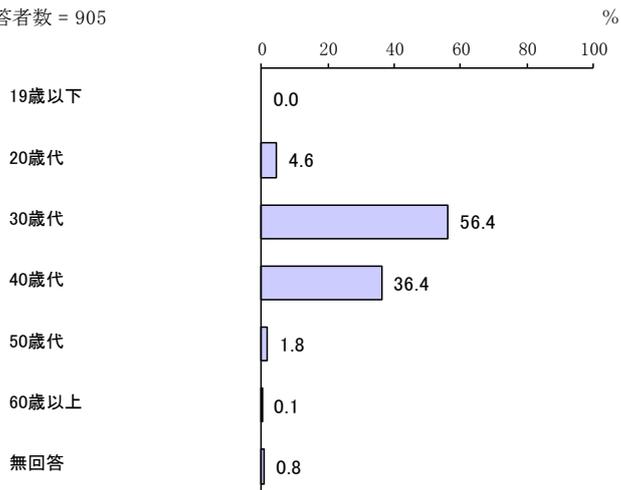
「30 歳代」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「40 歳代」の割合が 26.7%となっています。



イ 父親

「30 歳代」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「40 歳代」の割合が 36.4%となっています。

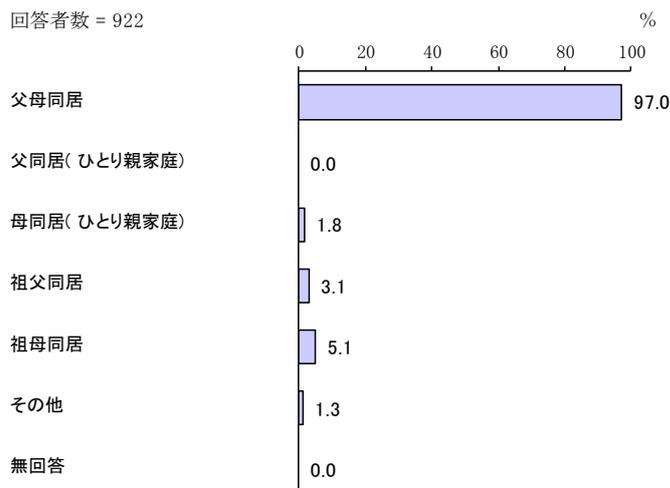
回答者数 = 905



問 8 お子さんの同居の状況はどれにあたりますか。続柄はお子さんからみた関係です。(○はいくつでも)

「父母同居」の割合が 97.0%と最も高くなっています。

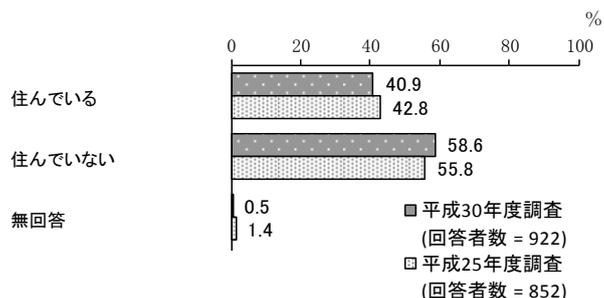
回答者数 = 922



問 9 子どもさんの祖父母が近くにお住まいですか。(○は1つ)

「住んでいる」の割合が 40.9%、「住んでいない」の割合が 58.6%となっています。

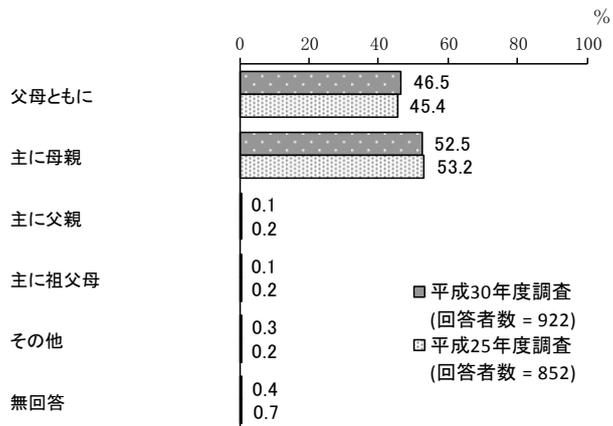
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問 10 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。
続柄はお子さんからみた関係です。(〇は1つ)**

「主に母親」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が 46.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

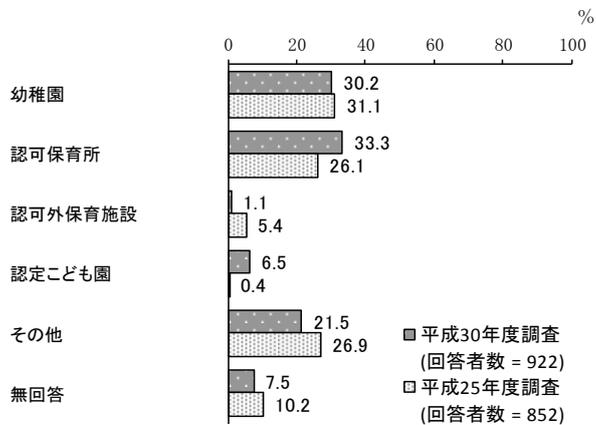


(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問 11 お子さんが日常的に通っている施設はどれですか。(〇は1つ)

「認可保育所」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 30.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「認可保育所」「認定こども園」の割合が増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、年齢が高くなるにつれて「幼稚園」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	認可保育所	認可外保育施設	認定こども園	その他	無回答
0歳	138	7.2	8.7	2.9	0.7	59.4	21.0
1歳	143	4.9	32.9	2.8	4.9	39.9	14.7
2歳	141	12.1	42.6	—	8.5	27.7	9.2
3歳	127	41.7	35.4	1.6	7.1	11.0	3.1
4歳	152	48.7	39.5	—	9.9	2.0	—
5歳	150	52.0	37.3	—	9.3	1.3	—
6歳	59	57.6	40.7	—	1.7	—	—

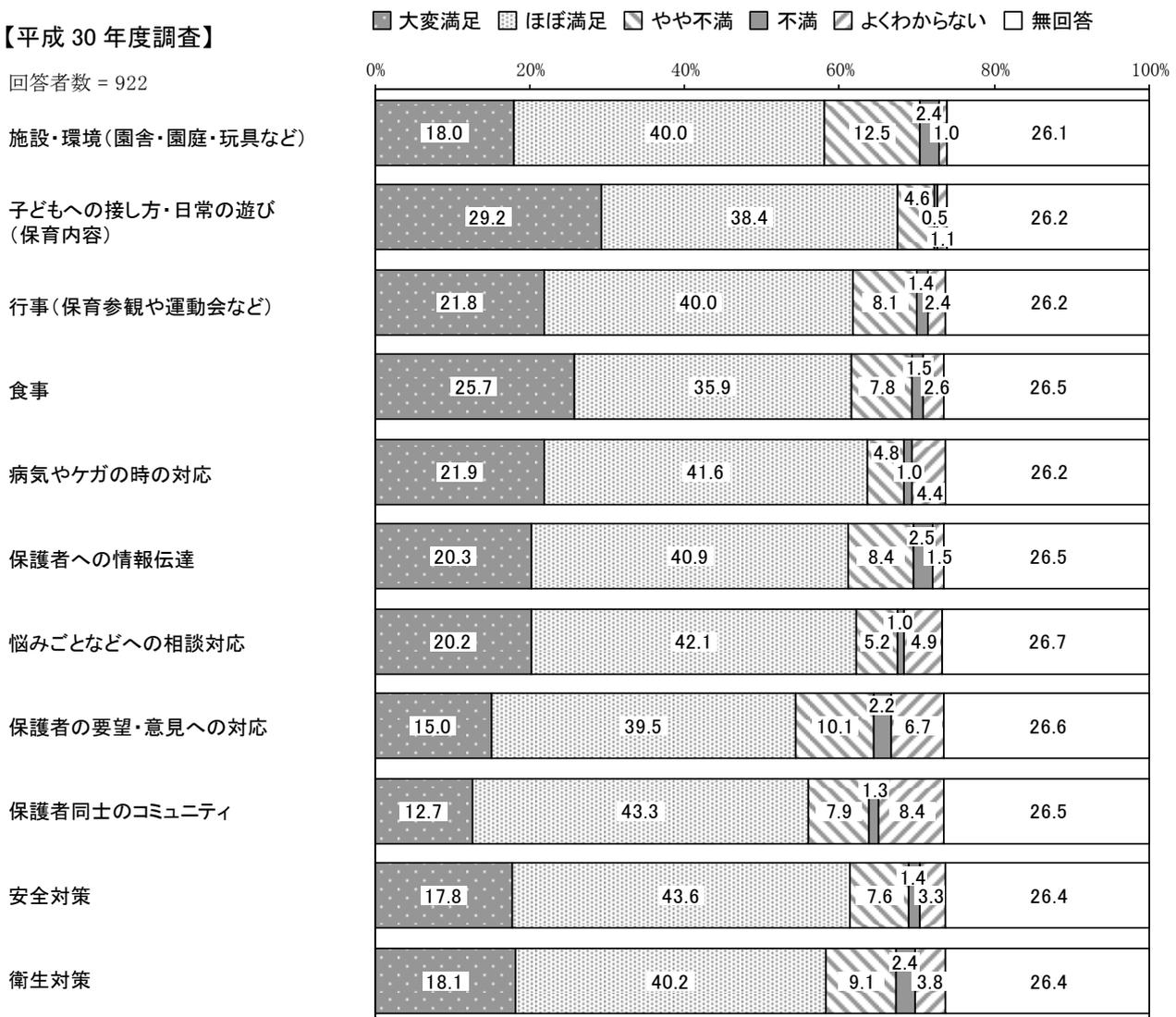
問 12 現在通っている保育施設について、全般的に満足していますか。
 (それぞれについて、〇は1つ)

満足度でみると、他に比べ、子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容）で「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた“満足”の割合が、施設・環境（園舎・園庭・玩具など）で「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、すべての項目で“満足”の割合が減少しています。

【平成 30 年度調査】

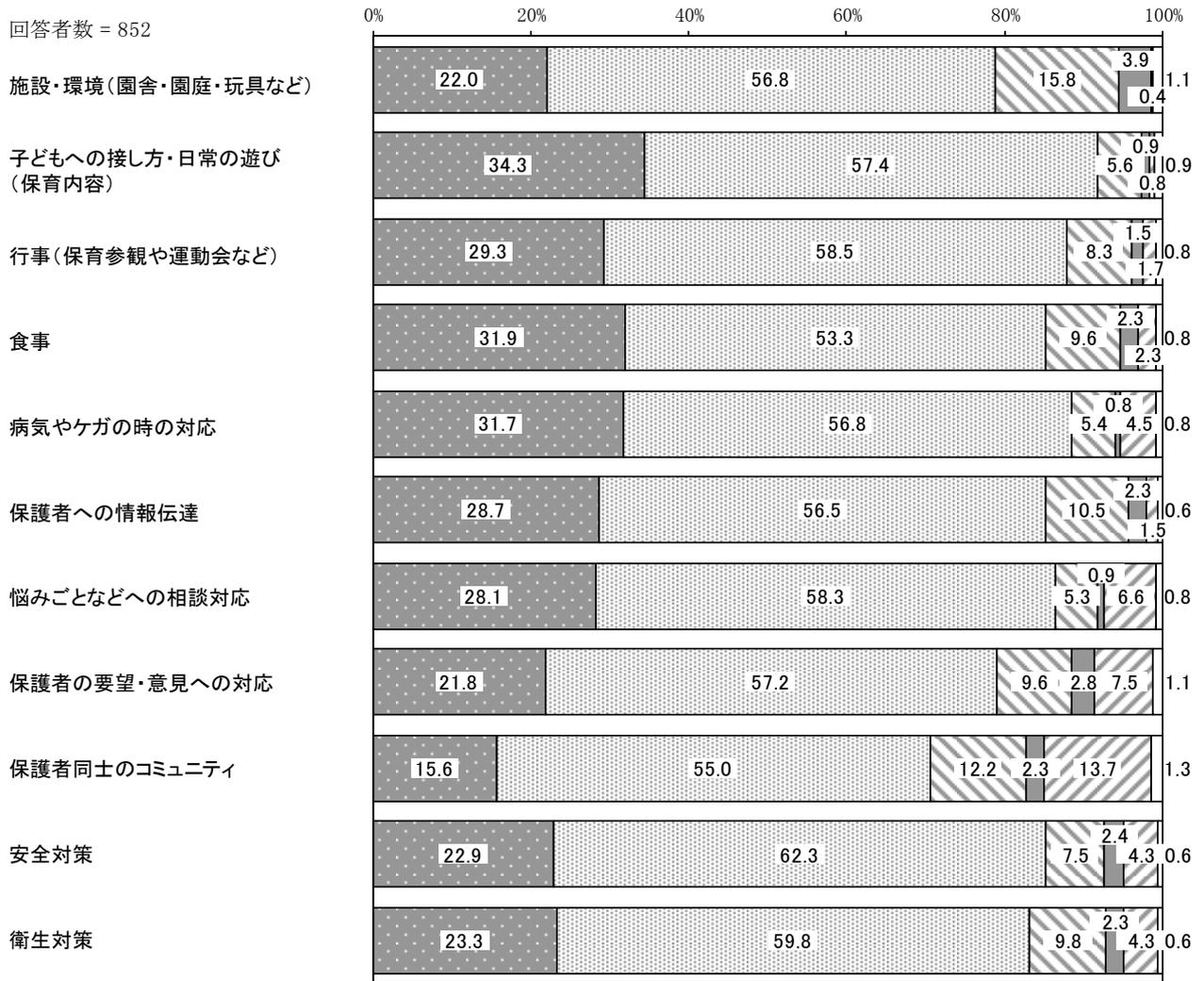
回答者数 = 922



【平成 25 年度調査】

回答者数 = 852

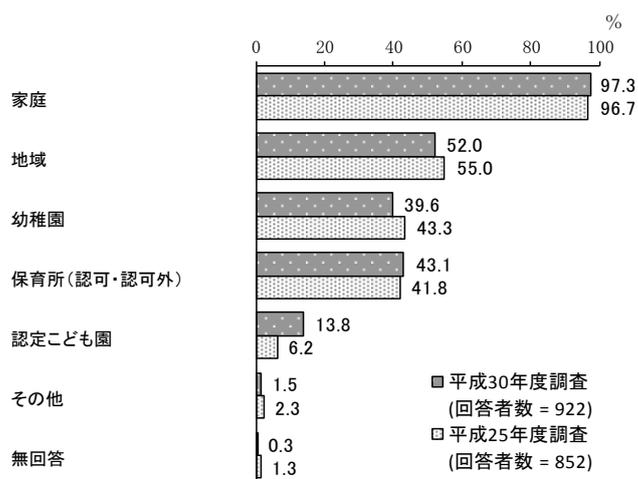
■ 大変満足 ■ ほぼ満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ よくわからない □ 無回答



問13 お子さんの子育てに、大きく影響すると思う環境はどれですか。
(○はいくつでも)

「家庭」の割合が97.3%と最も高く、次いで「地域」の割合が52.0%、「保育所（認可・認可外）」の割合が43.1%となっています。

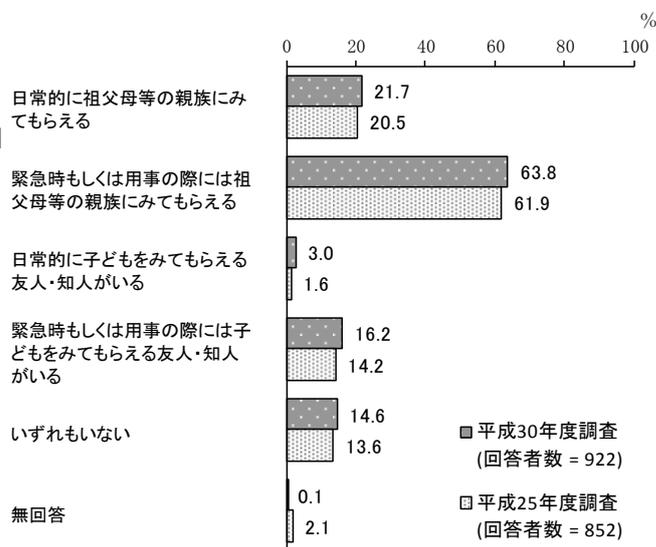
平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。



問14 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(○はいくつでも)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が63.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が21.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が16.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、父母同居で「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が、祖父同居で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
父母同居	894	20.8	64.0	2.7	16.0	15.1	0.1
父同居(ひとり親家庭)	—	—	—	—	—	—	—
母同居(ひとり親家庭)	17	52.9	47.1	5.9	17.6	—	—
祖父同居	29	82.8	34.5	—	3.4	3.4	—
祖母同居	47	78.7	40.4	14.9	14.9	2.1	—
その他	12	58.3	58.3	—	—	—	—

【母親の就労状況別】

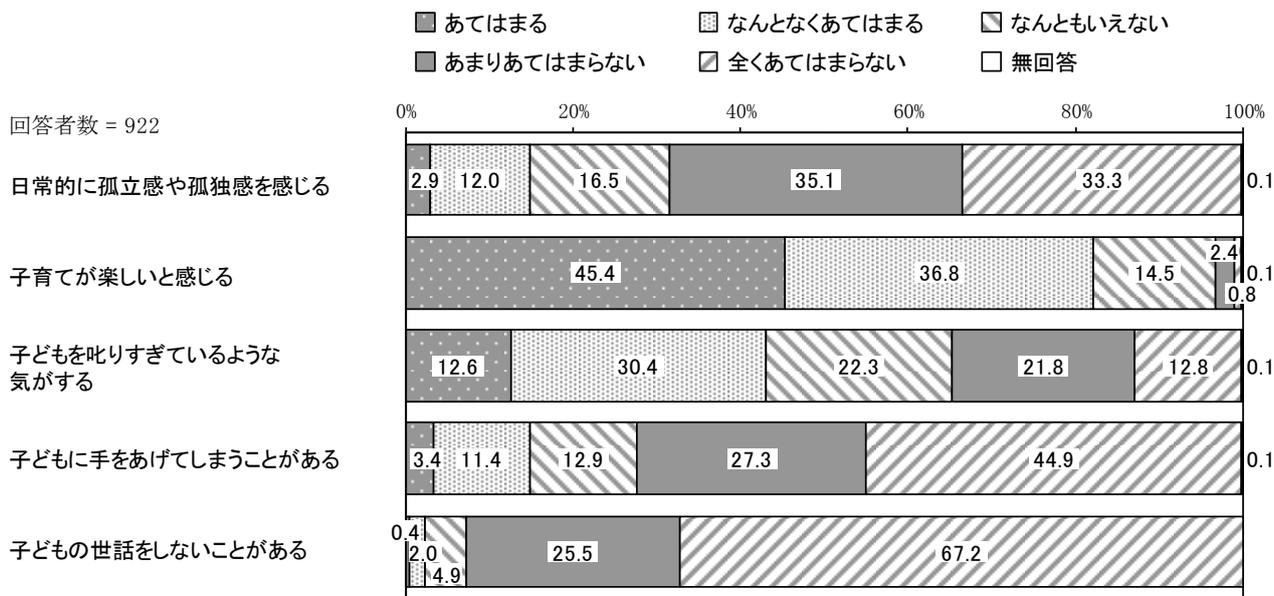
母親の就労状況別でみると、他に比べ、パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	232	21.1	68.5	1.3	9.9	12.9	0.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	125	19.2	63.2	0.8	6.4	18.4	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	179	22.9	67.0	6.7	24.0	9.5	—
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15	26.7	73.3	—	6.7	13.3	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	327	22.3	59.6	3.4	19.9	17.1	—
これまで就労したことがない	23	17.4	56.5	—	21.7	17.4	—

問 15 子育てをする中で、日頃次のようなことがあったり、感じたりすることはありますか。（それぞれについて○は1つ）

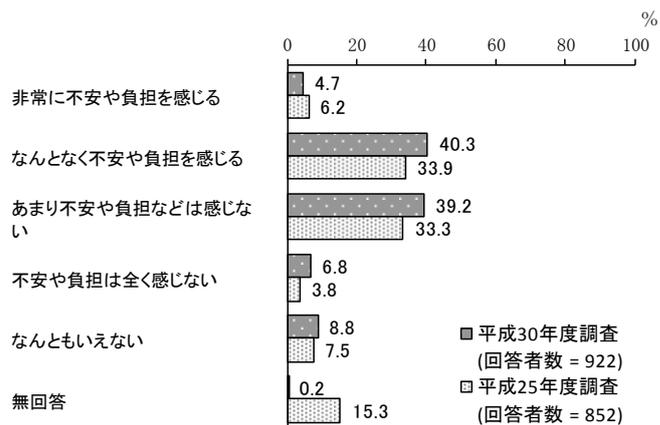
日頃感じることをみると、他に比べ、子育てが楽しいと感じるで「あてはまる」と「なんとなくあてはまる」をあわせた“あてはまる”の割合が、子どもを叱りすぎているような気がするで「なんともいえない」の割合が高くなっています。また、子どもの世話をしないことがあるで「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」をあわせた“あてはまらない”の割合が高くなっています。



問 16 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか。（○は1つ）

「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が40.3%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」の割合が39.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「なんとなく不安や負担を感じる」「あまり不安や負担などは感じない」の割合が増加しています。



【相談できる人・場所の有無別】

相談できる人・場所の有無別でみると、いる／あるに比べ、いない／ないで「非常に不安や負担を感じる」「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が高くなっています。

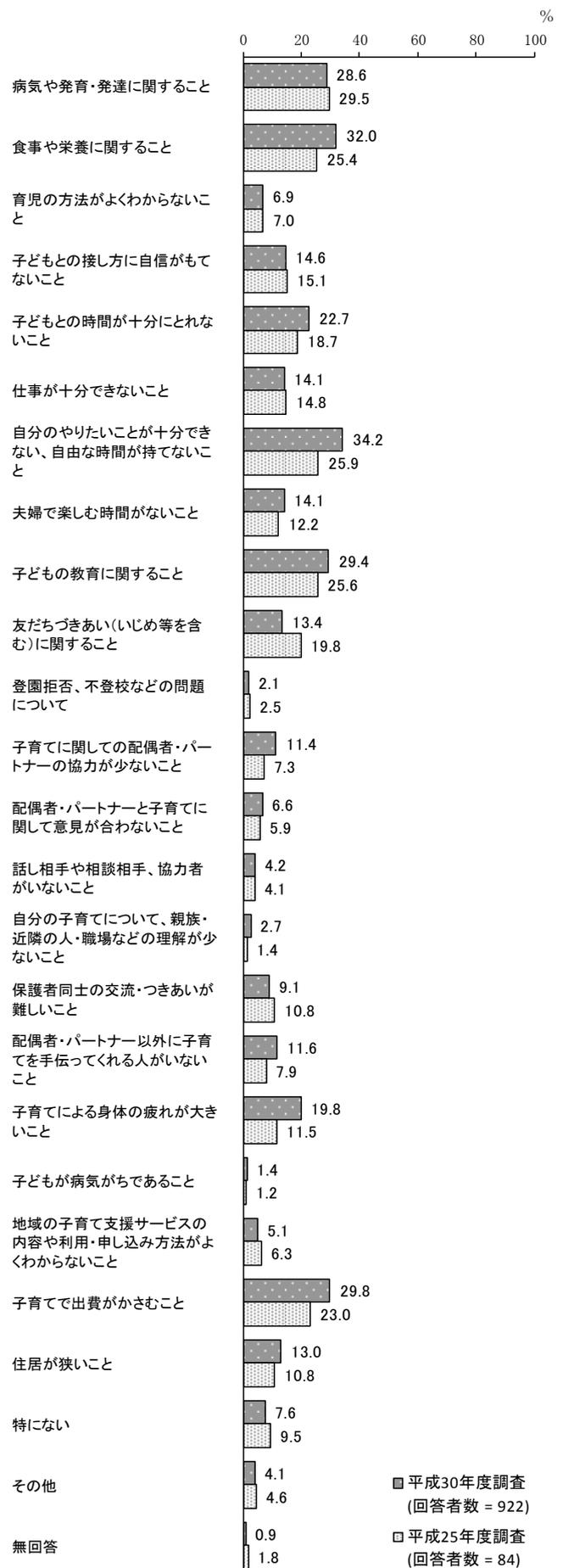
単位：％

区分	有効回答数 (件)	非常に不安や負担 を感じる	なんとなく不安や 負担を感じる	あまり不安や負担 などは感じない	不安や負担は全く 感じない	なんともいえない	無回答
いる／ある	847	3.4	38.8	41.4	7.3	8.9	0.1
いない／ない	74	18.9	56.8	13.5	1.4	8.1	1.4

問 17 子育てに関して、日常悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「自分のやりたいことが十分できない、自由な時間が持てないこと」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」の割合が 32.0%、「子育てで出費がかさむこと」の割合が 29.8%となっています。

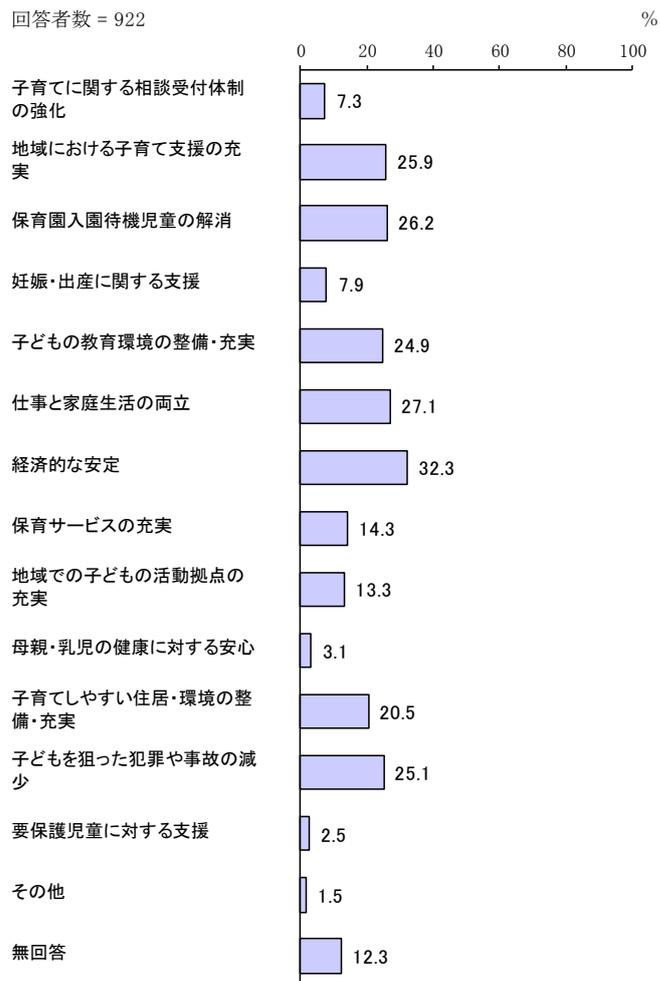
平成 25 年度調査と比較すると、「食事や栄養に関すること」「自分のやりたいことが十分できない、自由な時間が持てないこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「子育てで出費がかさむこと」の割合が増加しています。一方、「友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」の割合が減少しています。



問 18 子育て支援について、特に重要な支援・対策は何だと思われますか。
(○は3つまで)

「経済的な安定」の割合が 32.3%と最も高く、
次いで「仕事と家庭生活の両立」の割合が 27.1%、
「保育園入園待機児童の解消」の割合が 26.2%と
なっています。

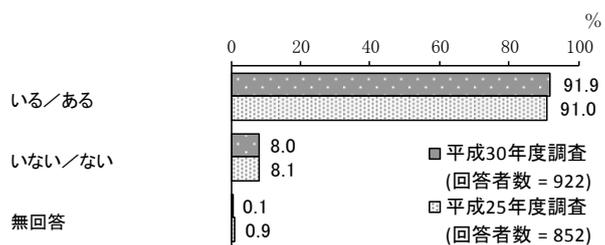
回答者数 = 922



問 19 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

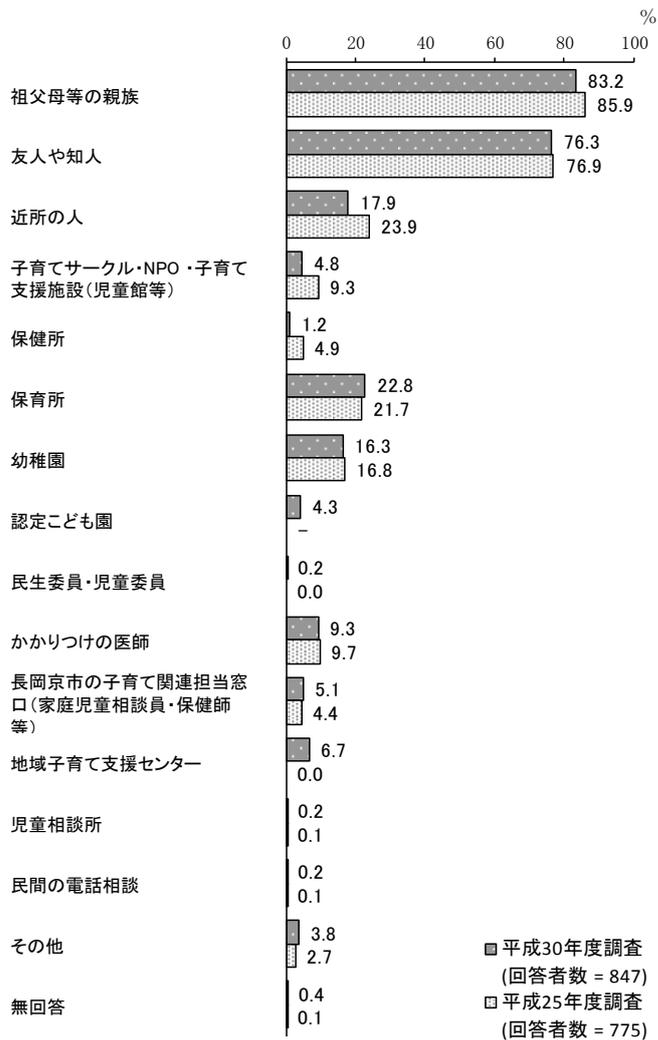
「いる／ある」の割合が 91.9%、「いない／ない」の割合が 8.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



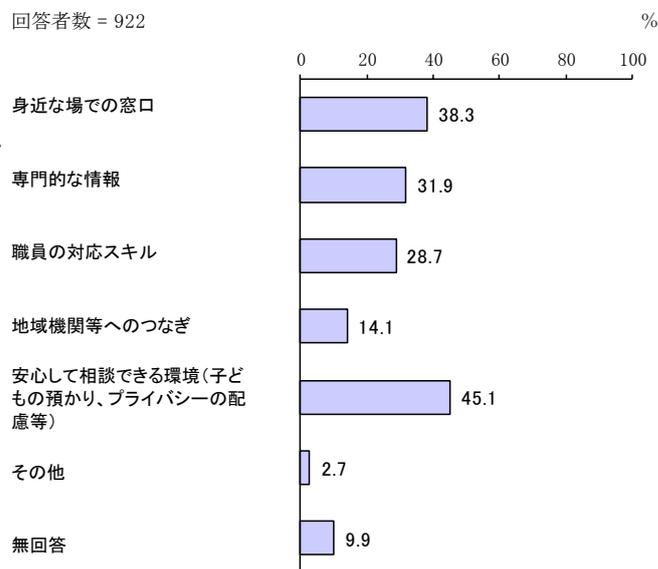
問 19-1 問 19 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 （○はいくつでも）

「祖父母等の親族」の割合が 83.2%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 76.3%、「保育所」の割合が 22.8%となっています。
 平成 25 年度調査と比較すると、「地域子育て支援センター」の割合が増加しています。一方、「近所の人」の割合が減少しています。



問 20 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(○は3つまで)

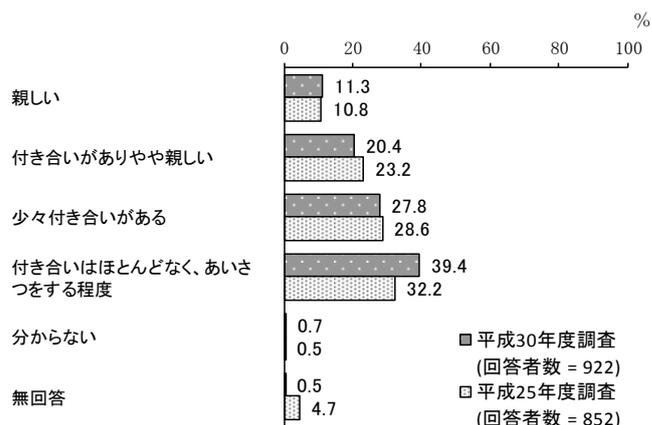
「安心して相談できる環境（子どもの預かり、プライバシーの配慮等）」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「身近な場での窓口」の割合が 38.3%、「専門的な情報」の割合が 31.9%となっています。



問 21 ご近所や地域の人々との付き合いはどうか。(○は1つ)

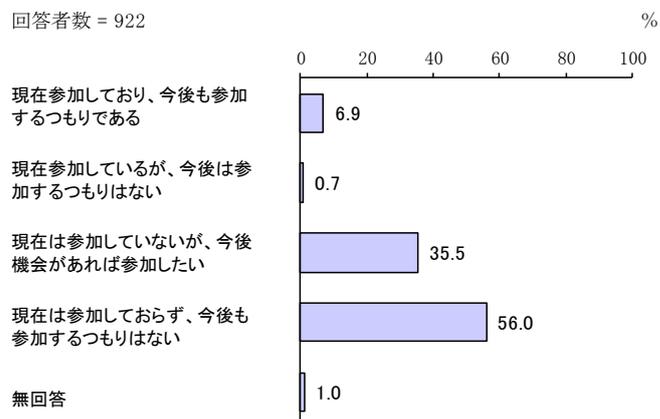
「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が39.4%と最も高く、次いで「少々付き合いがある」の割合が27.8%、「付き合いがありやや親しい」の割合が20.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が増加しています。



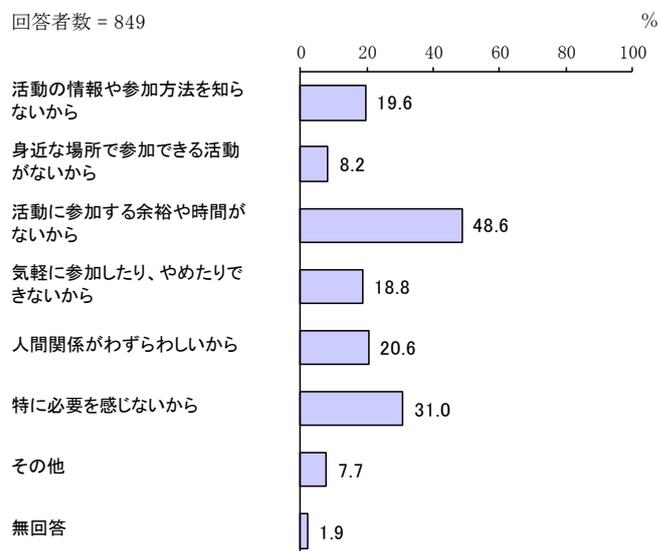
問 22 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。(○は1つ)

「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が56.0%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が35.5%となっています。



問 22-1 問 22 で「2～4」に○をつけた方にうかがいます。参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

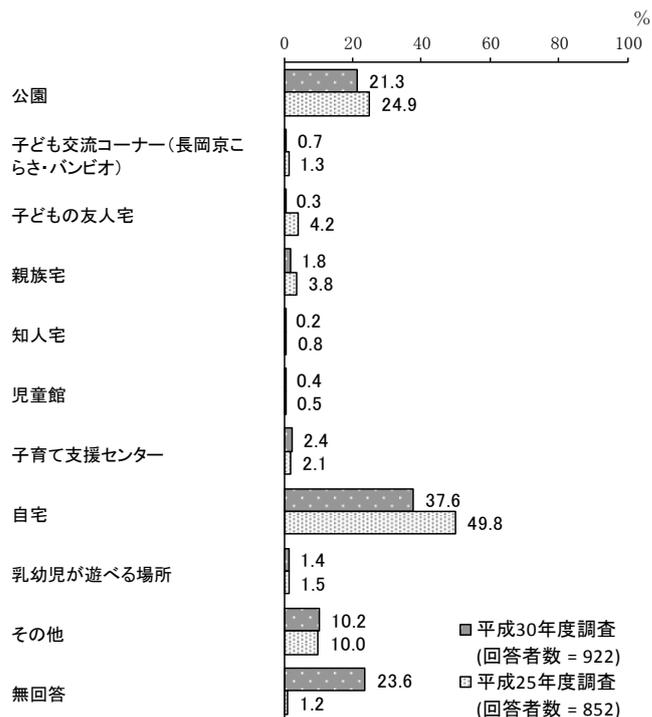
「活動に参加する余裕や時間がないから」の割合が48.6%と最も高く、次いで「特に必要を感じないから」の割合が31.0%、「人間関係がわずらわしいから」の割合が20.6%となっています。



問 23 お子さんは日中に主にどこで遊ぶことが多いですか。(〇は1つ)

「自宅」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「公園」の割合が 21.3%となっています。

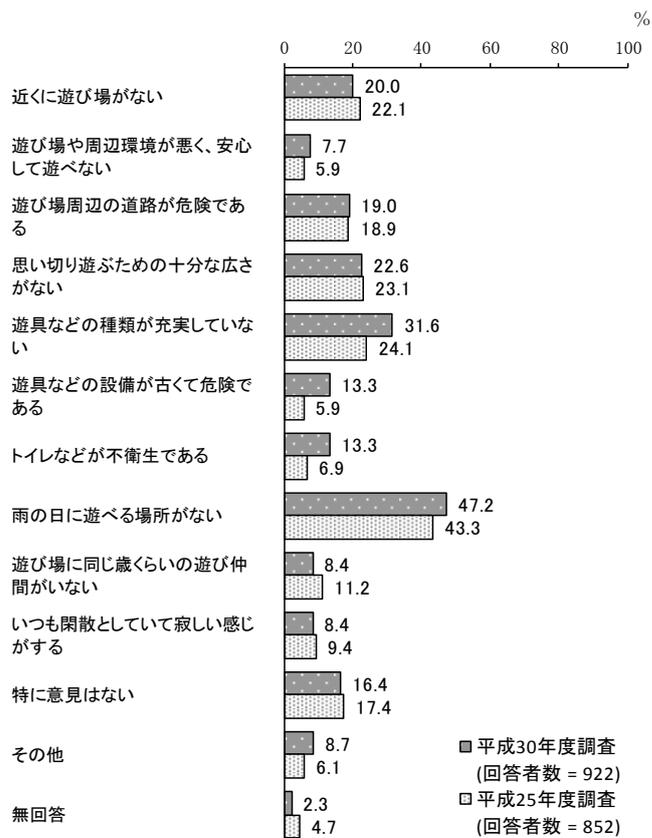
平成 25 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が減少しています。



問 24 遊び場で困ること・困ったことは何ですか。(〇はいくつでも)

「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」の割合が 31.6%、「思い切り遊ぶための十分な広さがない」の割合が 22.6%となっています。

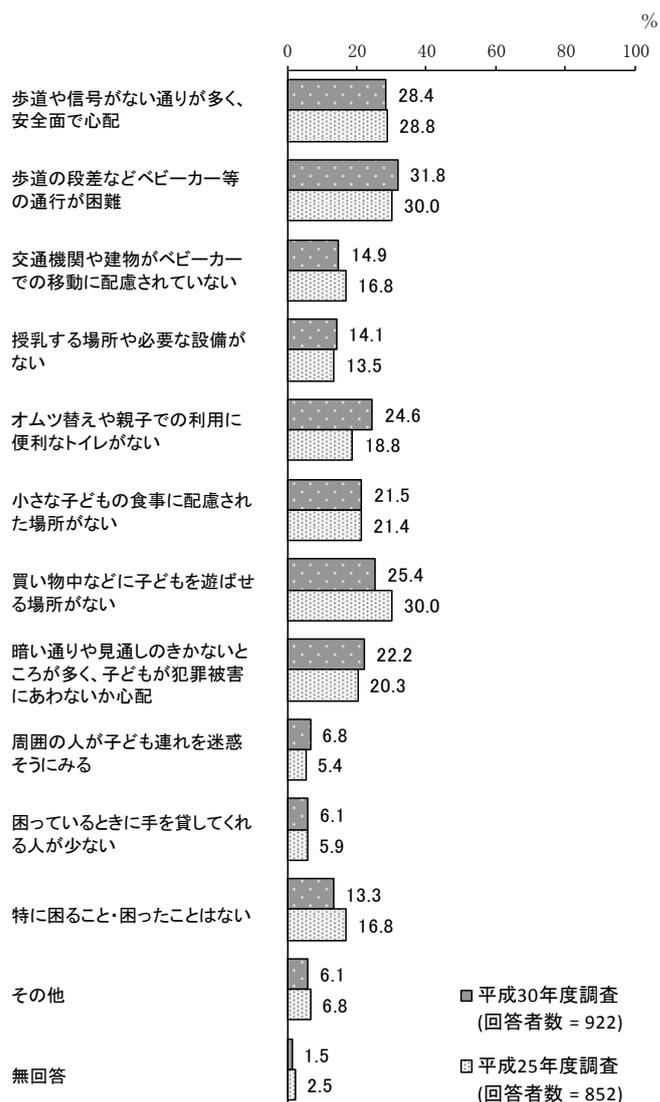
平成 25 年度調査と比較すると、「遊具などの種類が充実していない」「遊具などの設備が古くて危険である」「トイレなどが不衛生である」の割合が増加しています。



問 25 お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。
(〇はいくつでも)

「歩道の段差などベビーカー等の通行が困難」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配」の割合が 28.4%、「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」の割合が 25.4%となっています。

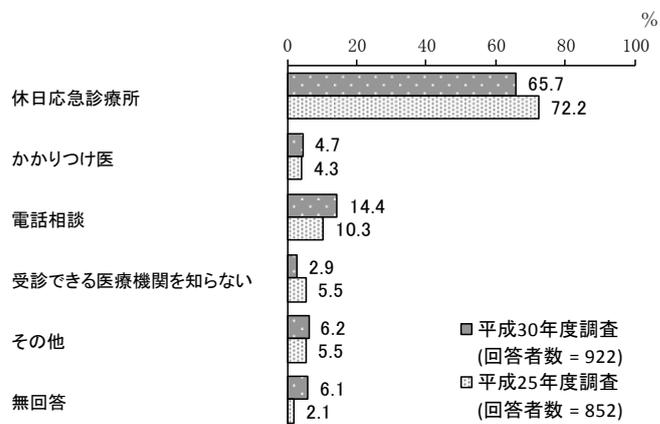
平成 25 年度調査と比較すると、「オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない」の割合が増加しています。



問 26 お子さんの休日や夜間の急病時には、どのように対応されていますか。
(最も当てはまるもの1つに〇)

「休日応急診療所」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「電話相談」の割合が 14.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「休日応急診療所」の割合が減少しています。



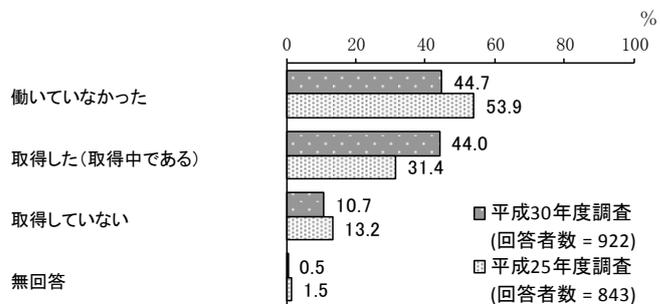
(3) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 27 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ。)また、「3. 取得していない」に○をした方はその理由を1～15より選び、□内に番号をご記入ください。
(該当する番号すべてを記入)

ア 母親

「働いていなかった」の割合が44.7%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が44.0%、「取得していない」の割合が10.7%となっています。

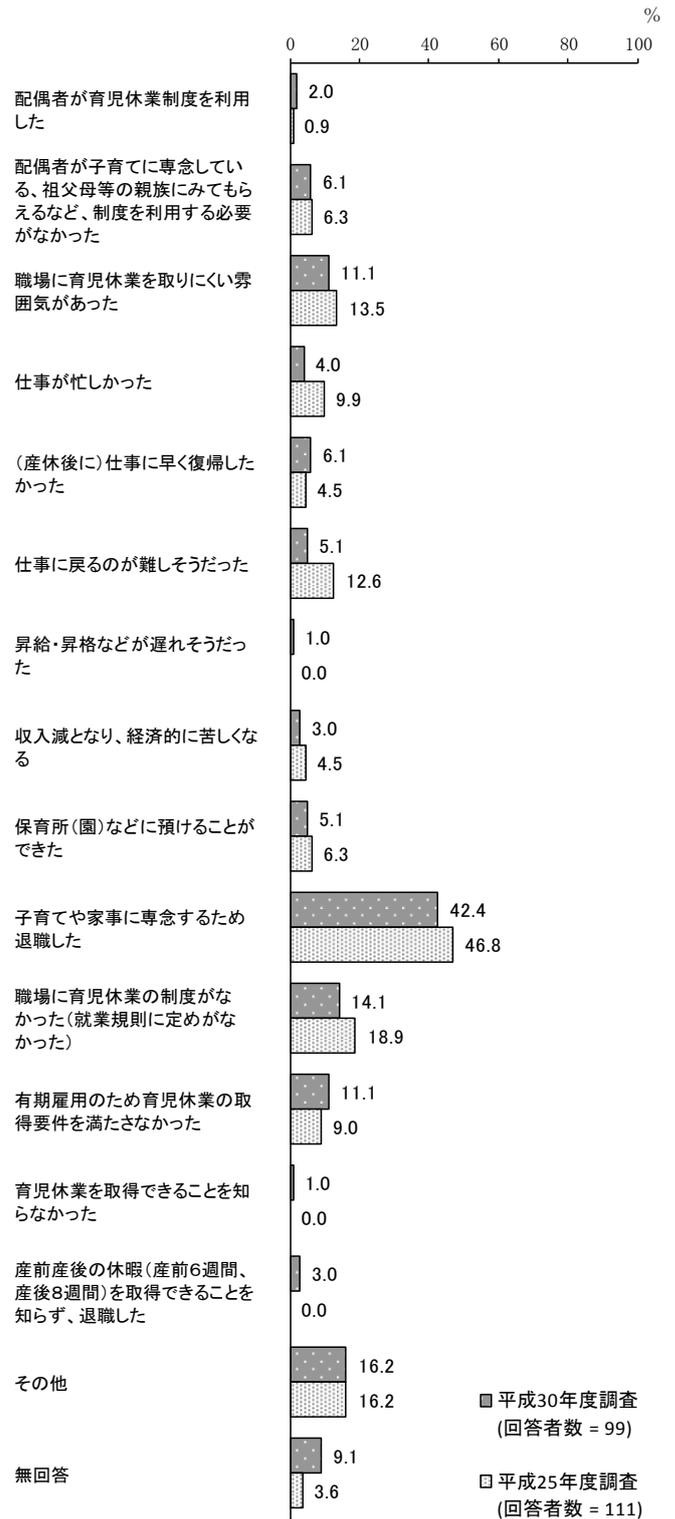
平成25年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が42.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が14.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が11.1%となっています。

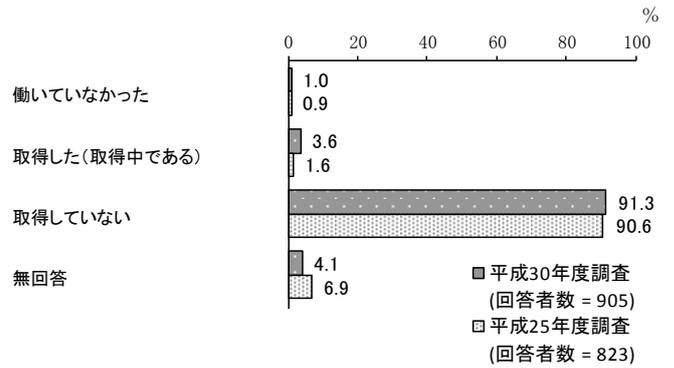
平成25年度調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」の割合が減少しています。



イ 父親

「取得していない」の割合が91.3%と最も高くなっています。

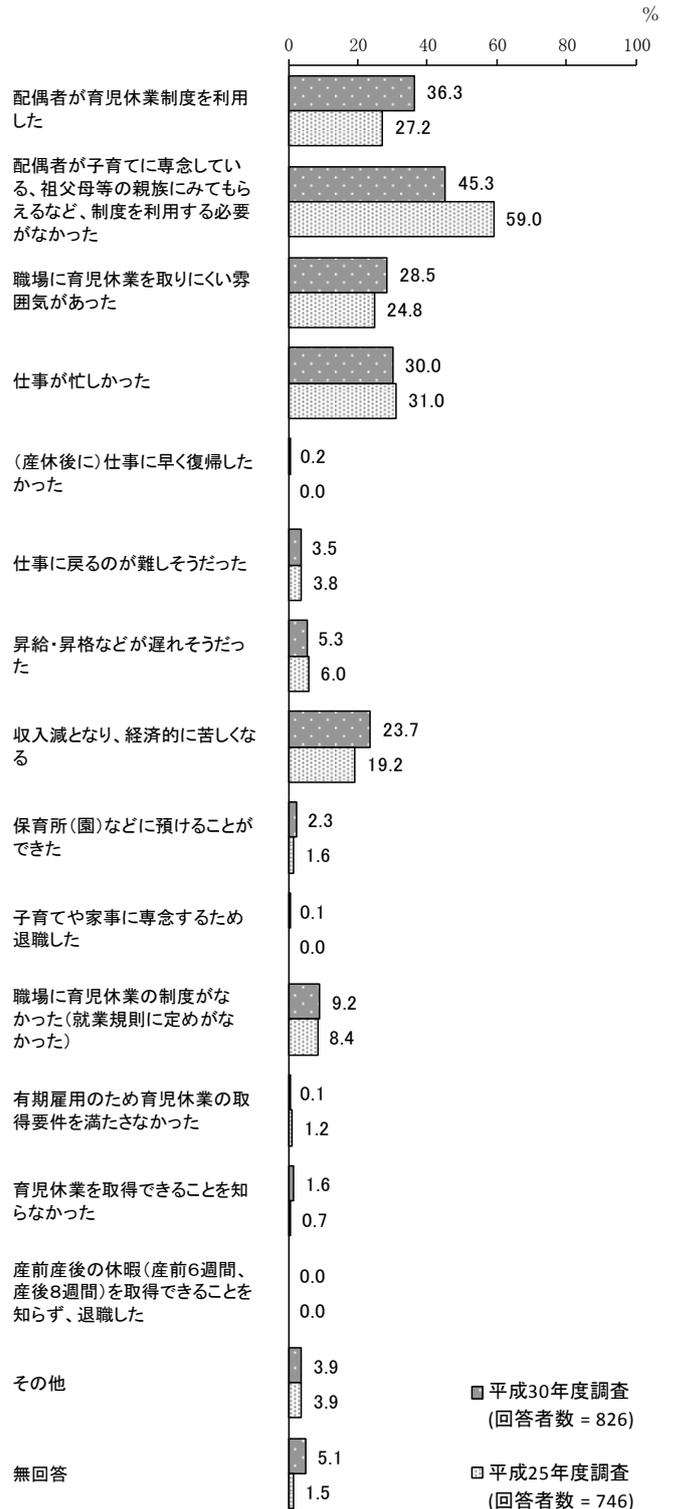
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



取得していない理由

「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が45.3%と最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が36.3%、「仕事が忙しかった」の割合が30.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。

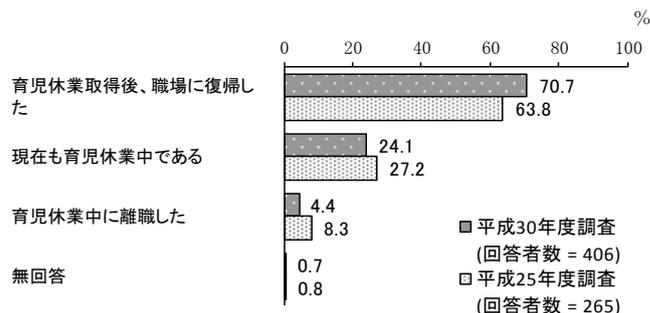


問 27-1 問 27 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（母親、父親それぞれに○は1つ）

ア 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が70.7%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が24.1%となっています。

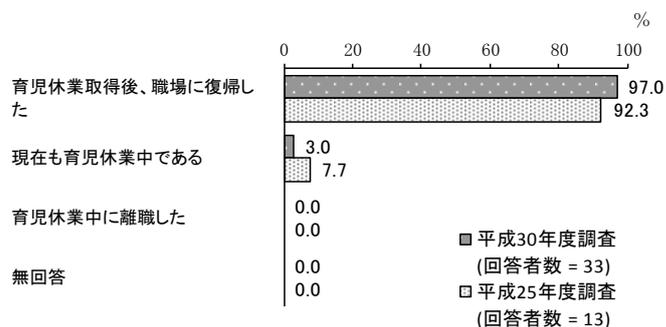
平成 25 年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。



イ 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が97.0%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

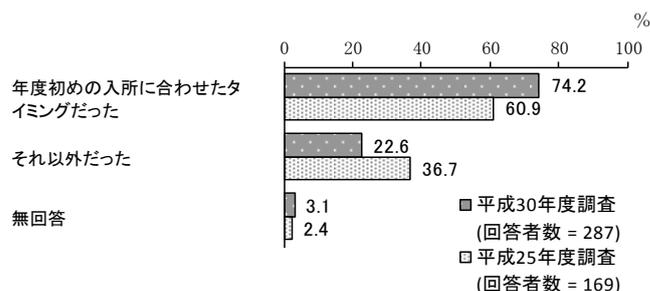


問 27-2 問 27-1 で母親、父親のいずれかで「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（母親、父親それぞれに○は1つ）

ア 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が74.2%、「それ以外だった」の割合が22.6%となっています。

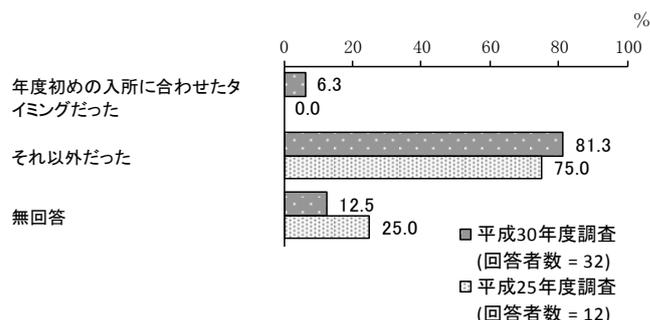
平成 25 年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が増加しています。一方、「それ以外だった」の割合が減少しています。



イ 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が6.3%、「それ以外だった」の割合が81.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」「それ以外だった」の割合が増加しています。



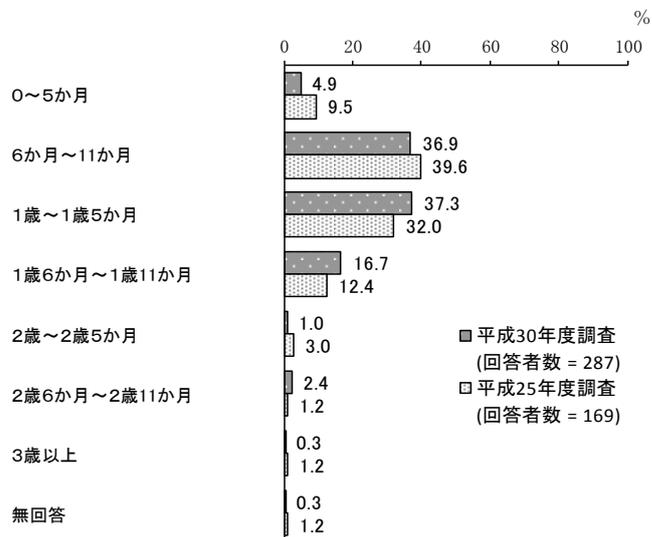
問 27-3 実際に育児休業から職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、希望としては、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。（お勤め先の育児休業の制度の期間内で）母親、父親のそれぞれについて、□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

ア 母親

(ア) 実際の期間

「1歳～1歳5か月」の割合が37.3%と最も高く、次いで「6か月～11か月」の割合が36.9%、「1歳6か月～1歳11か月」の割合が16.7%となっています。

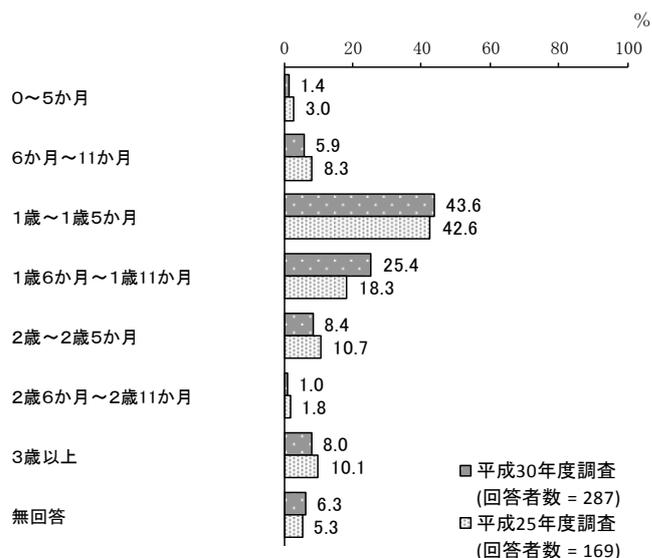
平成25年度調査と比較すると、「1歳～1歳5か月」の割合が増加しています。



(イ) 希望の期間

「1歳～1歳5か月」の割合が43.6%と最も高く、次いで「1歳6か月～1歳11か月」の割合が25.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1歳6か月～1歳11か月」の割合が増加しています。

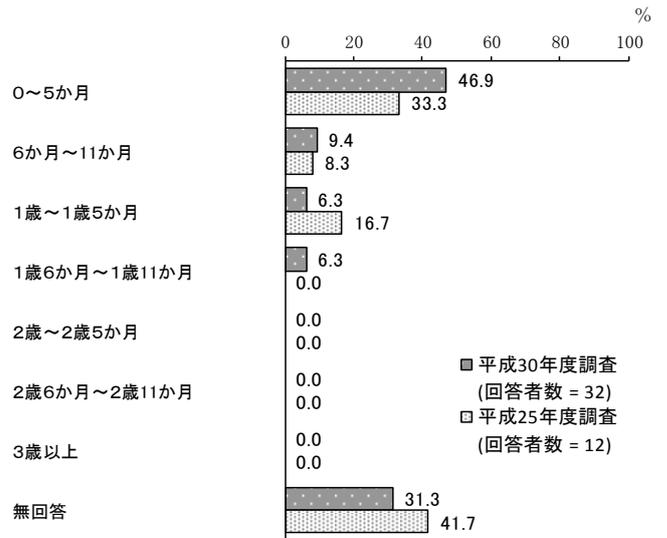


イ 父親

(ア) 実際の期間

「0～5か月」の割合が46.9%と最も高くなっています。

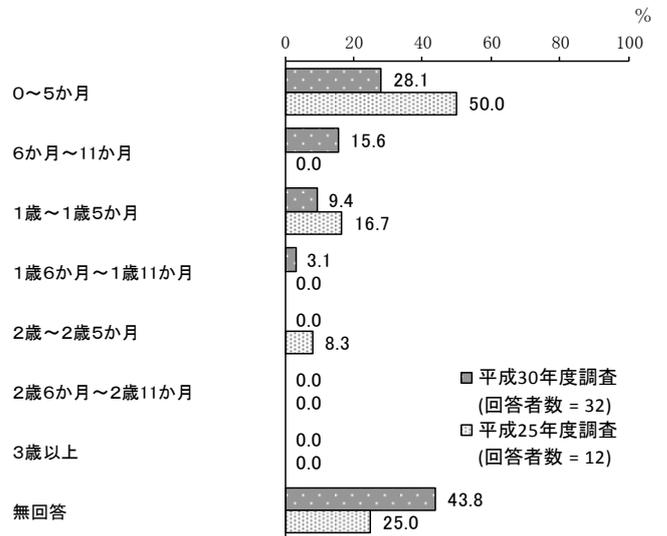
平成25年度調査と比較すると、「0～5か月」「1歳6か月～1歳11か月」の割合が増加しています。一方、「1歳～1歳5か月」の割合が減少しています。



(イ) 希望の期間

「0～5か月」の割合が28.1%と最も高く、次いで「6か月～11か月」の割合が15.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6か月～11か月」の割合が増加しています。一方、「0～5か月」「1歳～1歳5か月」「2歳～2歳5か月」の割合が減少しています。

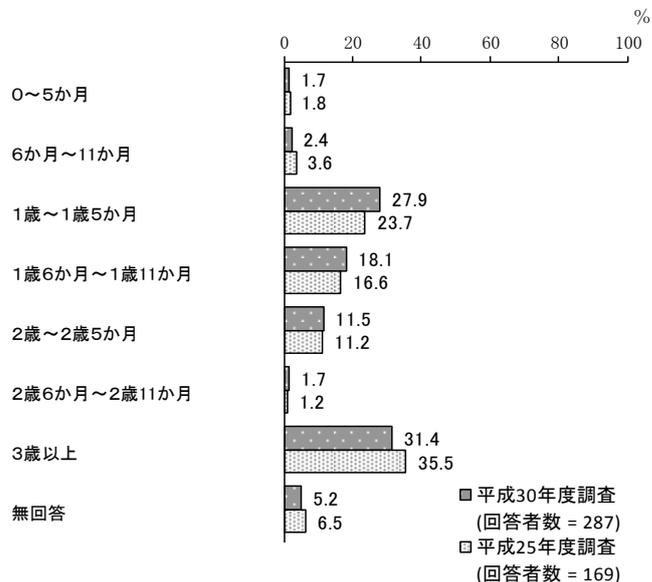


問 27-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。母親、父親のそれぞれについて、□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

ア 母親

「3歳以上」の割合が31.4%と最も高く、次いで「1歳～1歳5か月」の割合が27.9%、「1歳6か月～1歳11か月」の割合が18.1%となっています。

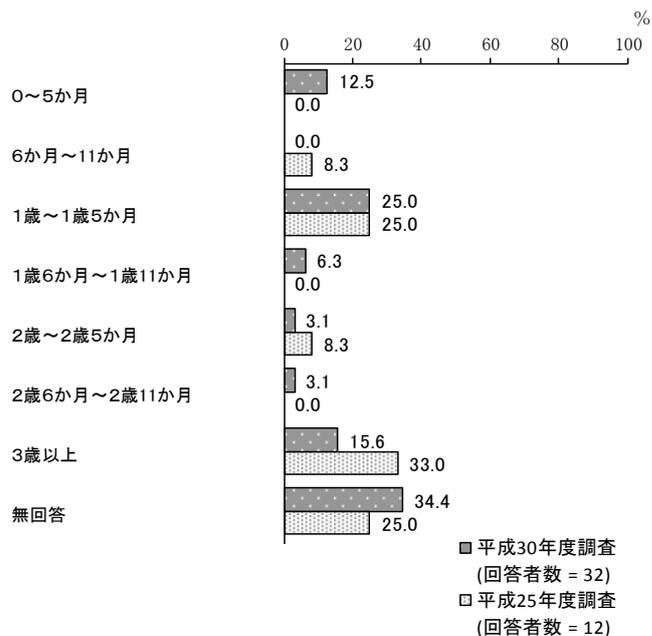
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 父親

「1歳～1歳5か月」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3歳以上」の割合が15.6%、「0～5か月」の割合が12.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「0～5か月」「1歳6か月～1歳11か月」の割合が増加しています。一方、「6か月～11か月」「2歳～2歳5か月」「3歳以上」の割合が減少しています。



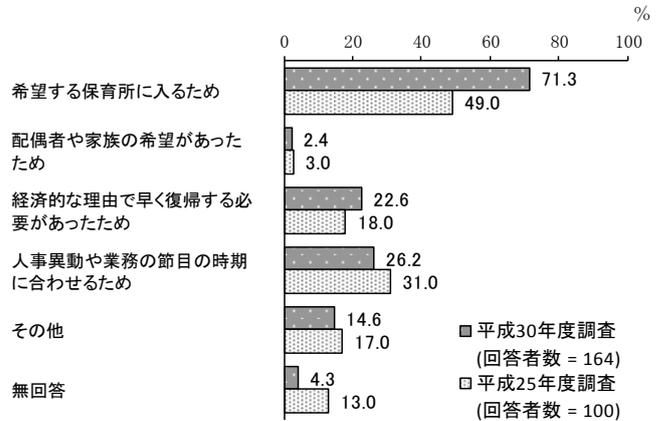
問 27-5 問 27-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
 希望の時期に職場復帰しなかった理由を、母親、父親のそれぞれについてお
 答えください。(〇はいくつでも)

ア 「希望」より早く復帰した方

(ア) 母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 71.3%
 と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期
 に合わせるため」の割合が 26.2%、「経済的な
 理由で早く復帰する必要があるため」の割合が
 22.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「希望する保育
 所に入るため」の割合が増加しています。



(イ) 父親

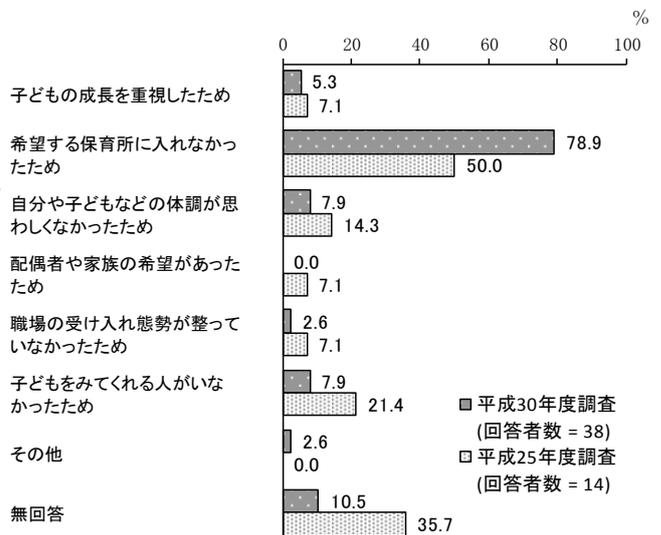
「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 3 件となっています。「希望する保育所
 に入るため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 2 件となっています。

イ 「希望」より遅く復帰した方

(ア) 母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合
 が 78.9%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「希望する保育
 所に入れなかったため」の割合が増加しています。
 一方、「自分や子どもなどの体調が思わしくなか
 ったため」「配偶者や家族の希望があったため」
 「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割
 合が減少しています。



(イ) 父親

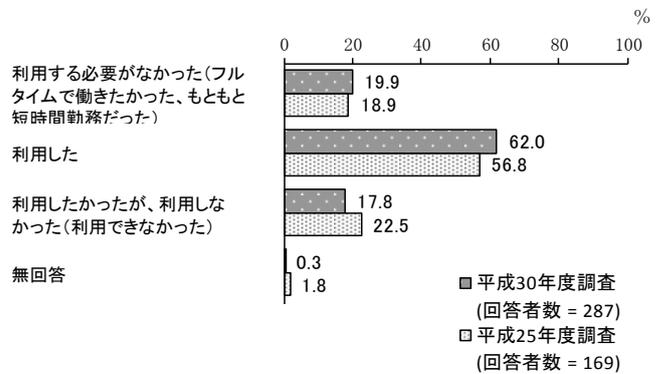
有効回答がありませんでした。

問 27-6 問 27-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
 (母親、父親それぞれに○は1つ)

ア 母親

「利用した」の割合が62.0%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が19.9%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が17.8%となっています。

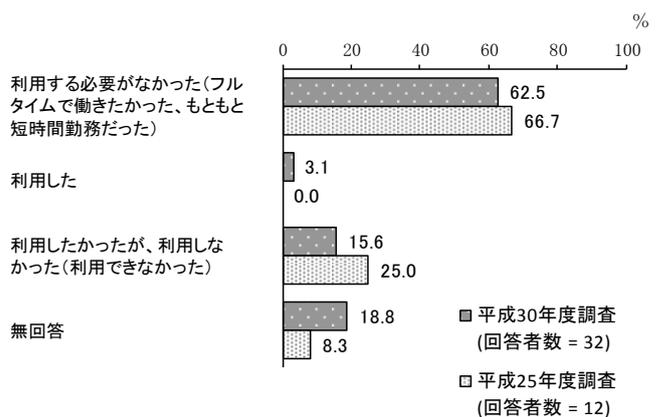
平成25年度調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。



イ 父親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が62.5%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が15.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が減少しています。

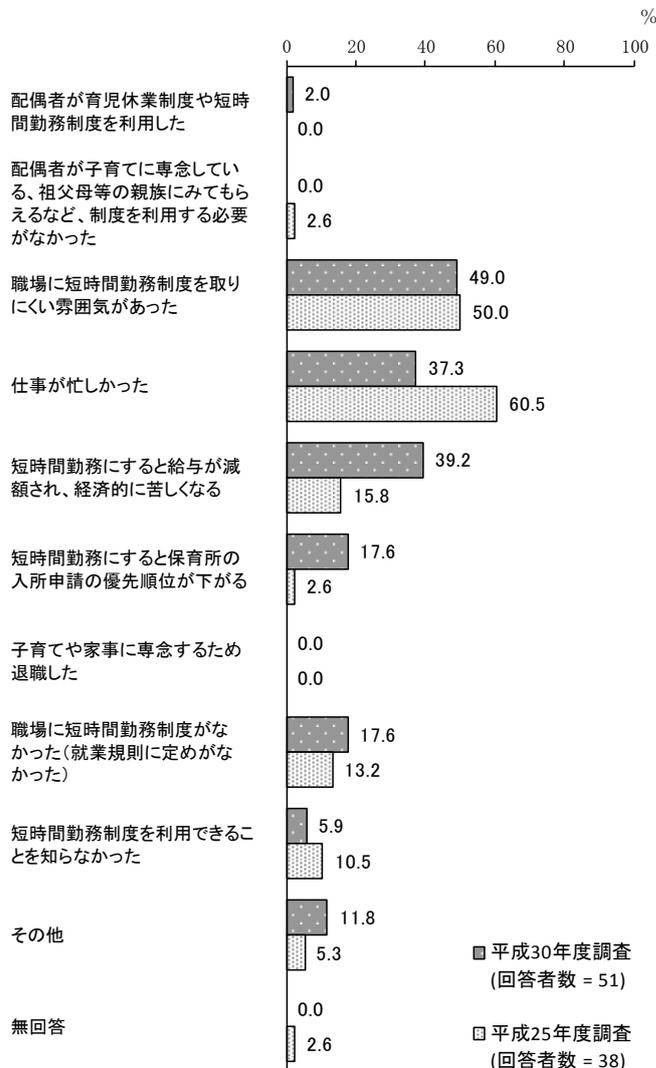


問 27-7 問 27-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。
 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由をお答えください。（母親、父親それぞれに○は3つまで）

ア 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が 39.2%、「仕事が忙しかった」の割合が 37.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」の割合が増加しています。一方、「仕事が忙しかった」の割合が減少しています。



イ 父親

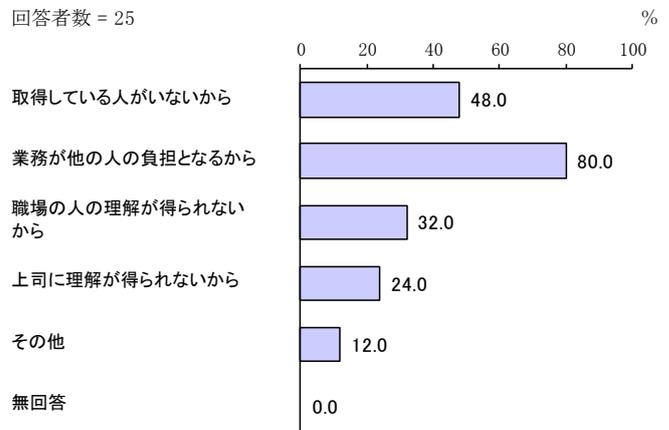
「仕事が忙しかった」が 3 件となっています。「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 2 件、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 1 件となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」「仕事が忙しかった」「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が増加しています。一方、「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が減少しています。

問 27-8 問 27-7で「3. 職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった」と回答した方にうかがいます。
 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由は何ですか。
 (母親、父親それぞれに○は3つまで)

ア 母親

「業務が他の人の負担となるから」の割合が80.0%と最も高く、次いで「取得している人がいないから」の割合が48.0%、「職場の人の理解が得られないから」の割合が32.0%となっています。



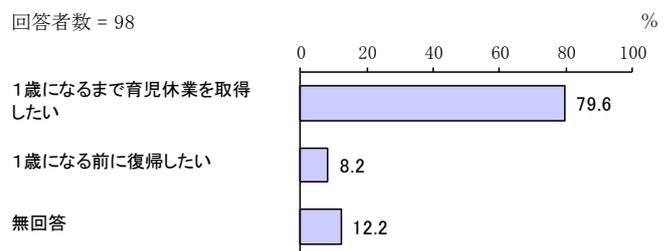
イ 父親

「業務が他の人の負担となるから」、「職場の人の理解が得られないから」、「上司に理解が得られないから」が1件となっています。

問 27-9 問 27-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる施設等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

ア 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が79.6%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が8.2%となっています。



イ 父親

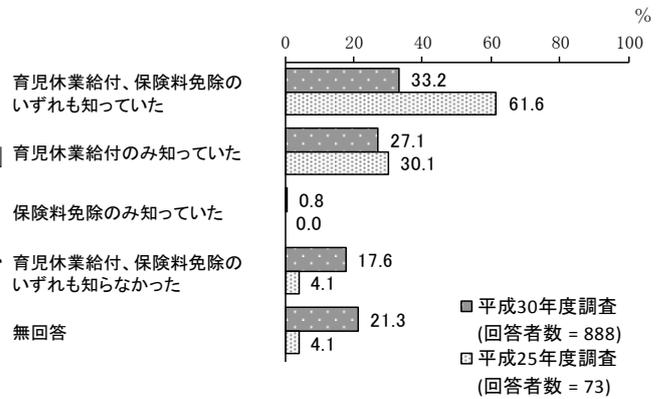
有効回答がありません。

問 27-10 問 27 で「2. 取得した（取得中である）」「3. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

子どもが原則 1 歳^(※1) になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等^(※2) 期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。
(○は 1 つ)

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」の割合が 27.1%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 17.6%となっています。

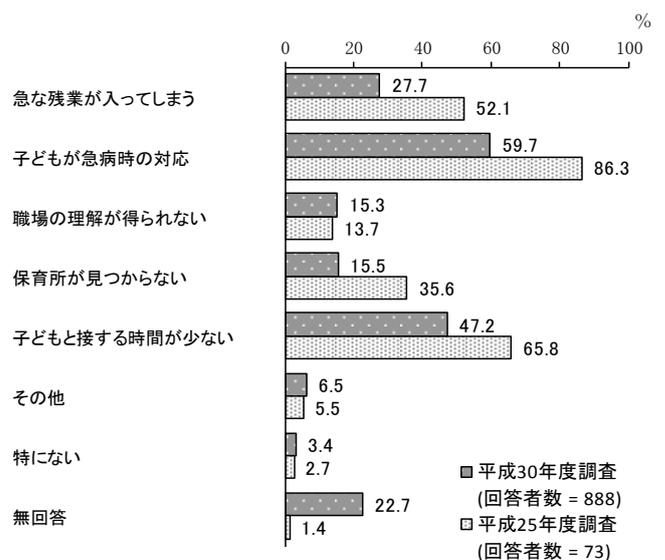
平成 25 年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が減少しています。



問 27-11 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることをお答えください。
(○はいくつでも)。

「子どもが急病時の対応」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」の割合が 47.2%、「急な残業が入ってしまう」の割合が 27.7%となっています。

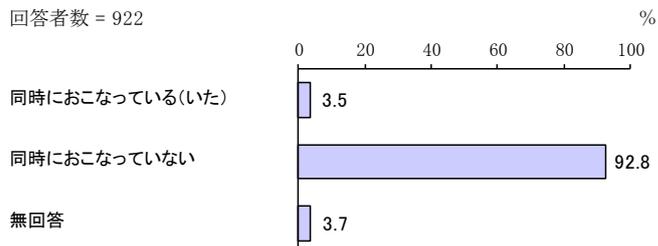
平成 25 年度調査と比較すると、「急な残業が入ってしまう」「子どもが急病時の対応」「保育所が見つからない」「子どもと接する時間が少ない」の割合が減少しています。



問 27-12 すべての方にうかがいます。
子育てと介護を同時に行っている（いた） ことがありましたか。（○は1つ）

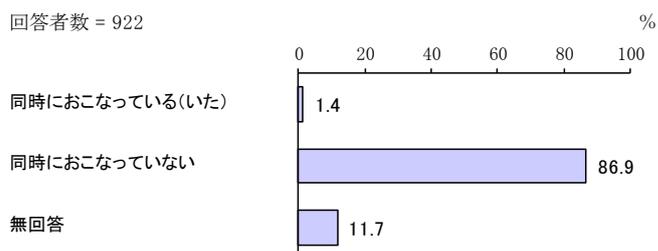
ア 母親

「同時におこなっている（いた）」の割合が 3.5%、「同時におこなっていない」の割合が 92.8%となっています。



イ 父親

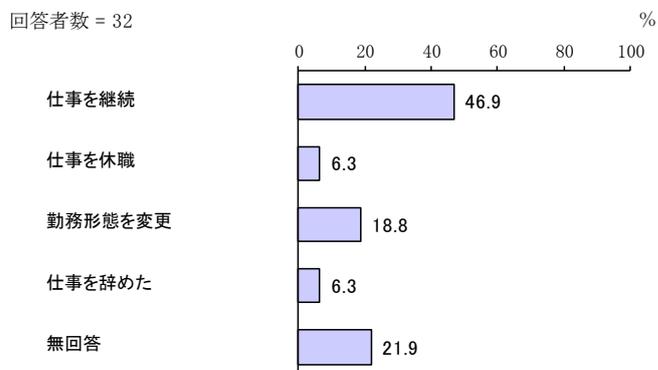
「同時におこなっている（いた）」の割合が 1.4%、「同時におこなっていない」の割合が 86.9%となっています。



問 27-13 問 27-12 で「1. 同時に行っている（いた）」と回答した方にうかがいます。
仕事についてはどうしましたか。当てはまる番号に○をつけてください。
（○は1つ）

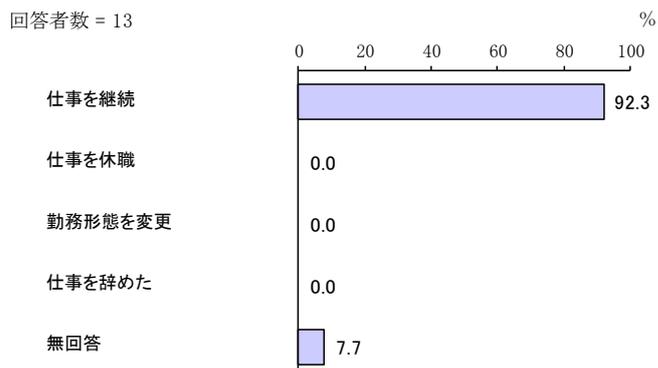
ア 母親

「仕事を継続」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「勤務形態を変更」の割合が 18.8%となっています。



イ 父親

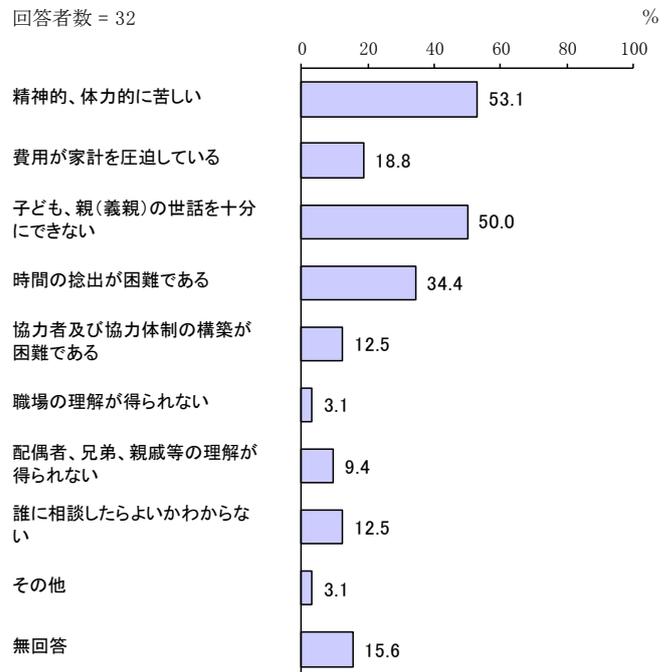
「仕事を継続」の割合が 92.3%と最も高くなっています。



問 27-14 問 27-12 で「1. 同時に行っている (いた)」と回答した方にうかがいます。大変だと感じている (いた) 事があれば。当てはまる番号に○をつけてください。(母親、父親それぞれに○は3つまで)

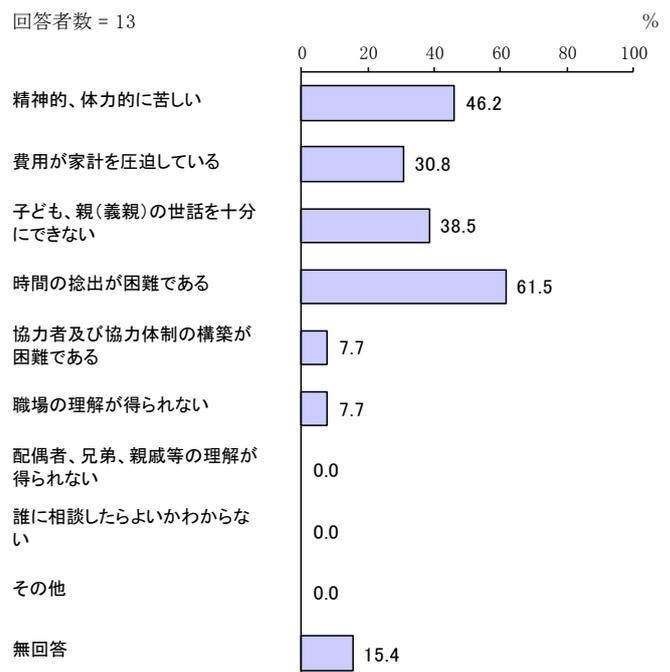
ア 母親

「精神的、体力的に苦しい」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「子ども、親 (義親) の世話を十分にできない」の割合が 50.0%、「時間の捻出が困難である」の割合が 34.4%となっています。



イ 父親

「時間の捻出が困難である」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「精神的、体力的に苦しい」の割合が 46.2%、「子ども、親 (義親) の世話を十分にできない」の割合が 38.5%となっています。



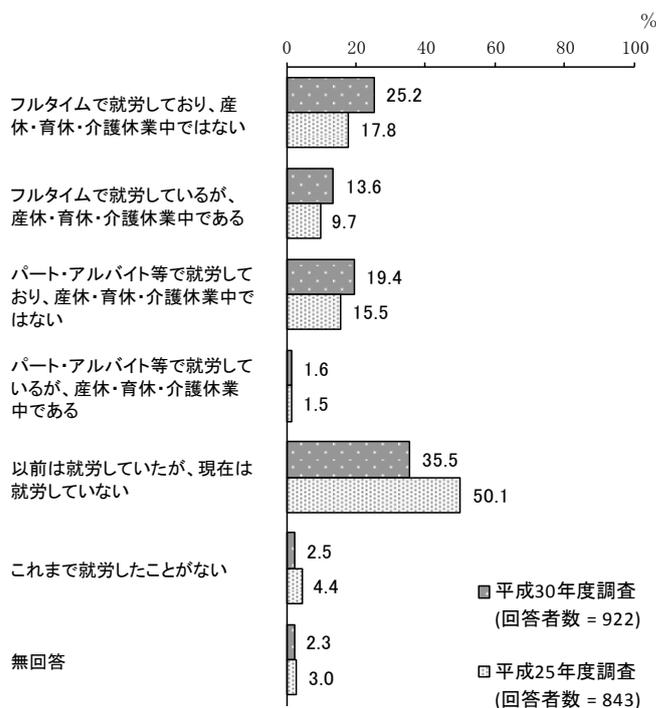
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 28 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（1～6の項目について、母親、父親それぞれに○は1つ）

ア 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が25.2%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が19.4%となっています。

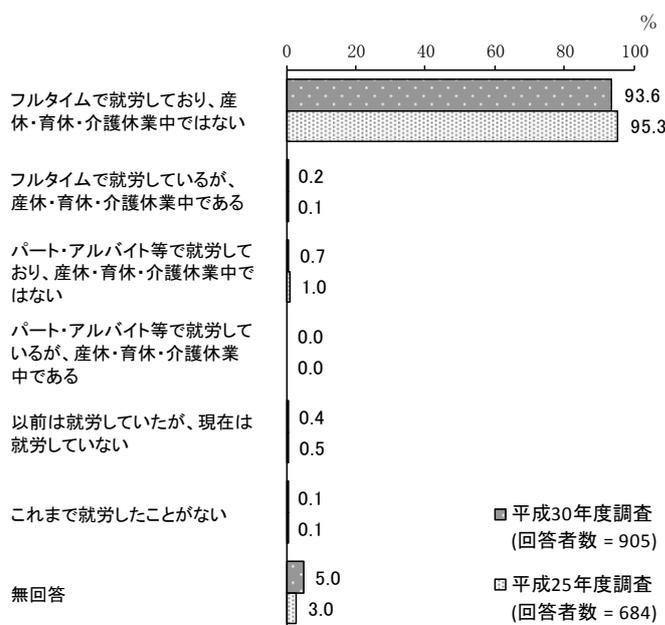
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



イ 父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が93.6%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



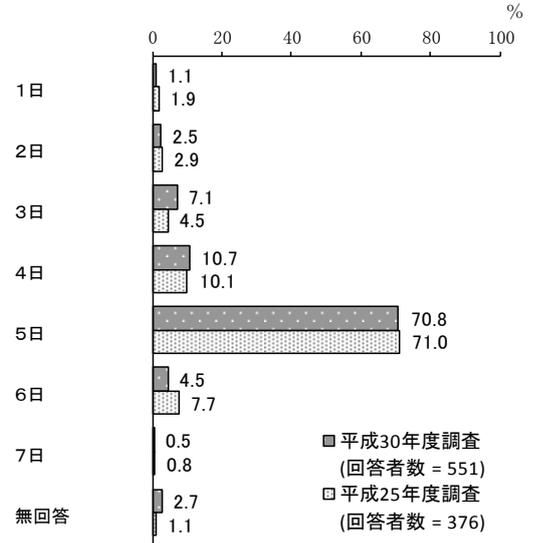
(1) - 1 就労している方（問28で「1」～「4」に○をつけた方）にうかがいます。母親と父親の週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

ア 母親

(ア) 1週あたり就労日数

「5日」の割合が70.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が10.7%となっています。

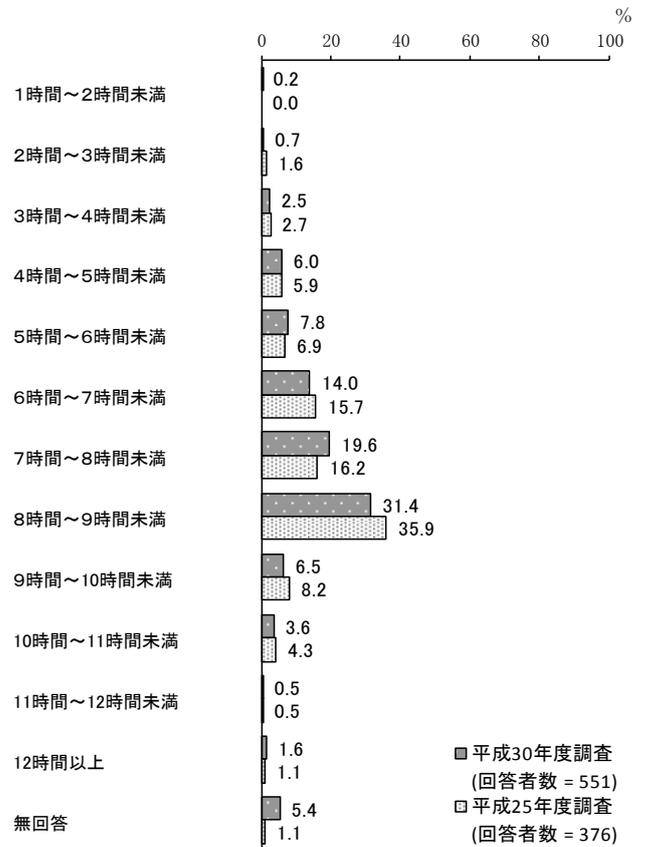
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 1日あたり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が31.4%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が19.6%、「6時間～7時間未満」の割合が14.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

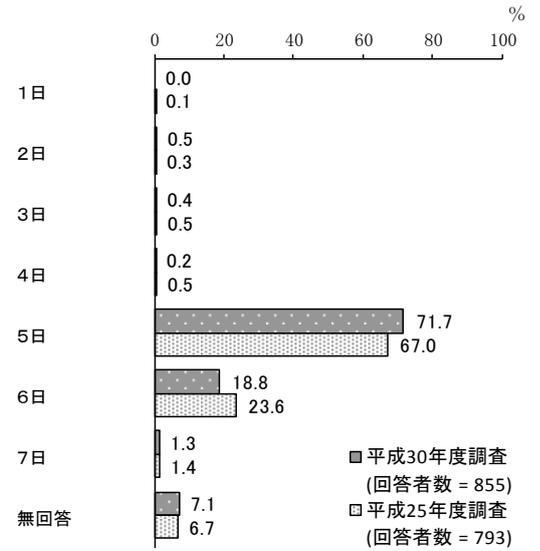


イ 父親

(ア) 1週あたり就労日数

「5日」の割合が71.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が18.8%となっています。

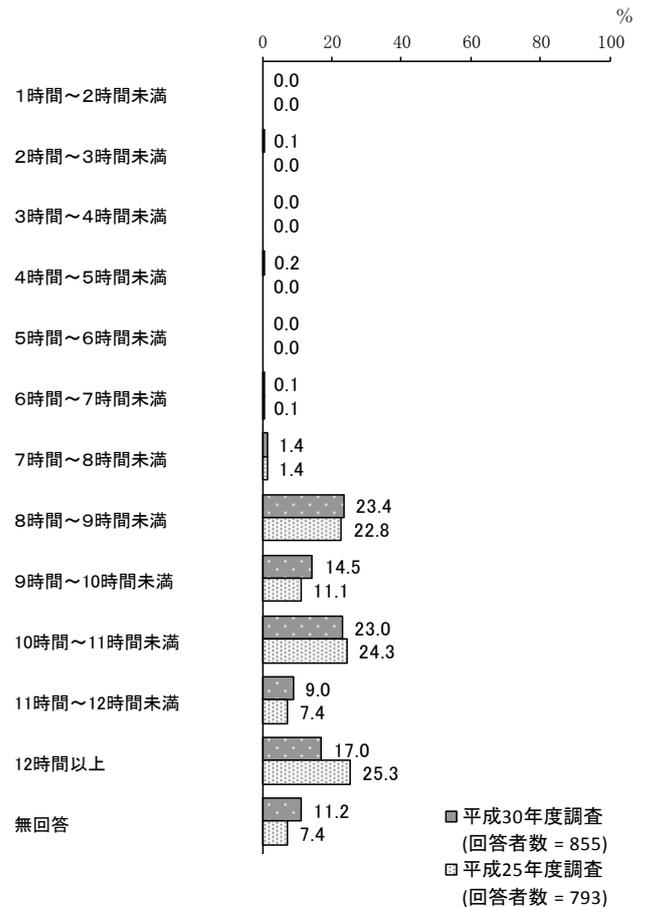
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 1日あたり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が23.4%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が23.0%、「12時間以上」の割合が17.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「12時間以上」の割合が減少しています。



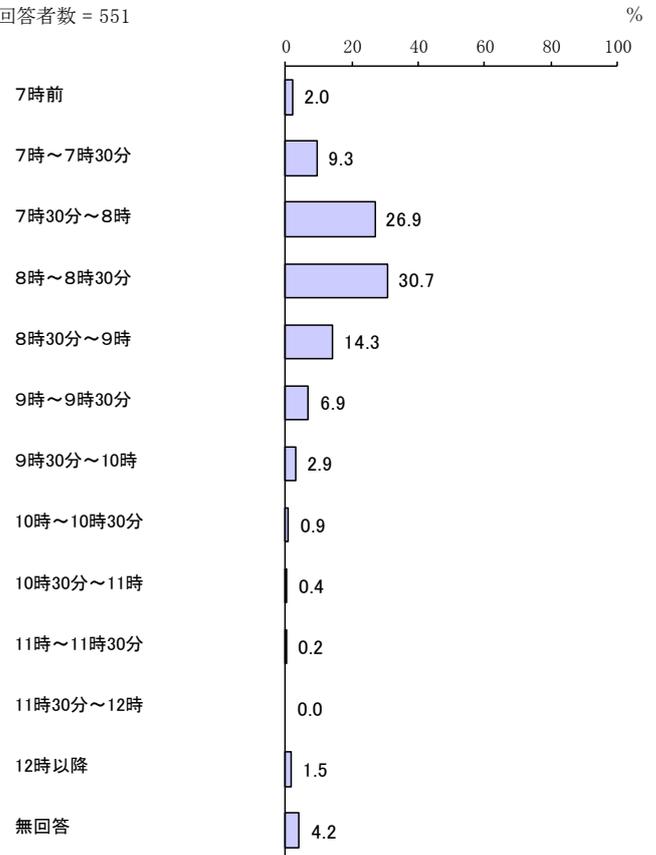
(1) - 2 母親と父親の家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。
(数字は一桁に一字) 時間は、必ず(例) 08時～17時のように、
24時間制、30分単位でお答えください。

ア 母親

(ア) 家を出る時間

「8時～8時30分」の割合が30.7%と最も高く、次いで「7時30分～8時」の割合が26.9%、「8時30分～9時」の割合が14.3%となっています。

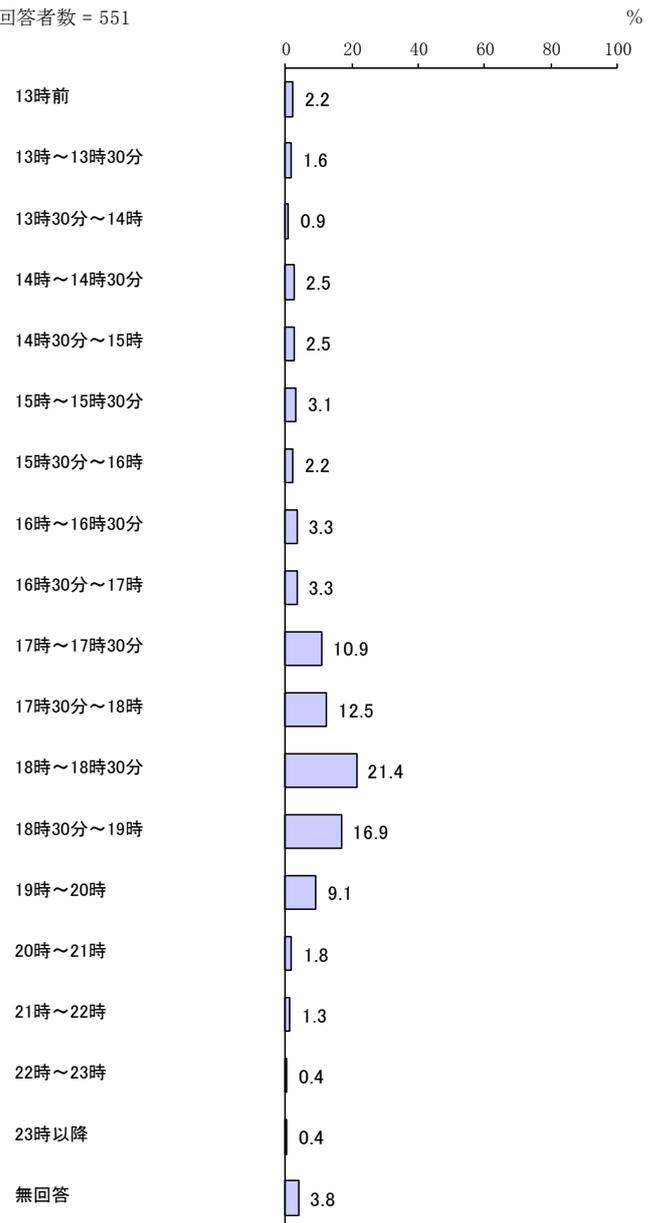
回答者数 = 551



(イ) 帰宅時間

「18時～18時30分」の割合が21.4%と最も高く、次いで「18時30分～19時」の割合が16.9%、「17時30分～18時」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 551

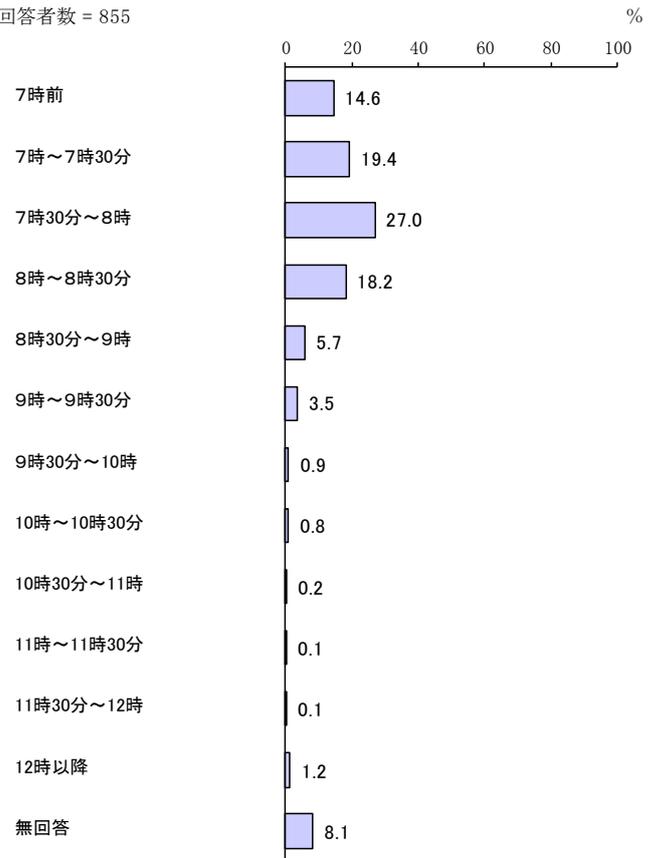


イ 父親

(ア) 家を出る時間

「7時30分～8時」の割合が27.0%と最も高く、次いで「7時～7時30分」の割合が19.4%、「8時～8時30分」の割合が18.2%となっています。

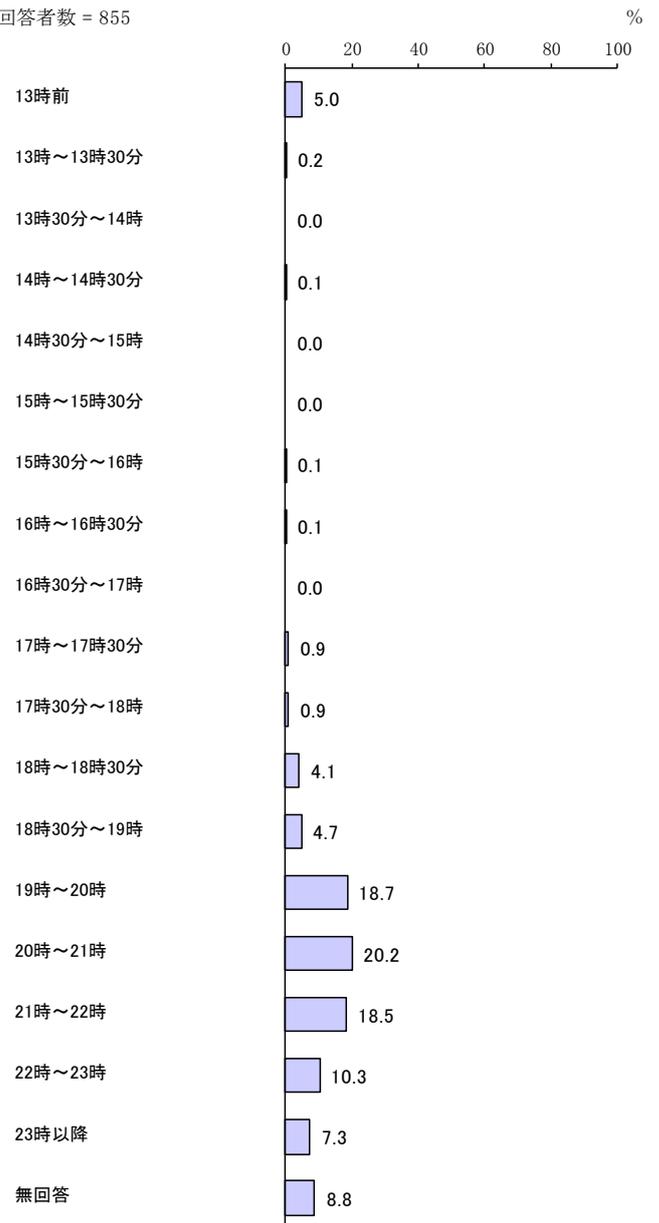
回答者数 = 855



(イ) 帰宅時間

「20 時～21 時」の割合が 20.2%と最も高く、次いで「19 時～20 時」の割合が 18.7%、「21 時～22 時」の割合が 18.5%となっています。

回答者数 = 855



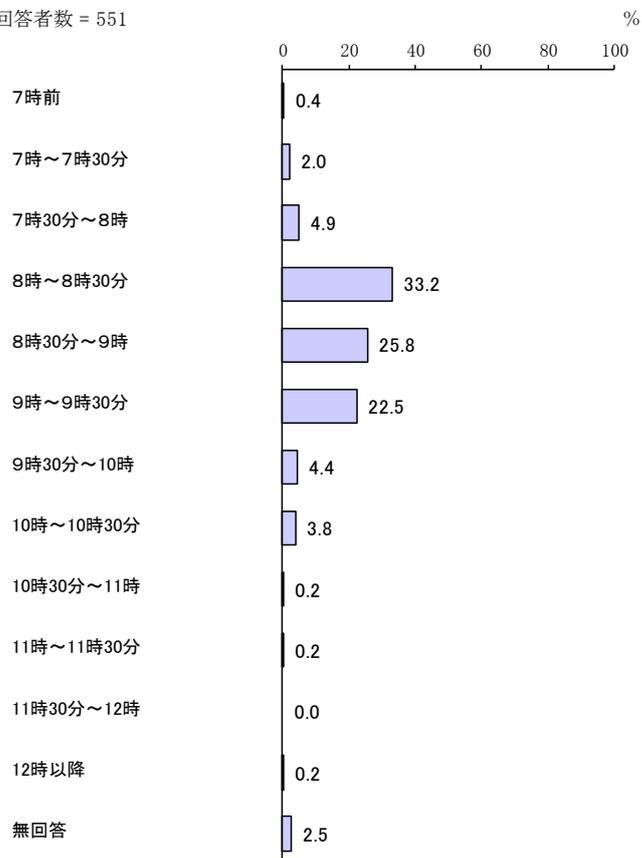
(1) - 3 育児と仕事を両立するうえで望ましいと考えられる母親と父親の家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字) 時間は、必ず(例)08時~17時のように、24時間制、30分単位でお答えください。

ア 母親

(ア) 理想的な家を出る時間

「8時~8時30分」の割合が33.2%と最も高く、次いで「8時30分~9時」の割合が25.8%、「9時~9時30分」の割合が22.5%となっています。

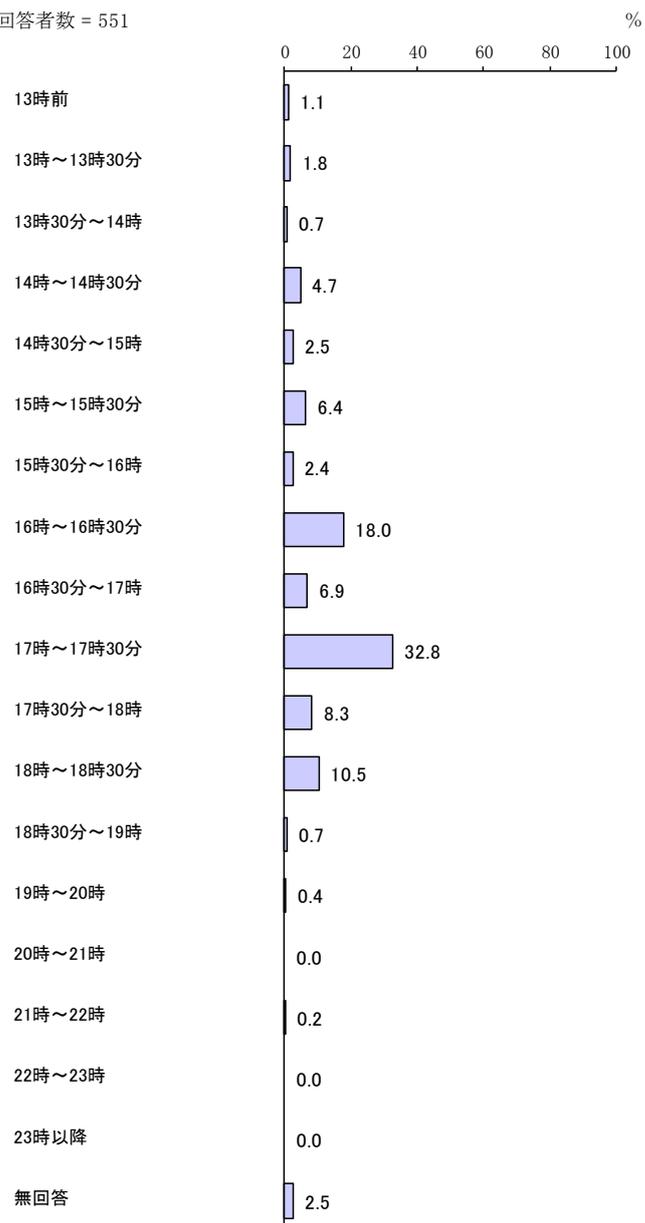
回答者数 = 551



(イ) 理想的な帰宅時間

「17時～17時30分」の割合が32.8%と最も高く、次いで「16時～16時30分」の割合が18.0%、「18時～18時30分」の割合が10.5%となっています。

回答者数 = 551

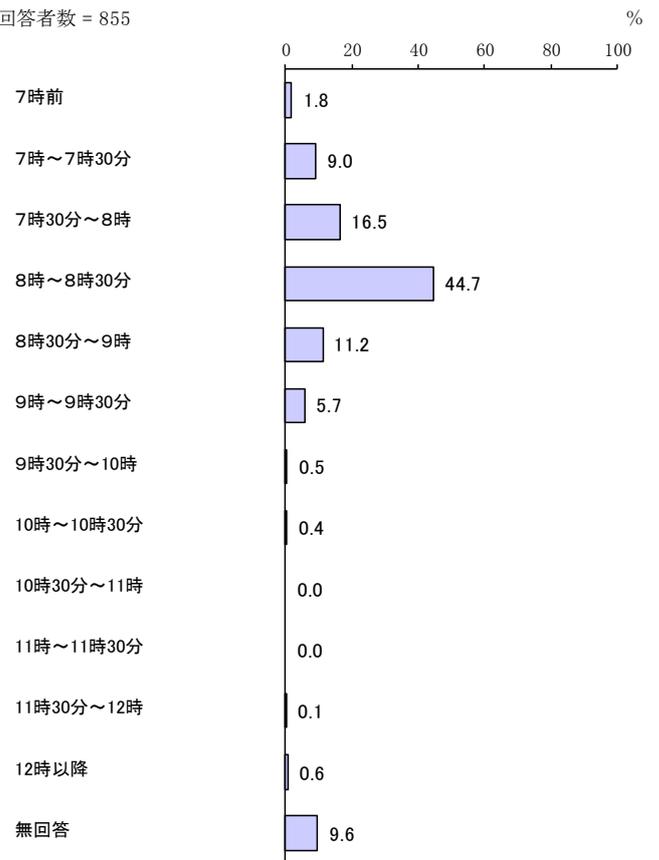


イ 父親

(ア) 理想的な家を出る時間

「8時～8時30分」の割合が44.7%と最も高く、次いで「7時30分～8時」の割合が16.5%、「8時30分～9時」の割合が11.2%となっています。

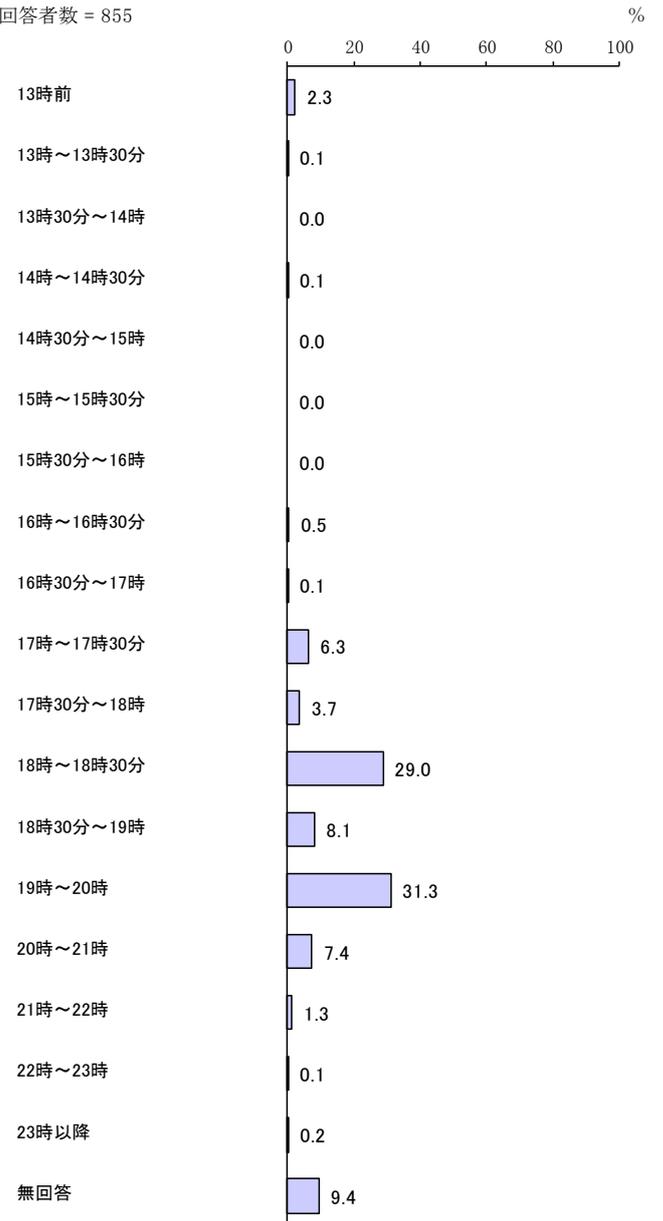
回答者数 = 855



(イ) 理想的な帰宅時間

「19 時～20 時」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「18 時～18 時 30 分」の割合が 29.0%となっています。

回答者数 = 855



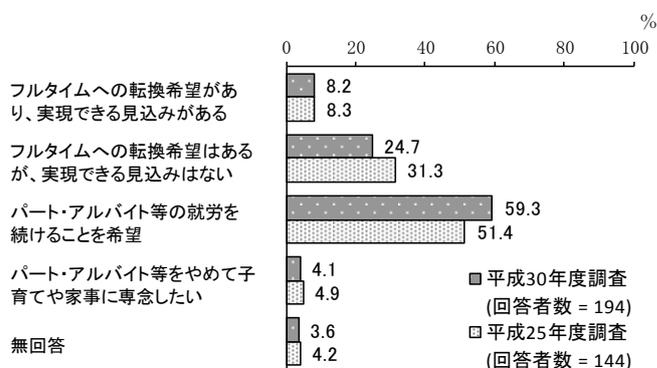
問 28-1 パート・アルバイト等で就労している方（問 28 で「3」「4」に○をつけた方）にうかがいます。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。（1～4の項目について、母親、父親それぞれに○は1つ）

ア 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が59.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。



イ 父親

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2件となっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件となっています。

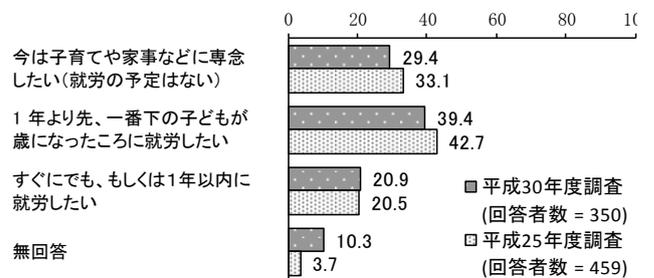
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が減少しています。

問 28-2 問 28 の「母親」または「父親」について、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。(○は1つ) 選んだ番号に□がある場合は、□内に数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

ア 母親

「1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「今は子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が 29.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 20.9%となっています。

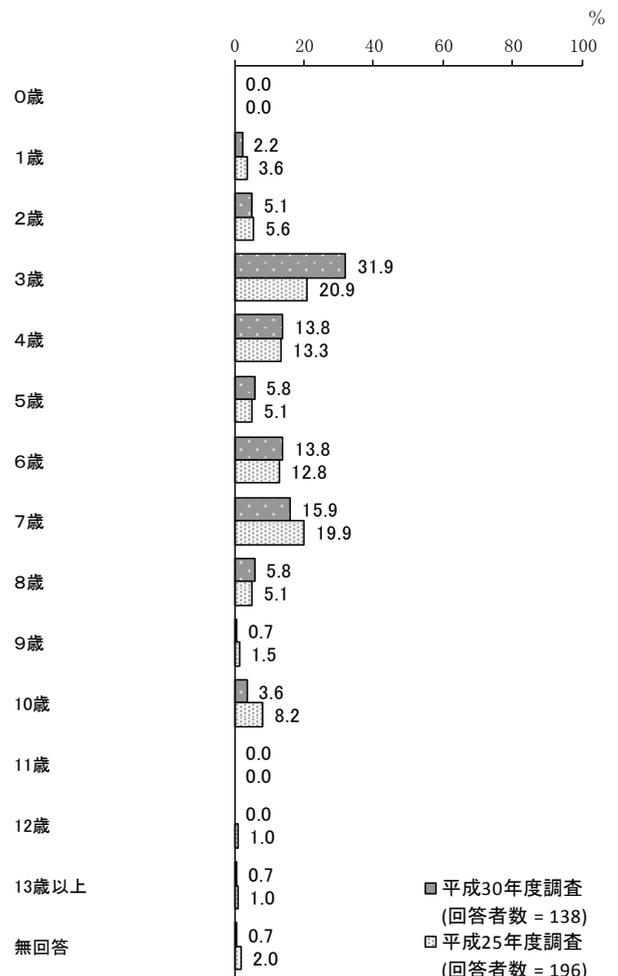
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(ア) 就労を開始したい時の子どもの年齢

「3歳」の割合が 31.9%と最も高く、次いで「7歳」の割合が 15.9%、「4歳」、「6歳」の割合が 13.8%となっています。

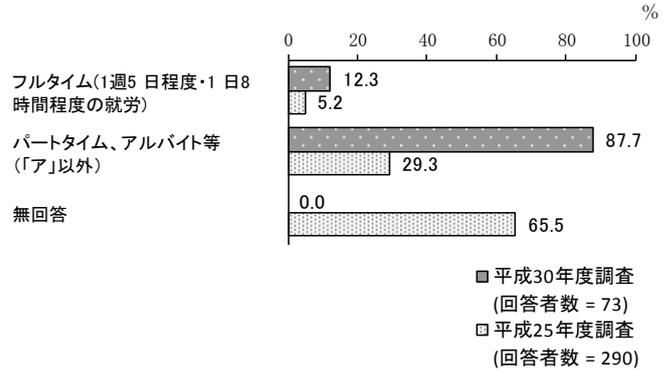
平成 25 年度調査と比較すると、「3歳」の割合が増加しています。



(イ) 希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が12.3%、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が87.7%となっています。

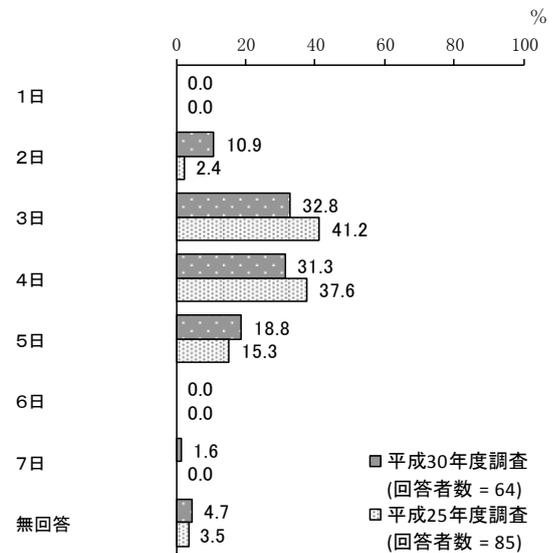
平成25年度調査と比較すると、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が増加しています。



(ウ) パートタイム、アルバイト等の希望就労日数

「3日」の割合が32.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が31.3%、「5日」の割合が18.8%となっています。

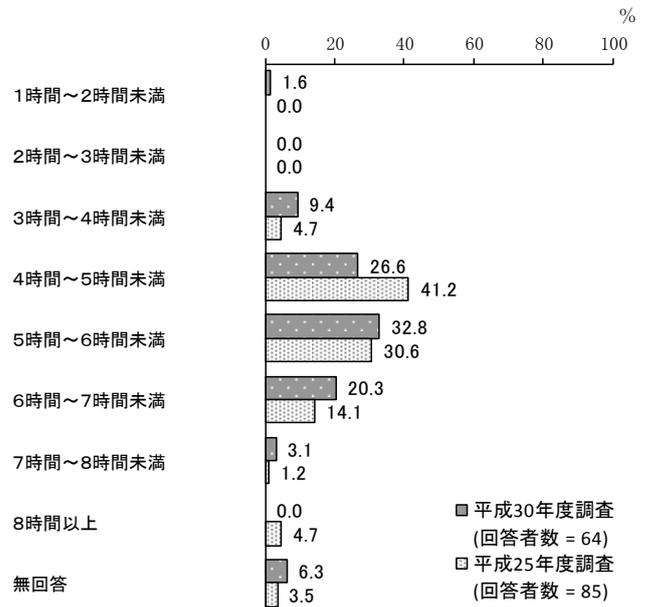
平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」「4日」の割合が減少しています。



(エ) パートタイム、アルバイト等の希望就労時間

「5時間～6時間未満」の割合が32.8%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が26.6%、「6時間～7時間未満」の割合が20.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6時間～7時間未満」の割合が増加しています。一方、「4時間～5時間未満」の割合が減少しています。



イ 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

平成25年度調査と比較すると、「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが歳になったころに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。

(ア) 就労を開始したい時の子どもの年齢

有効回答がありませんでした。

(イ) 希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が1件となっています。

(ウ) パートタイム、アルバイト等の希望就労日数

有効回答がありませんでした。

(エ) パートタイム、アルバイト等の希望就労時間

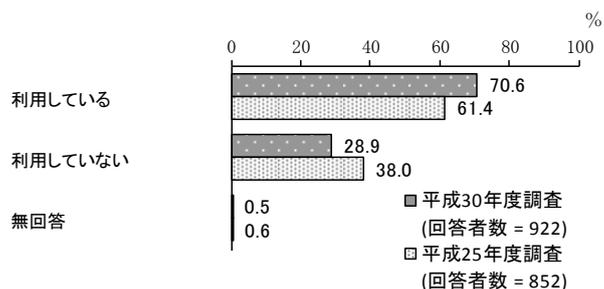
有効回答がありませんでした。

(5) お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について

問 29 お子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が70.6%、「利用していない」の割合が28.9%となっています。

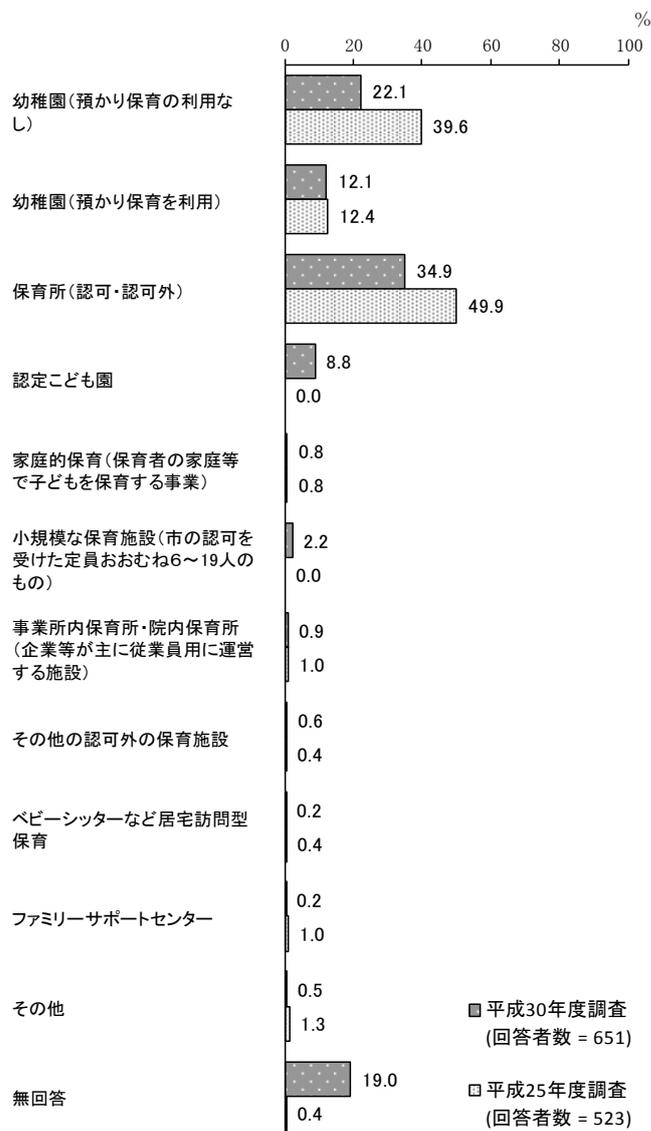
平成25年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 29-1 問 29-1～問 29-4については、問 29 で「1. 利用している」に○をつけた方
にうかがいます。
お子さんは、平日どのような教育・保育を定期的に利用していますか。
(○はいくつでも)

「保育所(認可・認可外)」の割合が34.9%と最も高く、次いで「幼稚園(預かり保育を利用)」の割合が22.1%、「認定こども園」の割合が12.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園(預かり保育の利用なし)」「保育所(認可・認可外)」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、1歳、3歳で「保育所（認可・認可外）」の割合が、4歳～6歳で「幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園(預かり保育の利用なし)	幼稚園(預かり保育を利用)	保育所(認可・認可外)	認定こども園	家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	小規模な保育施設(市の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの)	事業所内保育所・院内保育所(企業等が主に従業員用に運営する施設)	その他の認可外の保育施設	ベビーシッターなど居宅訪問型保育	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
0歳	25	36.0	24.0	68.0	28.0	28.0	32.0	28.0	28.0	24.0	24.0	24.0	—
1歳	66	6.1	9.1	71.2	13.6	4.5	9.1	7.6	6.1	6.1	4.5	4.5	3.0
2歳	91	13.2	12.1	69.2	22.0	9.9	14.3	9.9	8.8	8.8	8.8	11.0	1.1
3歳	107	43.0	40.2	73.8	43.9	33.6	35.5	33.6	34.6	33.6	34.6	33.6	—
4歳	147	33.3	44.2	62.6	36.1	25.2	25.2	25.2	25.2	25.2	25.2	25.9	0.7
5歳	149	38.9	44.3	68.5	38.3	29.5	29.5	29.5	29.5	29.5	30.2	29.5	0.7
6歳	56	28.6	44.6	55.4	19.6	16.1	16.1	16.1	16.1	17.9	16.1	16.1	—

問 29-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。問 29-1 で選んだ番号（主に利用している番号2つまで）を、下記の「番号」の欄にご記入の上、現在と希望について、1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）時間は、必ず（例）09時～17時のように24時間制でご記入ください。なお、利用時間に応じた負担が発生します。

ア 現在

① 1週間当たり利用日数

1週間当たり利用日数でみると、『1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）』『3. 保育所（認可・認可外）』で「5日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 幼稚園(預かり保育の利用なし)	144	-	1.4	2.8	2.1	93.1	0.7	-	-
2. 幼稚園(預かり保育を利用)	79	13.9	5.1	8.9	6.3	64.6	-	-	1.3
3. 保育所(認可・認可外)	227	-	0.9	-	1.3	92.1	5.7	-	-
4. 認定こども園	57	-	-	-	8.8	87.7	3.5	-	-
5. 家庭的保育	5	-	-	-	-	20.0	-	-	80.0
6. 小規模な保育施設	14	-	-	-	-	85.7	7.1	-	7.1
7. 事業所内保育所・院内保育所	6	-	-	16.7	16.7	66.7	-	-	-
8. その他の認可外の保育施設	4	25.0	-	-	25.0	50.0	-	-	-
9. ベビーシッターなど居宅訪問型保育	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
10. ファミリーサポートセンター	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-
11. その他	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-

② 1日当たり利用時間

1日当たり利用時間でみると、『1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）』で「5～6時間未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1 ～ 2 時間 未満	2 ～ 3 時間 未満	3 ～ 4 時間 未満	4 ～ 5 時間 未満	5 ～ 6 時間 未満	6 ～ 7 時間 未満	7 ～ 8 時間 未満	8 ～ 9 時間 未満	9 ～ 10 時間 未満	10 ～ 11 時間 未満	11 ～ 12 時間 未満	12 時間 以上	無 回 答
1. 幼稚園 (預かり保育の利用なし)	144	-	0.7	1.4	3.5	55.6	36.8	0.7	0.7	0.7	-	-	-	-
2. 幼稚園 (預かり保育を利用)	79	6.3	8.9	1.3	1.3	16.5	26.6	12.7	20.3	3.8	-	1.3	1.3	-
3. 保育所(認可・認可外)	227	-	-	-	0.4	-	0.4	12.8	14.5	28.2	35.7	7.0	0.9	-
4. 認定こども園	57	-	-	-	3.5	-	3.5	15.8	21.1	28.1	22.8	1.8	1.8	1.8
5. 家庭的保育	5	-	-	-	-	-	-	-	60.0	40.0	-	-	-	-
6. 小規模な保育施設	14	-	-	-	-	7.1	7.1	21.4	14.3	21.4	21.4	7.1	-	-
7. 事業所内保育所・院内 保育所	6	-	-	-	-	33.3	-	-	16.7	33.3	16.7	-	-	-
8. その他の認可外の 保育施設	4	-	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-
9. ベビーシッターなど 居宅訪問型保育	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
10. ファミリーサポート センター	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11. その他	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③利用開始時間

利用開始時間でみると、『1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）』で「9時台」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	7時前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
1. 幼稚園(預かり保育の利用なし)	144	0.7	-	9.7	78.5	9.7	-	-	0.7	0.7
2. 幼稚園(預かり保育を利用)	79	-	1.3	25.3	49.4	5.1	-	1.3	17.7	-
3. 保育所(認可・認可外)	227	-	12.3	59.5	26.9	-	-	-	1.3	-
4. 認定こども園	57	-	3.5	63.2	31.6	-	-	-	-	1.8
5. 家庭的保育	5	-	-	20.0	-	-	-	-	80.0	-
6. 小規模な保育施設	14	-	21.4	35.7	35.7	-	-	-	7.1	-
7. 事業所内保育所・院内保育所	6	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-
8. その他の認可外の保育施設	4	-	-	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-
9. ベビーシッターなど居宅訪問型保育	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
10. ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
11. その他	3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-

④利用終了時間

利用終了時間でみると、『1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）』で「14時台」の割合が、『3. 保育所（認可・認可外）』『6. 小規模な保育施設』で「18時台」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	12時 より前	12時 台	13時 台	14時 台	15時 台	16時 台	17時 台	18時 台	19時 台	20時 台	21時 以降	無回答
1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）	144	1.4	2.1	3.5	55.6	36.1	-	0.7	-	-	-	-	0.7
2. 幼稚園（預かり保育を利用）	79	2.5	-	-	17.7	29.1	30.4	13.9	5.1	-	-	-	1.3
3. 保育所（認可・認可外）	227	0.4	-	0.4	-	0.4	18.9	26.9	51.1	1.8	-	-	-
4. 認定こども園	57	-	-	3.5	-	1.8	31.6	28.1	31.6	-	1.8	-	1.8
5. 家庭的保育	5	60.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0
6. 小規模な保育施設	14	7.1	-	-	-	-	21.4	21.4	50.0	-	-	-	-
7. 事業所内保育所・院内保育所	6	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
8. その他の認可外の保育施設	4	-	-	-	-	25.0	-	50.0	25.0	-	-	-	-
9. ベビーシッターなど居宅訪問型保育	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
10. ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
11. その他	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-

イ 希望

① 1週間当たり利用日数

1週間当たり利用日数で見ると、『1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）』で「5日」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 幼稚園(預かり保育の利用なし)	144	-	0.7	2.1	2.8	81.3	1.4	-	11.8
2. 幼稚園(預かり保育を利用)	79	3.8	5.1	12.7	2.5	59.5	2.5	-	13.9
3. 保育所(認可・認可外)	227	-	-	1.8	1.8	76.2	5.3	0.4	14.5
4. 認定こども園	57	-	-	-	1.8	70.2	5.3	-	22.8
5. 家庭的保育	5	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	40.0
6. 小規模な保育施設	14	-	-	-	-	57.1	14.3	7.1	21.4
7. 事業所内保育所・院内保育所	6	-	-	16.7	16.7	66.7	-	-	-
8. その他の認可外の保育施設	4	25.0	-	-	-	50.0	25.0	-	-
9. ベビーシッターなど居宅訪問型保育	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-
10. ファミリーサポートセンター	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-
11. その他	3	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3

② 1日当たり利用時間

1日当たり利用時間でみると、『1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）』で「6～7時間未満」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10～11時間未満	11～12時間未満	12時間以上	無回答
1. 幼稚園 (預かり保育の利用なし)	144	-	-	-	0.7	11.8	43.1	22.2	7.6	2.1	-	-	0.7	11.8
2. 幼稚園 (預かり保育を利用)	79	6.3	3.8	3.8	1.3	3.8	15.2	20.3	24.1	5.1	2.5	1.3	1.3	11.4
3. 保育所(認可・認可外)	227	-	-	-	-	-	1.3	10.6	17.2	22.5	22.9	8.4	3.1	14.1
4. 認定こども園	57	-	-	-	-	1.8	1.8	8.8	21.1	24.6	17.5	1.8	1.8	21.1
5. 家庭的保育	5	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	-	-	-	40.0
6. 小規模な保育施設	14	-	-	-	-	-	7.1	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	-	21.4
7. 事業所内保育所・院内 保育所	6	-	-	-	-	33.3	-	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-
8. その他の認可外の 保育施設	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	50.0	25.0	-	-	-
9. ベビーシッターなど 居宅訪問型保育	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
10. ファミリーサポート センター	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11. その他	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

③利用開始時間

利用開始時間でみると、『1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）』で「9時台」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	7時前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
1. 幼稚園(預かり保育の利用なし)	144	0.7	0.7	16.7	69.4	2.1	-	-	-	10.4
2. 幼稚園(預かり保育を利用)	79	-	1.3	26.6	44.3	2.5	-	-	13.9	11.4
3. 保育所(認可・認可外)	227	-	8.8	49.3	26.4	0.4	-	-	0.9	14.1
4. 認定こども園	57	-	3.5	49.1	24.6	-	-	-	-	22.8
5. 家庭的保育	5	-	-	20.0	-	-	-	-	60.0	20.0
6. 小規模な保育施設	14	-	14.3	28.6	28.6	-	-	-	7.1	21.4
7. 事業所内保育所・院内保育所	6	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
8. その他の認可外の保育施設	4	-	-	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-
9. ベビーシッターなど居宅訪問型保育	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
10. ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
11. その他	3	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3

④利用終了時間

利用終了時間でみると、『1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）』で「15時台」の割合が高くなっています。

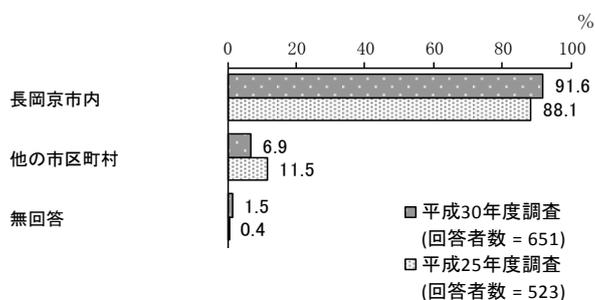
単位：％

区分	回答者数 (件)	12時 より前	12時 台	13時 台	14時 台	15時 台	16時 台	17時 台	18時 台	19時 台	20時 台	21時 以降	無回答
1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）	144	1.4	-	0.7	14.6	46.5	20.1	5.6	-	0.7	-	-	10.4
2. 幼稚園（預かり保育を利用）	79	2.5	-	-	2.5	22.8	31.6	22.8	6.3	-	-	-	11.4
3. 保育所（認可・認可外）	227	0.4	-	-	-	1.3	14.5	29.1	32.2	7.9	0.4	-	14.1
4. 認定こども園	57	-	-	-	1.8	1.8	19.3	26.3	26.3	1.8	-	-	22.8
5. 家庭的保育	5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	80.0
6. 小規模な保育施設	14	-	-	-	-	-	21.4	14.3	35.7	-	-	-	28.6
7. 事業所内保育所・院内保育所	6	-	-	33.3	-	-	-	16.7	50.0	-	-	-	-
8. その他の認可外の保育施設	4	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-
9. ベビーシッターなど居宅訪問型保育	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
10. ファミリーサポートセンター	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
11. その他	3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3

問 29-3 現在、利用している教育・保育の場所をお答えください。（○は1つ）

「長岡京市内」の割合が91.6%、「他の市区町村」の割合が6.9%となっています。

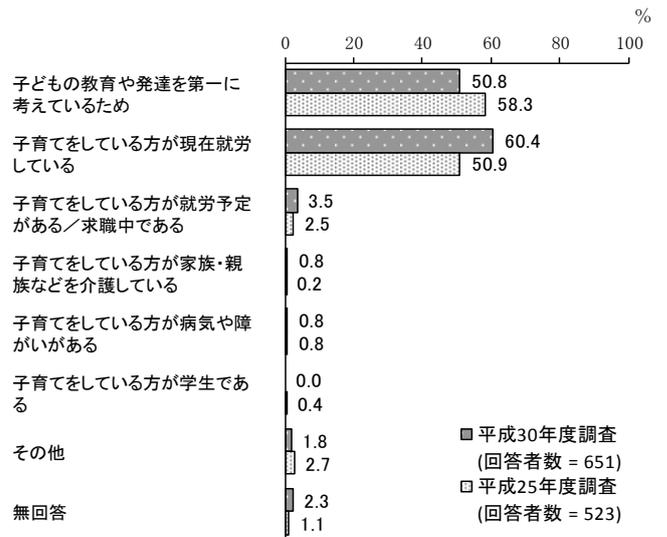
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 29-4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由をお答えください。
(○はいくつでも)

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が60.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達を第一に考えているため」の割合が50.8%となっています。

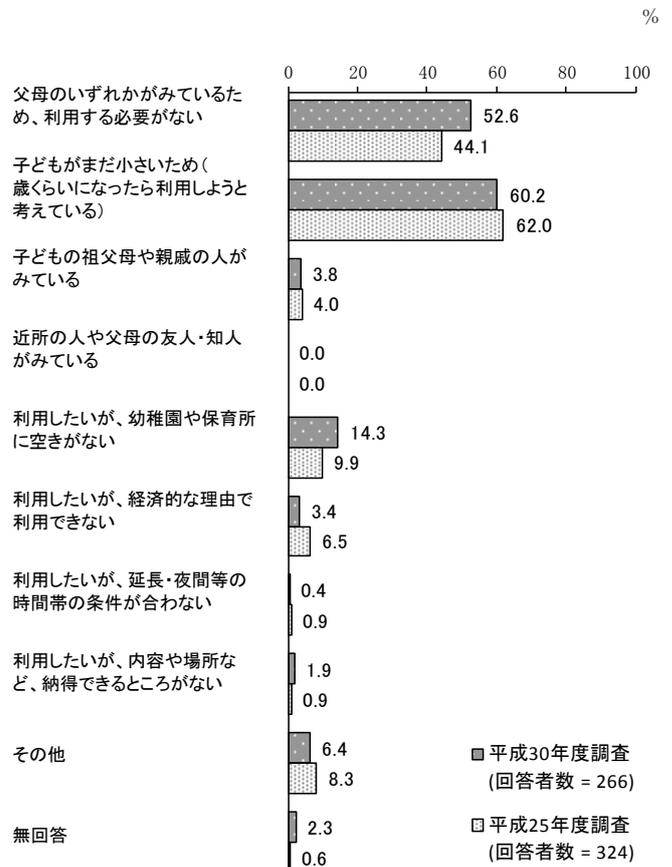
平成25年度調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労している」の割合が増加しています。一方、「子どもの教育や発達を第一に考えているため」の割合が減少しています。



問 29-5 問 29 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由をお答えください。(○はいくつでも)

「子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が60.2%と最も高く、次いで「父母のいずれかがみているため、利用する必要がない」の割合が52.6%、「利用したいが、幼稚園や保育所に空きがない」の割合が14.3%となっています。

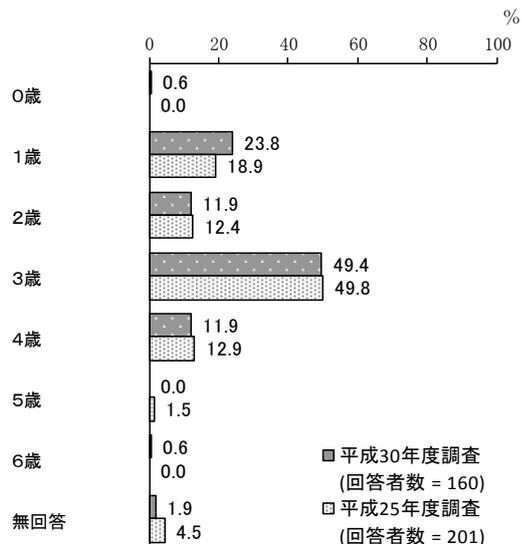
平成25年度調査と比較すると、「父母のいずれかがみているため、利用する必要がない」の割合が増加しています。



定期的な教育・保育の利用を考える子どもの年齢

「3歳」の割合が49.4%と最も高く、次いで「1歳」の割合が23.8%、「2歳」、「4歳」の割合が11.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

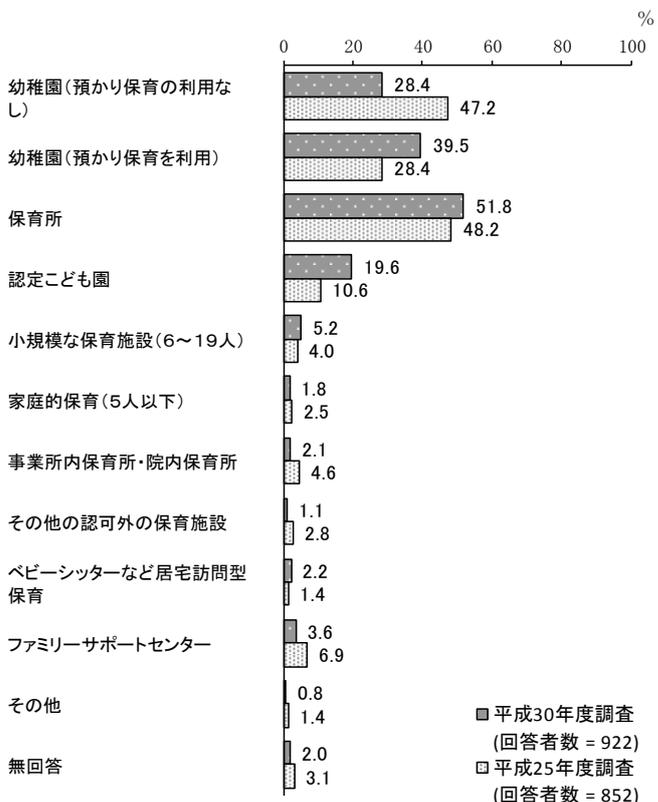


(6) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合を想定して、お子さんの教育・保育の利用意向について

問 30 政府は、消費税率引き上げの時期に合わせて、認可・認可外を問わず、3歳から5歳までのすべての子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、現在は利用料が発生しますが、無償になる方向です。その場合、現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(〇はいくつでも)

「保育所」の割合が51.8%と最も高く、次いで「幼稚園(預かり保育を利用)」の割合が39.5%、「幼稚園(預かり保育の利用なし)」の割合が28.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「幼稚園(預かり保育を利用)」「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園(預かり保育の利用なし)」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳で「保育所」「認定こども園」の割合が、3歳で「幼稚園（預かり保育の利用なし）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園 (預かり 保育の利用なし)	幼稚園 (預かり 保育を利用)	保育所	認定こども園	小規模な 保育施設 (6～19人)	家庭的 保育 (5人以下)	院内 保育所	事業所内 保育所・ 院内保育所	その他の 認可外の 保育施設	ベビー シッター など 居宅訪問 型保育	ファミリ ーサポー トセン ター	その他	無回答
0歳	138	26.1	47.1	69.6	29.7	15.9	4.3	3.6	—	3.6	2.9	—	—	
1歳	143	25.9	47.6	62.9	26.6	9.1	2.8	4.2	0.7	0.7	5.6	—	2.1	
2歳	141	24.8	38.3	53.9	24.8	2.1	0.7	0.7	2.1	2.8	5.7	1.4	2.8	
3歳	127	36.2	37.0	44.1	15.0	3.1	0.8	3.1	0.8	0.8	3.1	0.8	1.6	
4歳	152	25.7	41.4	46.1	15.8	1.3	1.3	0.7	1.3	2.0	0.7	—	—	
5歳	150	34.7	26.7	43.3	11.3	2.0	2.0	0.7	1.3	3.3	3.3	1.3	2.0	
6歳	59	20.3	37.3	35.6	5.1	—	—	1.7	1.7	1.7	5.1	3.4	10.2	

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である「保育所」の割合が、パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である、以前は就労していたが、現在は就労していないで「幼稚園（預かり保育を利用）」の割合が高くなっています。

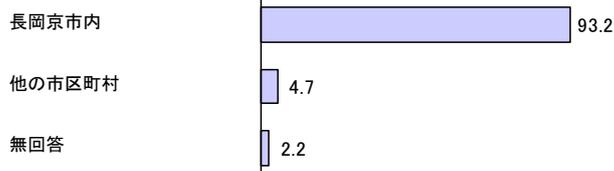
単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園 (預かり 保育の利用なし)	幼稚園 (預かり 保育を利用)	保育所	認定こども園	小規模な 保育施設 (6～19人)	家庭的 保育 (5人以下)	院内 保育所	事業所内 保育所・ 院内保育所	その他の 認可外の 保育施設	ベビー シッター など 居宅訪問 型保育	ファミリ ーサポー トセン ター	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	232	2.6	22.0	81.5	20.3	2.2	0.9	1.3	1.7	1.7	3.0	—	1.7	
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	125	7.2	31.2	87.2	36.8	8.8	1.6	3.2	0.8	3.2	4.0	0.8	0.8	
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	179	19.6	45.3	49.2	17.9	3.4	2.2	2.8	1.7	2.2	6.7	2.2	2.2	
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15	13.3	53.3	73.3	26.7	13.3	—	13.3	—	—	—	—	6.7	
以前は就労していたが、現在は就労していない	327	57.8	52.9	20.5	13.8	6.7	2.1	1.5	0.6	2.4	2.4	0.6	1.5	
これまで就労したことがない	23	73.9	30.4	13.0	8.7	8.7	4.3	—	—	—	4.3	—	—	

問 30-1 教育・保育を利用したい場所をお答えください。(○は1つ)

「長岡京市内」の割合が 93.2%、「他の市区町村」の割合が 4.7%となっています。

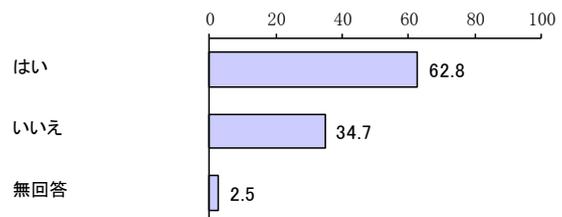
回答者数 = 922



問 30-2 問 30 の「1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）」または「2. 幼稚園（預かり保育を利用）」に○をつけ、かつ「3」～「11」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 62.8%、「いいえ」の割合が 34.7%となっています。

回答者数 = 199



問 31 0歳児における子育てに対する考えは以下のどれにあたりますか。現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳児だったときのことを振り返り、お答えください。(○は1つ)

「育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が 49.8%と最も高く、次いで「一時預かりなど、不規則な保育サービスを利用できれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい」の割合が 20.7%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいので、保育サービスを利用したい」の割合が 10.0%となっています。

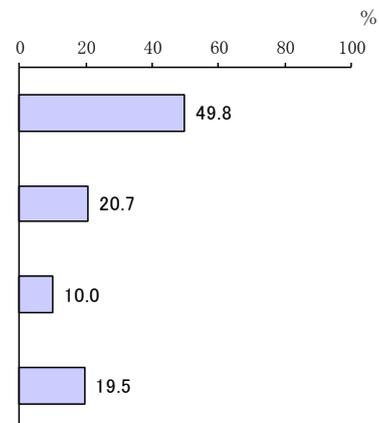
回答者数 = 922

育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい

一時預かりなど、不規則な保育サービスを利用できれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいので、保育サービスを利用したい

無回答



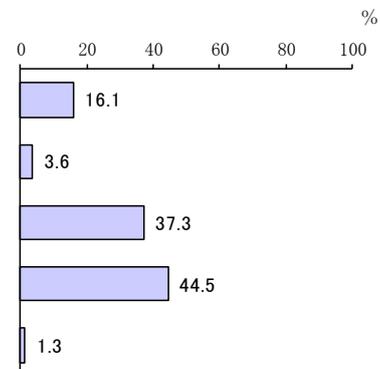
(7) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 32 お子さんは、現在、地域子育て支援センター（開田保育所内エンゼル、保健センター内たんぽぽ、海印寺保育園内さんさんの会、さくらんぼの4ヶ所において、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（〇はいくつでも）また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

「既に就園しており利用する必要はない」の割合が44.5%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が37.3%、「地域子育て支援センター」の割合が16.1%となっています。

回答者数 = 922

地域子育て支援センター
 その他当該自治体で実施している類似の事業
 利用していない
 既に就園しており利用する必要はない
 無回答

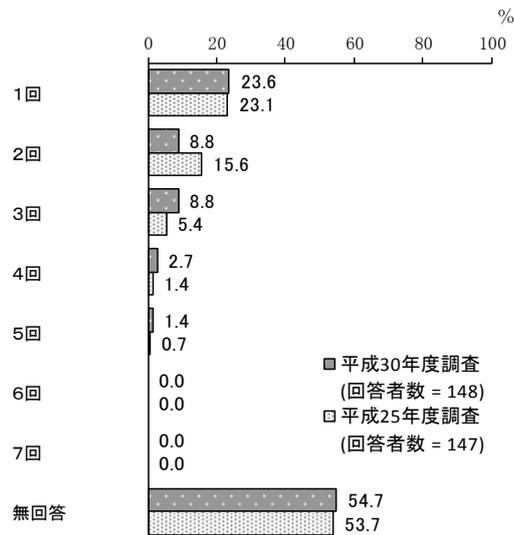


ア 地域子育て支援センター

(ア) 1週あたりの利用頻度

「1回」の割合が23.6%と最も高くなっています。

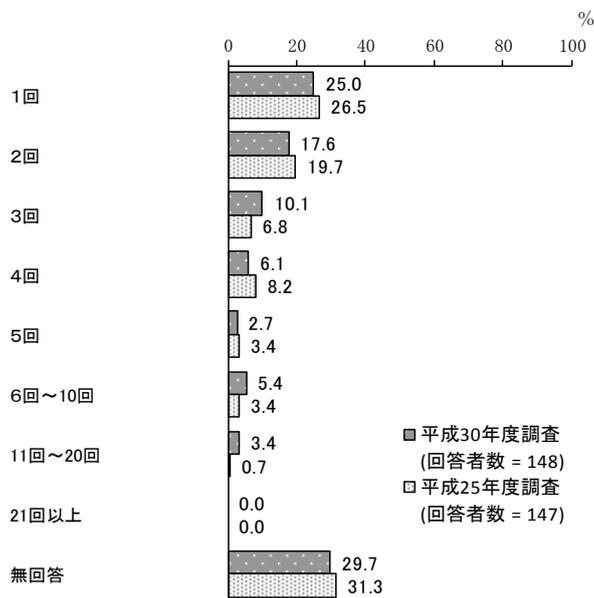
平成25年度調査と比較すると、「2回」の割合が減少しています。



(イ) 1か月あたりの利用頻度

「1回」の割合が25.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が17.6%、「3回」の割合が10.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

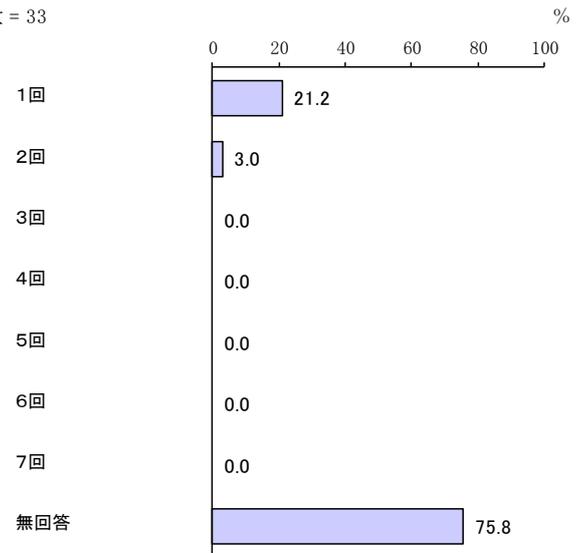


イ 類似の事業

(ア) 1週あたりの利用頻度

「1回」の割合が21.2%と最も高くなっています。

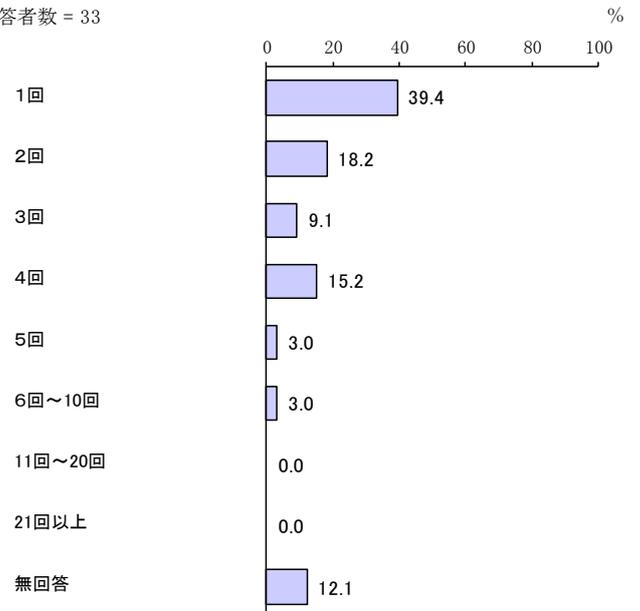
回答者数 = 33



(イ) 1か月あたりの利用頻度

「1回」の割合が39.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.2%、「4回」の割合が15.2%となっています。

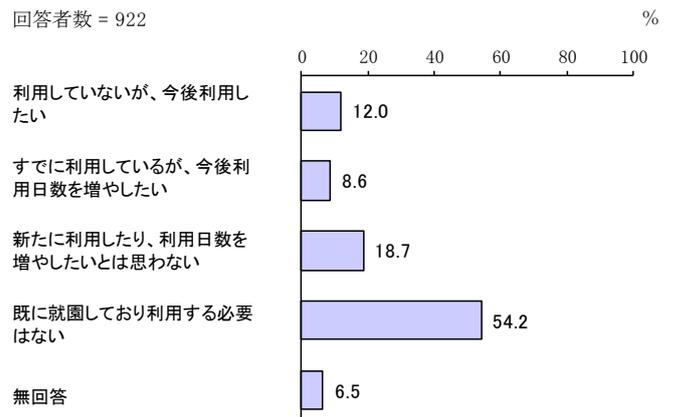
回答者数 = 33



問 33 問 32 のような地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(○は1つ) また、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字) なお、これらの事業の内、特別プログラムの利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。

「既に就園しており利用する必要はない」の割合が54.2%と最も高く、次いで「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が18.7%、「利用していないが、今後利用したい」の割合が12.0%となっています。

回答者数 = 922

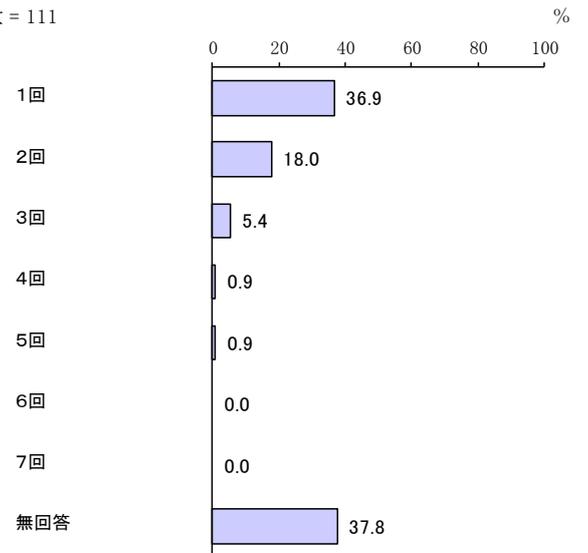


ア 利用していないが、今後利用したい

(ア) 1週あたりの利用頻度

「1回」の割合が36.9%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.0%となっています。

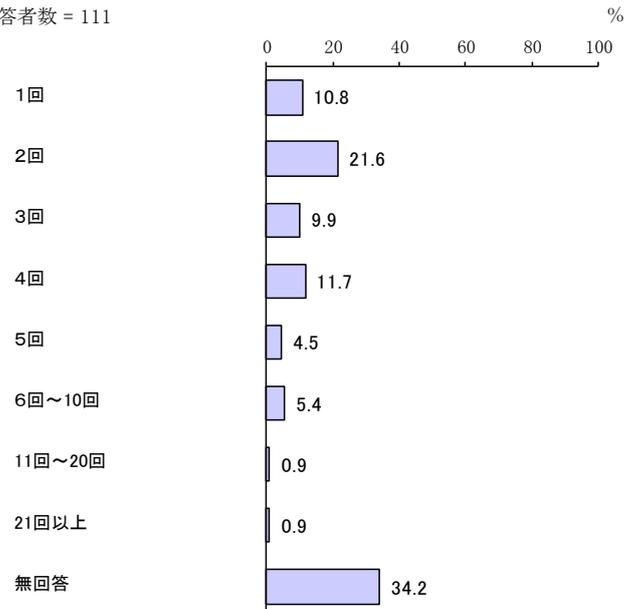
回答者数 = 111



(イ) 1か月あたりの利用頻度

「2回」の割合が21.6%と最も高く、次いで「4回」の割合が11.7%、「1回」の割合が10.8%となっています。

回答者数 = 111

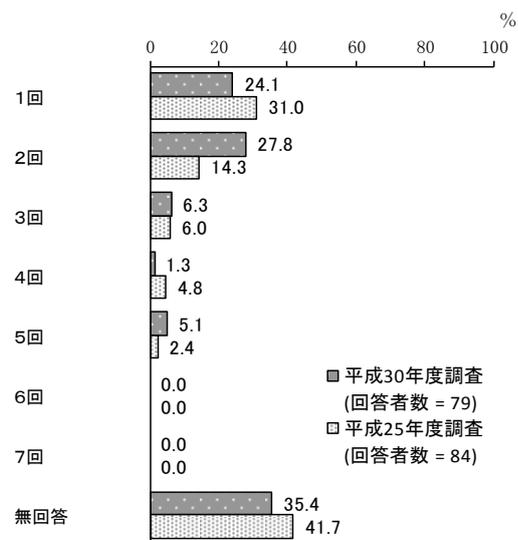


イ すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

(ア) 1週あたりの利用頻度

「2回」の割合が27.8%と最も高く、次いで「1回」の割合が24.1%となっています。

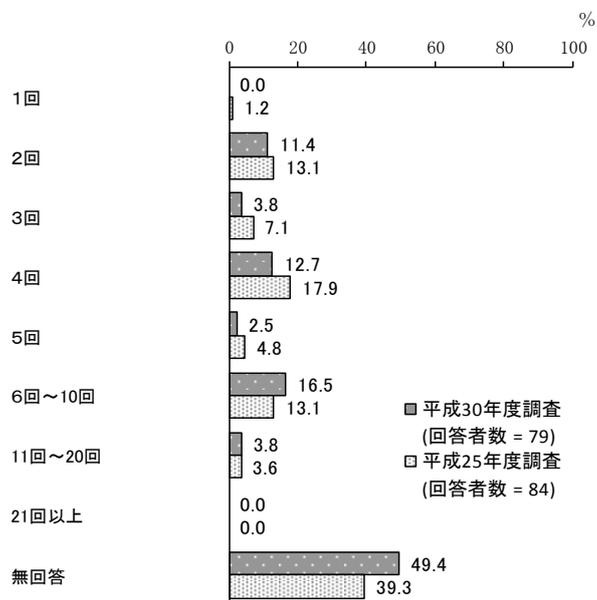
平成25年度調査と比較すると、「2回」の割合が増加しています。一方、「1回」の割合が減少しています。



(イ) 1か月あたりの利用頻度

「6回～10回」の割合が16.5%と最も高く、次いで「4回」の割合が12.7%、「2回」の割合が11.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4回」の割合が減少しています。



問 34 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

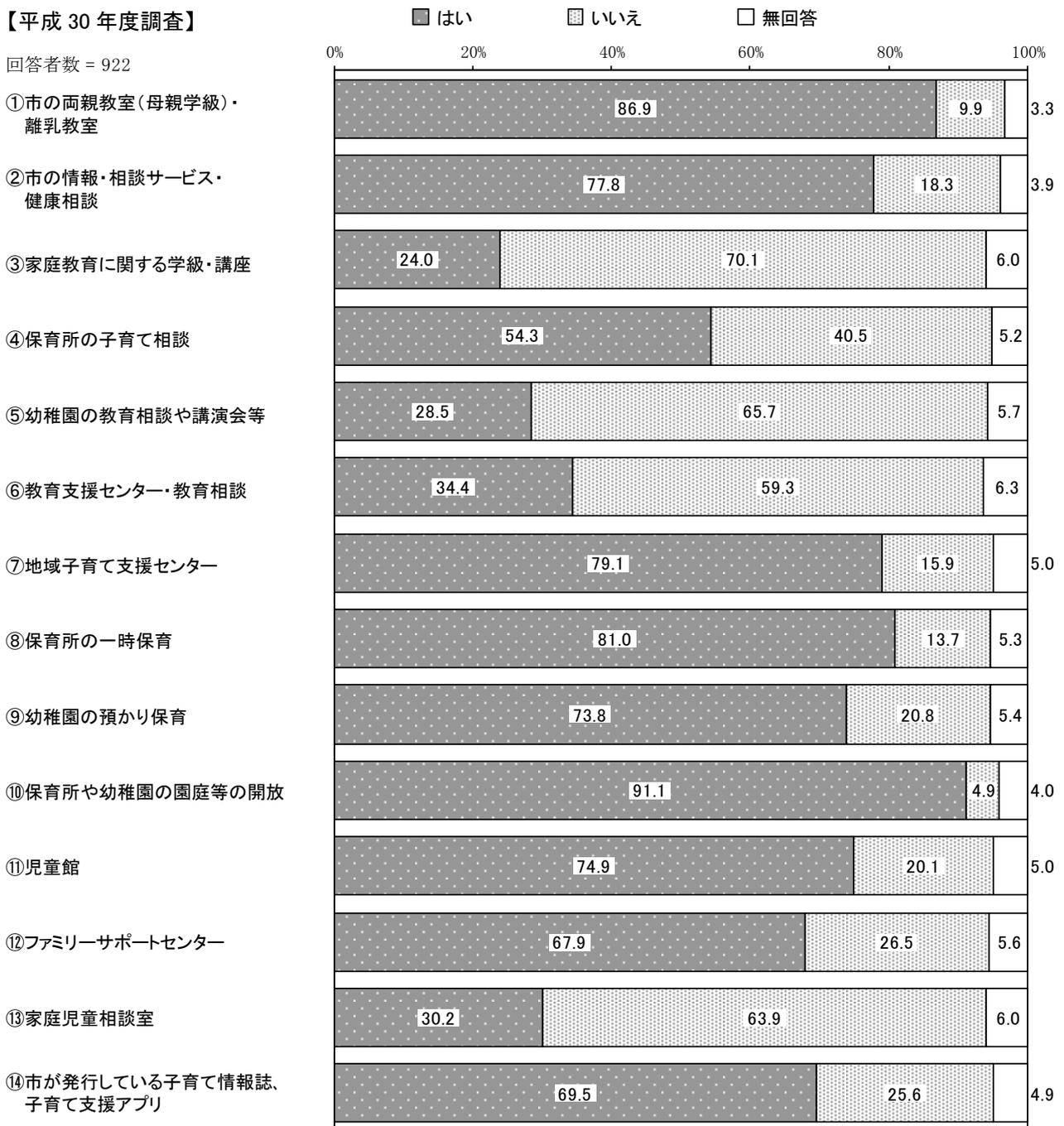
ア 認知度

認知度をみると、他に比べ、⑩保育所や幼稚園の園庭等の開放で「はい」の割合が、③家庭教育に関する学級・講座で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、②市の情報・相談サービス・健康相談、③家庭教育に関する学級・講座、④保育所の子育て相談、⑥教育支援センター・教育相談、⑨幼稚園の預かり保育、⑪児童館、⑫ファミリーサポートセンター、⑬家庭児童相談室、⑭市が発行している子育て情報誌、子育て支援アプリで「はい」の割合が増加しています。

【平成 30 年度調査】

回答者数 = 922



【平成 25 年度調査】

回答者数 = 852

①市の両親教室(母親学級)・
離乳教室

②市の情報・相談サービス・
健康相談

③家庭教育に関する学級・講座

④保育所の子育て相談

⑤幼稚園の教育相談や講演会等

⑥教育支援センター・教育相談

⑦地域子育て支援センター

⑧保育所の一時保育

⑨幼稚園の預かり保育

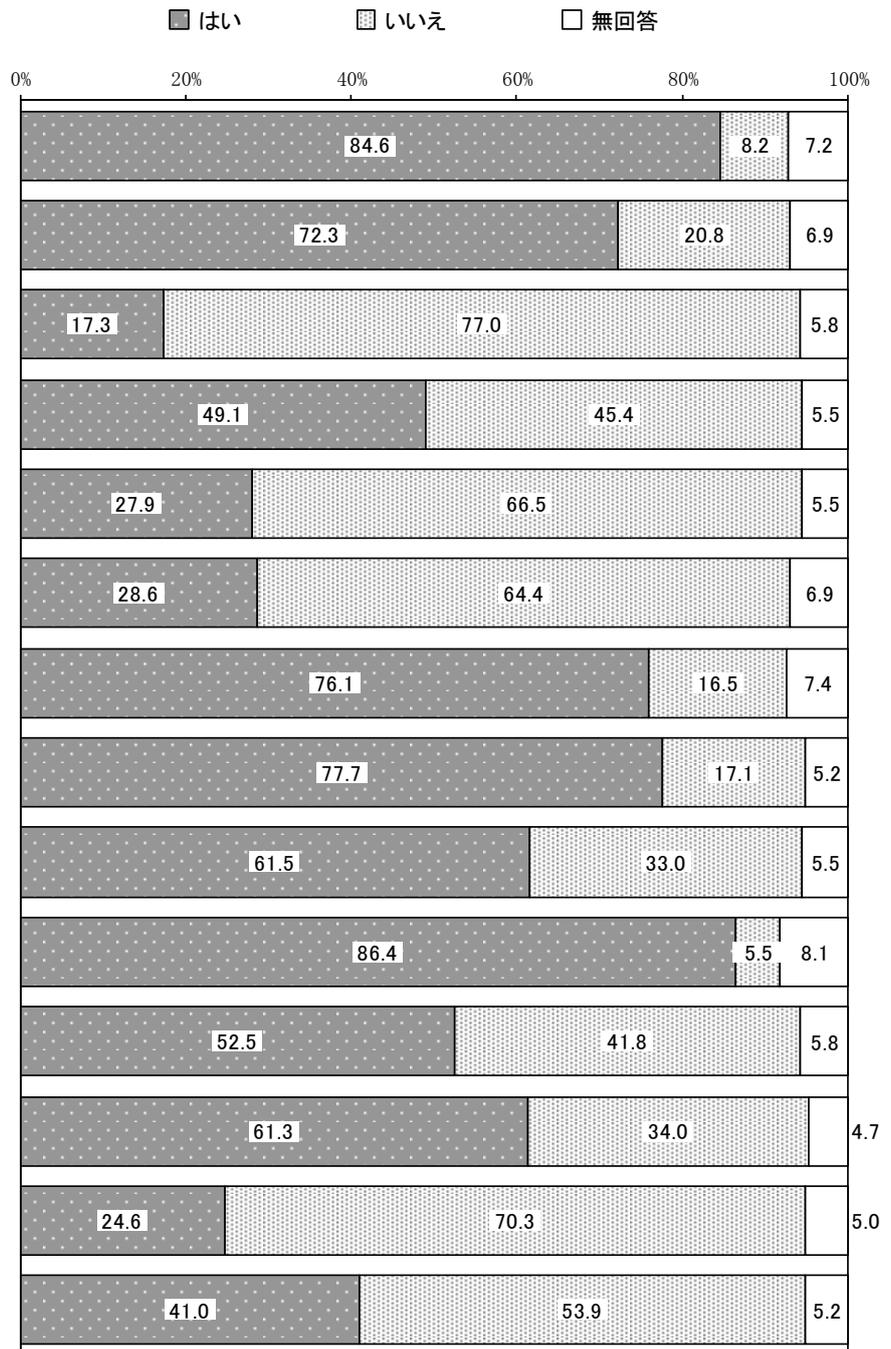
⑩保育所や幼稚園の園庭等の
開放

⑪児童館

⑫ファミリーサポートセンター

⑬家庭児童相談室

⑭市が発行している子育て
情報誌、子育て支援アプリ



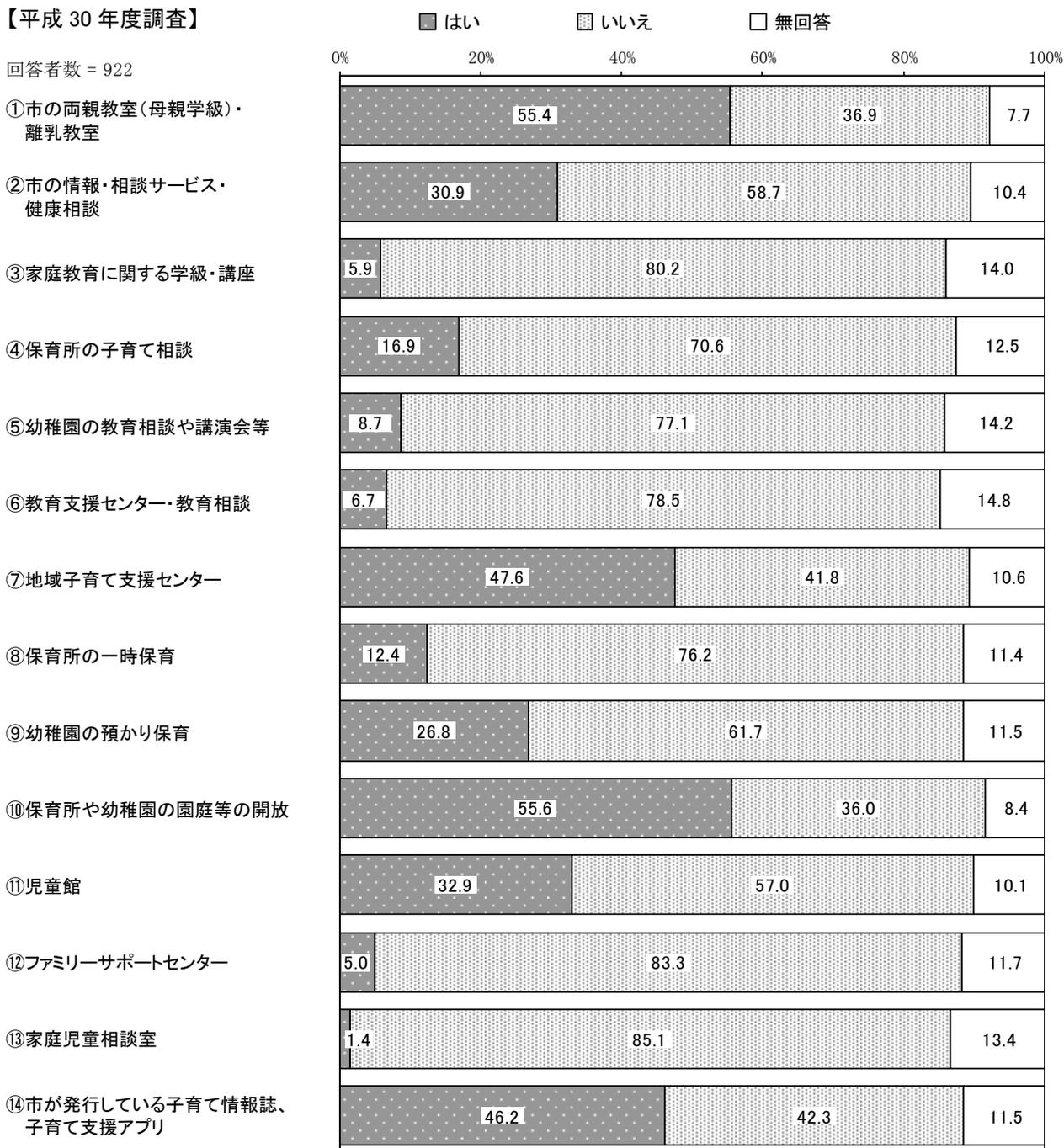
イ 利用経験

利用経験でみると、①市の両親教室（母親学級）・離乳教室、⑩保育所や幼稚園の園庭等の開放で「はい」の割合が、⑫ファミリーサポートセンター、⑬家庭児童相談室で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、⑦地域子育て支援センター、⑪児童館、⑭市が発行している子育て情報誌、子育て支援アプリで「はい」の割合が増加しています。

【平成 30 年度調査】

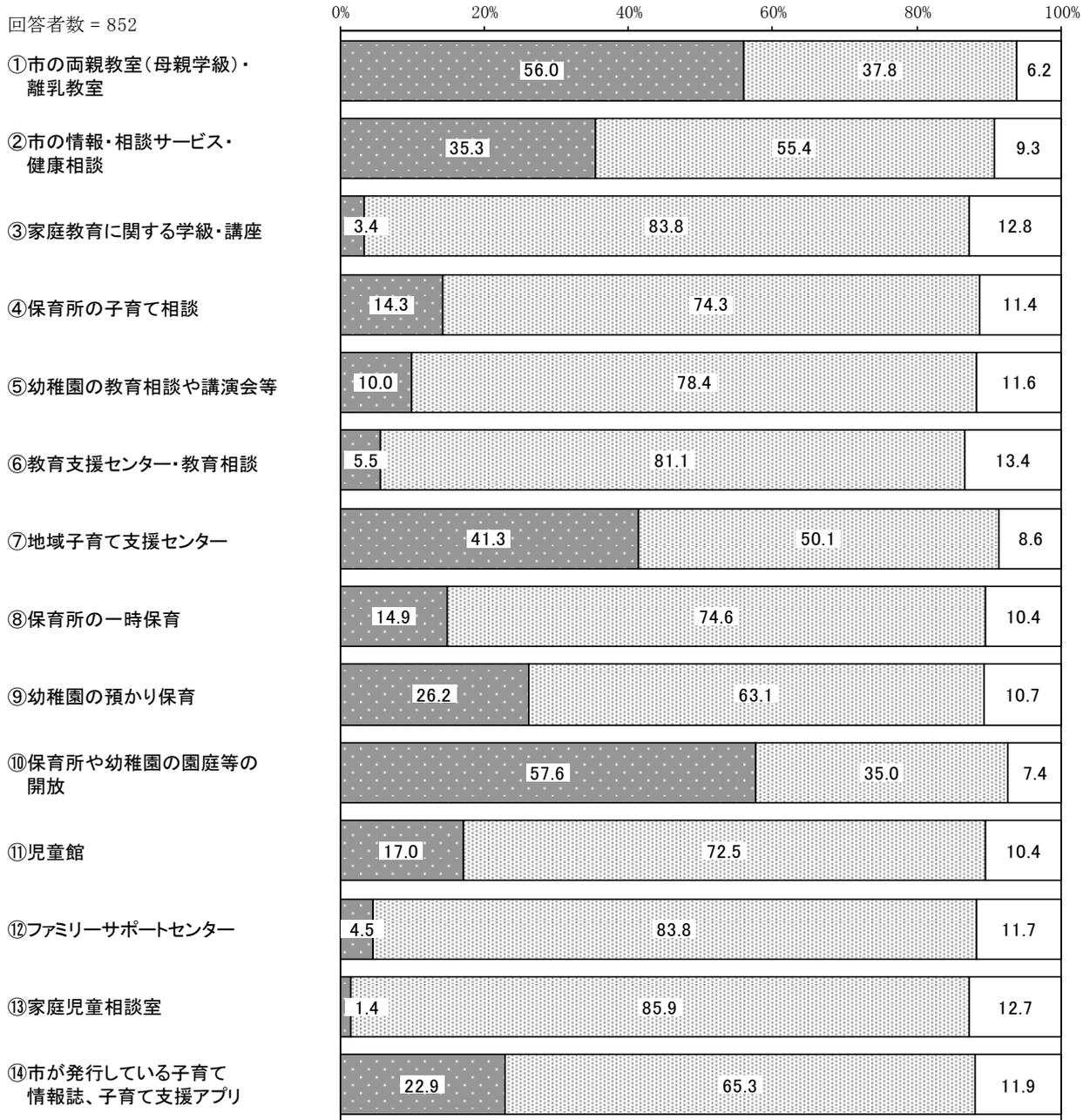
回答者数 = 922



■ はい ■ いいえ □ 無回答

【平成 25 年度調査】

回答者数 = 852



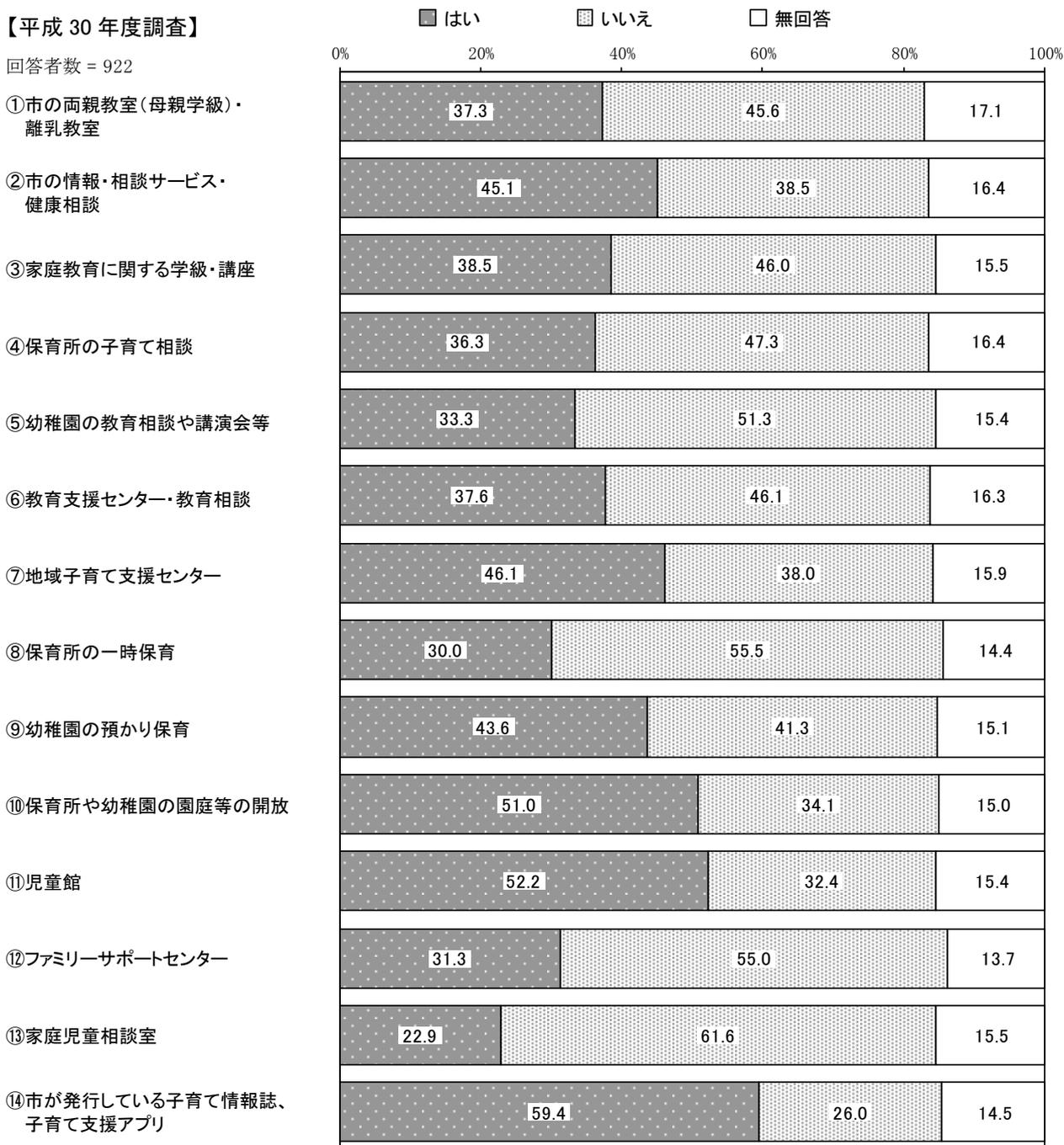
ウ 利用意向

利用意向をみると、他に比べ、⑭市が発行している子育て情報誌、子育て支援アプリで「はい」の割合が、⑬家庭児童相談室で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、②市の情報・相談サービス・健康相談、⑤幼稚園の教育相談や講演会等、⑧保育所の一時保育、⑨幼稚園の預かり保育、⑩保育所や幼稚園の園庭等の開放、⑬家庭児童相談室で「はい」の割合が減少しています。

【平成 30 年度調査】

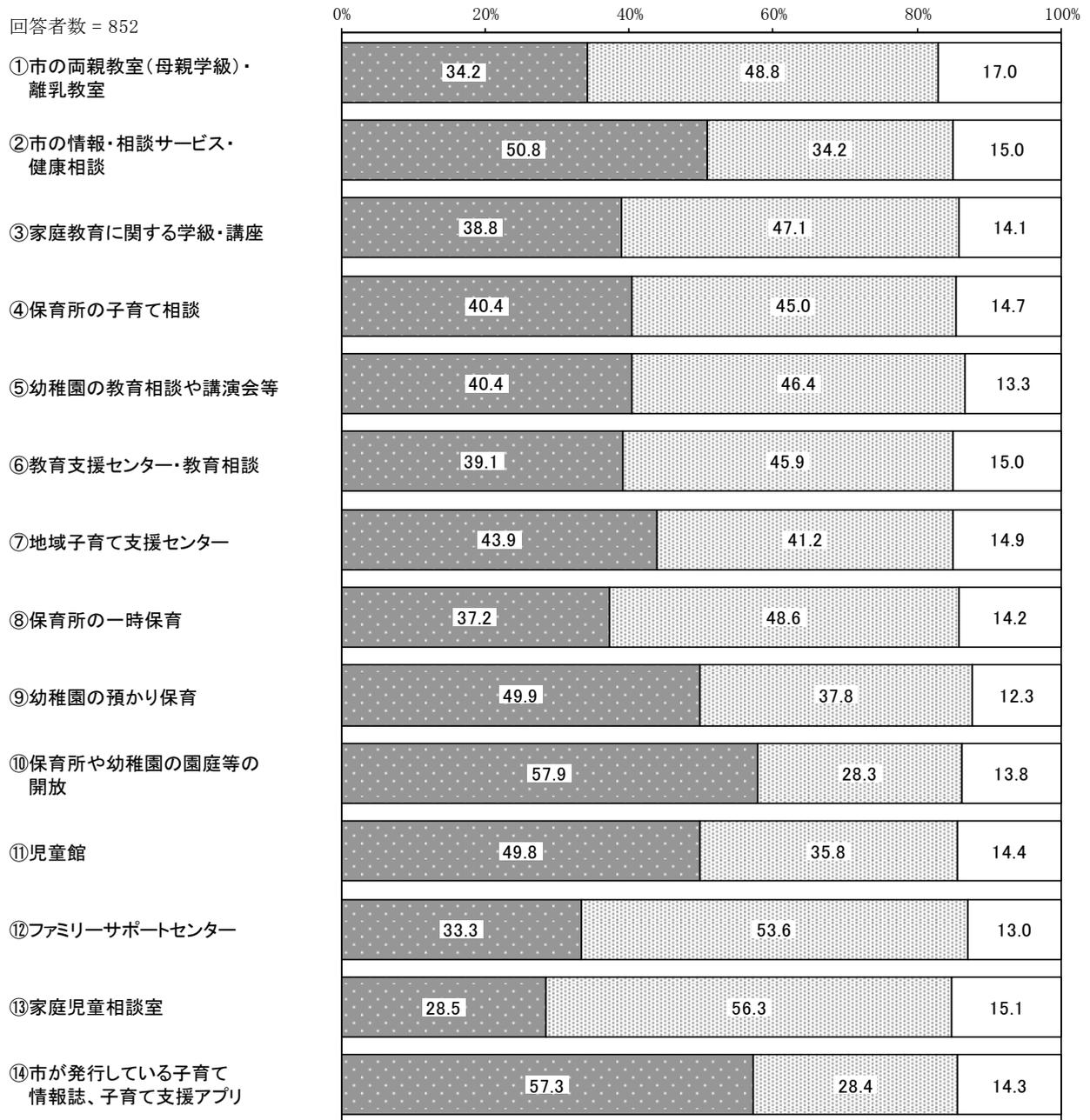
回答者数 = 922



■ はい ■ いいえ □ 無回答

【平成 25 年度調査】

回答者数 = 852



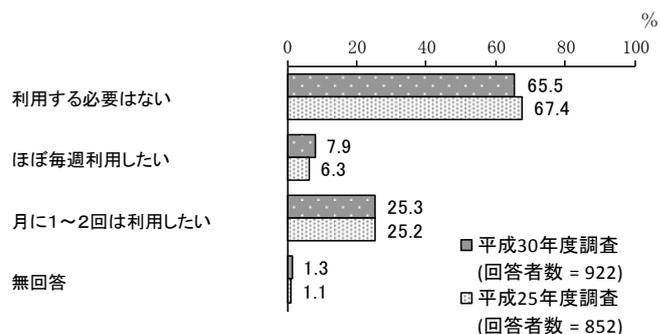
(8) お子さんの土曜・休日、長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について

問 35 お子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育（※1）の利用希望はありますか。（土曜日、日曜・祝日ごとに○は1つ。一時的な利用は除きます）希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～17時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

ア 土曜日

「利用する必要はない」の割合が65.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が25.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

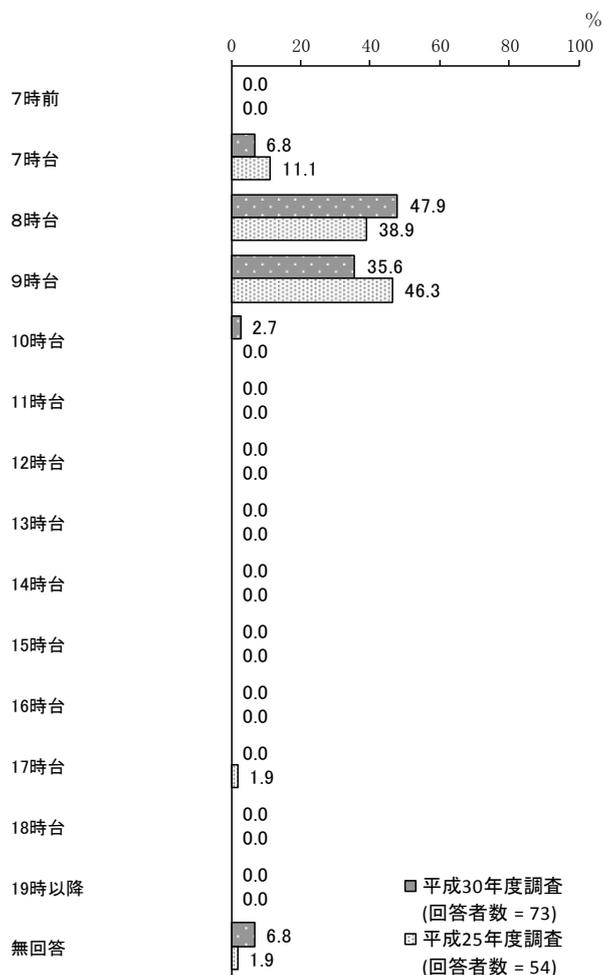


(ア) ほぼ毎週利用したい

① ほぼ毎週利用したい 利用開始時間

「8時台」の割合が47.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が35.6%となっています。

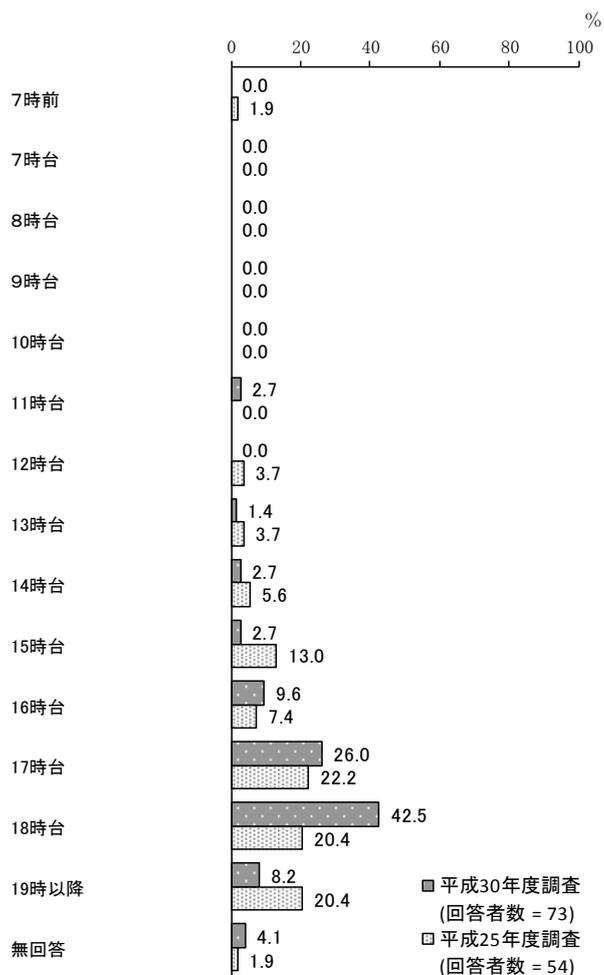
平成25年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



②ほぼ毎週利用したい 利用終了時間

「18 時台」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「15 時台」「19 時以降」の割合が減少しています。

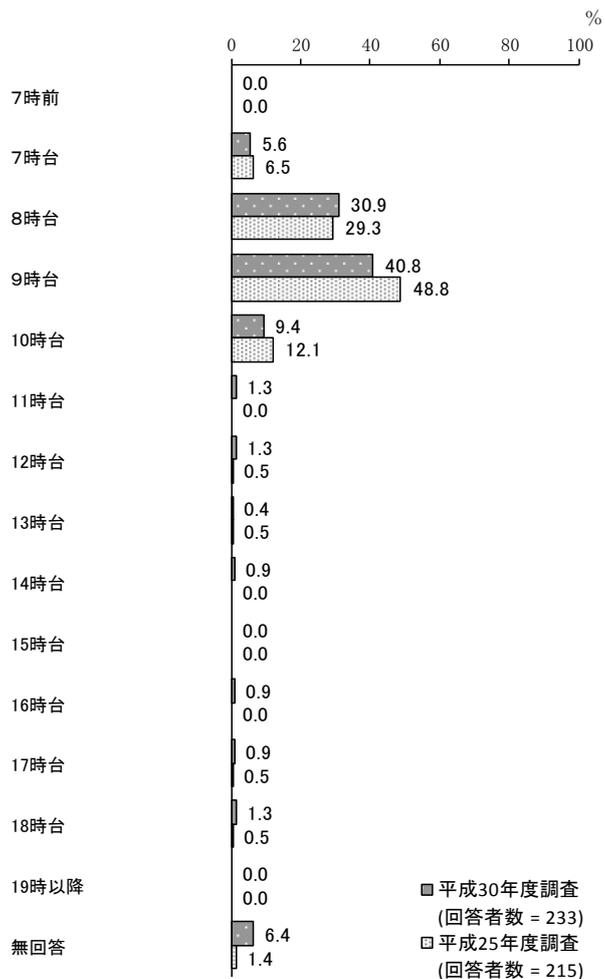


(イ) 月に1～2回は利用したい

①月に1～2回は利用したい 利用開始時間

「9時台」の割合が40.8%と最も高く、次いで「8時台」の割合が30.9%となっています。

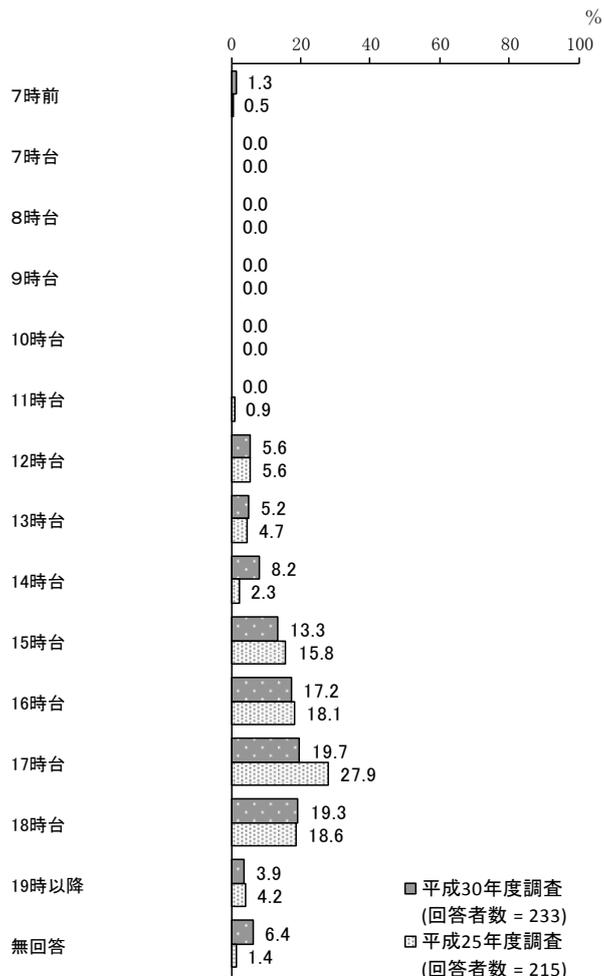
平成25年度調査と比較すると、「9時台」の割合が減少しています。



②月に1～2回は利用したい 利用終了時間

「17 時台」の割合が 19.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 19.3%、「16 時台」の割合が 17.2%となっています。

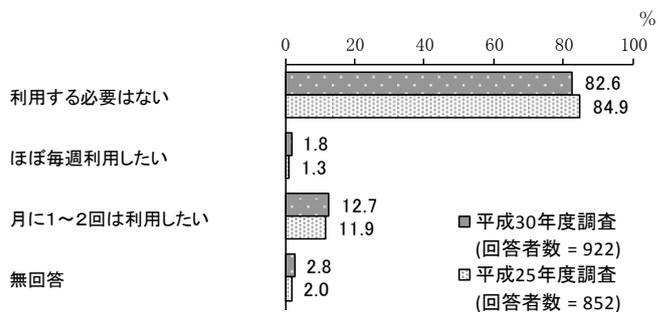
平成 25 年度調査と比較すると、「14 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。



イ 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 82.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 12.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

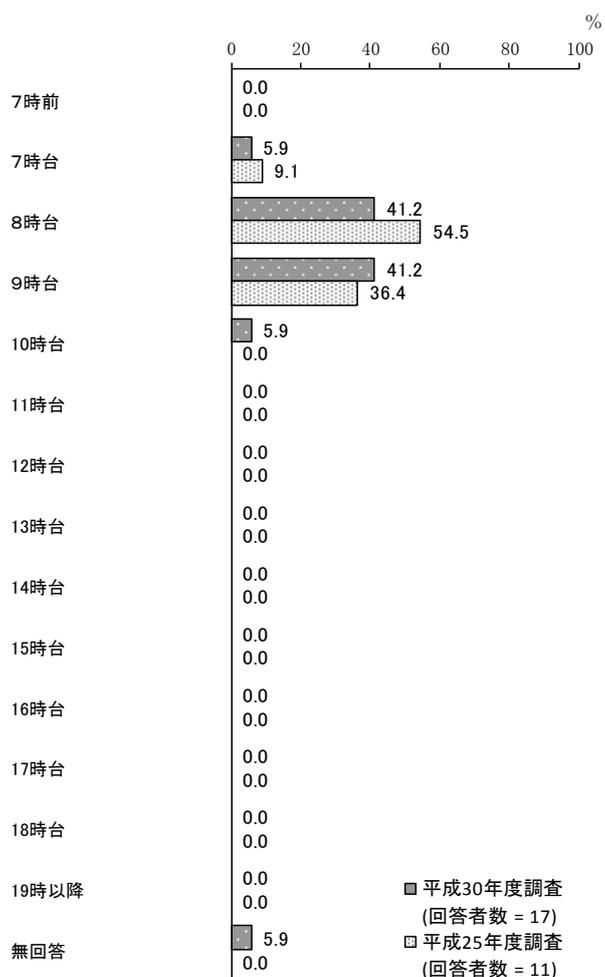


(ア) ほぼ毎週利用したい

① ほぼ毎週利用したい 利用開始時間

「8時台」、「9時台」の割合が41.2%と最も高くなっています。

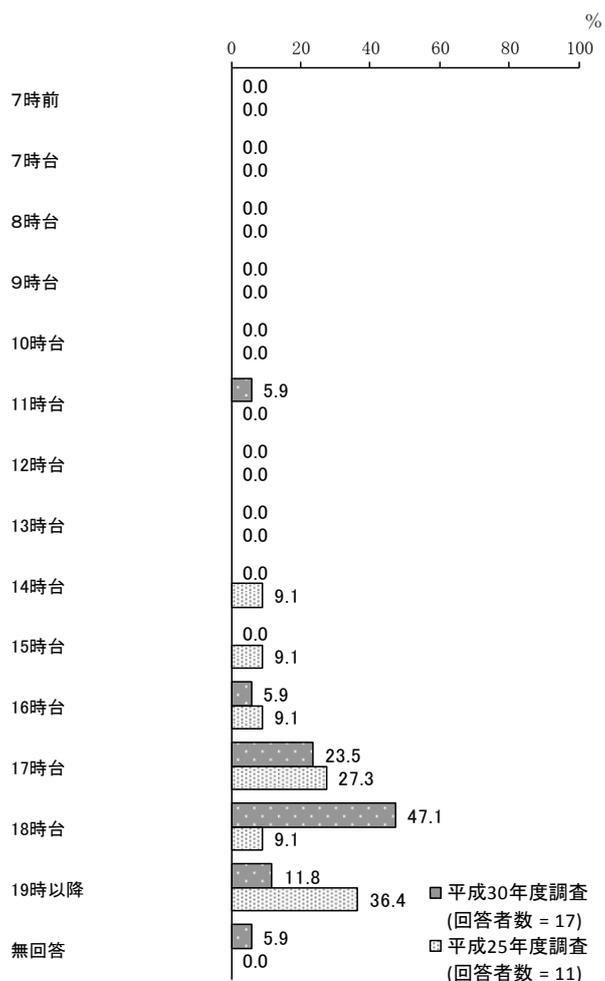
平成25年度調査と比較すると、「10時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」の割合が減少しています。



②ほぼ毎週利用したい 利用終了時間

「18 時台」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 23.5%、「19 時以降」の割合が 11.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「11 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「14 時台」「15 時台」「19 時以降」の割合が減少しています。

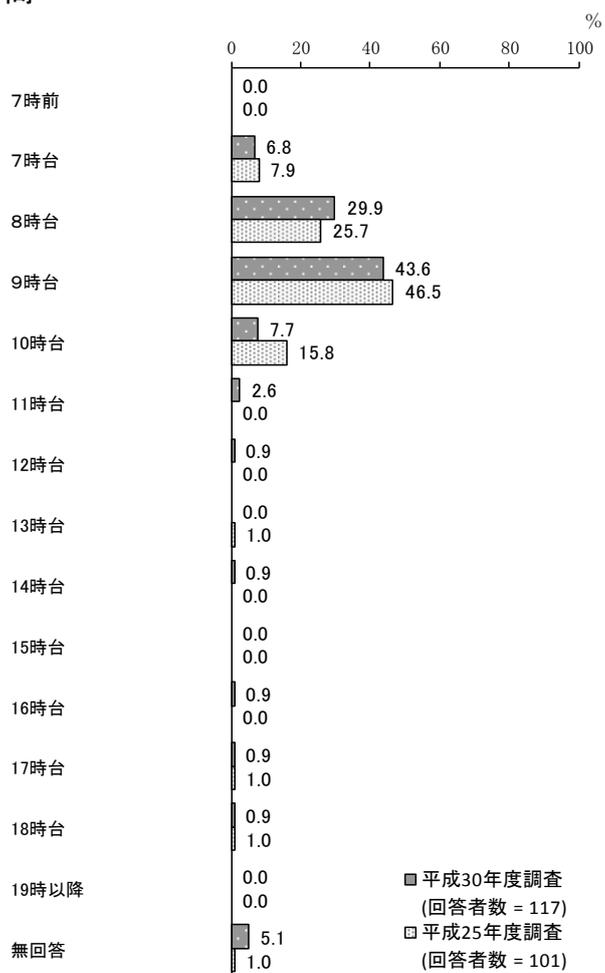


(イ) 月に1～2回は利用したい

①日曜・祝日 月に1～2回は利用したい 利用開始時間

「9時台」の割合が43.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.9%となっています。

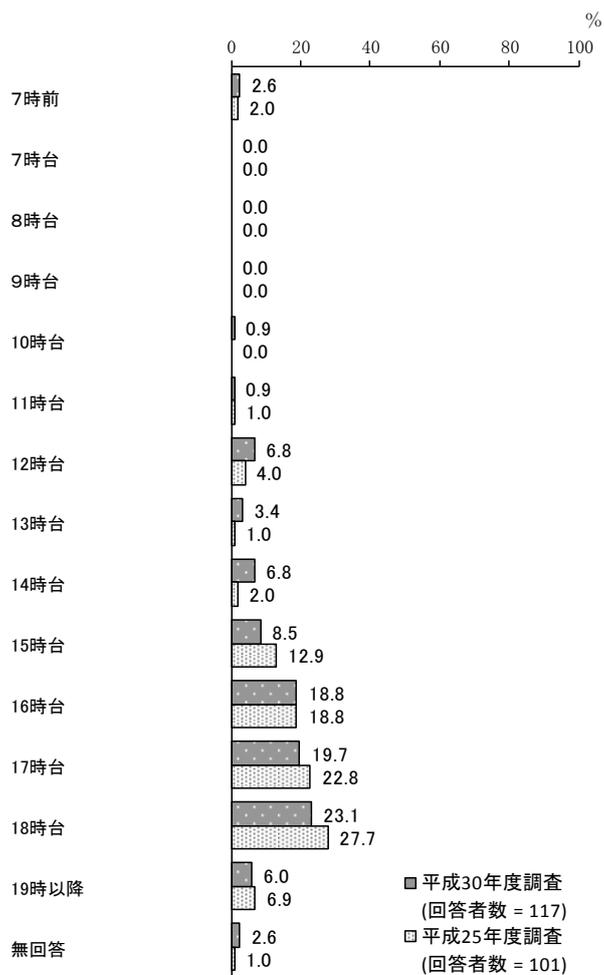
平成25年度調査と比較すると、「10時台」の割合が減少しています。



②月に1～2回は利用したい 利用終了時間

「18 時台」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 19.7%、「16 時台」の割合が 18.8%となっています。

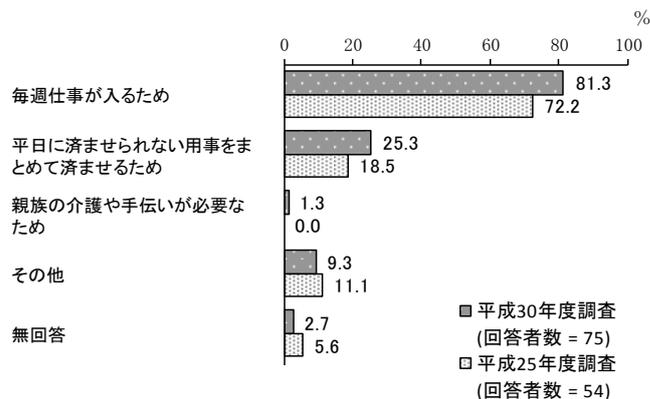
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 35-1 問 35 の①もしくは②で、「2. ほぼ毎週利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

「毎週仕事が入るため」の割合が81.3%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が25.3%となっています。

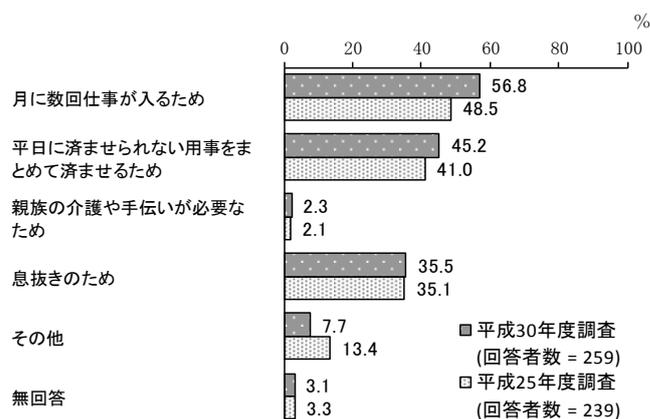
平成25年度調査と比較すると、「毎週仕事が入るため」「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が増加しています。



問 35-2 問 35 の①もしくは②で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

「月に数回仕事が入るため」の割合が56.8%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が45.2%、「息抜きのため」の割合が35.5%となっています。

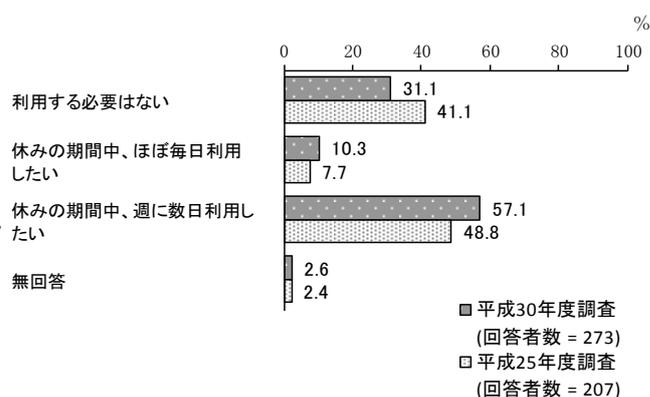
平成25年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」の割合が増加しています。



問 36 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。(○はいくつでも) 希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～17時のように24時間制でご記入ください。(数字は一桁に一字) なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が57.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が31.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が10.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

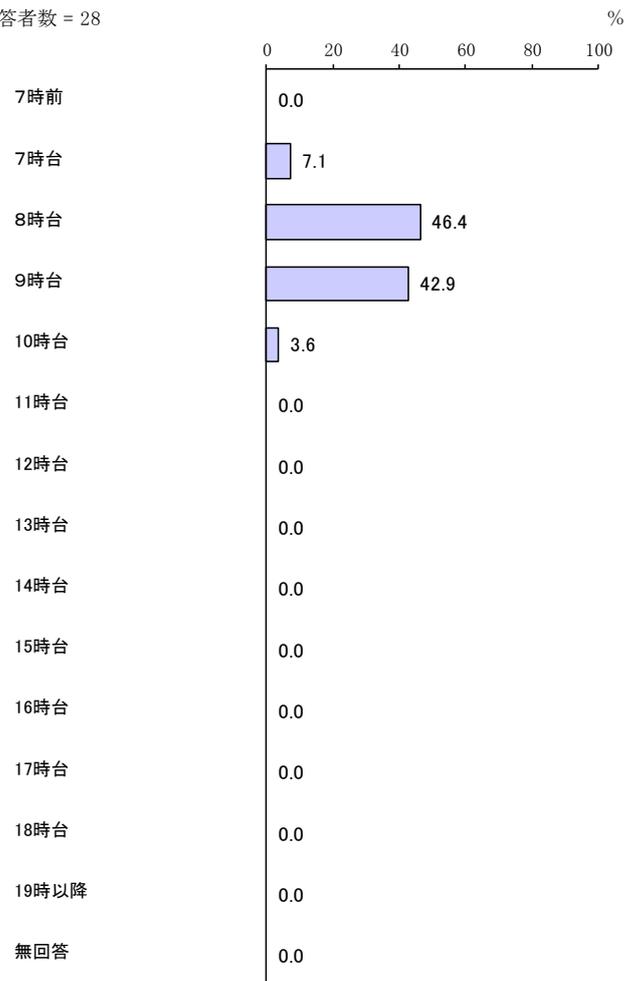


ア ほぼ毎日利用したい

(ア) 利用開始時間

「8時台」の割合が46.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が42.9%となっています。

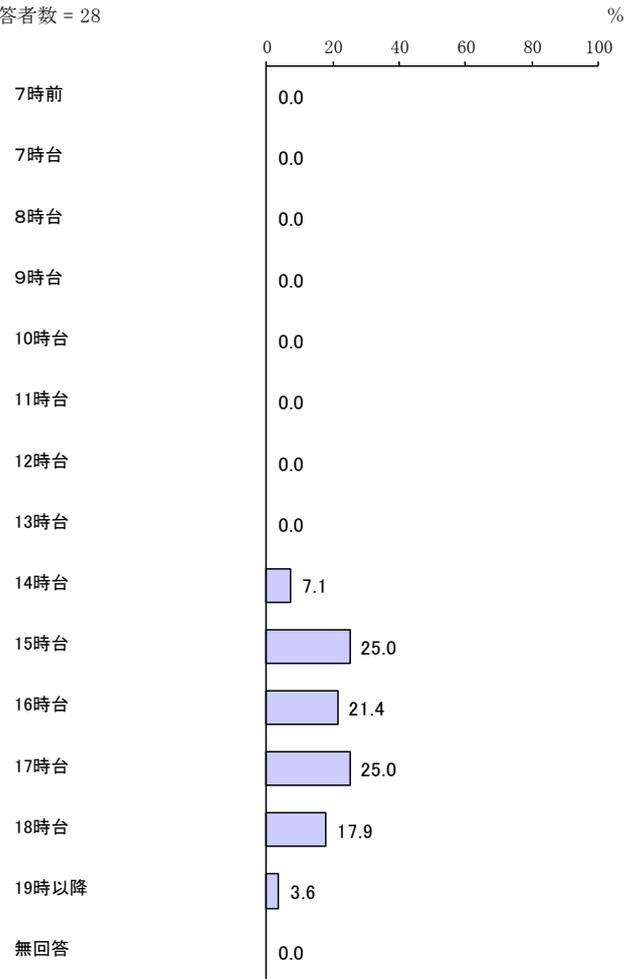
回答者数 = 28



(イ) 利用終了時間

「15 時台」、「17 時台」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 21.4%となっています。

回答者数 = 28

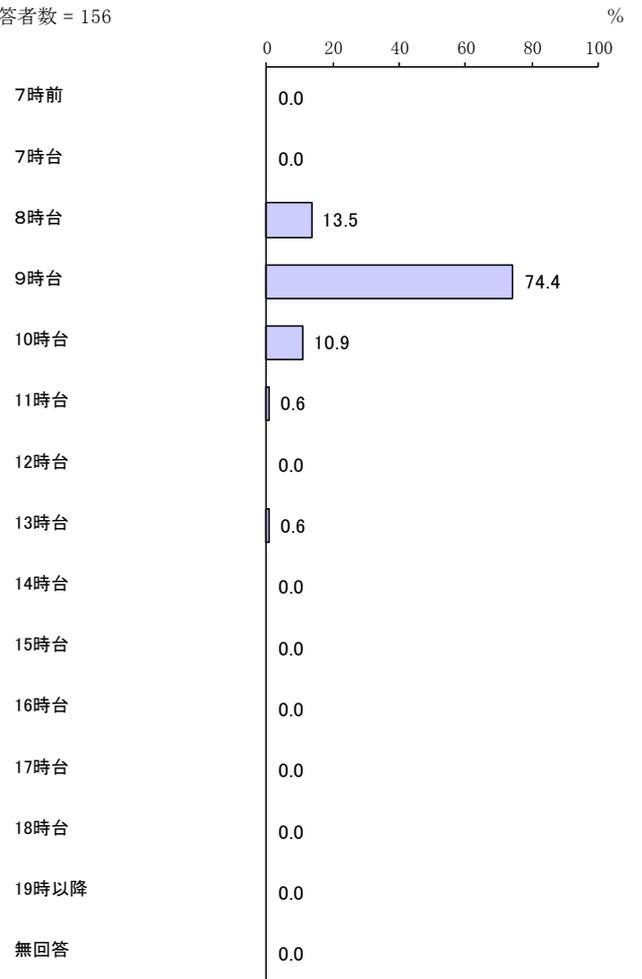


イ 週に数日利用したい

(ア) 利用開始時間

「9時台」の割合が74.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が13.5%、「10時台」の割合が10.9%となっています。

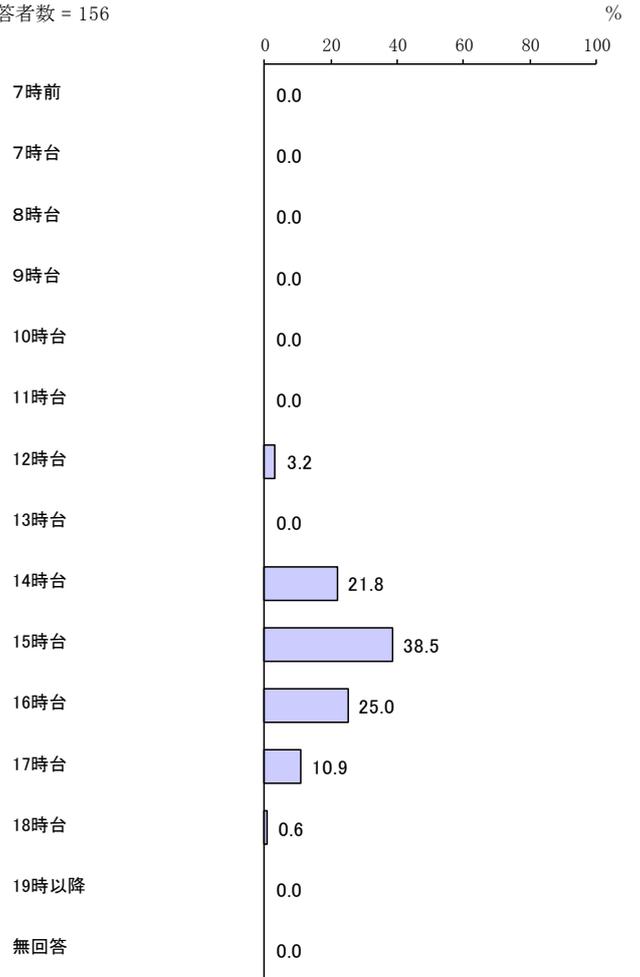
回答者数 = 156



(イ) 利用終了時間

「15 時台」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 25.0%、「14 時台」の割合が 21.8%となっています。

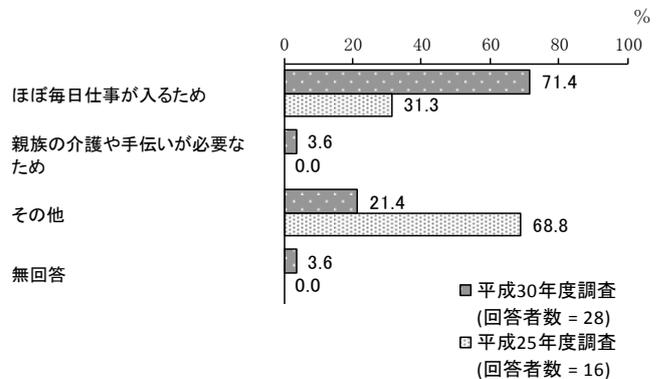
回答者数 = 156



問 36-1 問 36 で「2. ほぼ毎日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 ほぼ毎日利用したい理由をお答えください。(○はいくつでも)

「ほぼ毎日仕事が入るため」の割合が 71.4%、「親族の介護や手伝いが必要なため」の割合が 3.6%となっています。

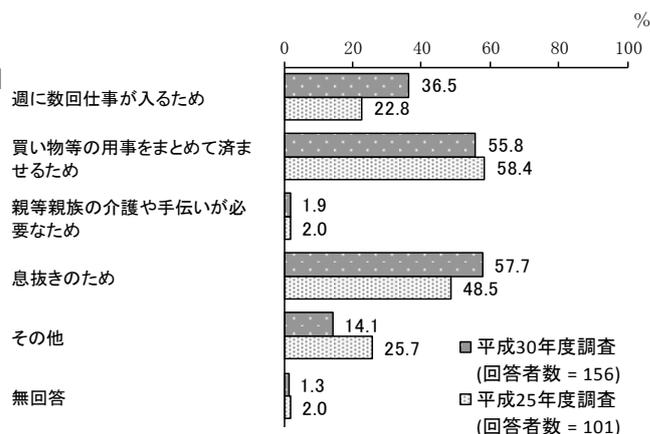
平成 25 年度調査と比較すると、「ほぼ毎日仕事が入るため」の割合が増加しています。



問 36-2 問 36 で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎日ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。(○はいくつでも)

「息抜きのため」の割合が 57.7%と最も高く、
次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」
の割合が 55.8%、「週に数回仕事が入るため」の
割合が 36.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「週に数回仕事
が入るため」「息抜きのため」の割合が増加して
います。

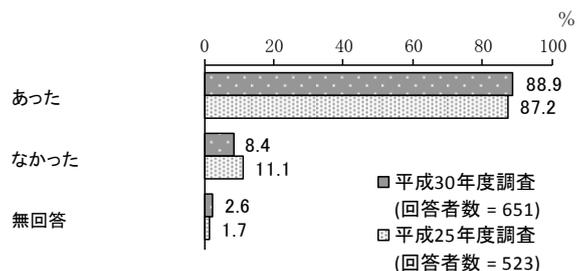


(9) お子さんの病気の際の対応について

問 37 平日に幼稚園、保育所等に通っていると答えた保護者の方（問 29 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。
この 1 年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育所などを休んだことはありますか。(○は 1 つ)

「あった」の割合が 88.9%、「なかった」の割合が 8.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1 歳、2 歳、4 歳で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あった	なかった	無回答
0歳	25	84.0	4.0	12.0
1歳	66	90.9	3.0	6.1
2歳	91	91.2	4.4	4.4
3歳	107	87.9	11.2	0.9
4歳	147	90.5	9.5	—
5歳	149	89.9	8.1	2.0
6歳	56	78.6	17.9	3.6

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、これまで就労したことがないで「あった」の割合が、パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「なかった」の割合が高くなっています。

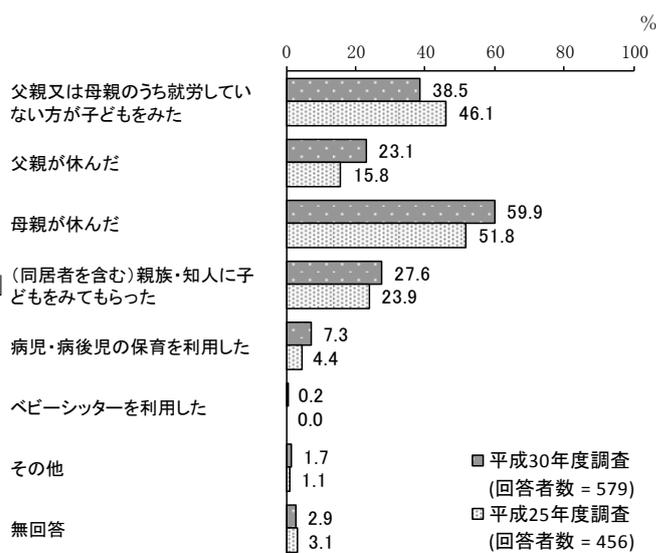
単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	229	92.1	7.4	0.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	45	93.3	6.7	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	170	91.2	5.3	3.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	83.3	16.7	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	175	81.1	14.3	4.6
これまで就労したことがない	12	100.0	—	—

問 37-1 お子さんが病気やけがで幼稚園、保育所などを休んだ場合に、この1年間に
行った対応として当てはまる番号（1～7）に○をつけてください。
（○はいくつでも）

「母親が休んだ」の割合が59.9%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が38.5%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が27.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少しています。



1年間の対応

1年間の対応をみると、2. 父親が休んだで「1日」の割合が、4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらったで「2日」の割合が高くなっています。また、1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみたで「6日～10日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答
1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	223	9.0	12.6	13.9	4.5	11.7	29.6	10.8	2.2	0.9	4.9
2. 父親が休んだ	134	35.1	19.4	17.2	2.2	15.7	6.7	1.5	-	-	2.2
3. 母親が休んだ	347	13.3	11.5	12.7	6.1	15.0	23.1	9.5	1.2	1.4	6.3
4. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	160	13.8	24.4	21.3	4.4	16.9	10.0	3.8	0.6	0.6	4.4
5. 病児・病後児の保育を利用した	42	11.9	16.7	23.8	9.5	7.1	26.2	-	-	-	4.8
6. ベビーシッターを利用した	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
7. その他	10	10.0	10.0	30.0	-	-	30.0	-	-	-	20.0

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が、1歳で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。また、2歳で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	父親又は母親のうち 就労していない方が 子どもをみた	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもを みてもらった	病児・病後児の保育を 利用した	ベビーシッターを 利用した	その他	無回答
0歳	21	52.4	14.3	42.9	19.0	14.3	-	4.8	14.3
1歳	60	18.3	28.3	78.3	33.3	16.7	-	1.7	1.7
2歳	83	30.1	34.9	71.1	41.0	12.0	-	-	3.6
3歳	94	42.6	20.2	52.1	21.3	6.4	-	1.1	4.3
4歳	133	45.1	21.8	54.1	23.3	3.0	-	3.0	1.5
5歳	134	41.8	19.4	57.5	29.9	3.7	-	2.2	2.2
6歳	44	36.4	20.5	65.9	20.5	6.8	2.3	-	-

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「母親が休んだ」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

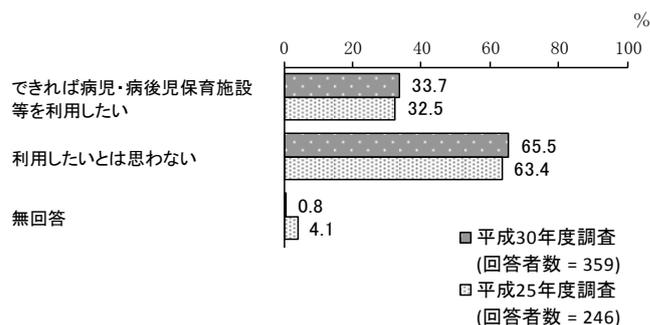
単位：％

区分	有効回答数(件)	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に子どもをみてもらった (同居者を含む)	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	211	12.3	45.0	88.6	44.5	14.7	—	2.4	0.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	42	57.1	16.7	52.4	26.2	7.1	—	2.4	2.4
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	155	18.7	15.5	78.1	30.3	3.9	—	2.6	1.9
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	40.0	—	80.0	20.0	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	142	91.5	2.1	2.8	2.1	—	0.7	—	7.0
これまで就労したことがない	12	91.7	16.7	—	—	—	—	—	—

問 37-2 問 37-1 で「2. 父親が休んだ」「3. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ)

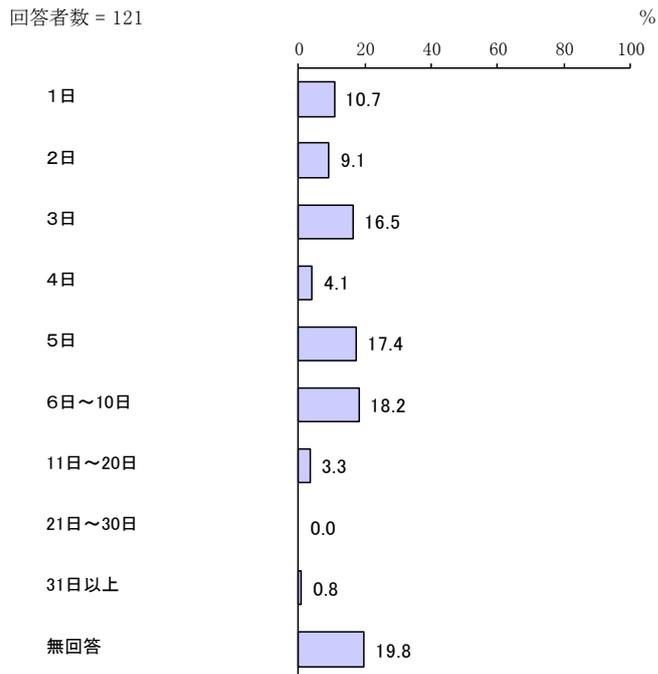
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 33.7%、「利用したいとは思わない」の割合が 65.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



病児・病後児保育施設等を利用したい希望日数

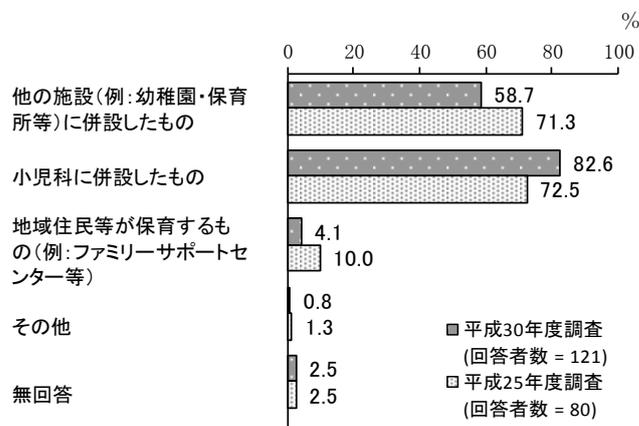
「6日～10日」の割合が18.2%と最も高く、次いで「5日」の割合が17.4%、「3日」の割合が16.5%となっています。



問 37-3 問 37-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)

「小児科に併設したもの」の割合が82.6%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設したもの」の割合が58.7%となっています。

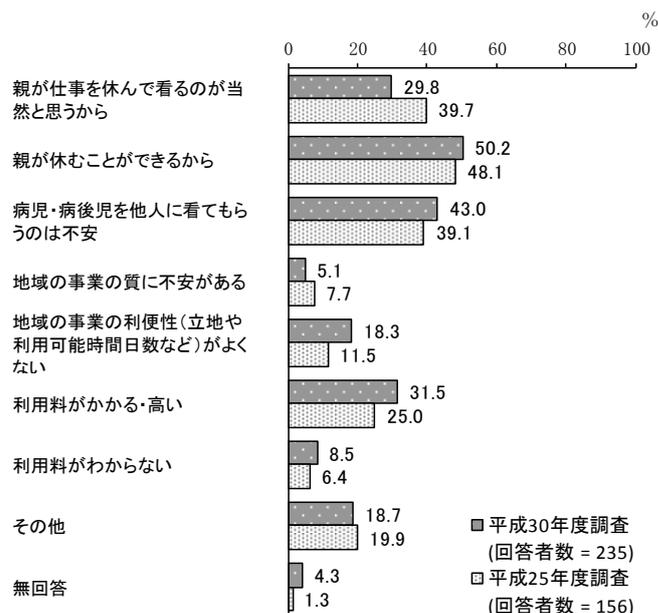
平成 25 年度調査と比較すると、「小児科に併設したもの」の割合が増加しています。一方、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設したもの」「地域住民等が保育するもの（例：ファミリーサポートセンター等）」の割合が減少しています。



問 37-4 問 37-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 利用したいと思わない理由をお答えください。(○はいくつでも)

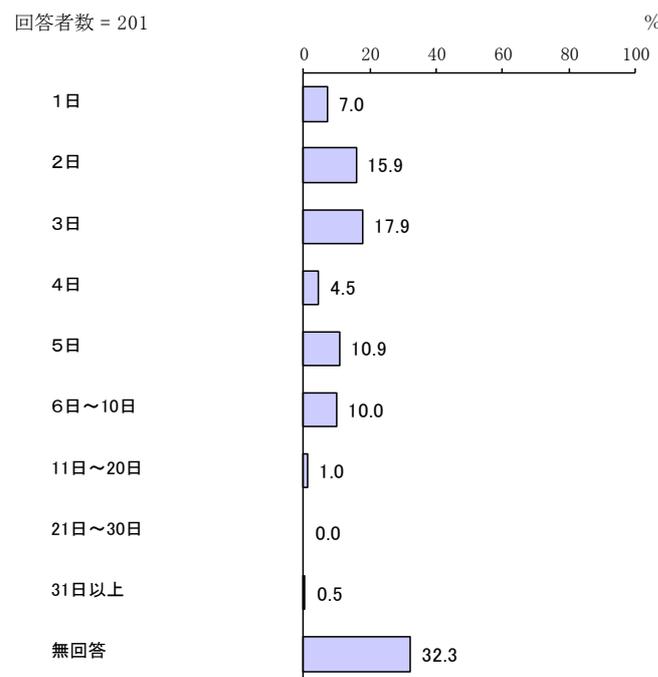
「親が休むことができるから」の割合が 50.2%
 と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看
 てもらうのは不安」の割合が 43.0%、「利用料がか
 かる・高い」の割合が 31.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「地域の事業の
 利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくな
 い」「利用料がかかる・高い」の割合が増加してい
 ます。一方、「親が仕事を休んで看るのが当然と
 思うから」の割合が減少しています。



問 37-5 問 37-1 で「4」から「7」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。
 問 37-1 の「4」から「7」の日数のうち、仕事を休んで見たかったおおよそ
 の日数について数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

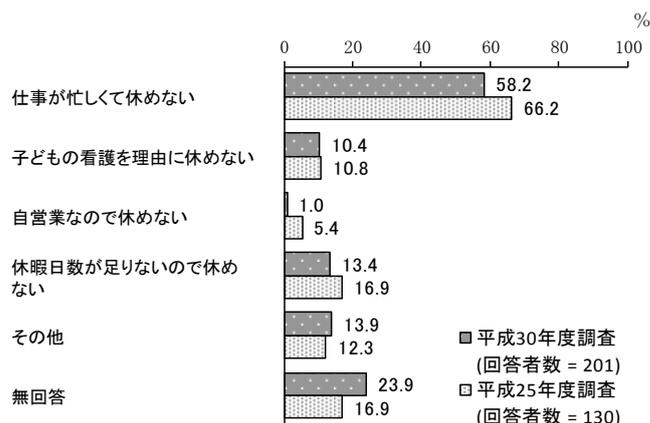
「3日」の割合が 17.9%と最も高く、次いで
 「2日」の割合が 15.9%、「5日」の割合が 10.9%
 となっています。



問 37-6 休んで看ることができなかつた理由をお答えください。(○はいくつでも)

「仕事が忙しくて休めない」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 13.4%、「子どもの看護を理由に休めない」の割合が 10.4%となっています。

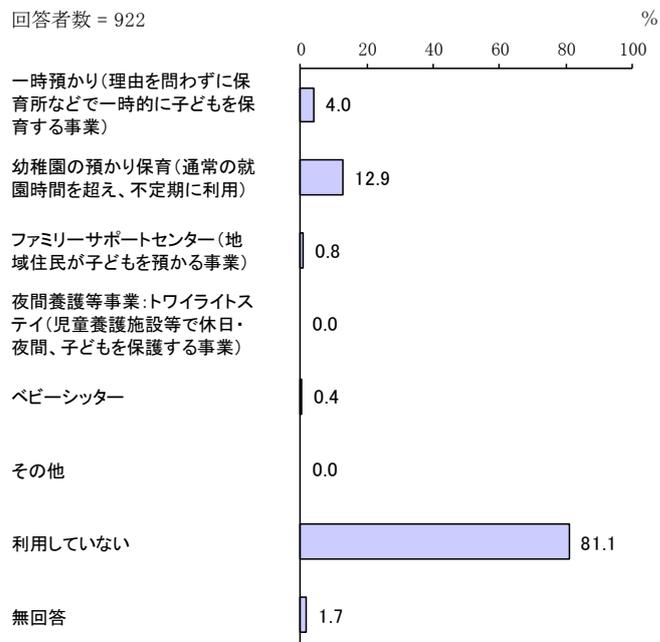
平成 25 年度調査と比較すると、「仕事が忙しくて休めない」の割合が減少しています。



(10) お子さんの不規則の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 38 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不規則の就労など)で不規則に利用している事業はありますか。利用している事業について、当てはまる番号(1~7)に○をつけてください。(○はいくつでも) また、1年間のおおよその利用日数も□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

「利用していない」の割合が 81.1%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を超え、不規則に利用)」の割合が 12.9%となっています。



利用している事業

利用している事業をみると、他に比べ、1. 一時預かり（理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）で「1日」の割合が、2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を超え、不定期に利用）で「6日～10日」の割合が高くなっています。

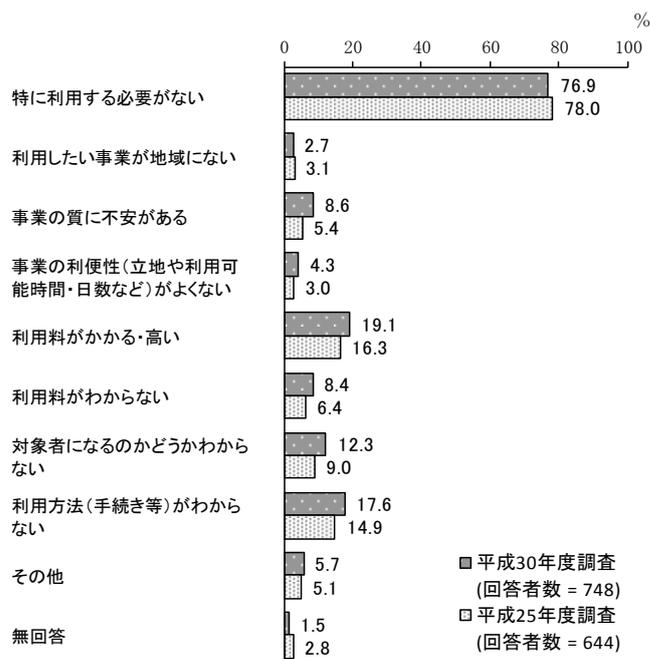
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日～ 10日	11日～ 20日	21日～ 30日	31日 以上	無回答
1. 一時預かり(理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	37	35.1	8.1	10.8	10.8	13.5	5.4	2.7	-	8.1	5.4
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を超え、不定期に利用)	119	5.9	5.0	5.9	3.4	12.6	23.5	13.4	6.7	18.5	5.0
3. ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)	7	28.6	14.3	28.6	-	-	14.3	-	-	-	14.3
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5. ベビーシッター	4	25.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	25.0
6. その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 38-1 問 38 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由をお答えください。(○はいくつでも)

「特に利用する必要がない」の割合が 76.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 19.1%、「利用方法(手続き等)がわからない」の割合が 17.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 39 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など）の場合、事業を利用したいと思いますか。また、年間何日くらい利用する必要があると思いますか。

①利用希望の有無について、1、2の番号どちらか1つに○

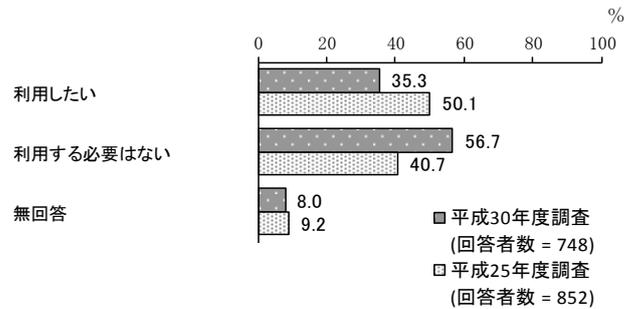
②「1. 利用したい」に○をした人は、ア～エのうち、利用したい理由に○。

（○はいくつでも）

また、必要な日数について、□内におおよその数字を記入。（数字は一桁に一文字）なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が35.3%、「利用する必要はない」の割合が56.7%となっています。

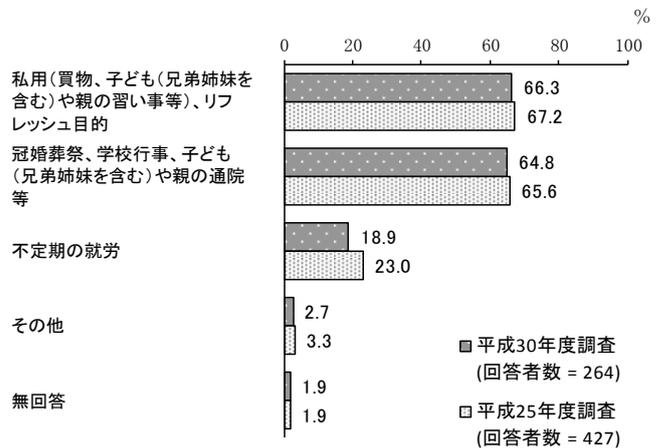
平成25年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「利用したい」の割合が減少しています。



利用希望の理由

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が66.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」の割合が64.8%、「不定期の就労」の割合が18.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

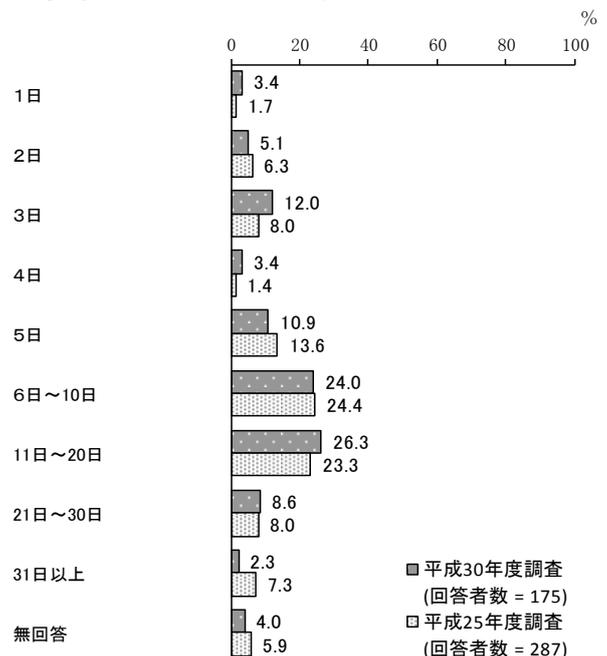


年間日数

ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

「11日～20日」の割合が26.3%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が24.0%、「3日」の割合が12.0%となっています。

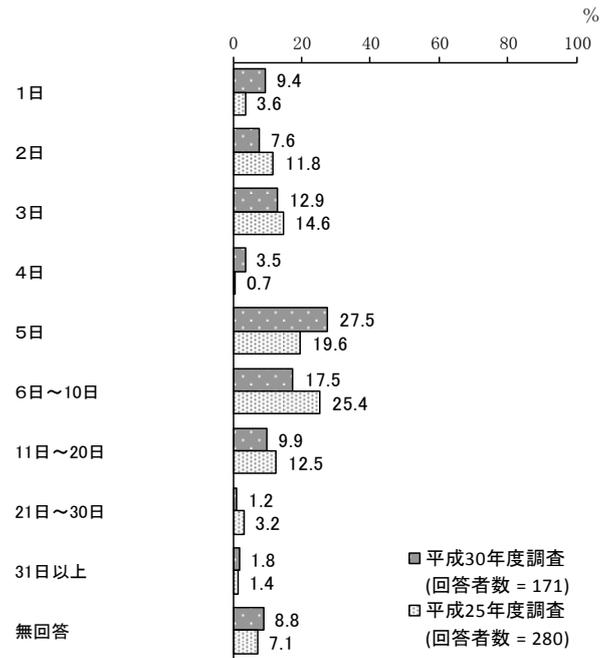
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等

「5日」の割合が27.5%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が17.5%、「3日」の割合が12.9%となっています。

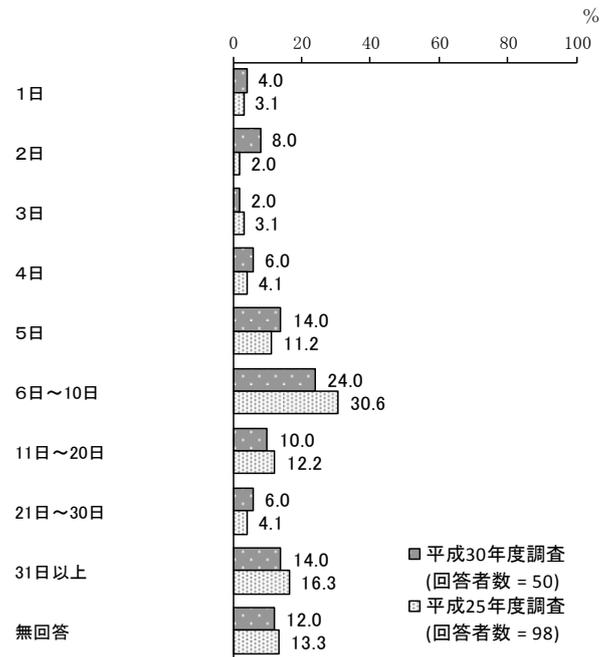
平成25年度調査と比較すると、「1日」「5日」の割合が増加しています。一方、「6日～10日」の割合が減少しています。



ウ. 不定期の就労

「6日～10日」の割合が24.0%と最も高く、次いで「5日」、「31日以上」の割合が14.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「6日～10日」の割合が減少しています。



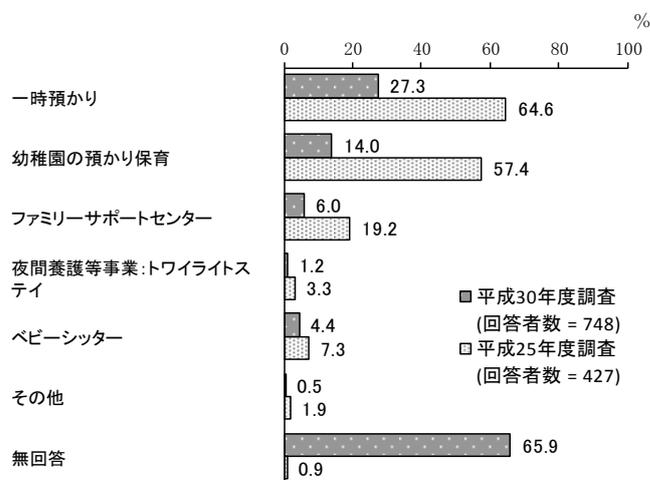
エ. その他

「6日～10日」が3件となっています。「21日～30日」が2件、「1日」が1件となっています。

問 39-1 問 39 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問 39 の目的でお子さんを預ける場合、次のいずれの形態が望ましいと思いま
すか。(○はいくつでも)

「一時預かり」の割合が 27.3%と最も高く、次
いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 14.0%とな
っています。

平成 25 年度調査と比較すると、「一時預かり」
「幼稚園の預かり保育」「ファミリーサポートセ
ンター」の割合が減少しています。

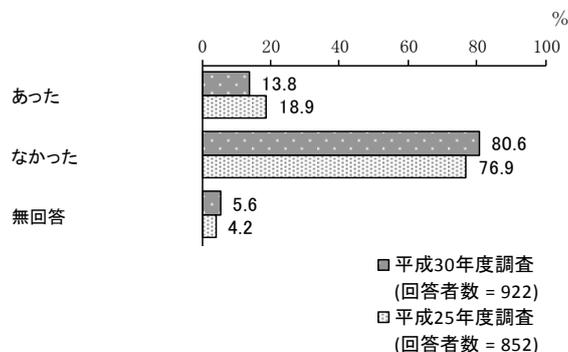


問 40 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます)

- ①家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについて、
1、2の番号どちらか1つに○
②「1. あった」に○をした人は、ア～オのうち、実際に行った対応に○。
(○はいくつでも)
また、それぞれの日数について、□内に数字を記入。(数字は一桁に一字)

「あった」の割合が 13.8%、「なかった」の割
合が 80.6%となっています。

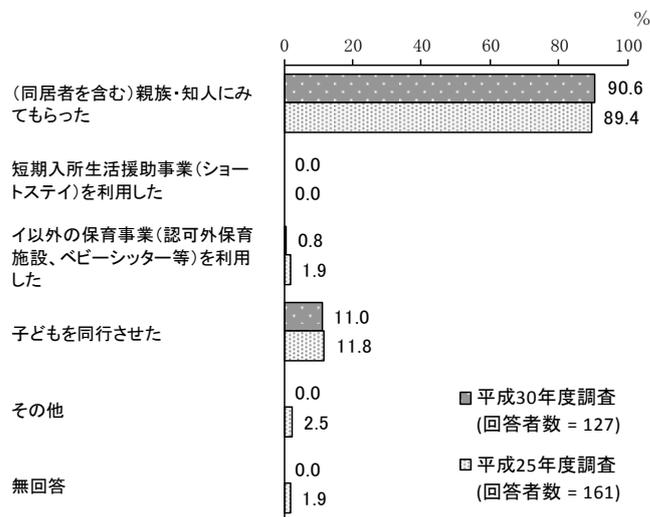
平成 25 年度調査と比較すると、「あった」の割
合が減少しています。



あった

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」
の割合が 90.6%と最も高く、次いで「子どもを同
行させた」の割合が 11.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



1年間の対応

1年間の対応をみると、他に比べ、ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらったで「1泊」の割合が、エ. 子どもを同行させたで「3泊」の割合が高くなっています。

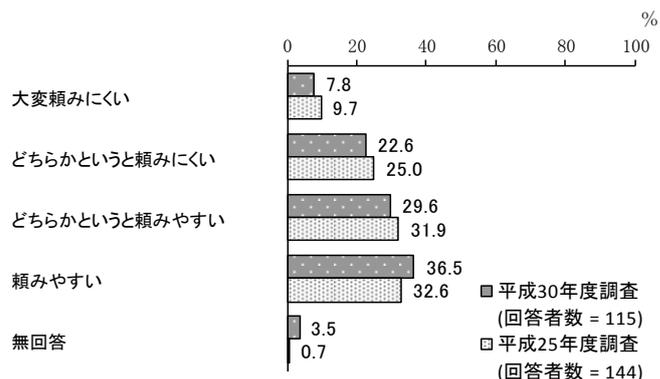
単位：％

区分	回答者数 (件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答
ア.（同居者を含む）親族・ 知人にみてもらった	115	31.3	13.0	9.6	5.2	9.6	8.7	3.5	3.5	1.7	13.9
イ. 短期入所生活援助事 業（ショートステイ）を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウ. イ以外の保育事業（認 可外保育施設、ベビー シッター等）を利用した	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
エ. 子どもを同行させた	14	14.3	21.4	28.6	-	7.1	-	-	-	-	28.6
オ. その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 40-1 問 40 で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○
をつけた方にうかがいます。
その場合、頼みやすかったですか。（○は1つ）

「頼みやすい」の割合が 36.5% と最も高く、次いで「どちらかというとな頼みやすい」の割合が 29.6%、「どちらかというとな頼みにくい」の割合が 22.6% となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

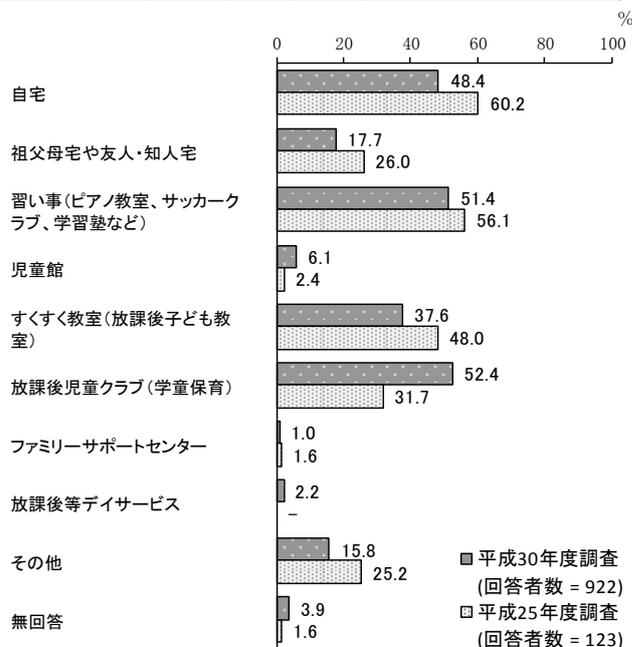


(11) お子さんの、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 41 お子さんについて、小学校（1～4年生）のうちは、放課後（平日の小学校、支援学校等終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）また、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。
「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）時間は必ず（例）17時 のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が52.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が51.4%、「自宅」の割合が48.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「すくすく教室（放課後子ども教室）」の割合が減少しています。



※前回は1年生～3年生までの設問です。

小学校（1～4年生）の理想の放課後の過ごし方

小学校（1～4年生）の理想の放課後の過ごし方をみると、他に比べ、5. すくすく教室（放課後子ども教室）で「1日」の割合が、3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で「2日」の割合が高くなっています。また、6. 放課後児童クラブ（学童保育）で「5日」の割合が高くなっています。

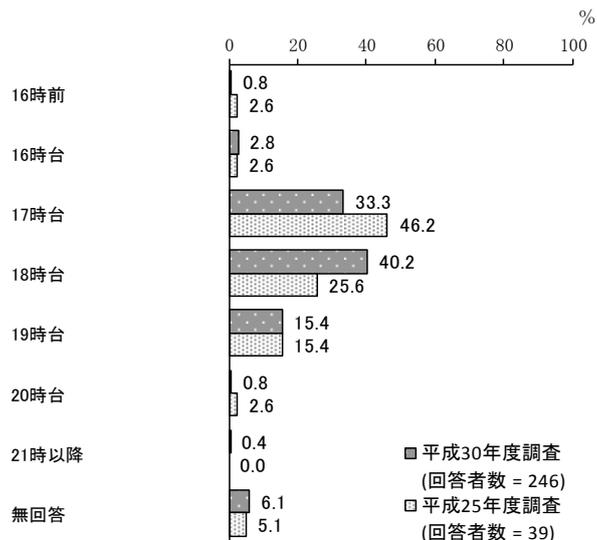
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	446	15.2	25.1	23.3	7.0	21.1	0.4	2.0	5.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	163	51.5	30.7	8.0	-	4.3	-	-	5.5
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	474	39.5	45.4	10.1	1.7	0.6	-	-	2.7
4. 児童館	56	35.7	21.4	7.1	3.6	19.6	1.8	-	10.7
5. すくすく教室(放課後子ども教室)	347	74.1	14.4	2.3	0.6	4.9	-	-	3.7
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	483	3.3	5.0	17.2	12.2	57.3	2.1	-	2.9
7. ファミリーサポートセンター	9	22.2	22.2	-	-	44.4	-	-	11.1
8. 放課後等デイサービス	20	45.0	25.0	15.0	5.0	5.0	-	-	5.0
9. その他	146	37.7	34.2	17.8	2.1	3.4	-	-	4.8

放課後児童クラブ（学童保育） 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 33.3%、「19 時台」の割合が 15.4%となっています。

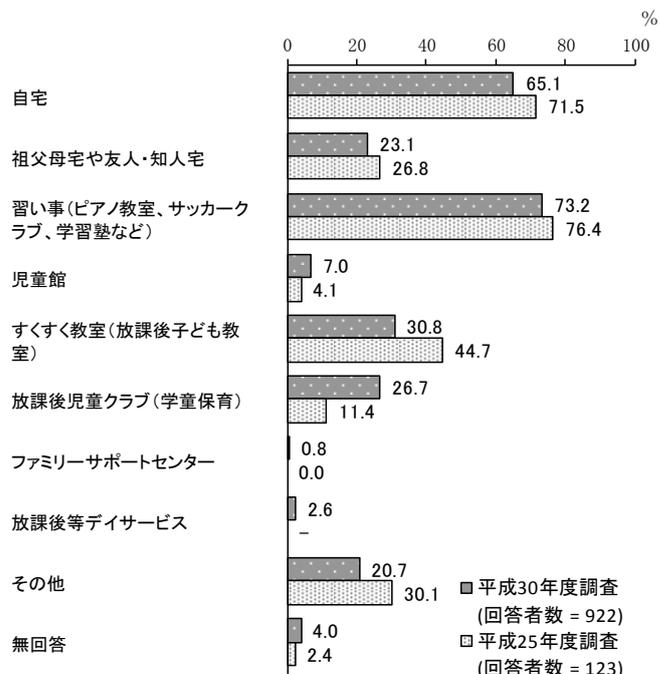
平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。



問 42 お子さんについて、小学校高学年（5、6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。「6. 放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）時間は、必ず（例）17時 のように24時間制でご記入ください。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 73.2%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 65.1%、「すくすく教室（放課後子ども教室）」の割合が 30.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「すくすく教室（放課後子ども教室）」の割合が減少しています。



※前回は4年生～6年生までの設問です。

小学校高学年（5、6年生）の理想の放課後の過ごし方

小学校高学年（5、6年生）の理想の放課後の過ごし方をみると、他に比べ、5. すくすく教室（放課後子ども教室）で「1日」の割合が、3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で「2日」の割合が高くなっています。また、6. 放課後児童クラブ（学童保育）で「5日」の割合が高くなっています。

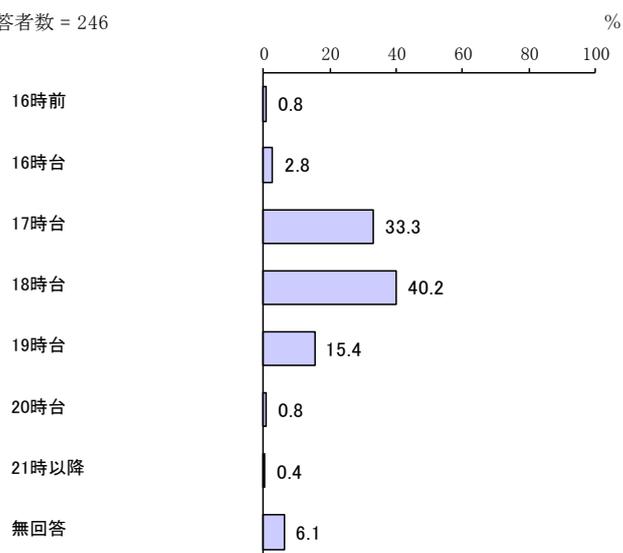
単位：%

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	600	18.2	25.8	19.7	7.0	21.8	0.7	1.2	5.7
2. 祖父母宅や友人・知人宅	213	53.1	23.0	8.9	1.4	6.1	0.9	-	6.6
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	675	22.4	44.3	24.3	3.7	1.8	-	-	3.6
4. 児童館	65	47.7	9.2	12.3	1.5	12.3	3.1	-	13.8
5. すくすく教室(放課後子ども教室)	284	71.8	15.1	4.2	-	4.6	-	-	4.2
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	246	9.3	19.1	21.5	8.1	36.6	1.2	-	4.1
7. ファミリーサポートセンター	7	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-	-	28.6
8. 放課後等デイサービス	24	25.0	20.8	25.0	-	16.7	-	-	12.5
9. その他	191	30.9	35.6	14.1	3.1	9.4	0.5	-	6.3

放課後児童クラブ（学童保育） 利用終了時刻

「18時台」の割合が40.2%と最も高く、次いで「17時台」の割合が33.3%、「19時台」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 246

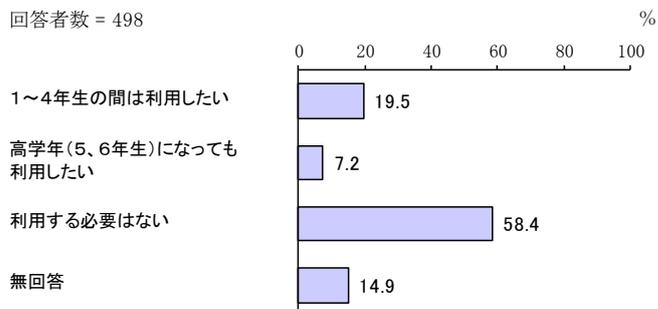


問 43 問 41 または問 42 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（土曜日、日曜・祝日ごとに○は1つ）利用希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）時間は、必ず（例）09時～17時 のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

ア 土曜日

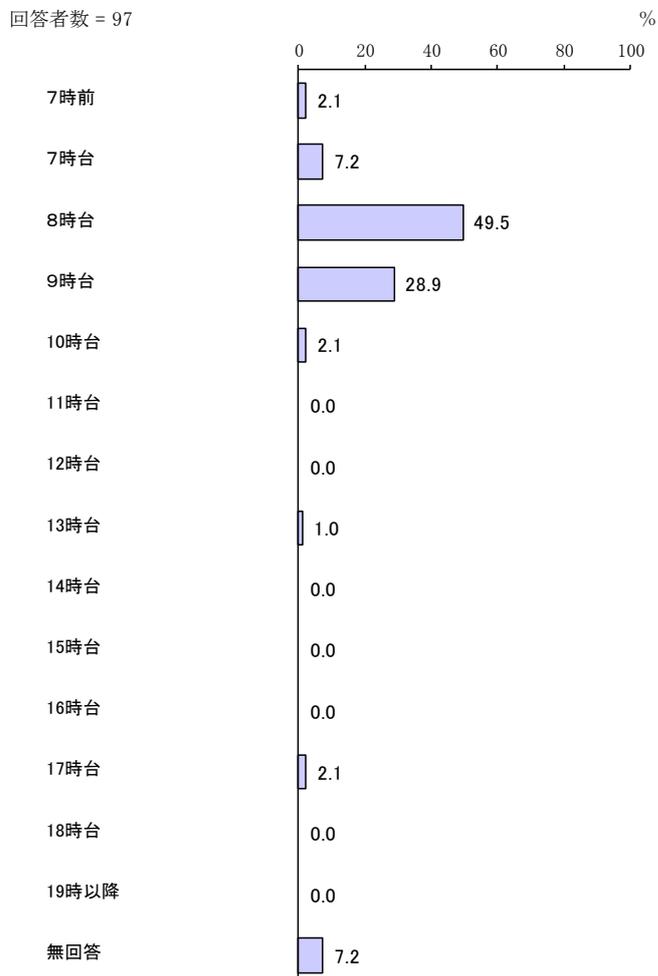
「利用する必要はない」の割合が58.4%と最も高く、次いで「1～4年生の間は利用したい」の割合が19.5%となっています。



(ア) 1～4年生の間は利用したい

①利用開始時間

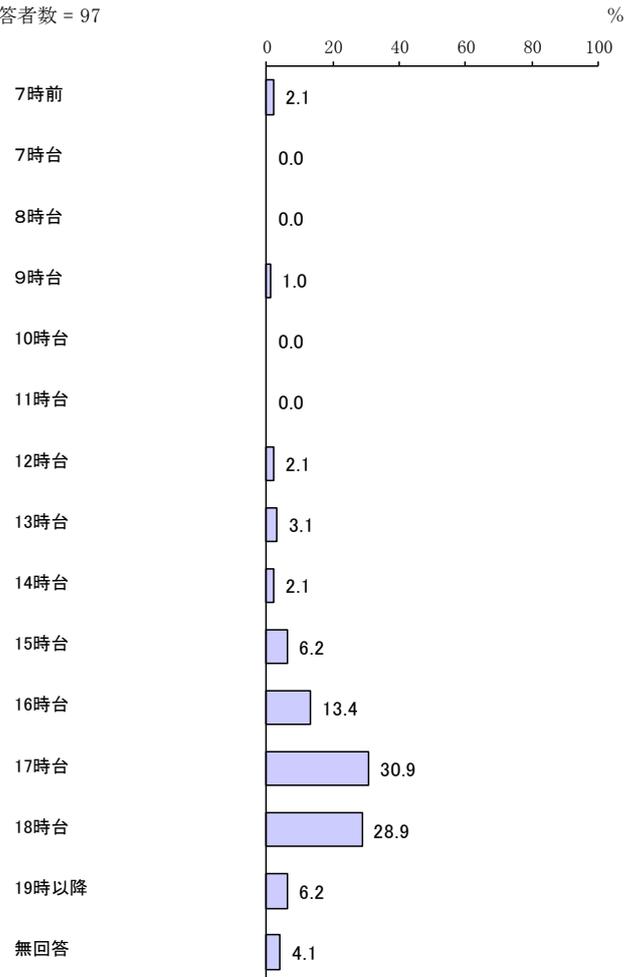
「8時台」の割合が49.5%と最も高く、次いで「9時台」の割合が28.9%となっています。



②利用終了時間

「17 時台」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 28.9%、「16 時台」の割合が 13.4%となっています。

回答者数 = 97

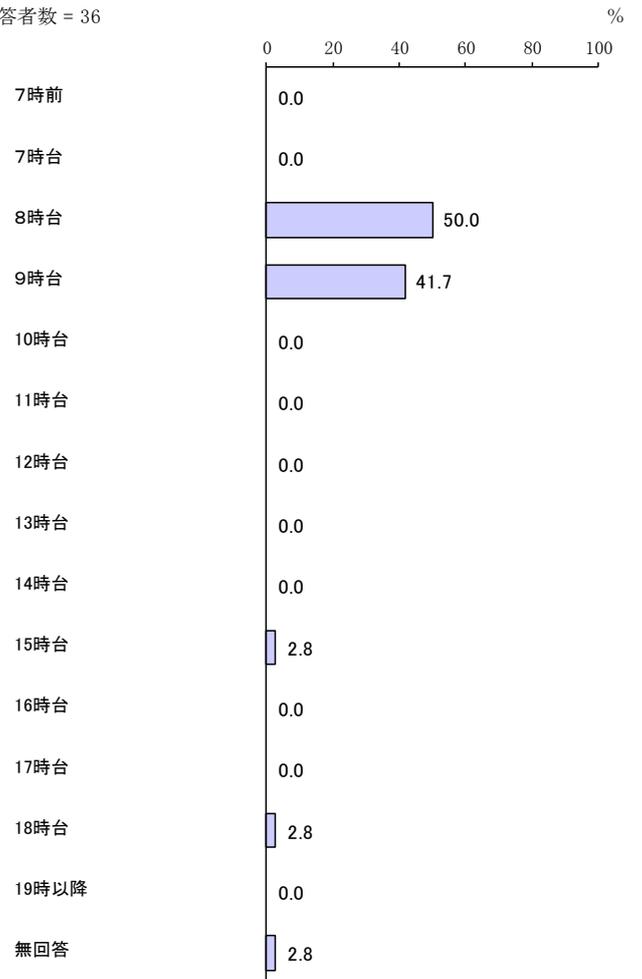


(イ) 高学年（5、6年生）になっても利用したい

①利用開始時間

「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が41.7%となっています。

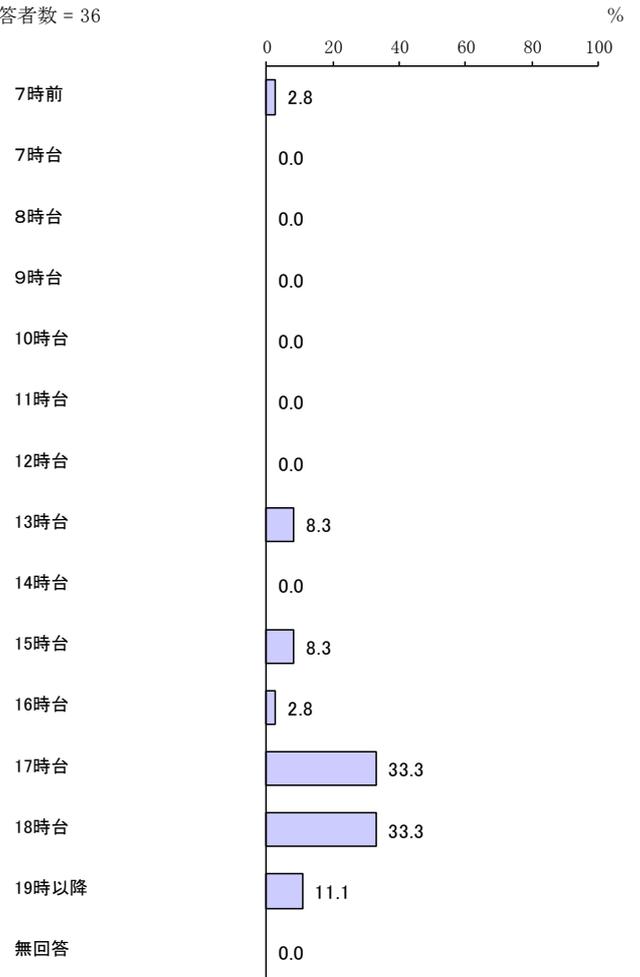
回答者数 = 36



②利用終了時間

「17時台」、「18時台」の割合が33.3%と最も高く、次いで「19時以降」の割合が11.1%となっています。

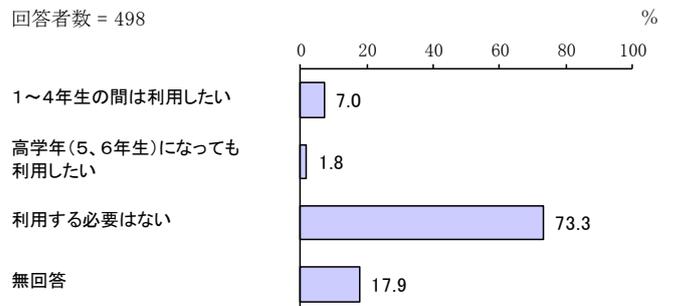
回答者数 = 36



イ 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が73.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 498

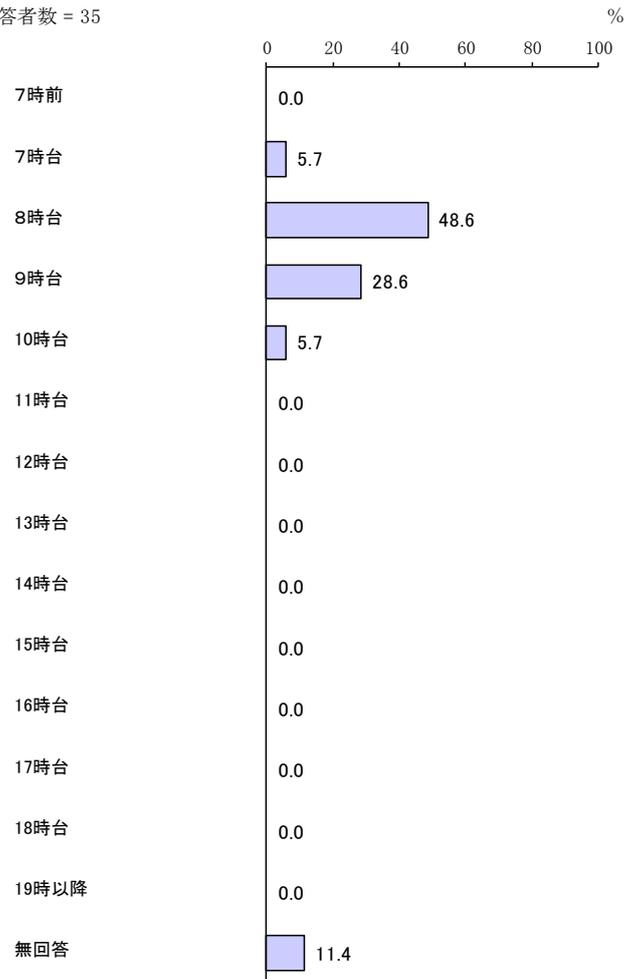


(ア) 1～4年生の間は利用したい

①利用開始時間

「8時台」の割合が48.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が28.6%となっています。

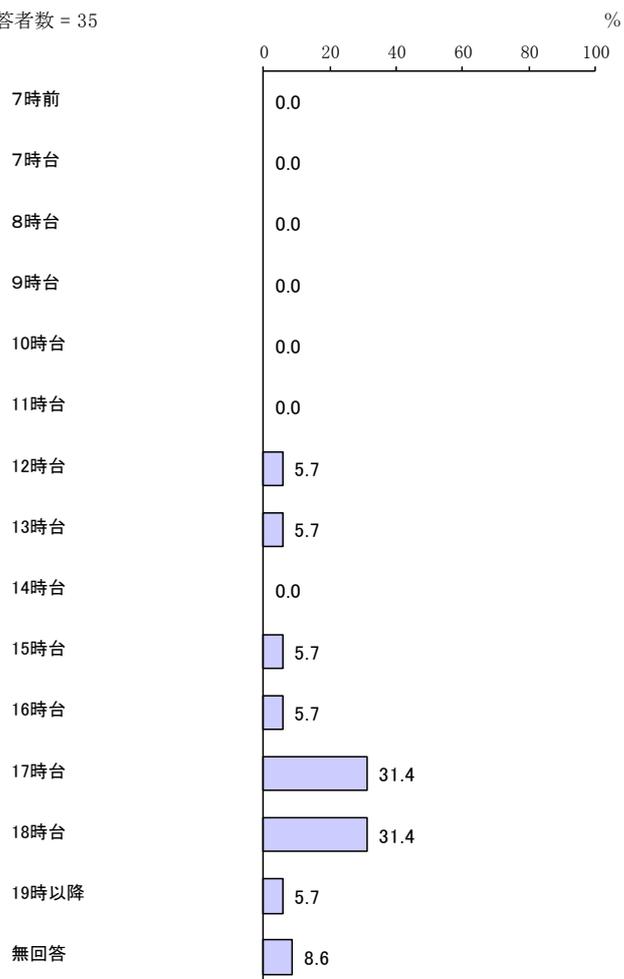
回答者数 = 35



②利用終了時間

「17時台」、「18時台」の割合が31.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 35



(イ) 高学年 (5、6年生) になっても利用したい

①利用開始時間

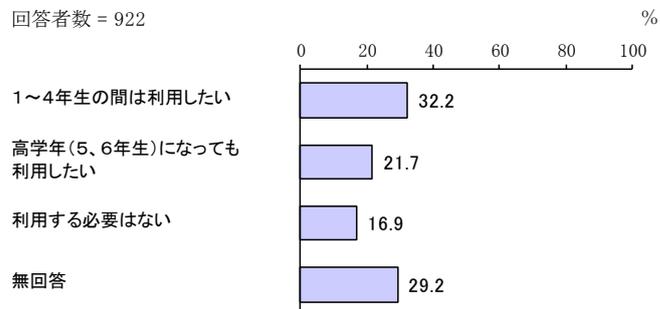
「8時台」、「9時台」が4件となっています。

②利用終了時間

「18時台」が3件となっています。「15時台」、「17時台」、「19時以降」が2件となっています。

問 44 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ) 利用希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。(数字は一枠に一字) 時間は、必ず(例) 09時～17時 のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

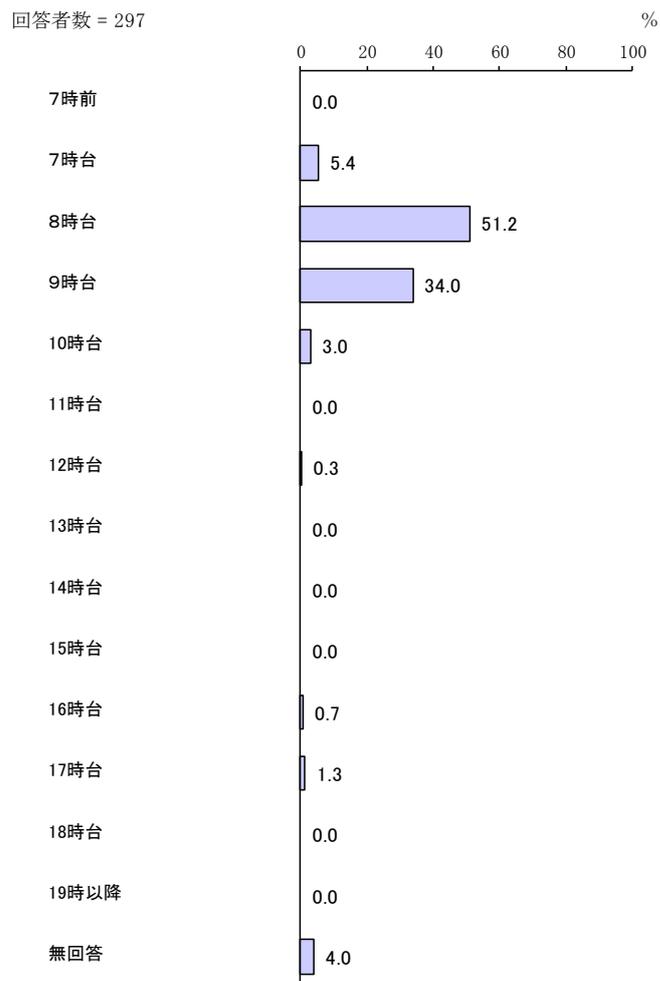
「1～4年生の間は利用したい」の割合が32.2%と最も高く、次いで「高学年(5、6年生)になっても利用したい」の割合が21.7%、「利用する必要はない」の割合が16.9%となっています。



ア 1～4年生の間は利用したい

①利用開始時間

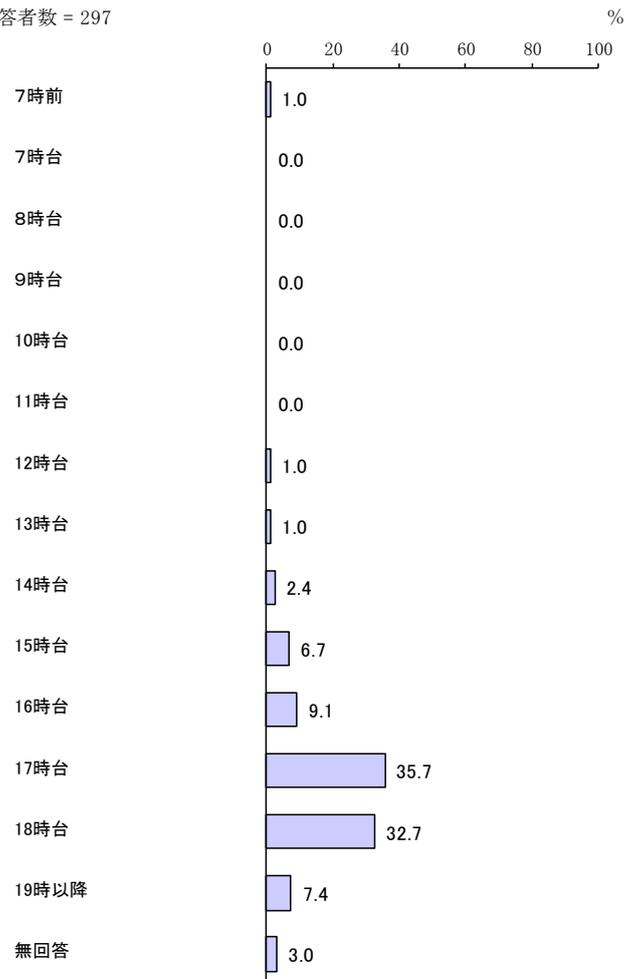
「8時台」の割合が51.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が34.0%となっています。



②利用終了時間

「17 時台」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 32.7%となっています。

回答者数 = 297

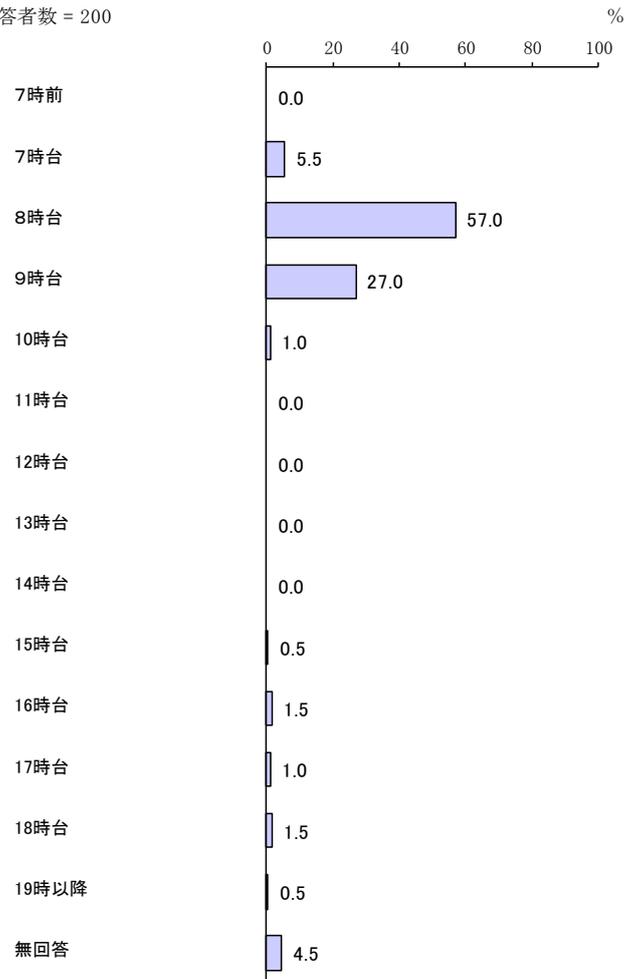


イ 高学年（5、6年生）になっても利用したい

①利用開始時間

「8時台」の割合が57.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.0%となっています。

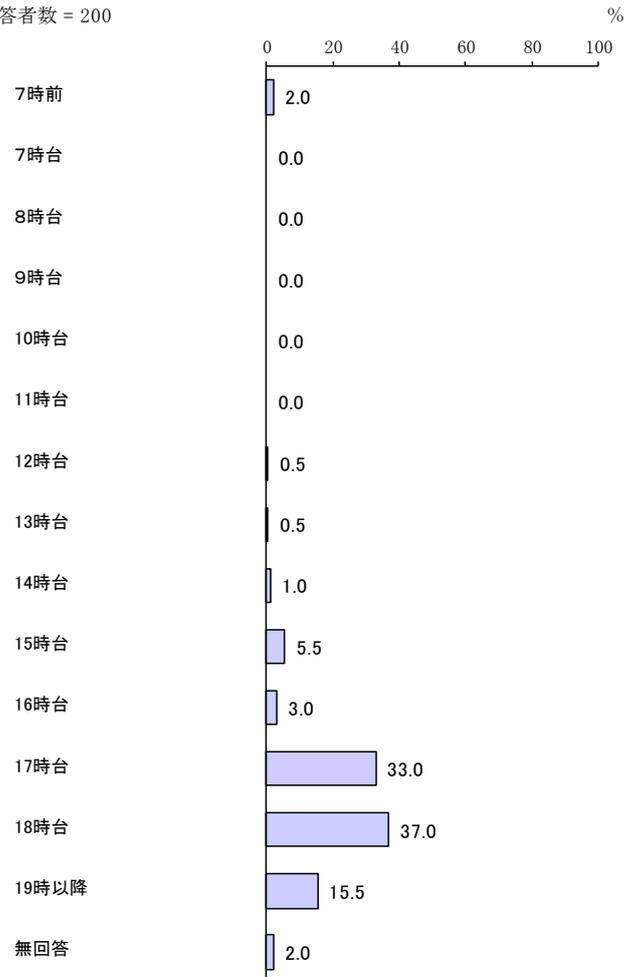
回答者数 = 200



②利用終了時間

「18 時台」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 33.0%、「19 時以降」の割合が 15.5%となっています。

回答者数 = 200

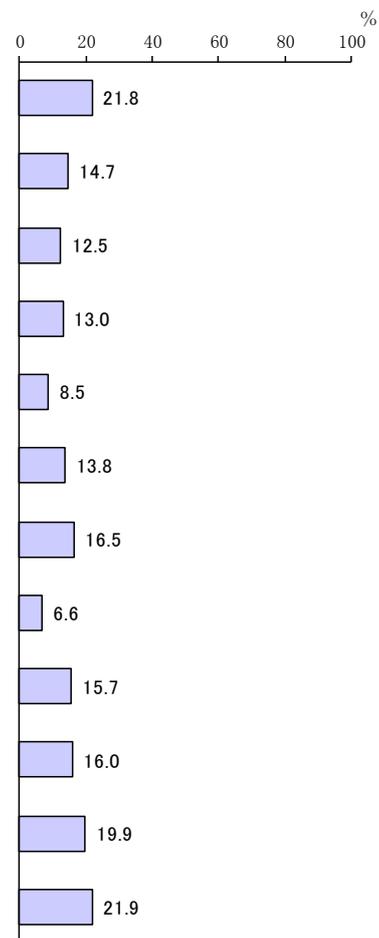


問 45 問 41 または問 42 で「4. 児童館」「5. すくすく教室（放課後子ども教室）」
 「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
 放課後の居場所について心配だと思うことは何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

「活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない」の割合が 21.8% と最も高く、次いで「特にない」の割合が 19.9%、「運営スタッフの目が十分に行き届いていない」の割合が 16.5% となっています。

回答者数 = 702

- 活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない
- 運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない
- 体験活動の実施される回数が少ない
- 子どもが望むような体験活動が少ない
- 決められた体験活動が多く、子どもが自由に過ごせない
- 高学年の子どもが、参加しやすい(参加したくなる)活動が少ない
- 運営スタッフの目が十分に行き届いていない
- 運営スタッフと子どもへの対応の仕方や子育てについての考え方が合わない
- 開設時間が短い
- 経済的負担(保険料・利用料など)がかかり過ぎる
- 特にない
- 無回答

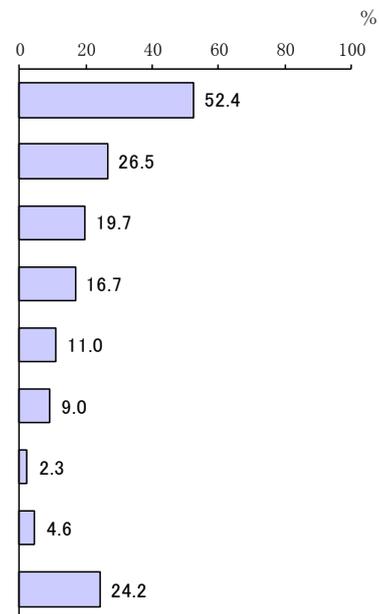


問 46 お子さんの放課後に必要と思うものは何ですか。(○は2つまで)

「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が 52.4% と最も高く、次いで「学びのきっかけとなる体験活動」の割合が 26.5%、「自由遊び」の割合が 19.7% となっています。

回答者数 = 702

- 大人の見守りによる安全・安心な居場所
- 学びのきっかけとなる体験活動
- 自由遊び
- 宿題の支援
- 学力を高めるための学習支援
- 運動系の習い事
- 文化系の習い事
- 将来の職業の参考になる体験活動
- 無回答

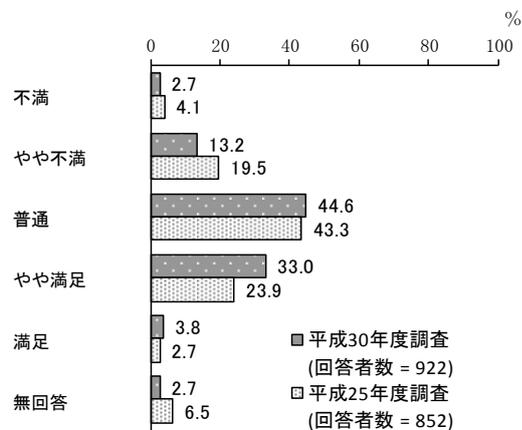


(12) 子育て支援対策の全般とその他について

問 47 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について○をつけてください。(○は1つ)

「普通」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 33.0%、「やや不満」の割合が 13.2%となっています。

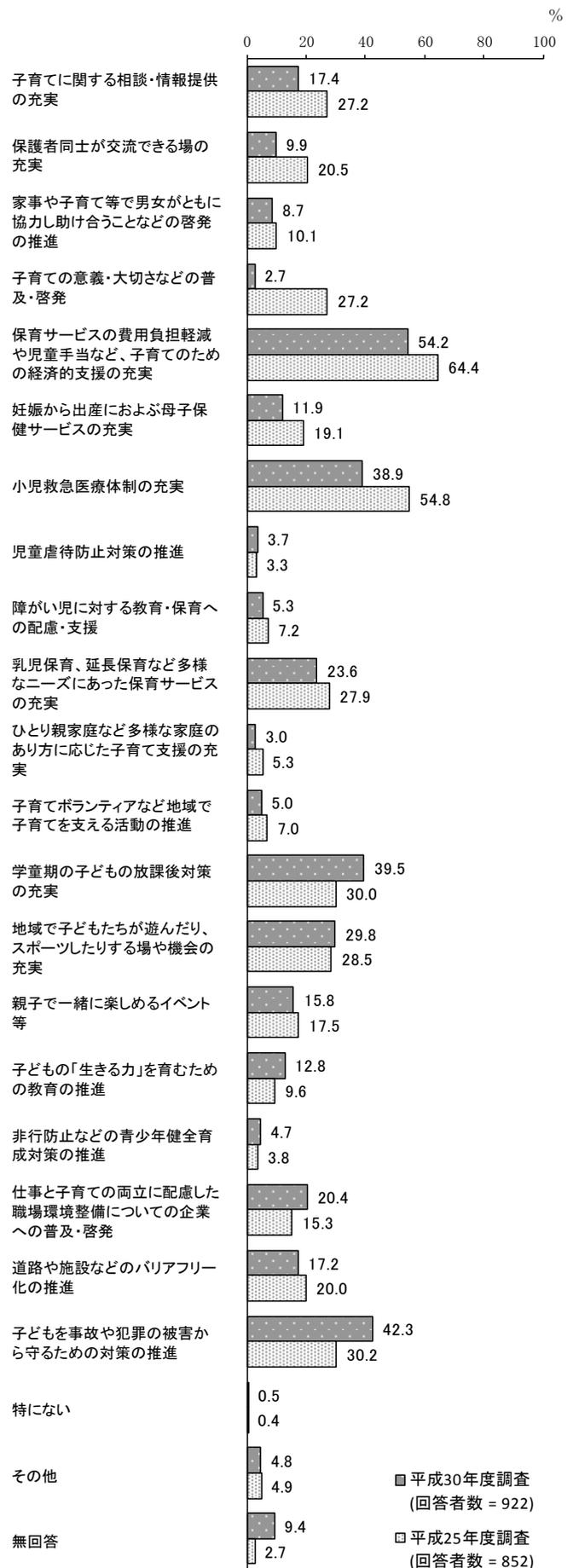
平成 25 年度調査と比較すると、「やや満足」の割合が増加しています。一方、「やや不満」の割合が減少しています。



問 48 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを特に期待しますか。
(〇は5つまで)

「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」の割合が54.2%と最も高く、次いで「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」の割合が42.3%、「学童期の子ども放課後対策の充実」の割合が39.5%となっています。

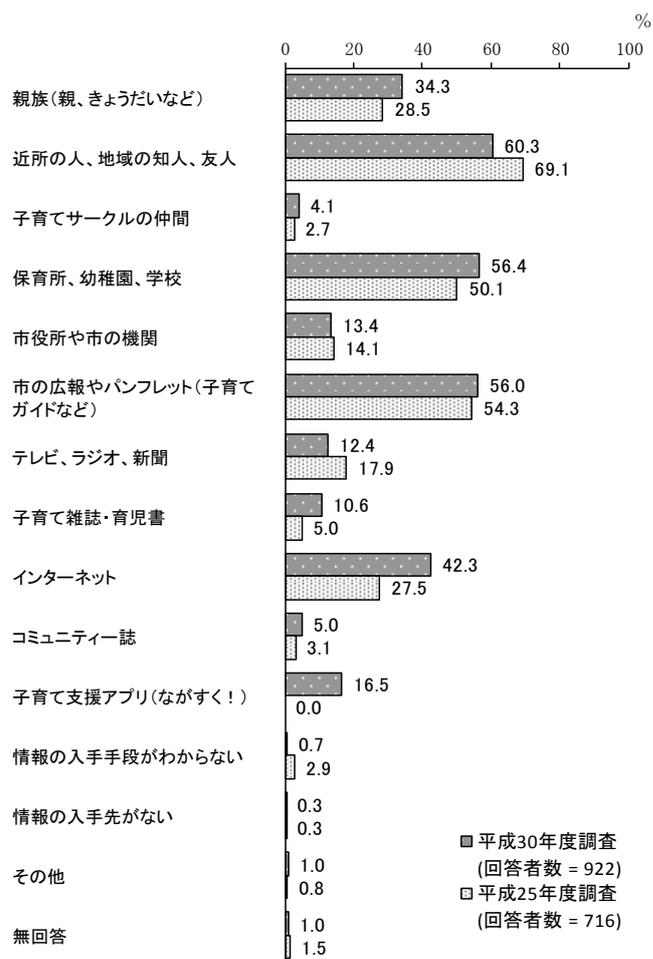
平成25年度調査と比較すると、「学童期の子ども放課後対策の充実」「仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発」「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」の割合が増加しています。一方、「子育てに関する相談・情報提供の充実」「保護者同士が交流できる場の充実」「子育ての意義・大切さなどの普及・啓発」「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」「妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実」「小児救急医療体制の充実」の割合が減少しています。



問 49 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。
(〇はいくつでも)

「近所の人、地域の知人、友人」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「保育所、幼稚園、学校」の割合が 56.4%、「市の広報やパンフレット（子育てガイドなど）」の割合が 56.0%となっています。

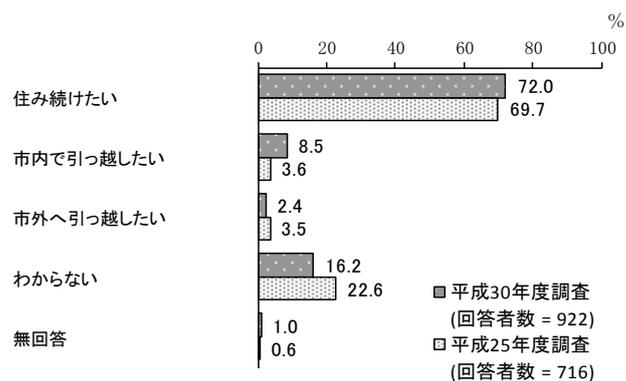
平成 25 年度調査と比較すると、「親族（親、きょうだいなど）」「保育所、幼稚園、学校」「子育て雑誌・育児書」「インターネット」「子育て支援アプリ（ながすく！）」の割合が増加しています。一方、「近所の人、地域の知人、友人」「テレビ、ラジオ、新聞」の割合が減少しています。



問 50 お子さんが就学した後のお住まいの場所について、どうお考えですか。
(〇は1つ)

「住み続けたい」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 16.2%となっています。

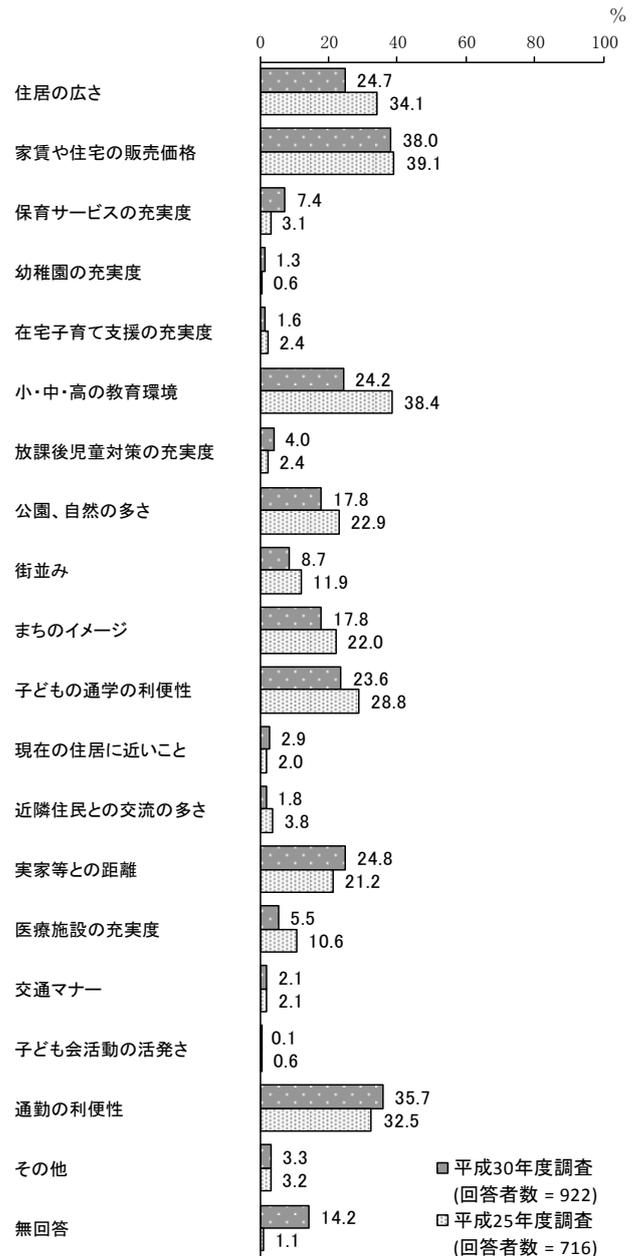
平成 25 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が減少しています。



問 50-2 住む場所を選ぶ際、どんなことを特に重視しますか。(〇は3つまで)

「家賃や住宅の販売価格」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「通勤の利便性」の割合が 35.7%、「実家等との距離」の割合が 24.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「住居の広さ」「小・中・高の教育環境」「公園、自然の多さ」「子どもの通学の利便性」「医療施設の充実度」の割合が減少しています。

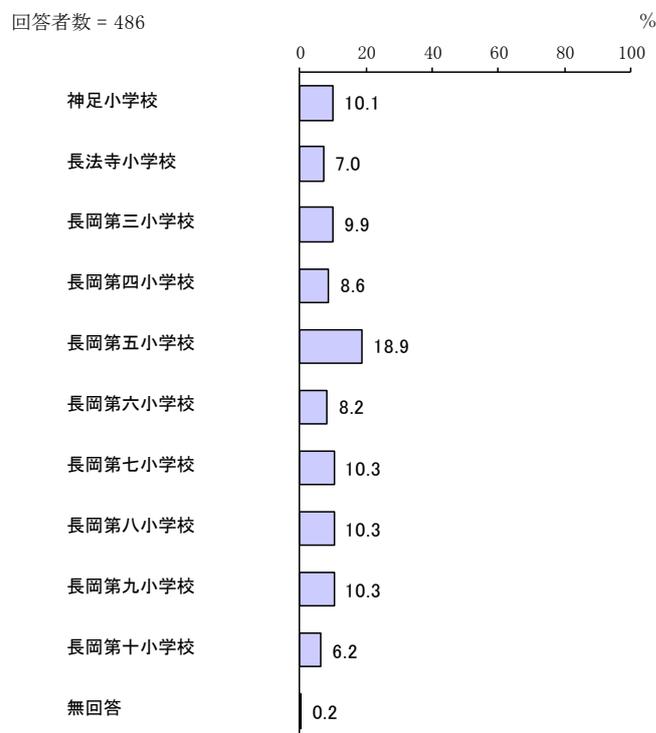


2 小学生児童

(1) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

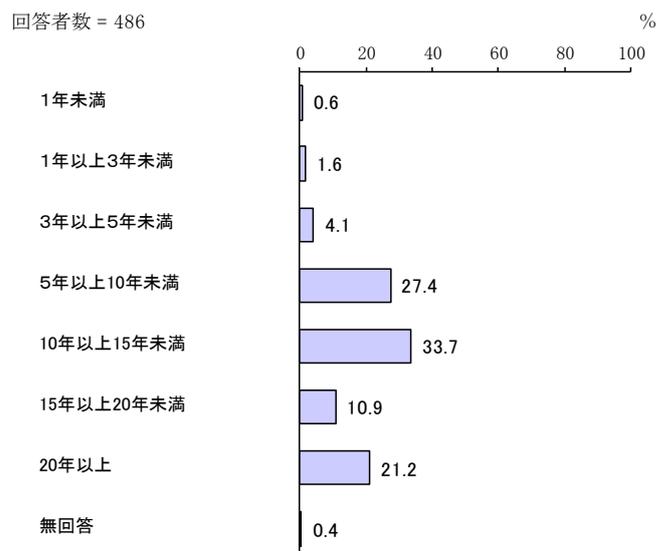
問1 お住まいの地域の小学校区はどこですか。(○は1つ)

「長岡第五小学校」の割合が18.9%と最も高く、次いで「長岡第七小学校」、「長岡第八小学校」、「長岡第九小学校」の割合が10.3%となっています。



問2 長岡京市にお住まいになって、通算して何年になりますか。(○は1つ)

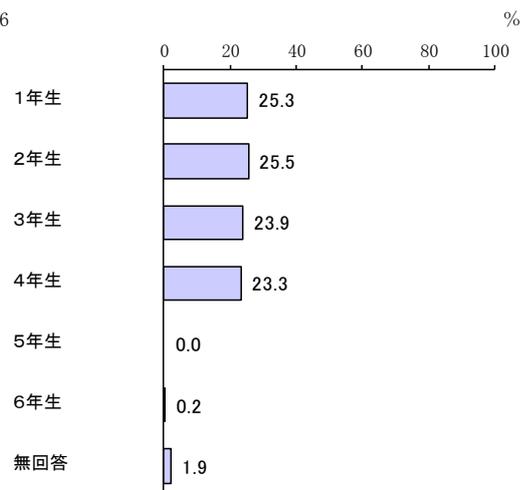
「10年以上15年未満」の割合が33.7%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」の割合が27.4%、「20年以上」の割合が21.2%となっています。



問3 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

「2年生」の割合が25.5%と最も高く、次いで「1年生」の割合が25.3%、「3年生」の割合が23.9%となっています。

回答者数 = 486

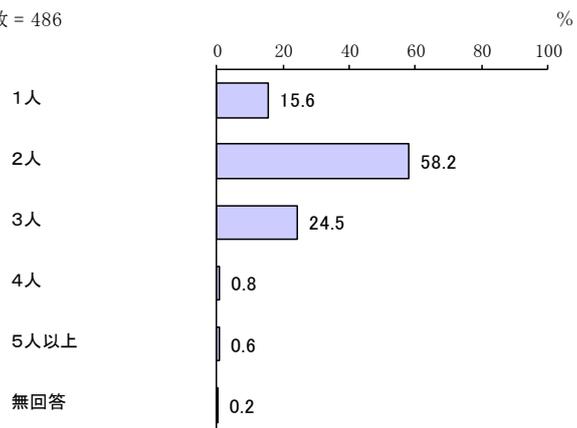


問4 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月についてもご記入ください。

ア 子どもの数

「2人」の割合が58.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が24.5%、「1人」の割合が15.6%となっています。

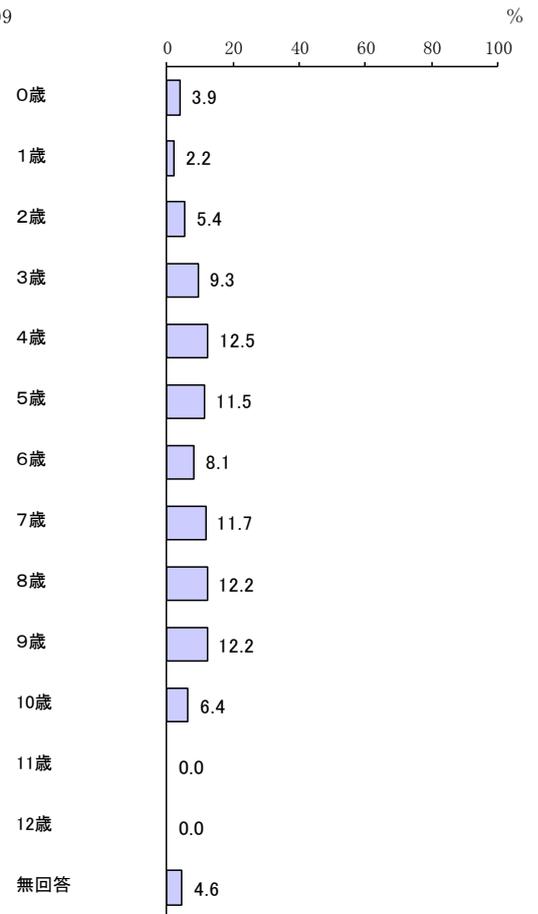
回答者数 = 486



イ 末子の年齢（平成 30 年 10 月 1 日時点）

「4歳」の割合が 12.5%と最も高く、次いで「8歳」、「9歳」の割合が 12.2%となっています。

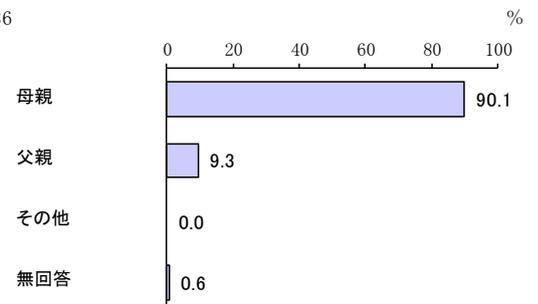
回答者数 = 409



問 5 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

「母親」の割合が 90.1%、「父親」の割合が 9.3%となっています。

回答者数 = 486

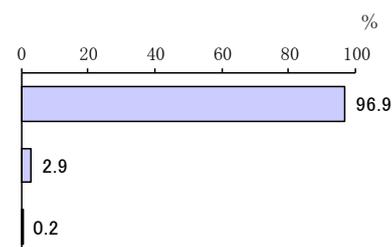


問6 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
(○は1つ)

「配偶者・パートナーがいる」の割合が96.9%、
「配偶者・パートナーがいない」の割合が2.9%
となっています。

回答者数 = 486

配偶者・パートナーがいる
配偶者・パートナーがいない
無回答



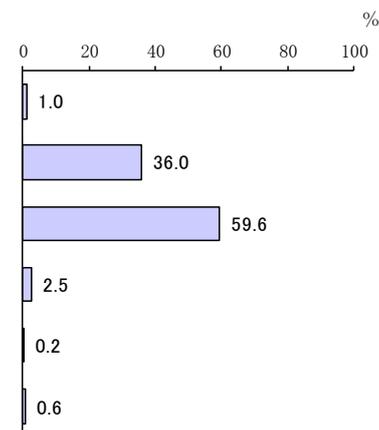
問7 母親、父親の該当する年齢階層に○をつけてください。
(母親、父親、それぞれ○は1つ)

ア 母親

「40歳代」の割合が59.6%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が36.0%となっています。

回答者数 = 483

20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳以上
無回答

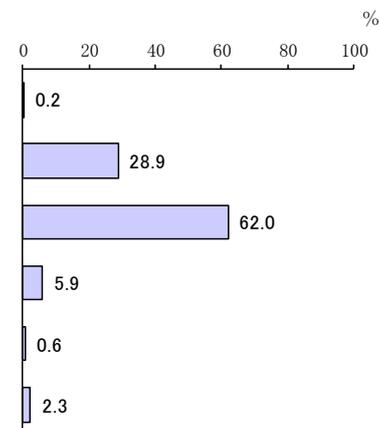


イ 父親

「40歳代」の割合が62.0%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が28.9%となっています。

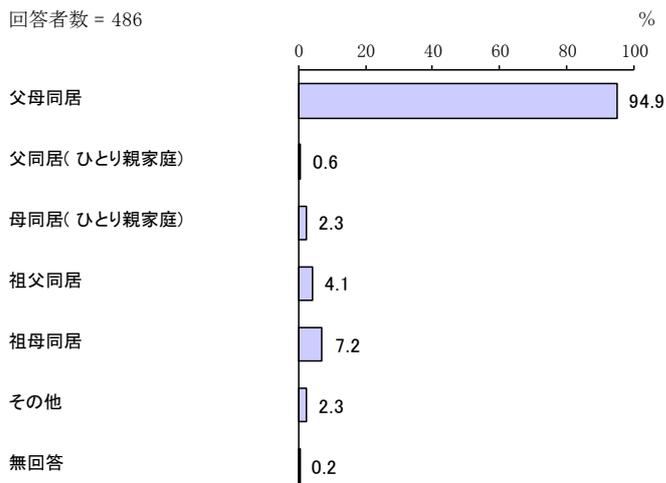
回答者数 = 474

20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳以上
無回答



問8 お子さんの同居の状況はどれにあたりますか。続柄はお子さんからみた関係です。(○はいくつでも)

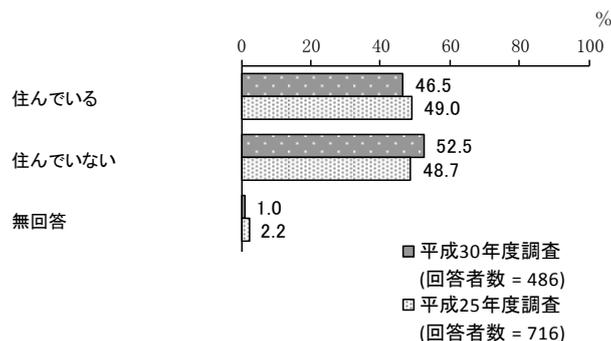
「父母同居」の割合が94.9%と最も高くなっています。



問9 子どもさんの祖父母が近くにお住まいですか。(○は1つ)

「住んでいる」の割合が46.5%、「住んでいない」の割合が52.5%となっています。

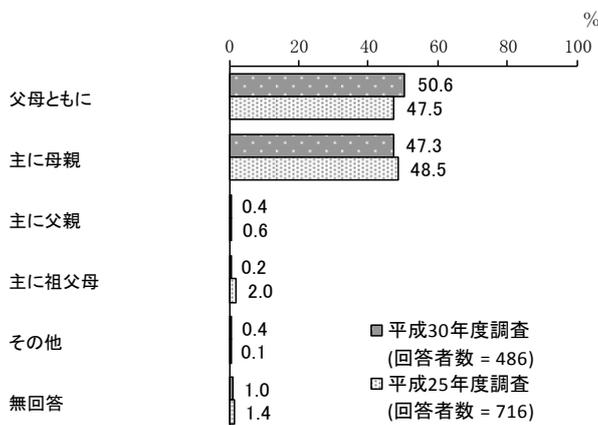
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問10 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。続柄はお子さんからみた関係です。(○は1つ)

「父母ともに」の割合が50.6%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が47.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

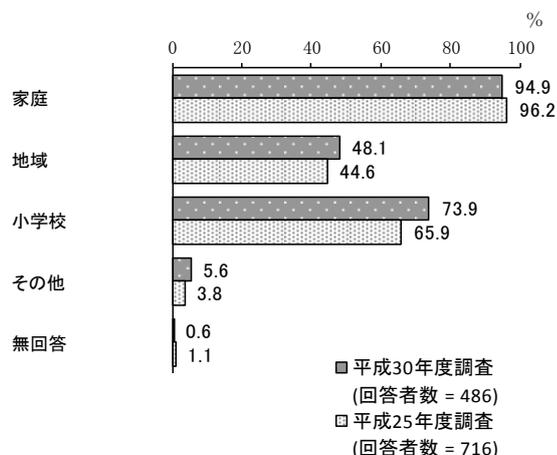


(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問11 お子さんの子育てに、大きく影響すると思う環境はどれですか。
(〇はいくつでも)

「家庭」の割合が94.9%と最も高く、次いで「小学校」の割合が73.9%、「地域」の割合が48.1%となっています。

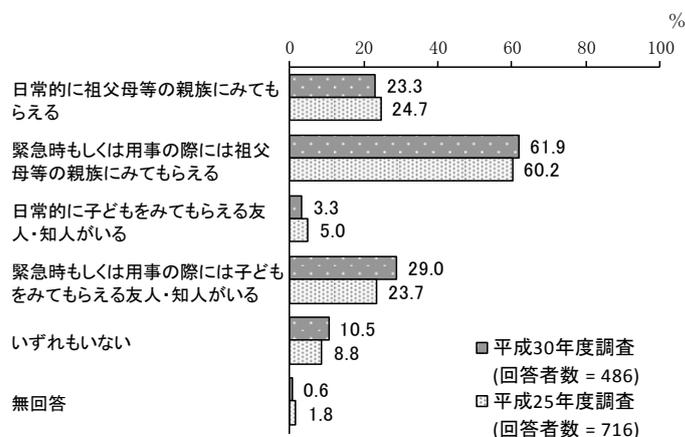
平成25年度調査と比較すると、「小学校」の割合が増加しています。



問12 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

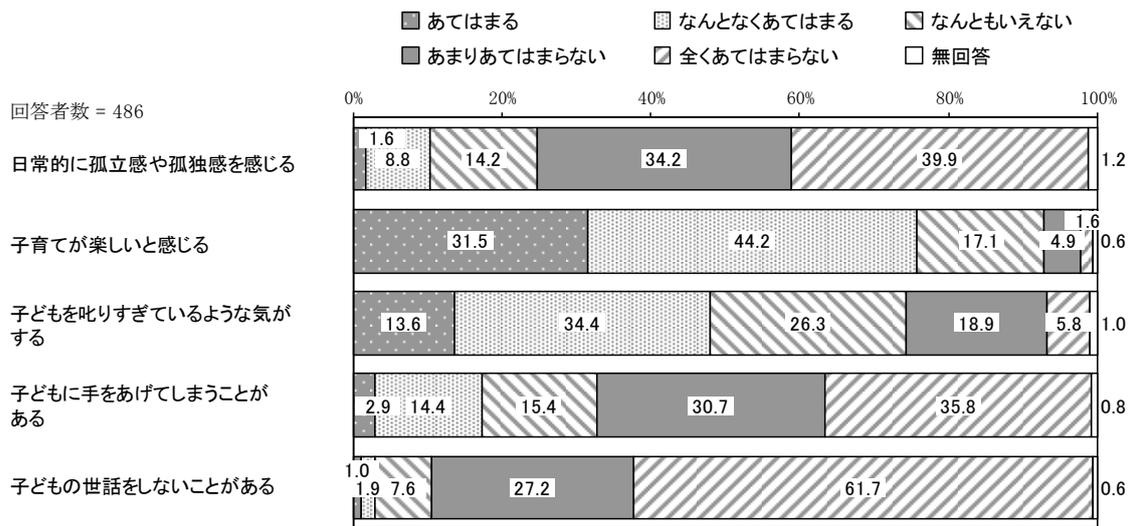
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が61.9%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が29.0%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が23.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が増加しています。



問 13 子育てをする中で、日頃次のようなことがあったり、感じたりすることはありますか。（それぞれについて○は1つ）

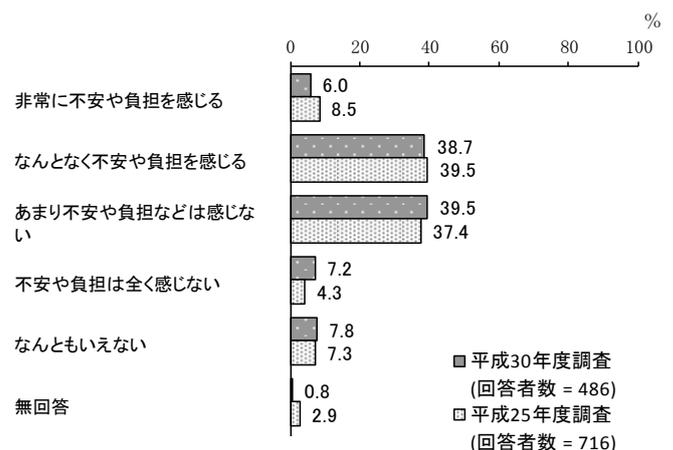
日頃感じることをみると、他に比べ、子育てが楽しいと感じるで「あてはまる」と「なんとなくあてはまる」をあわせた“あてはまる”の割合が、子どもを叱りすぎているような気がするで「なんともいえない」の割合が高くなっています。また、子どもの世話をしないことがあるで「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」をあわせた“あてはまらない”の割合が高くなっています。



問 14 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか。（○は1つ）

「あまり不安や負担などは感じない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が38.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【相談できる人・場所の有無別】

相談できる人・場所の有無別でみると、いる／あるに比べ、いない／ないで「非常に不安や負担を感じる」「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が高くなっています。

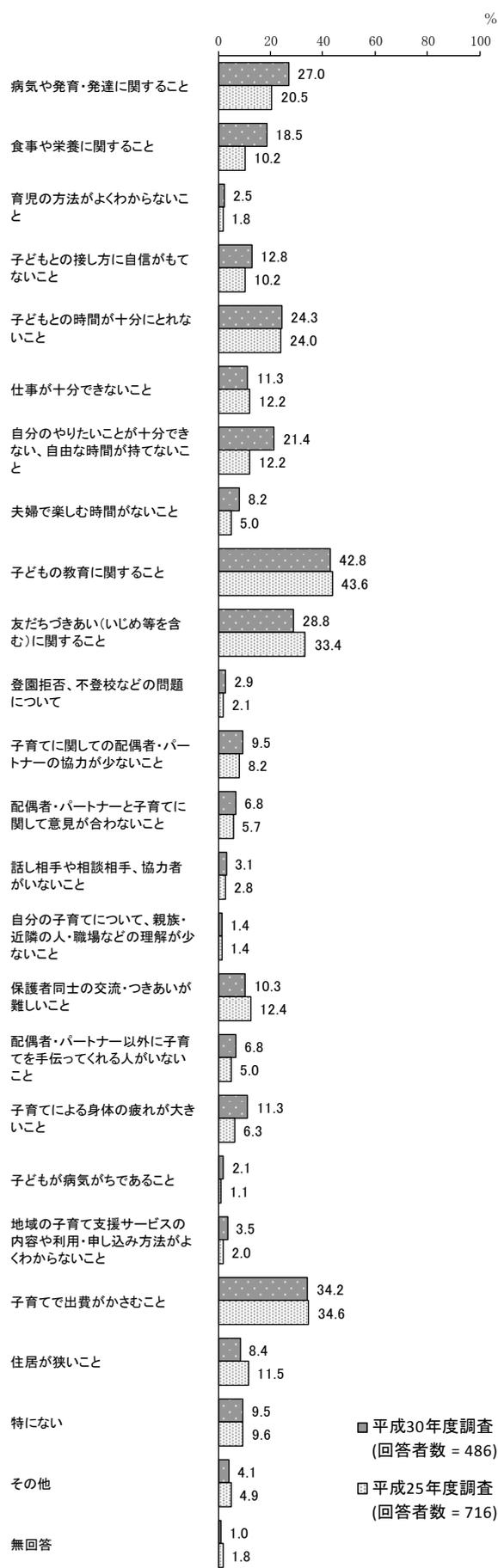
単位：％

区分	有効回答数 (件)	非常に不安や負担 を感じる	なんとなく不安や 負担を感じる	あまり不安や負担 などは感じない	不安や負担は全く 感じない	なんともいえない	無回答
いる／ある	449	4.5	38.1	41.2	7.6	7.8	0.9
いない／ない	35	22.9	45.7	20.0	2.9	8.6	—

問 15 子育てに関して、日常悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「子どもの教育に関すること」の割合が 42.8% と最も高く、次いで「子育てで出費がかさむこと」の割合が 34.2%、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」の割合が 28.8% となっています。

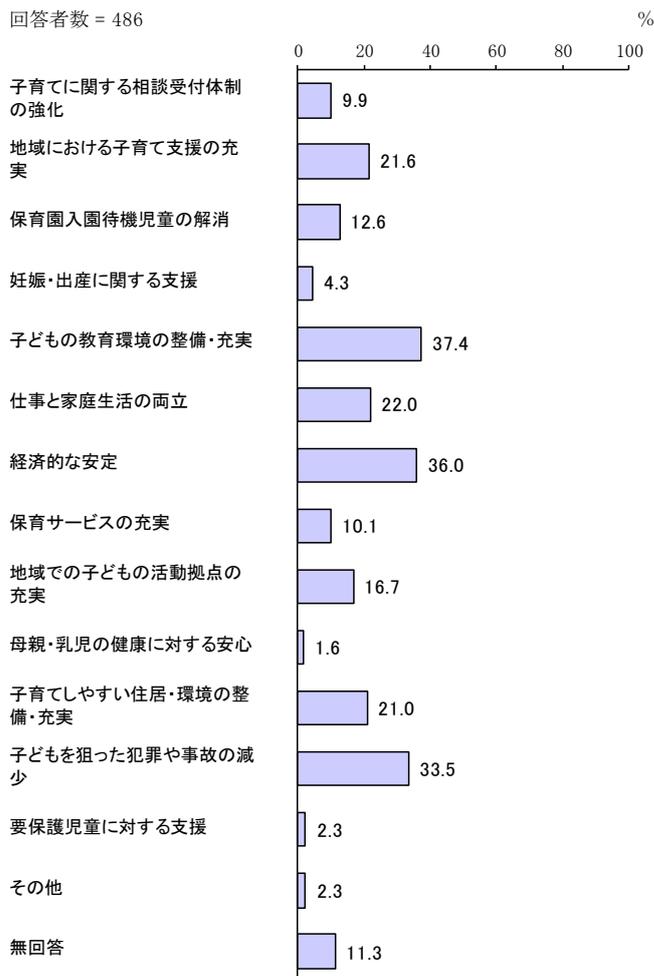
平成 25 年度調査と比較すると、「病気や発育・発達に関すること」「食事や栄養に関すること」「自分のやりたいことが十分できない、自由な時間が持てないこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が増加しています。



問 16 子育て支援について、特に重要な支援・対策は何だと思われますか。
(○は3つまで)

「子どもの教育環境の整備・充実」の割合が37.4%と最も高く、次いで「経済的な安定」の割合が36.0%、「子どもを狙った犯罪や事故の減少」の割合が33.5%となっています。

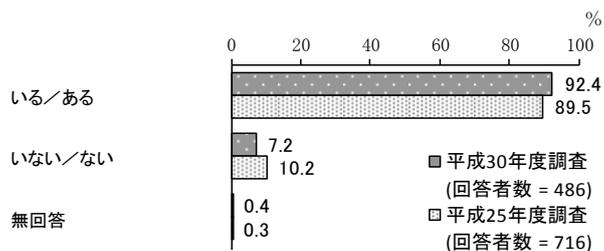
回答者数 = 486



問 17 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が92.4%、「いない／ない」の割合が7.2%となっています。

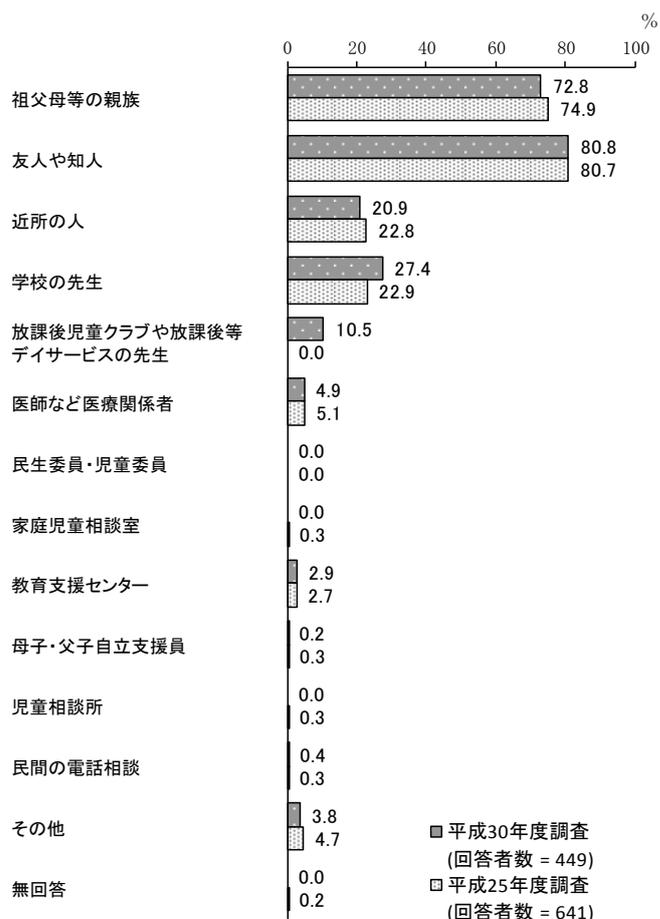
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 17-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

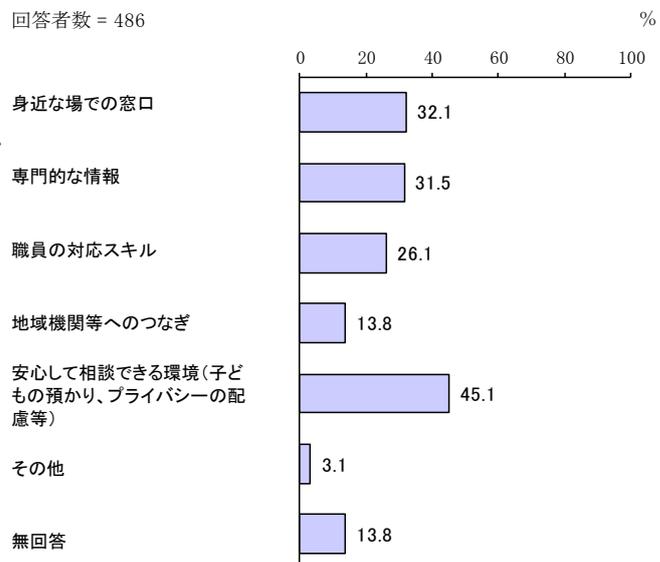
「友人や知人」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 72.8%、「学校の先生」の割合が 27.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「放課後児童クラブや放課後等デイサービスの先生」の割合が増加しています。



問 18 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。（〇は3つまで）

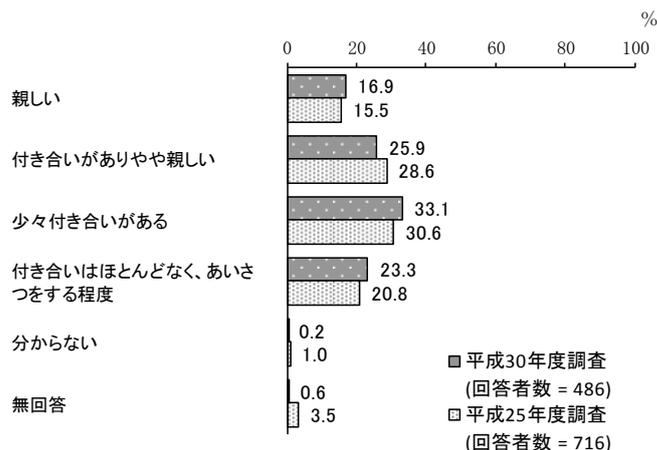
「安心して相談できる環境（子どもの預かり、プライバシーの配慮等）」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「身近な場での窓口」の割合が 32.1%、「専門的な情報」の割合が 31.5%となっています。



問 19 ご近所や地域の人々との付き合いはどうか。(○は1つ)

「少々付き合いがある」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「付き合いがありやや親しい」の割合が 25.9%、「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」の割合が 23.3%となっています。

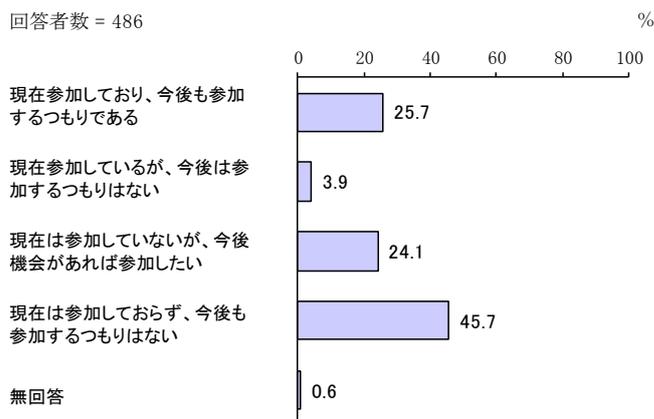
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 20 あなたは、PTAサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。(○は1つ)

「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「現在参加しており、今後も参加するつもりである」の割合が 25.7%、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が 24.1%となっています。

回答者数 = 486

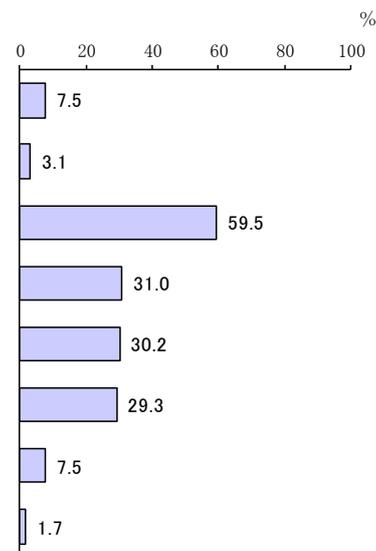


問 20-1 参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「活動に参加する余裕や時間がないから」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「気軽に参加したり、やめたりできないから」の割合が 31.0%、「人間関係がわずらわしいから」の割合が 30.2%となっています。

回答者数 = 358

- 活動の情報や参加方法を知らないから
- 身近な場所で参加できる活動がないから
- 活動に参加する余裕や時間がないから
- 気軽に参加したり、やめたりできないから
- 人間関係がわずらわしいから
- 特に必要を感じないから
- その他
- 無回答

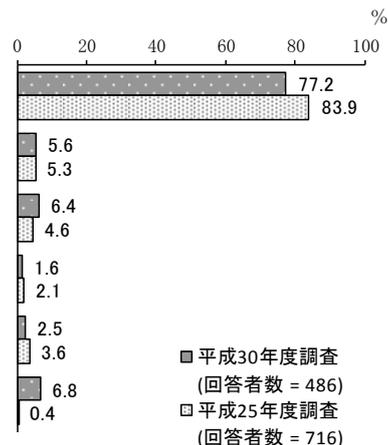


問 21 お子さんの休日や夜間の急病時には、どのように対応されていますか。
(最も当てはまるもの1つに○)

「休日応急診療所」の割合が 77.2%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「休日応急診療所」の割合が減少しています。

- 休日応急診療所
- かかりつけ医
- 電話相談
- 受診できる医療機関を知らない
- その他
- 無回答



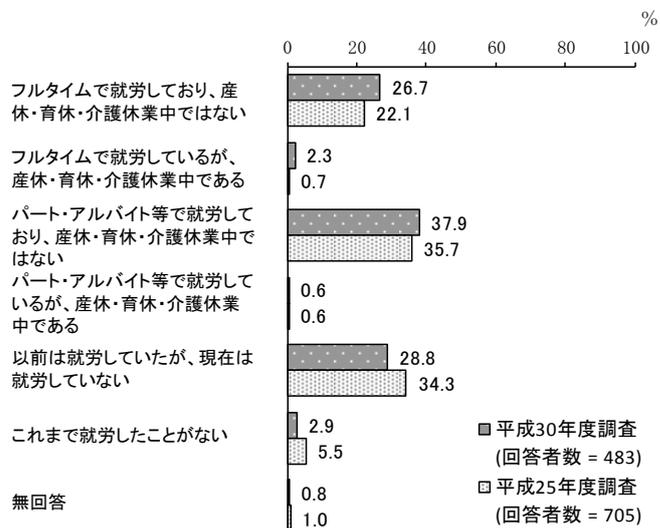
(3) お子さんの保護者の就労状況について

問 22 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（1～6の項目について、母親、父親それぞれに○は1つ）

ア 母親

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が37.9%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が28.8%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が26.7%となっています。

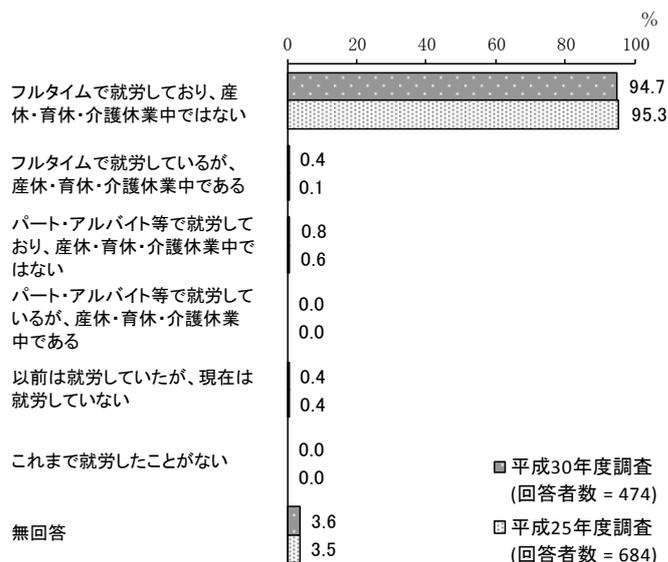
平成25年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



イ 父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が94.7%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

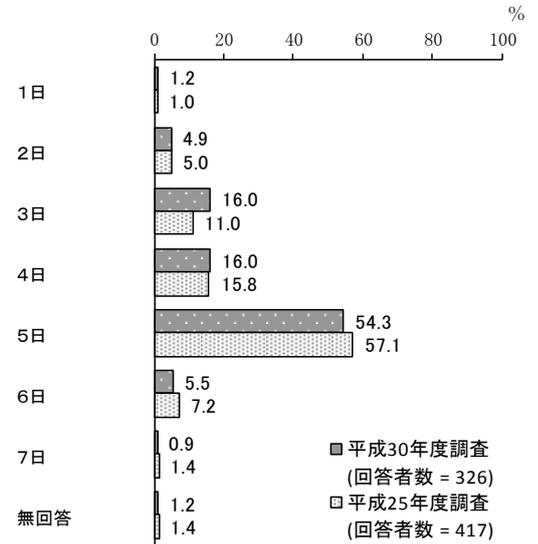


(1) - 1 母親と父親の週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を、口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

ア 母親

(ア) 1週あたり就労日数

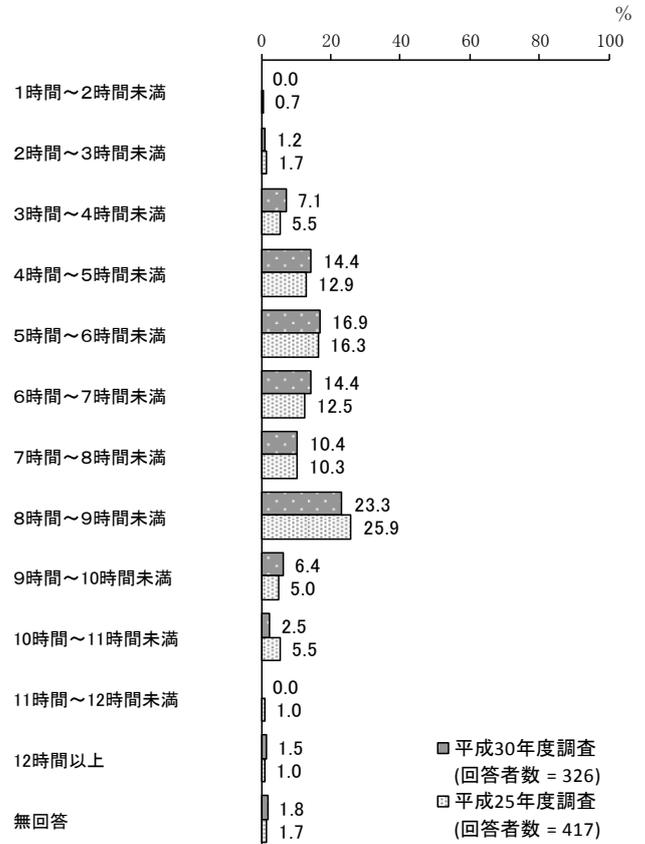
「5日」の割合が54.3%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が16.0%となっています。平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 1日あたり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が23.3%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が16.9%、「4時間～5時間未満」、「6時間～7時間未満」の割合が14.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

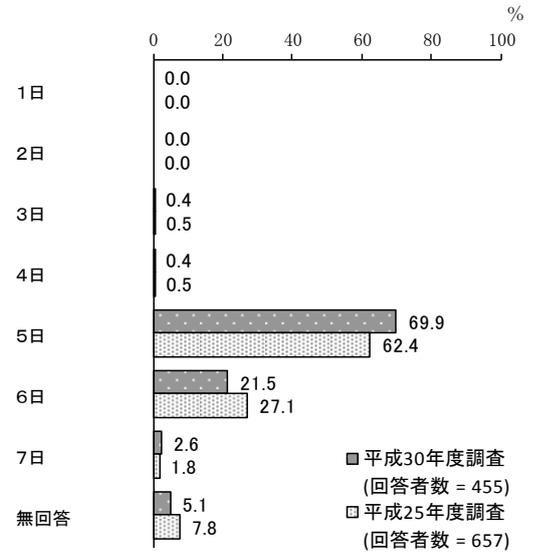


イ 父親

(ア) 1週あたり就労日数

「5日」の割合が69.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が21.5%となっています。

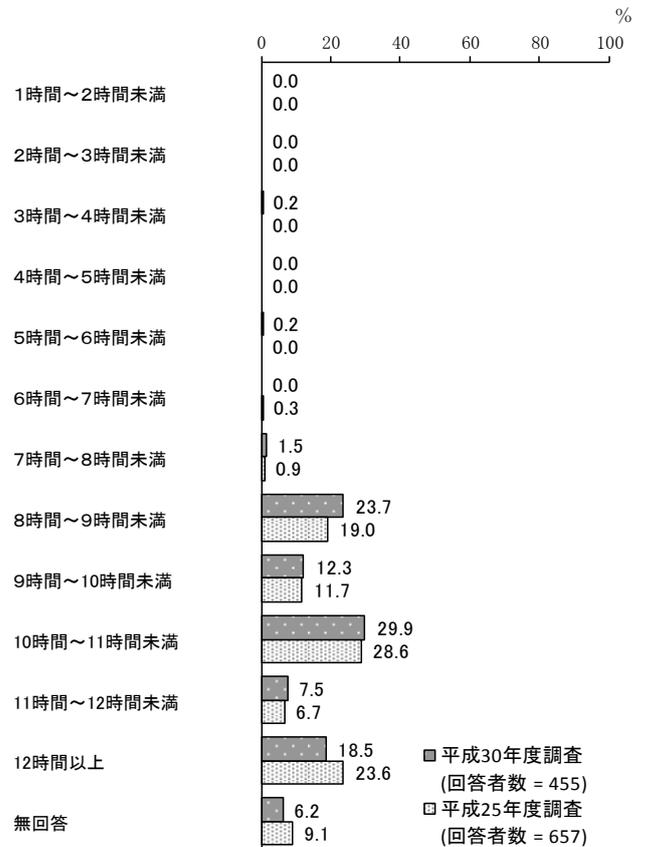
平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



(イ) 1日あたり就労時間

「10時間～11時間未満」の割合が29.9%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が23.7%、「12時間以上」の割合が18.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「12時間以上」の割合が減少しています。



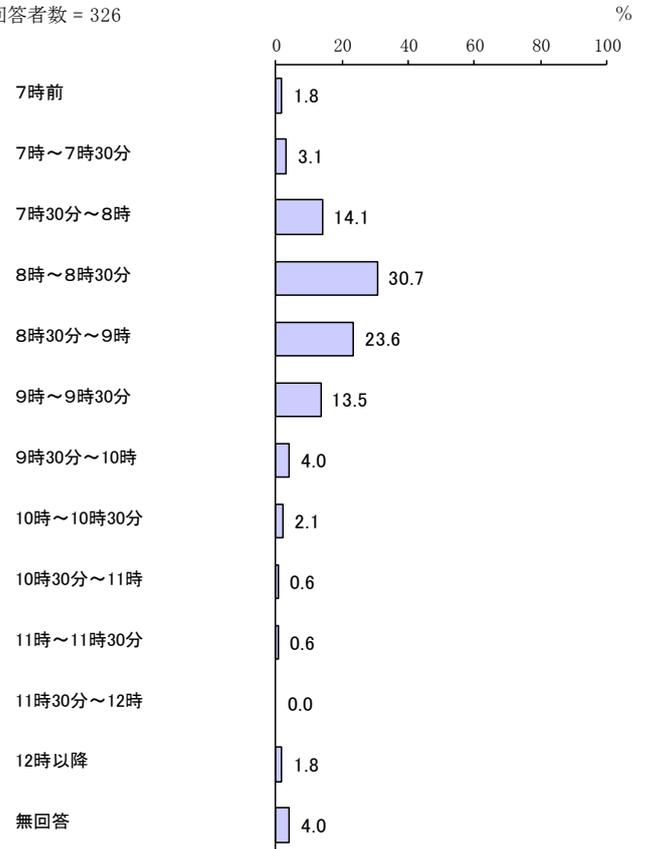
(1) - 2 母親と父親の家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字でご記入ください。
 (数字は一枠に一字) 時間は、必ず(例) 08時～17時のように、24時間制、30分単位でお答えください。

ア 母親

(ア) 家を出る時間

「8時～8時30分」の割合が30.7%と最も高く、次いで「8時30分～9時」の割合が23.6%、「7時30分～8時」の割合が14.1%となっています。

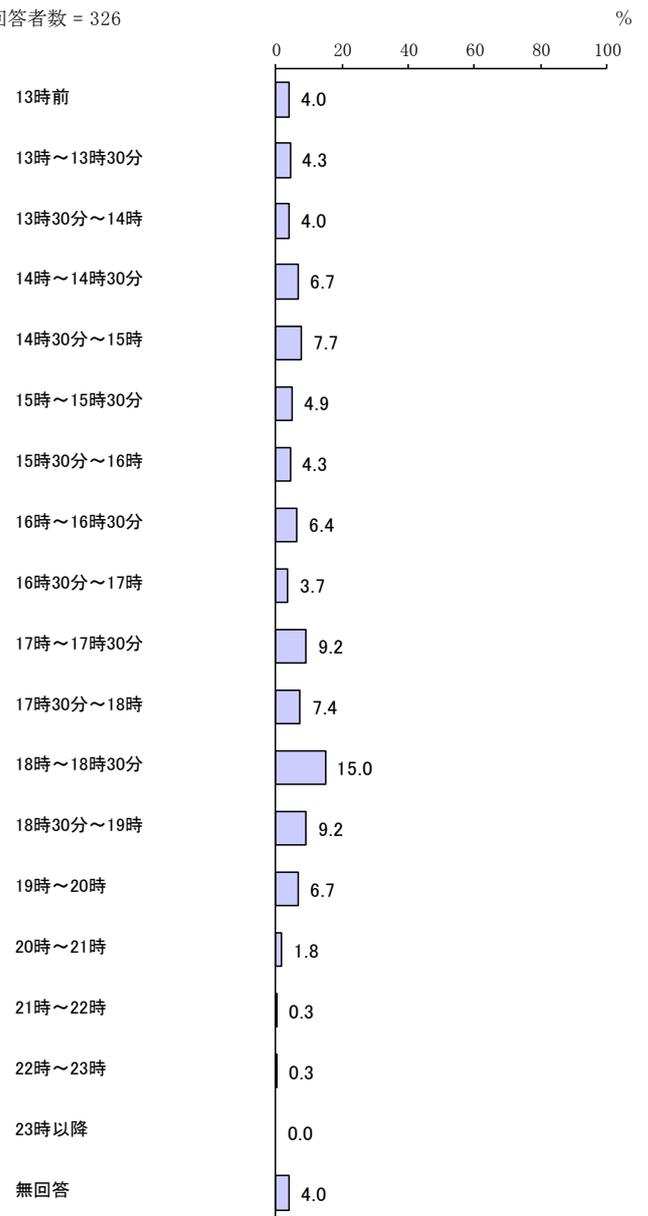
回答者数 = 326



(イ) 帰宅時間

「18時～18時30分」の割合が15.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 326

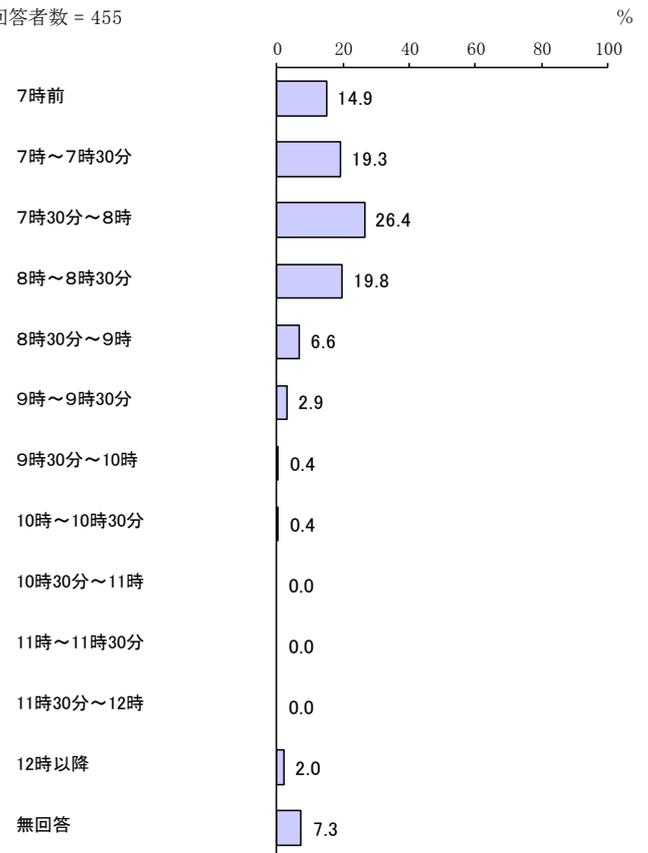


イ 父親

(ア) 家を出る時間

「7時30分～8時」の割合が26.4%と最も高く、次いで「8時～8時30分」の割合が19.8%、「7時～7時30分」の割合が19.3%となっています。

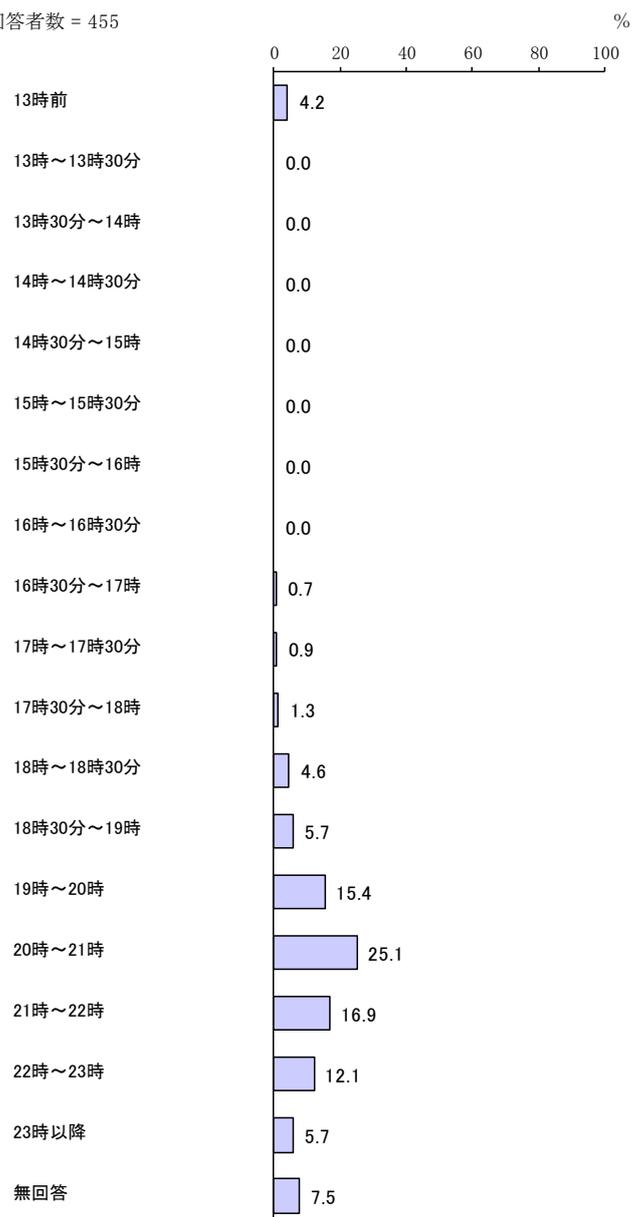
回答者数 = 455



(イ) 帰宅時間

「20 時～21 時」の割合が 25.1%と最も高く、次いで「21 時～22 時」の割合が 16.9%、「19 時～20 時」の割合が 15.4%となっています。

回答者数 = 455



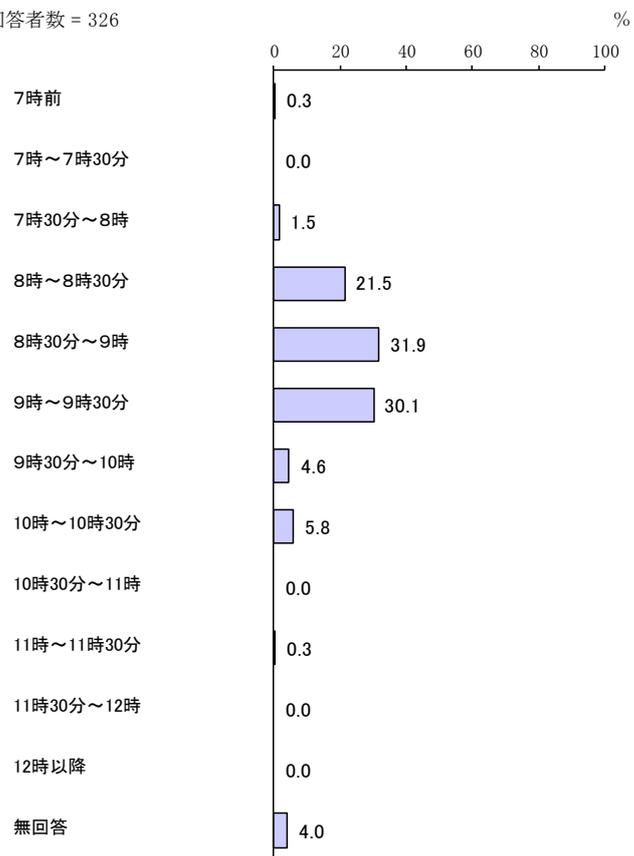
(1) -3 育児と仕事を両立するうえで望ましいと考えられる母親と父親の家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字) 時間は、必ず(例)08時～17時のように、24時間制、30分単位でお答えください。

ア 母親

(ア) 理想の家を出る時間

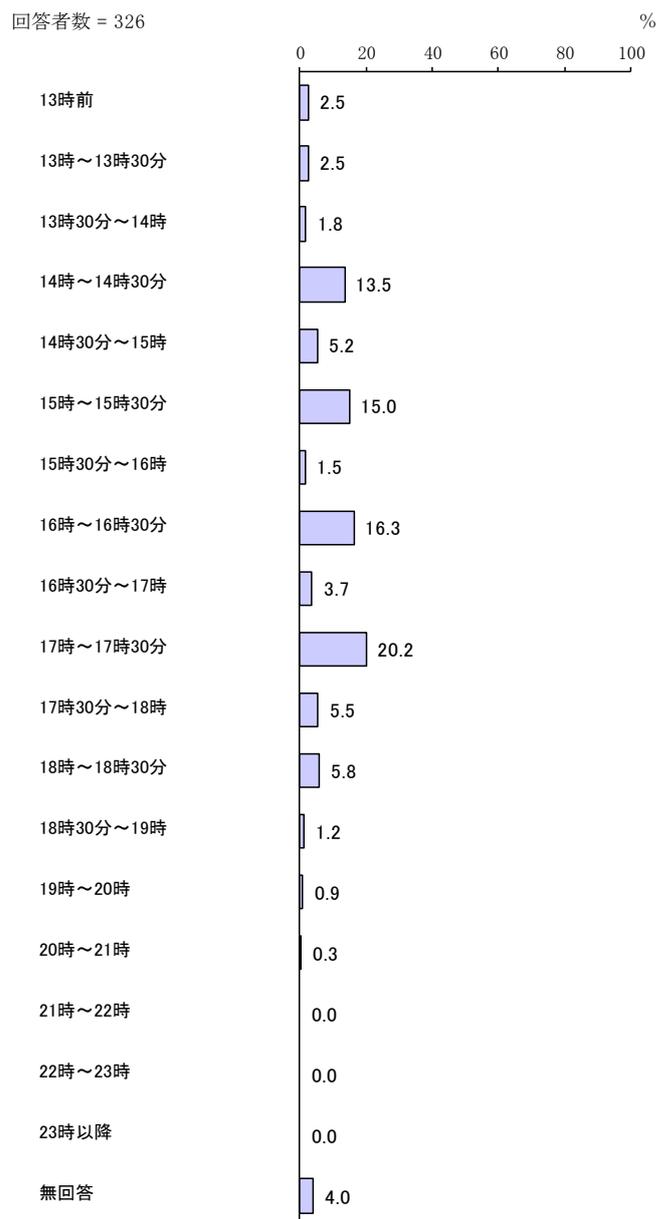
「8時30分～9時」の割合が31.9%と最も高く、次いで「9時～9時30分」の割合が30.1%、「8時～8時30分」の割合が21.5%となっています。

回答者数 = 326



(イ) 理想の帰宅時間

「17時～17時30分」の割合が20.2%と最も高く、次いで「16時～16時30分」の割合が16.3%、「15時～15時30分」の割合が15.0%となっています。

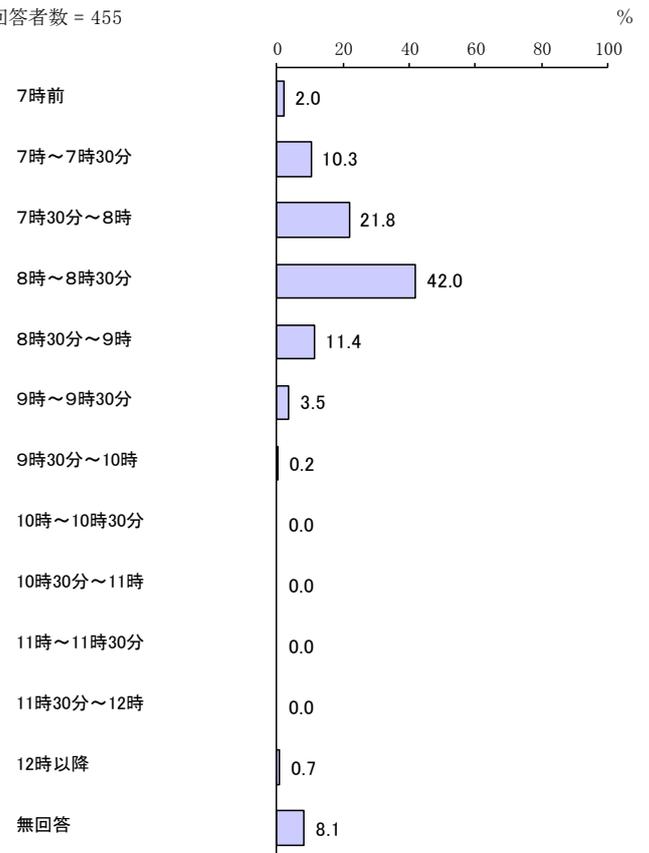


イ 父親

(ア) 利用の家を出る時間

「8時～8時30分」の割合が42.0%と最も高く、次いで「7時30分～8時」の割合が21.8%、「8時30分～9時」の割合が11.4%となっています。

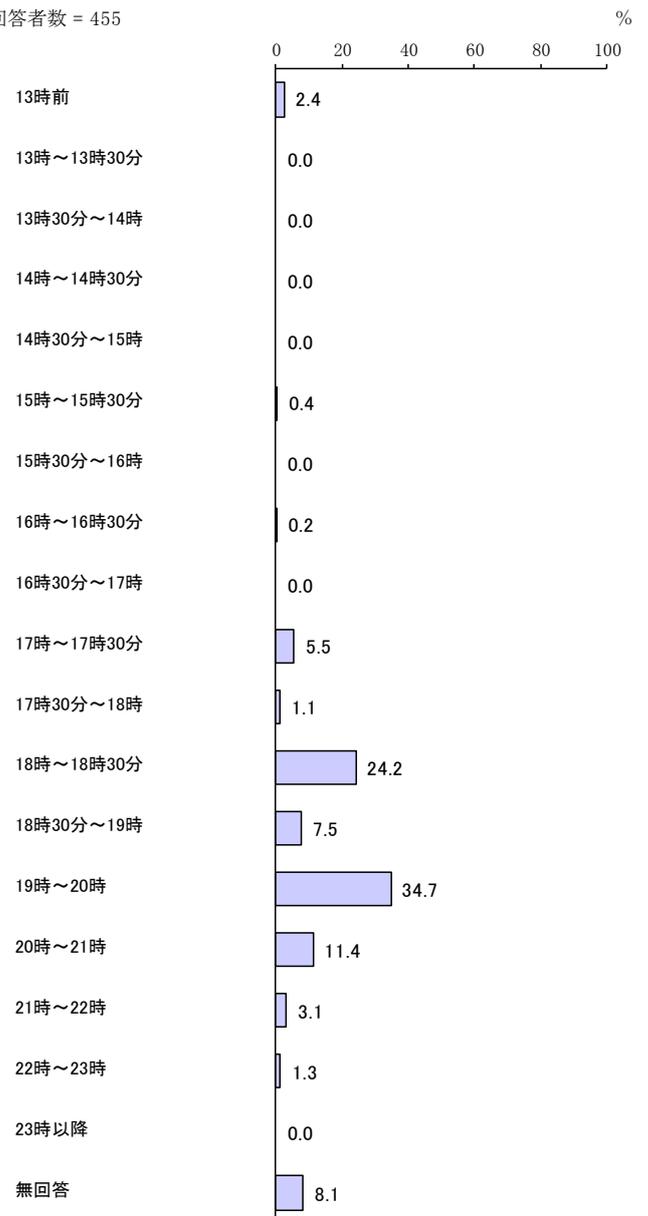
回答者数 = 455



(イ) 理想の帰宅時間

「19 時～20 時」の割合が 34.7%と最も高く、
次いで「18 時～18 時 30 分」の割合が 24.2%、
「20 時～21 時」の割合が 11.4%となっています。

回答者数 = 455

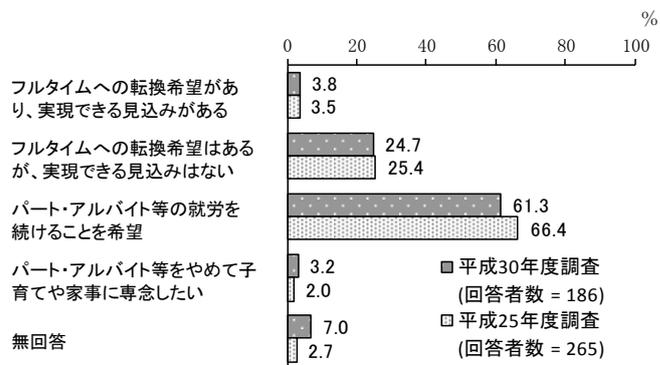


問 22-1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。（1～4の項目について、母親、父親それぞれに○は1つ）

ア 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が61.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。



イ 父親

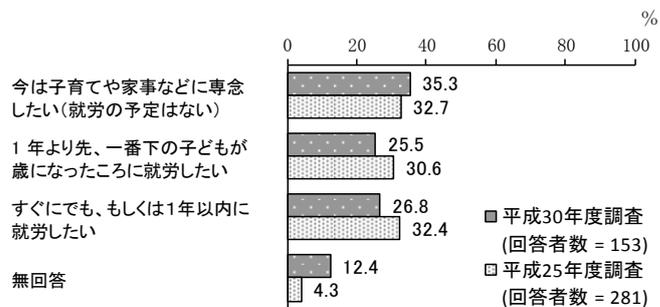
「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件となっています。

問 22-2 就労したいという希望はありますか。（○は1つ）選んだ番号に□がある場合は、□内に数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）

ア 母親

「今は子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が35.3%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が26.8%、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」の割合が25.5%となっています。

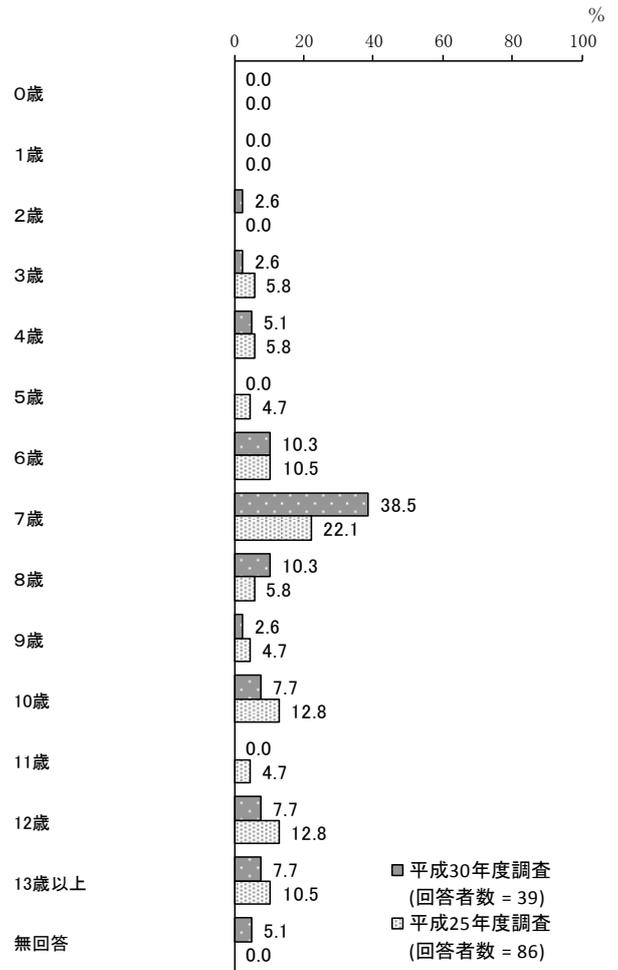
平成25年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。



(ア) 就労を開始したい時の子どもの年齢

「7歳」の割合が38.5%と最も高く、次いで「6歳」、「8歳」の割合が10.3%となっています。

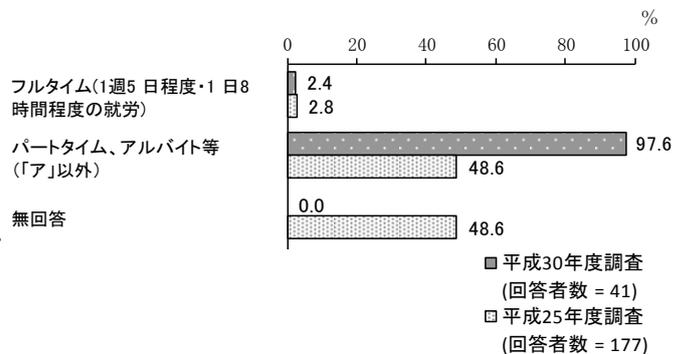
平成25年度調査と比較すると、「7歳」の割合が増加しています。一方、「10歳」「12歳」の割合が減少しています。



(イ) 希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が2.4%、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が97.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が増加しています。

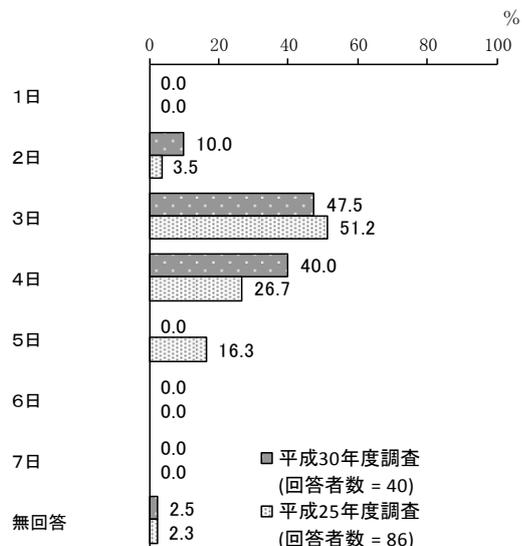


パートタイム、アルバイト等

(ウ) 母親の1週あたり希望就労日数

「3日」の割合が47.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が40.0%、「2日」の割合が10.0%となっています。

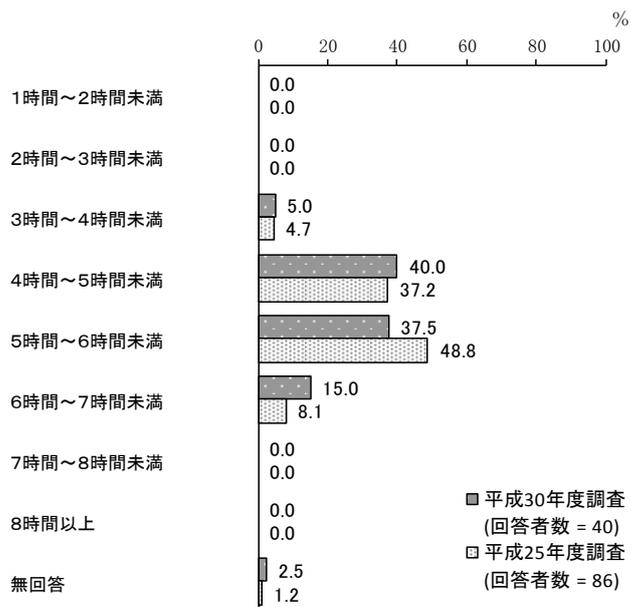
平成25年度調査と比較すると、「2日」「4日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



(エ) 母親の1日あたり希望就労時間

「4時間～5時間未満」の割合が40.0%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が37.5%、「6時間～7時間未満」の割合が15.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6時間～7時間未満」の割合が増加しています。一方、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。



イ 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。

(ア) 就労を開始したい時の子どもの年齢

有効回答がありませんでした。

(イ) 希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が2件、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」が0件となっています。

パートタイム、アルバイト等

(ウ) 1週あたり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

(エ) 1日あたり希望就労時間

有効回答がありませんでした。

問 22-3 子育てと介護を同時に行っている(いた)ことがありましたか。(○は1つ)

ア 母親

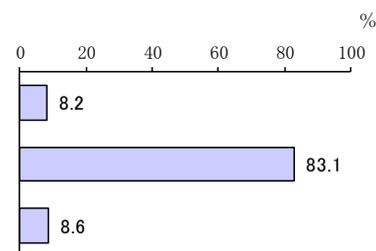
「同時におこなっている(いた)」の割合が8.2%、「同時におこなっていない」の割合が83.1%となっています。

回答者数 = 486

同時におこなっている(いた)

同時におこなっていない

無回答



イ 父親

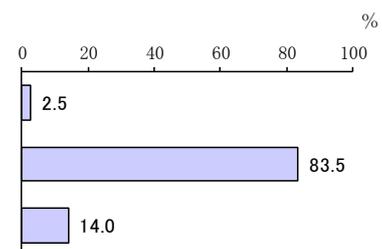
「同時におこなっている（いた）」の割合が2.5%、「同時におこなっていない」の割合が83.5%となっています。

回答者数 = 486

同時におこなっている(いた)

同時におこなっていない

無回答



問 22-4 仕事についてはどうしましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

ア 母親

「仕事を継続」の割合が45.0%と最も高く、次いで「仕事を辞めた」の割合が20.0%、「勤務形態を変更」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 40

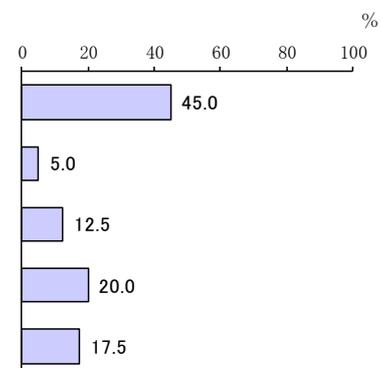
仕事を継続

仕事を休職

勤務形態を変更

仕事を辞めた

無回答



イ 父親

「仕事を継続」の割合が100.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 12

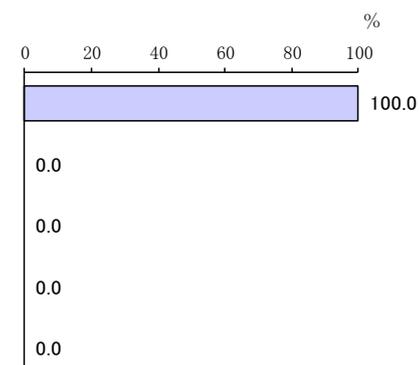
仕事を継続

仕事を休職

勤務形態を変更

仕事を辞めた

無回答

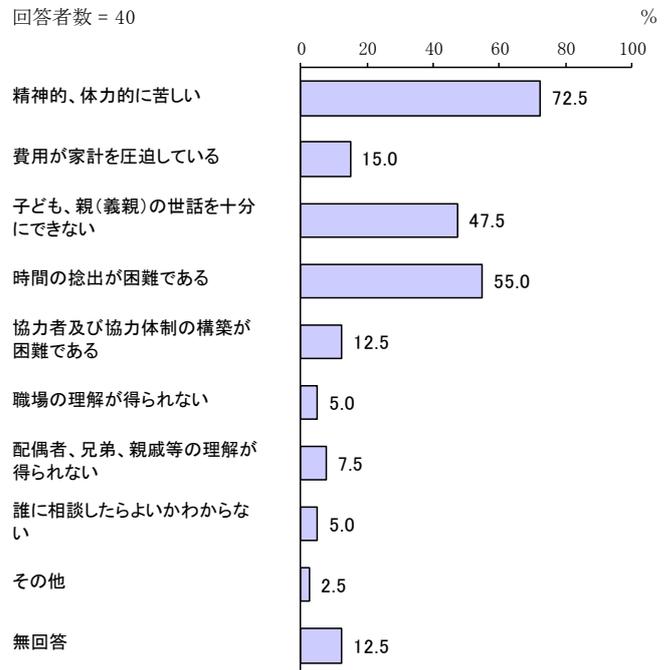


問 22-5 大変だと感じている（いた）事があれば。当てはまる番号に○をつけてください。（母親、父親それぞれに○は3つまで）

ア 母親

「精神的、体力的に苦しい」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「時間の捻出が困難である」の割合が 55.0%、「子ども、親（義親）の世話を十分にできない」の割合が 47.5%となっています。

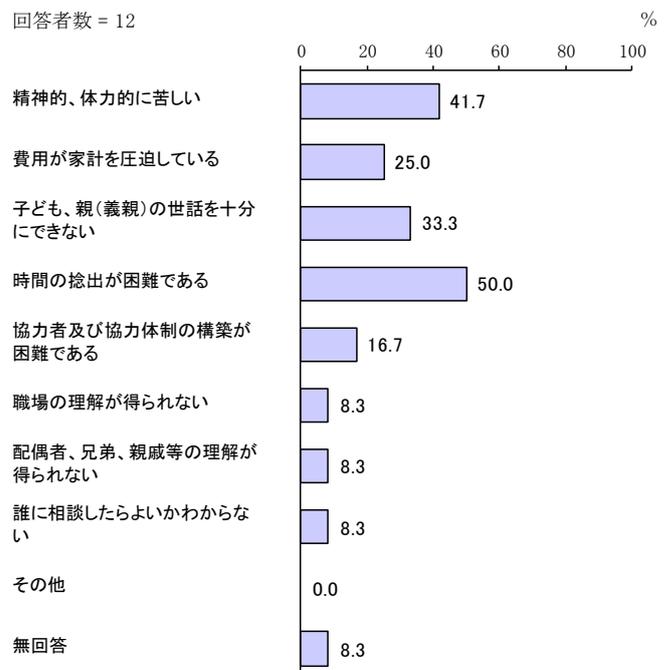
回答者数 = 40



イ 父親

「時間の捻出が困難である」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「精神的、体力的に苦しい」の割合が 41.7%、「子ども、親（義親）の世話を十分にできない」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 12

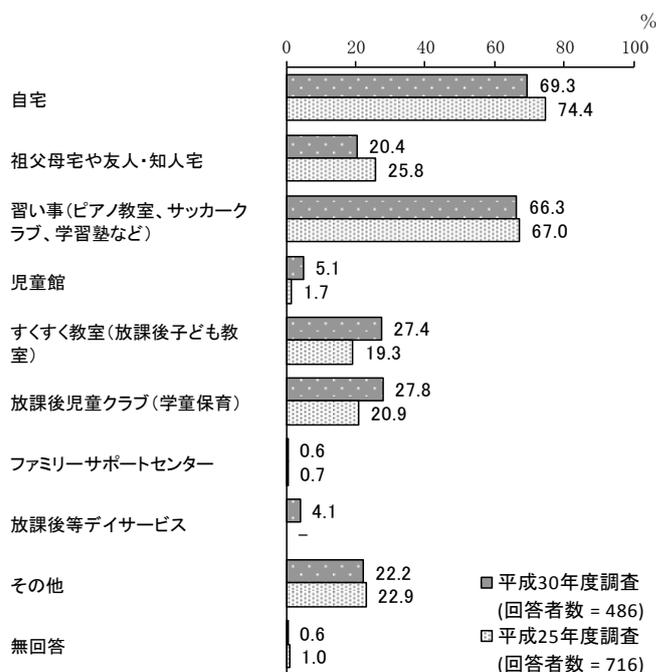


(4) お子さんの放課後児童クラブの利用について

問 23 お子さんについて、放課後（平日の小学校、支援学校等終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（○はいくつでも）
 また、それぞれ利用している日数（週当たり）を数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）「6. 放課後児童クラブ」を利用している場合には、利用している時間帯、土日の利用状況についてもお答えください。（時間帯は数字で記入、土日の利用はどちらか1つに○）時間は必ず（例）17時 のように24時間制でご記入ください。

「自宅」の割合が 69.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 66.3%、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 27.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「すくすく教室（放課後子ども教室）」「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が減少しています。



理想の放課後の過ごし方

理想の放課後の過ごし方をみると、他に比べ、5. すくすく教室（放課後子ども教室）で「1日」の割合が、3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で「2日」の割合が高くなっています。また、6. 放課後児童クラブ（学童保育）で「5日」の割合が高くなっています。

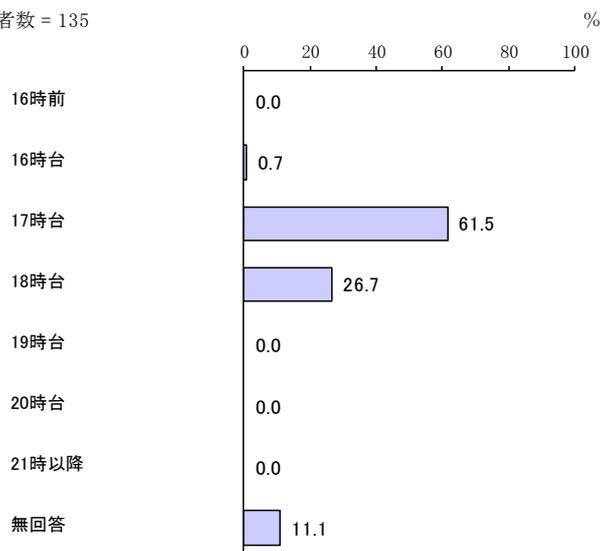
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	337	16.3	21.7	14.5	9.8	29.4	1.5	5.6	1.2
2. 祖父母宅や友人・知人宅	99	49.5	28.3	10.1	6.1	3.0	-	2.0	1.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	322	24.2	35.1	27.3	7.8	4.0	1.6	-	-
4. 児童館	25	40.0	32.0	8.0	-	8.0	4.0	-	8.0
5. すくすく教室(放課後子ども教室)	133	85.0	9.0	-	-	-	-	-	6.0
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	135	-	3.0	5.2	15.6	60.0	4.4	-	11.9
7. ファミリーサポートセンター	3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-
8. 放課後等デイサービス	20	60.0	-	35.0	5.0	-	-	-	-
9. その他	108	35.2	26.9	20.4	5.6	7.4	1.9	0.9	1.9

ア 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時間

「17時台」の割合が61.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が26.7%となっています。

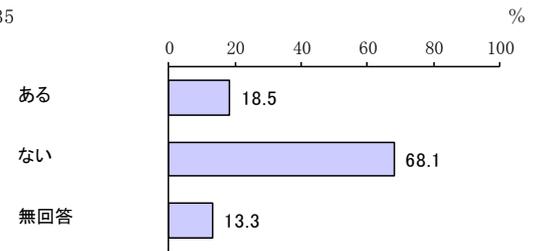
回答者数 = 135



イ 土日の利用

「ある」の割合が 18.5%、「ない」の割合が 68.1%となっています。

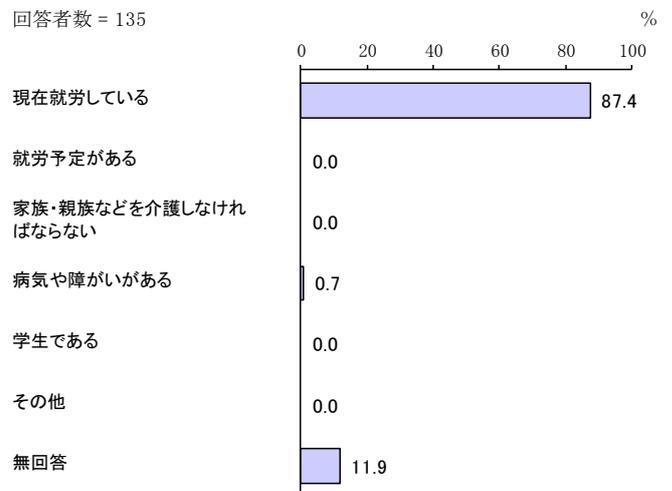
回答者数 = 135



問 23-1 利用している主な理由をお答えください。(○は1つ)

「現在就労している」の割合が 87.4%と最も高くなっています。

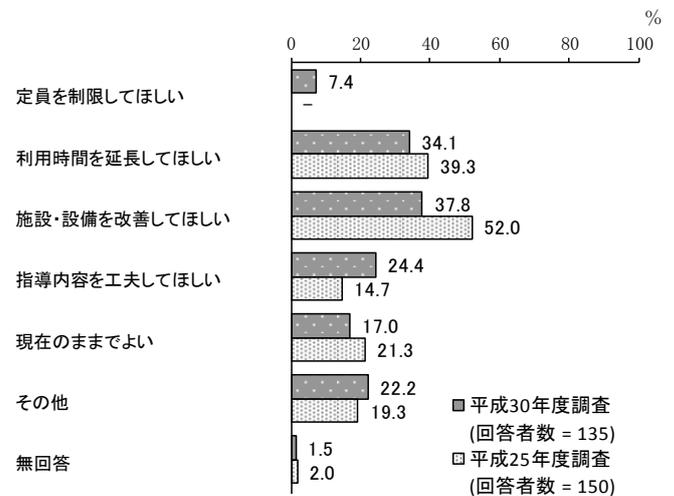
回答者数 = 135



問 23-2 放課後児童クラブに対してどのように感じておられますか。(○はいくつでも)

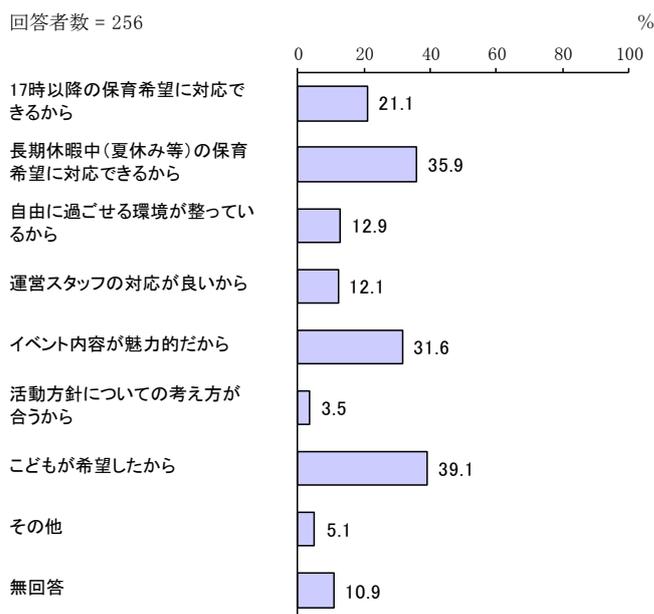
「施設・設備を改善してほしい」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「利用時間を延長してほしい」の割合が 34.1%、「指導内容を工夫してほしい」の割合が 24.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「指導内容を工夫してほしい」の割合が増加しています。一方、「利用時間を延長してほしい」「施設・設備を改善してほしい」の割合が減少しています。



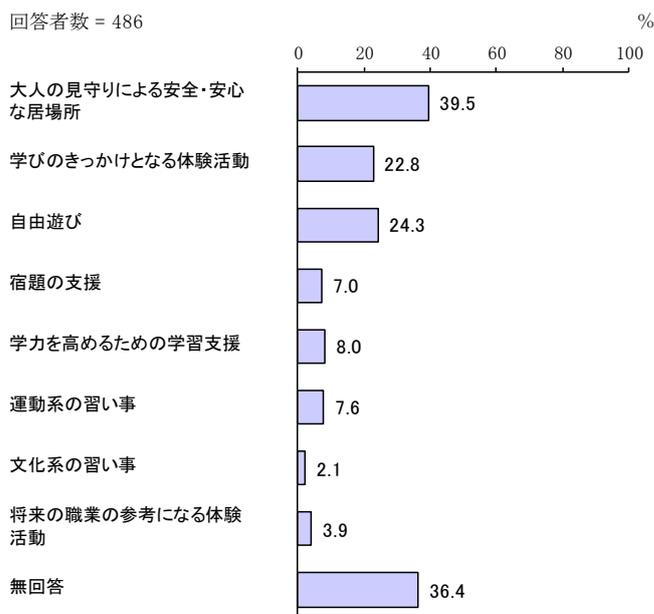
**問 24 放課後の居場所について利用している理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)**

「こどもが希望したから」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「長期休暇中（夏休み等）の保育希望に対応できるから」の割合が 35.9%、「イベント内容が魅力的だから」の割合が 31.6%となっています。



問 25 お子さんの放課後に必要と思うものは何ですか。(○は2つまで)

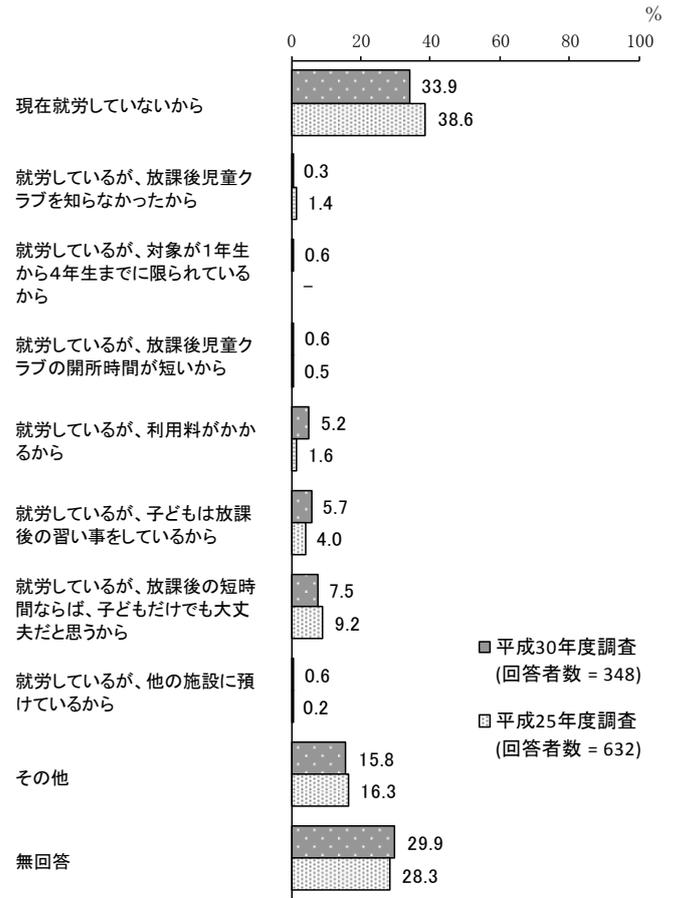
「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「自由遊び」の割合が 24.3%、「学びのきっかけとなる体験活動」の割合が 22.8%となっています。



問 26 利用していない理由をお答えください。(最も当てはまるもの1つに○)

「現在就労していないから」の割合が 33.9%と最も高くなっています。

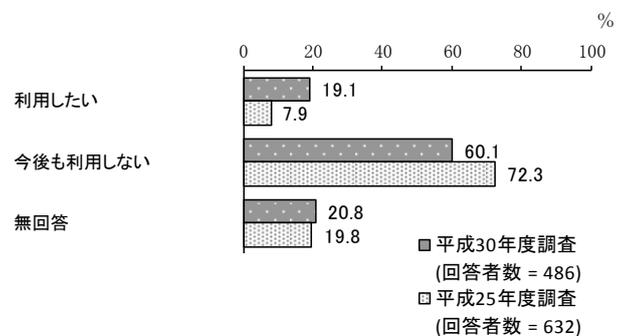
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 27 お子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。(○は1つ)

「利用したい」の割合が 19.1%、「今後も利用しない」の割合が 60.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。一方、「今後も利用しない」の割合が減少しています。

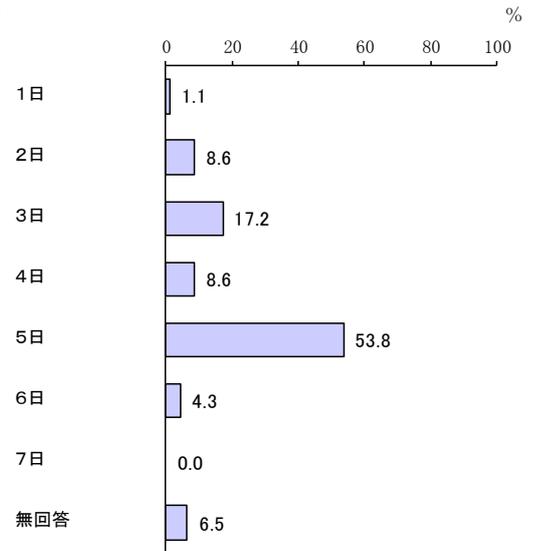


ア 利用したい

(ア) 利用したい 1週あたり希望利用日数

「5日」の割合が53.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が17.2%となっています。

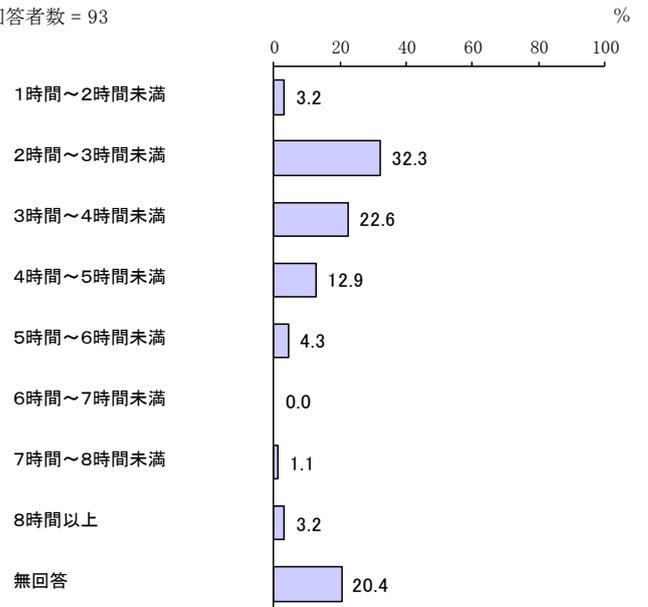
回答者数 = 93



(イ) 利用したい 希望利用終了時間

「2時間～3時間未満」の割合が32.3%と最も高く、次いで「3時間～4時間未満」の割合が22.6%、「4時間～5時間未満」の割合が12.9%となっています。

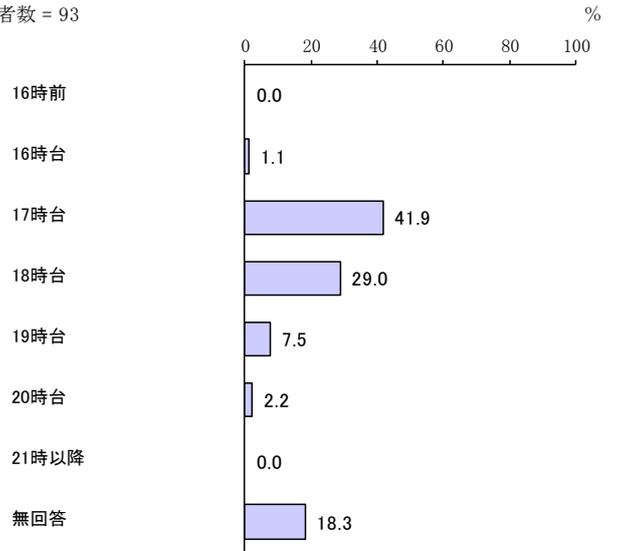
回答者数 = 93



(ウ) 利用したい 土日の1日あたり希望利用時間

「17時台」の割合が41.9%と最も高く、次いで「18時台」の割合が29.0%となっています。

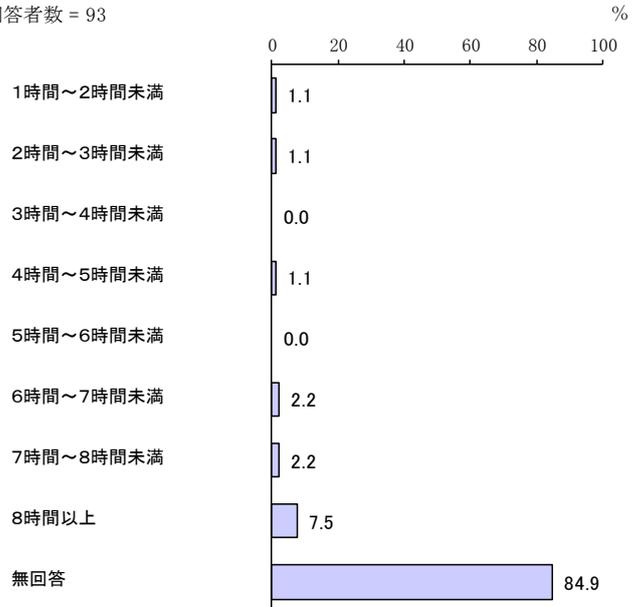
回答者数 = 93



(エ) 利用したい 土日の希望利用開始時間

「8時間以上」の割合が7.5%と最も高くなっています。

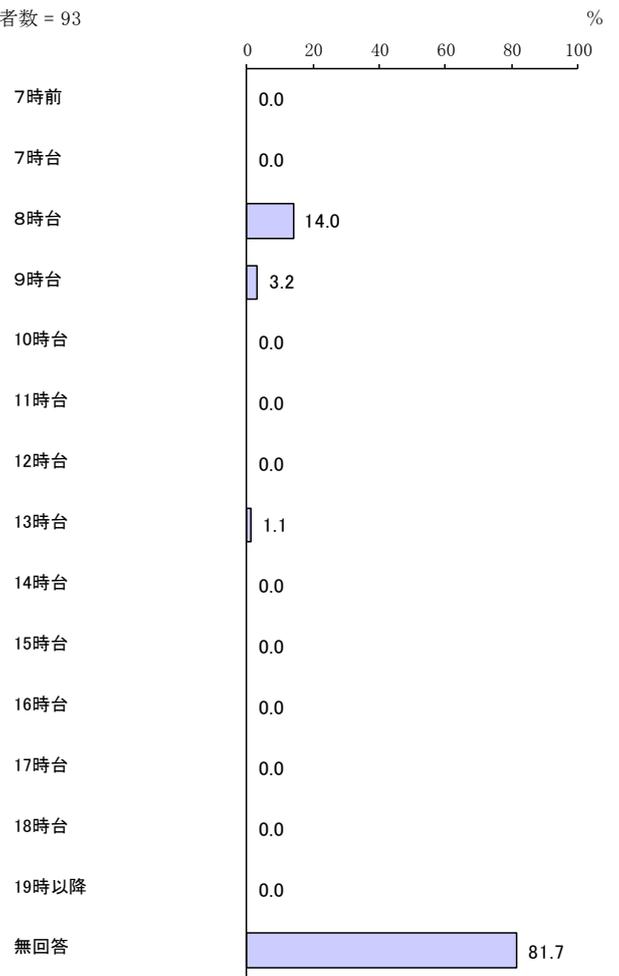
回答者数 = 93



(オ) 利用したい 土日の希望利用開始時間

「8時台」の割合が14.0%と最も高くなっています。

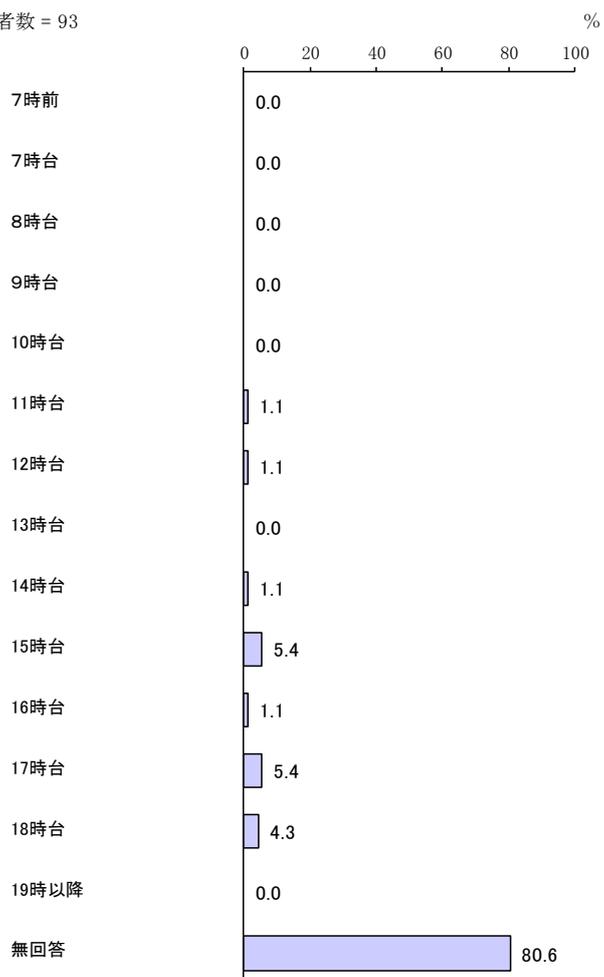
回答者数 = 93



(カ) 利用したい 土日の希望利用終了時間

「15 時台」、「17 時台」の割合が 5.4%と最も高くなっています。

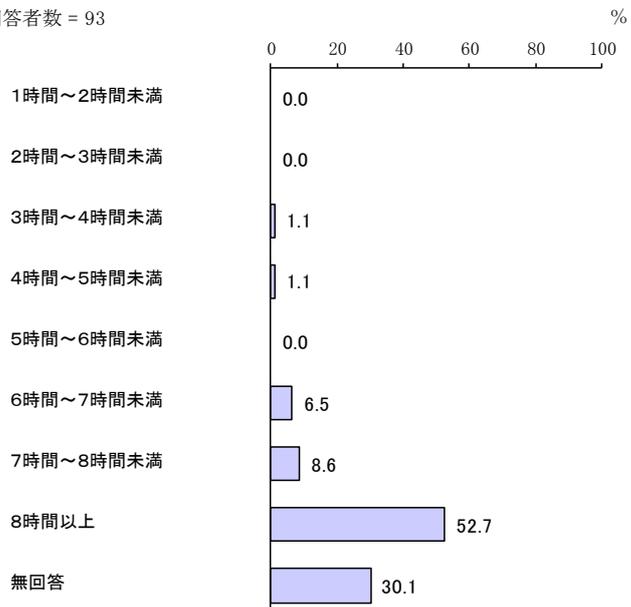
回答者数 = 93



(キ) 利用したい 長期休業期間の1日あたり希望利用時間

「8時間以上」の割合が 52.7%と最も高くなっています。

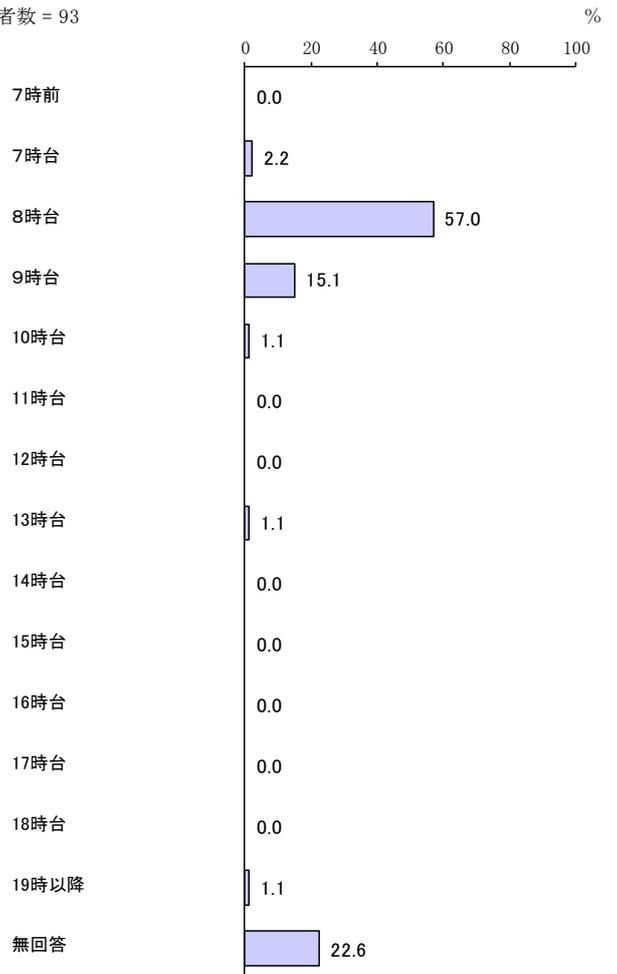
回答者数 = 93



(ク) 利用したい 長期休業期間の希望利用開始時間

「8時台」の割合が57.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が15.1%となっています。

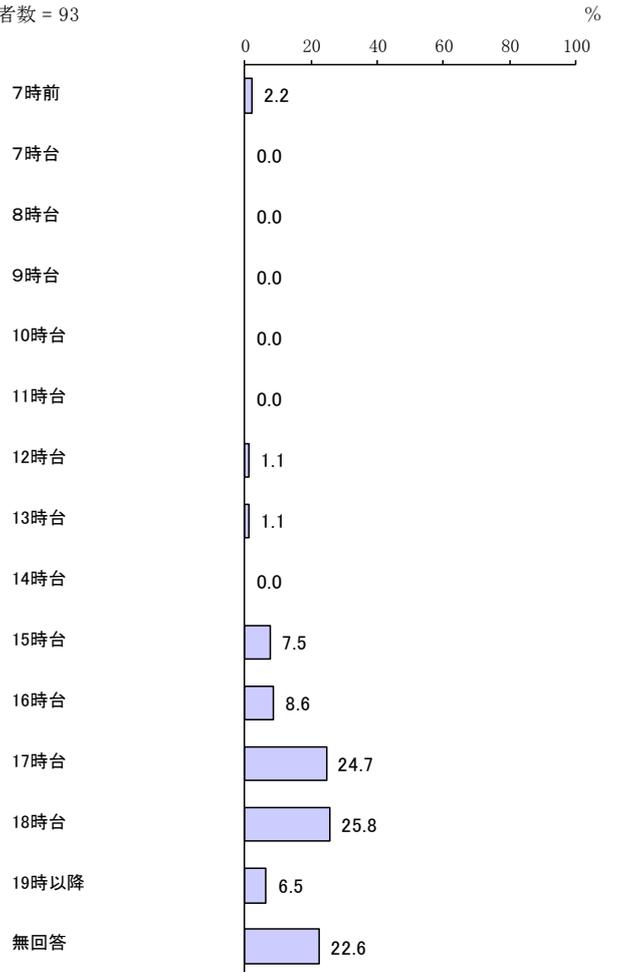
回答者数 = 93



(ケ) 利用したい 長期休業期間の希望利用終了時間

「18 時台」の割合が 25.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 24.7%となっています。

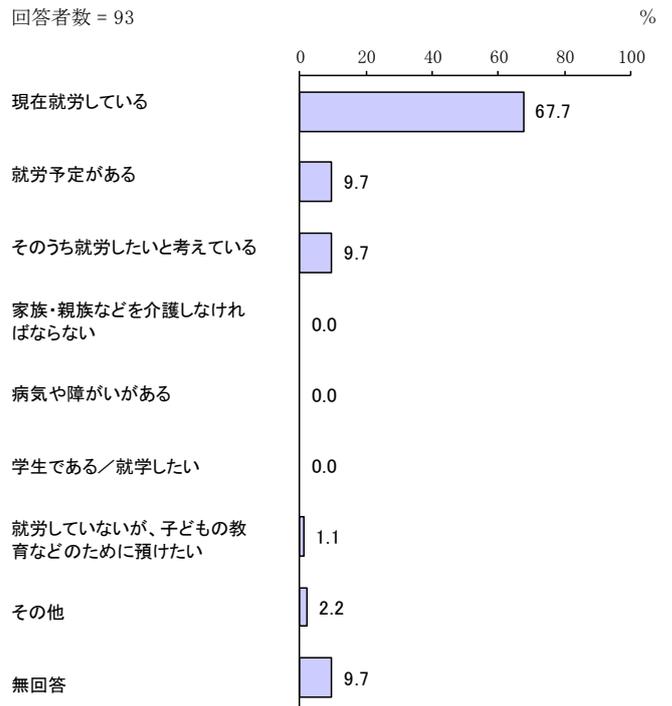
回答者数 = 93



問 27-1 利用したい理由をお答えください。(○は1つ)

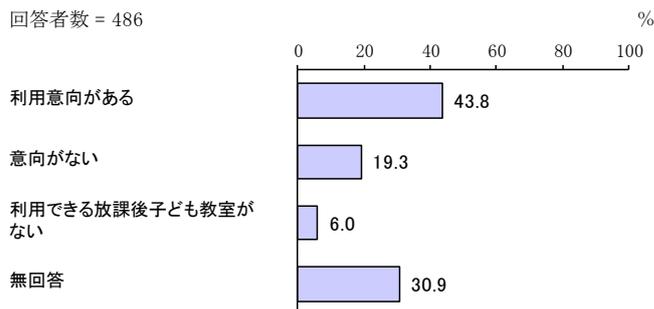
「現在就労している」の割合が 67.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 93



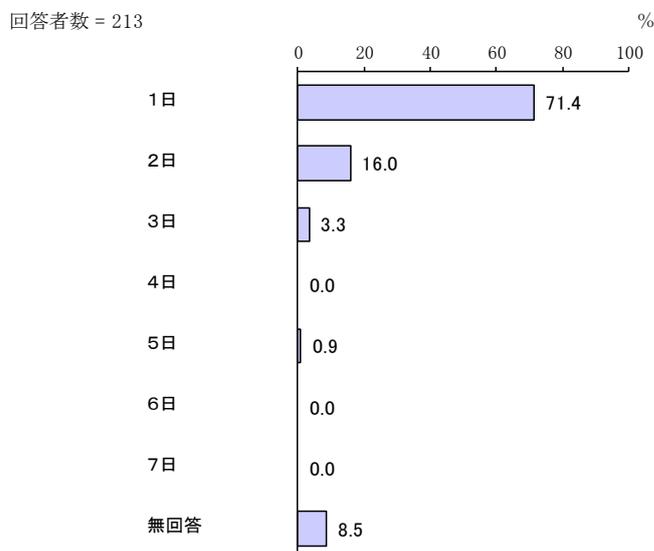
問 28 放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『すくすく教室（放課後子ども教室）』がありますが、その利用意向はありますか。（○は1つ）

「利用意向がある」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「意向がない」の割合が 19.3%となっています。



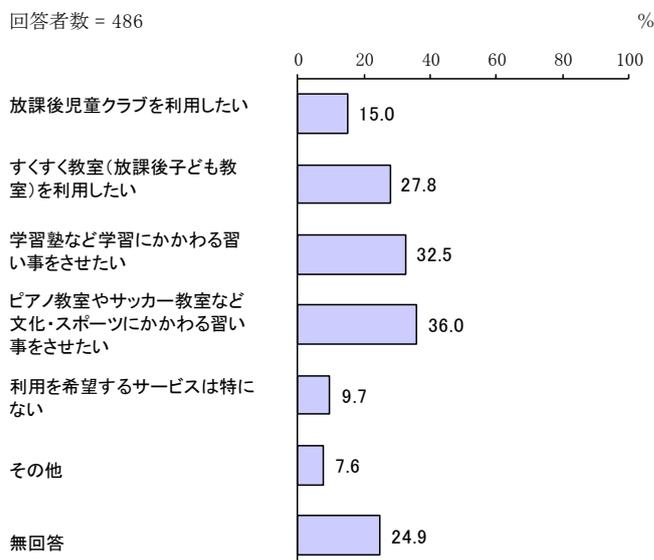
1 週あたり希望利用日数

「1日」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が 16.0%となっています。



問 29 宛名のお子さんについて、小学5年生以降の放課後の過ごし方として、どのようなことを望みますか。（○はいくつでも）

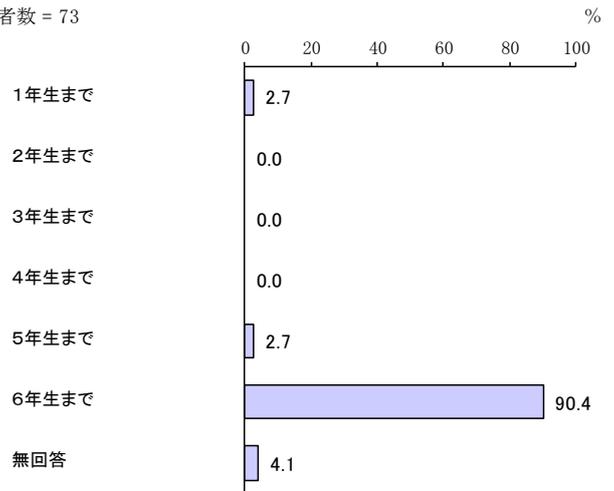
「ピアノ教室やサッカー教室など文化・スポーツにかかわる習い事をさせたい」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「学習塾など学習にかかわる習い事をさせたい」の割合が 32.5%、「すくすく教室（放課後子ども教室）を利用したい」の割合が 27.8%となっています。



利用したい学年

「6年生まで」の割合が90.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 73

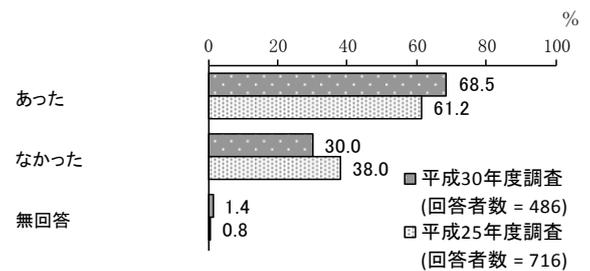


(5) お子さんの病気の際の対応について

問 30 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。(〇は1つ)

「あった」の割合が68.5%、「なかった」の割合が30.0%となっています。

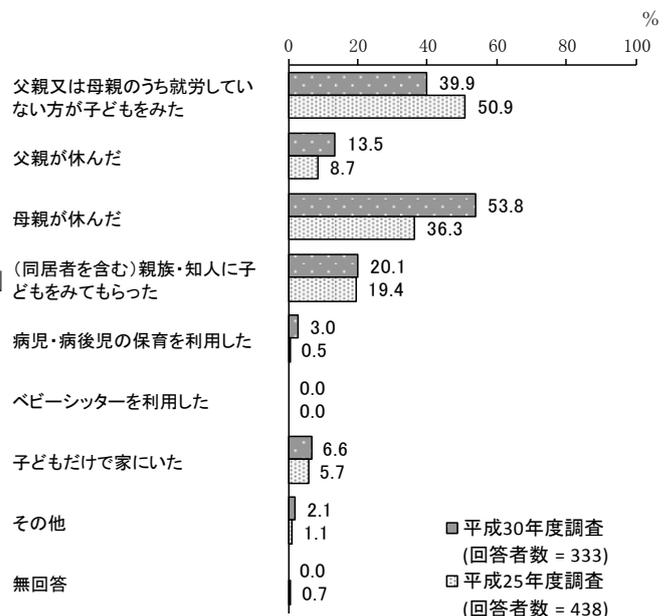
平成25年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



問 30-1 お子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる番号(1~8)に〇をつけてください。(〇はいくつでも)

「母親が休んだ」の割合が53.8%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が39.9%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が20.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「母親が休んだ」の割合が増加しています。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少しています。



1年間の対応

1年間の対応をみると、2. 父親が休んだで「1日」の割合が、7. 子どもだけで家にいたで「3日」の割合が高くなっています。また、5. 病児・病後児の保育を利用したで「6日～10日」の割合が高くなっています。

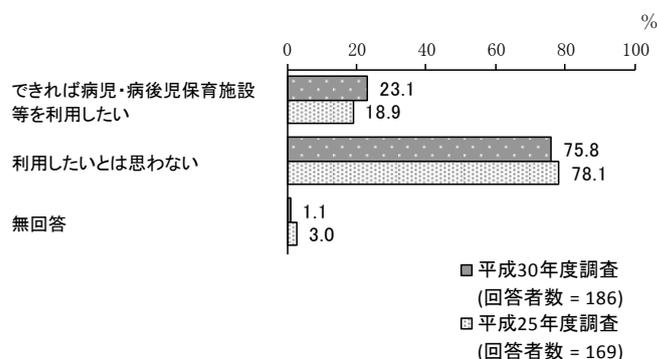
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日～30日	31日以上	無回答
1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	133	21.8	18.0	22.6	4.5	14.3	12.8	3.8	-	-	2.3
2. 父親が休んだ	45	46.7	20.0	15.6	6.7	6.7	2.2	-	-	-	2.2
3. 母親が休んだ	179	34.6	17.3	15.6	3.9	12.8	11.2	2.8	-	0.6	1.1
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	67	34.3	20.9	16.4	7.5	9.0	10.4	-	-	-	1.5
5. 病児・病後児の保育を利用した	10	10.0	20.0	10.0	-	20.0	40.0	-	-	-	-
6. ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7. 子どもだけで家にいた	22	40.9	13.6	27.3	-	-	4.5	-	-	-	13.6
8. その他	7	28.6	14.3	28.6	-	28.6	-	-	-	-	-

問 30-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ)「1. 利用したい」に○をした方は、日数についても□内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字)

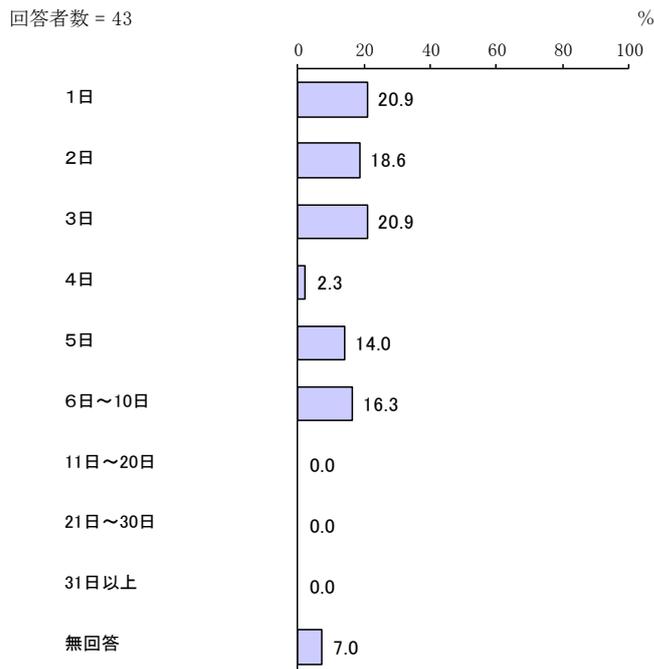
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が23.1%、「利用したいとは思わない」の割合が75.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



病児・病後児保育施設等 利用希望日数

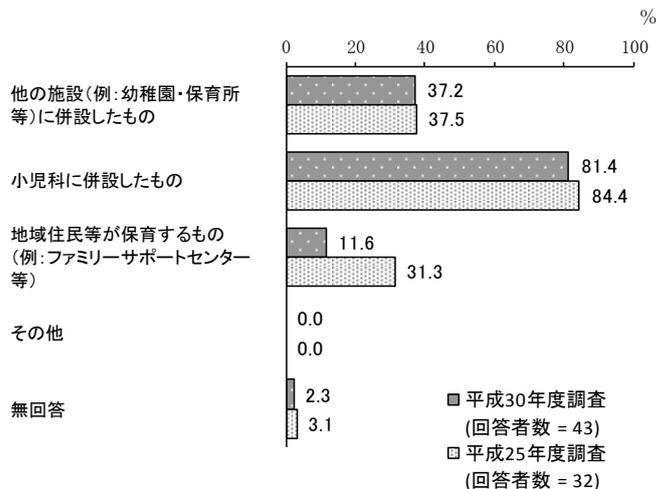
「1日」、「3日」の割合が20.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.6%となっています。



問 30-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。(〇はいくつでも)

「小児科に併設したもの」の割合が81.4%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設したもの」の割合が37.2%、「地域住民等が保育するもの（例：ファミリーサポートセンター等）」の割合が11.6%となっています。

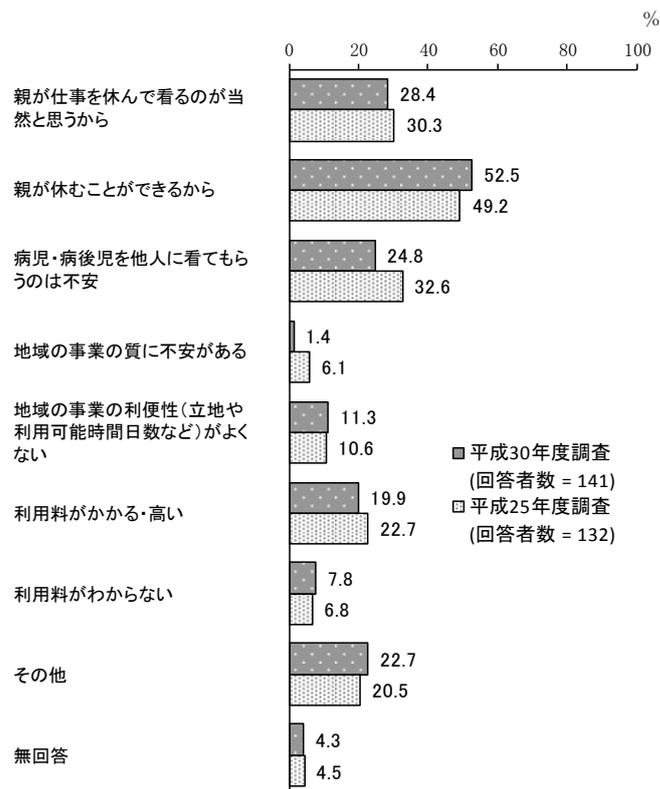
平成25年度調査と比較すると、「地域住民等が保育するもの（例：ファミリーサポートセンター等）」の割合が減少しています。



問 30-4 そう思われる理由をお答えください。(〇はいくつでも)

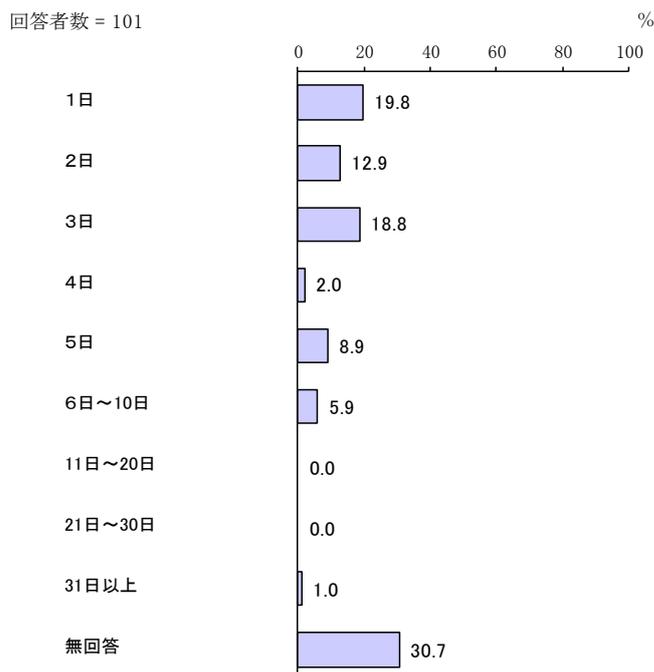
「親が休むことができるから」の割合が 52.5% と最も高く、次いで「親が仕事を休んで看るのが当然と思うから」の割合が 28.4%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 24.8% となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が減少しています。



問 30-5 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。問 30-1 の「4」～「8」の日数のうち、仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

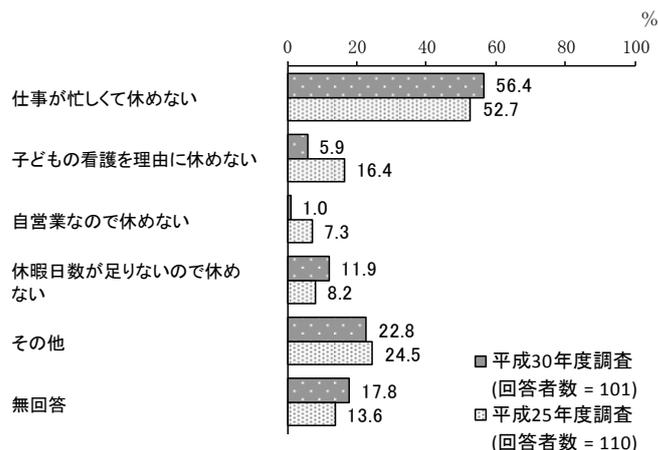
「1日」の割合が 19.8% と最も高く、次いで「3日」の割合が 18.8%、「2日」の割合が 12.9% となっています。



問 30-6 休んで看ることができなかつた理由をお答えください。(〇はいくつでも)

「仕事が忙しくて休めない」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 11.9%となっています。

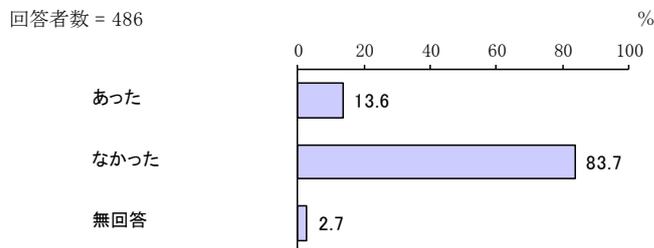
平成 25 年度調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休めない」「自営業なので休めない」の割合が減少しています。



(6) 宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について

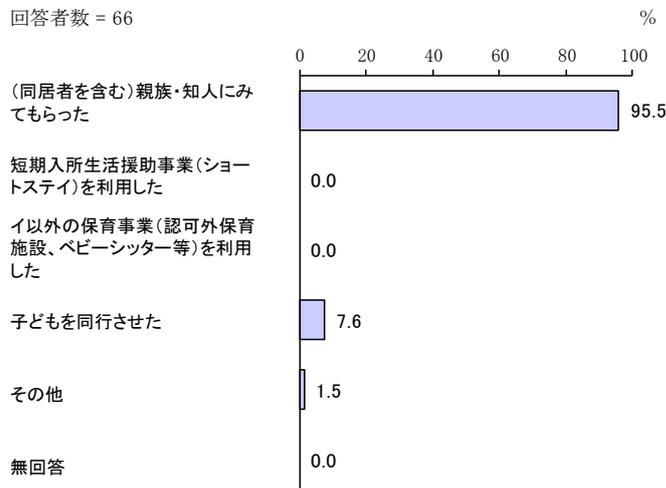
問 31 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の就労など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます)

「あった」の割合が 13.6%、「なかった」の割合が 83.7%となっています。



あった

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が 95.5%と最も高くなっています。



1年間の対応

1年間の対応をみると、他に比べ、ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらったで「1泊」の割合が高くなっています。

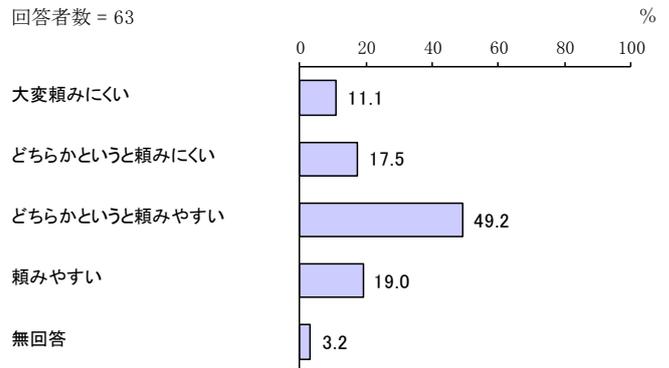
単位：％

区分	回答者数 (件)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊 ～ 10泊	11泊 ～ 20泊	21泊 ～ 30泊	31泊 以上	無回答
ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	63	38.1	23.8	6.3	1.6	4.8	11.1	3.2	1.6	-	9.5
イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エ. 子どもを同行させた	5	40.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-
オ. その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

問 31-1 その場合、頼みやすかったですか。（○は1つ）

「どちらかというとな頼みやすい」の割合が49.2%と最も高く、次いで「頼みやすい」の割合が19.0%、「どちらかというとな頼みにくい」の割合が17.5%となっています。

回答者数 = 63

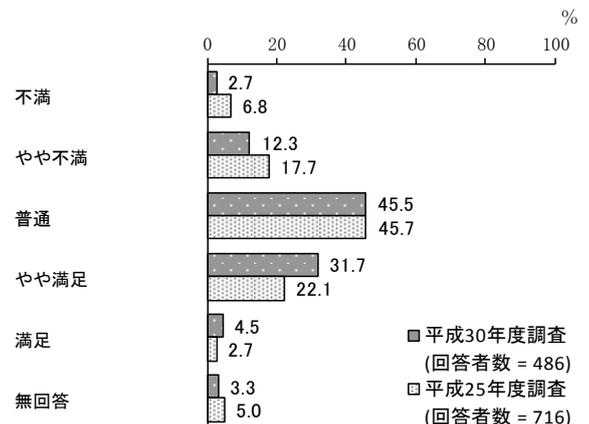


(7) 子育て支援対策の全般とその他について

問 32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、1～5の番号のうち、該当する番号に○をつけてください。（○は1つ）

「普通」の割合が45.5%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が31.7%、「やや不満」の割合が12.3%となっています。

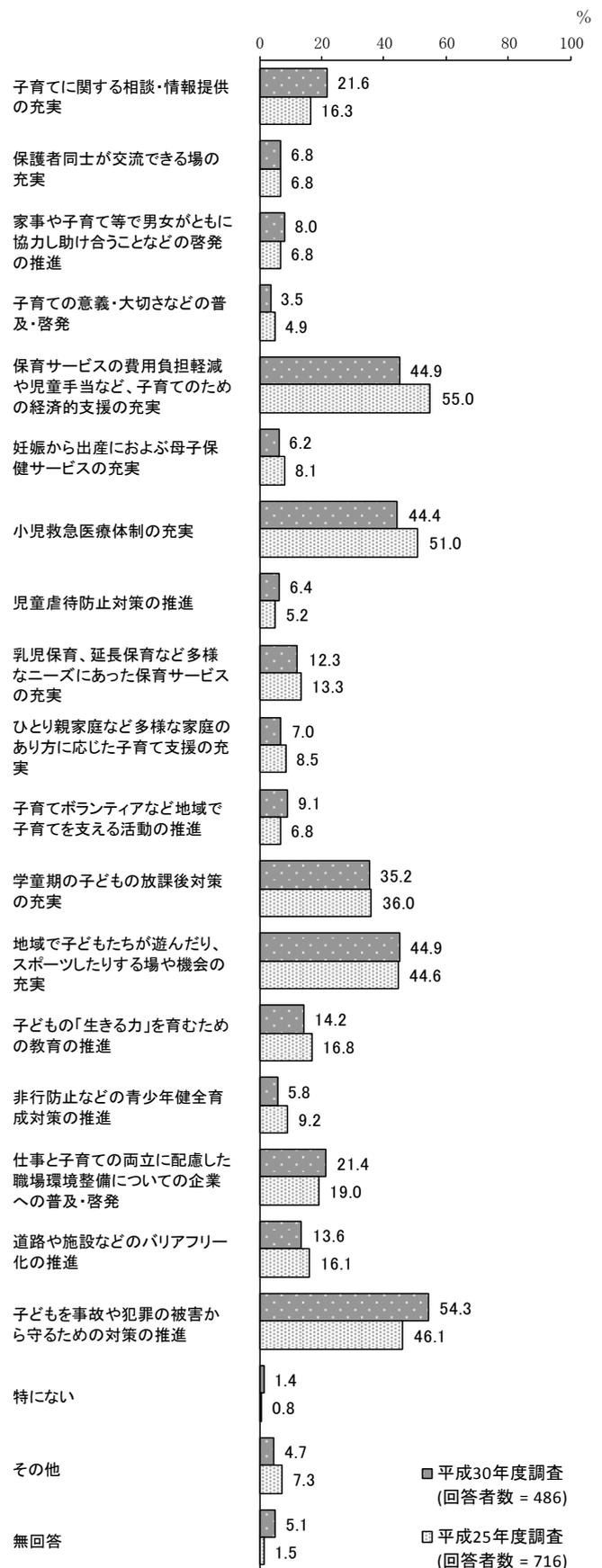
平成25年度調査と比較すると、「やや満足」の割合が増加しています。一方、「やや不満」の割合が減少しています。



問 33 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。
(○は5つまで)

「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」の割合が54.3%と最も高く、次いで「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」、「地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実」の割合が44.9%となっています。

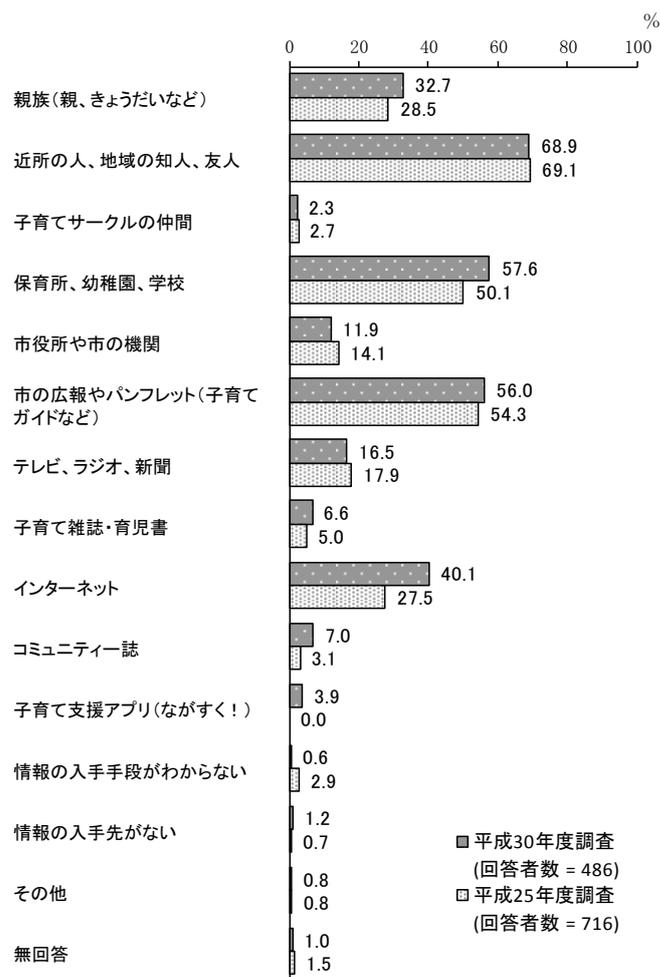
平成25年度調査と比較すると、「子育てに関する相談・情報提供の充実」「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」の割合が増加しています。一方、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」「小児救急医療体制の充実」の割合が減少しています。



問 34 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。
(〇はいくつでも)

「近所の人、地域の知人、友人」の割合が 68.9%と最も高く、次いで「保育所、幼稚園、学校」の割合が 57.6%、「市の広報やパンフレット（子育てガイドなど）」の割合が 56.0%となっています。

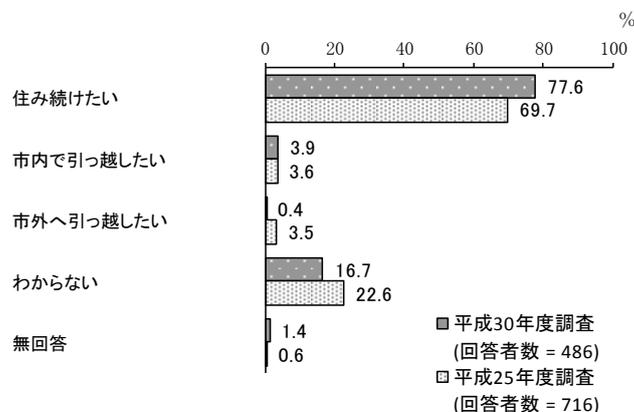
平成 25 年度調査と比較すると、「保育所、幼稚園、学校」「インターネット」の割合が増加しています。



問 35 お子さんが就学した後のお住まいの場所について、どうお考えですか。
(〇は1つ)

「住み続けたい」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 16.7%となっています。

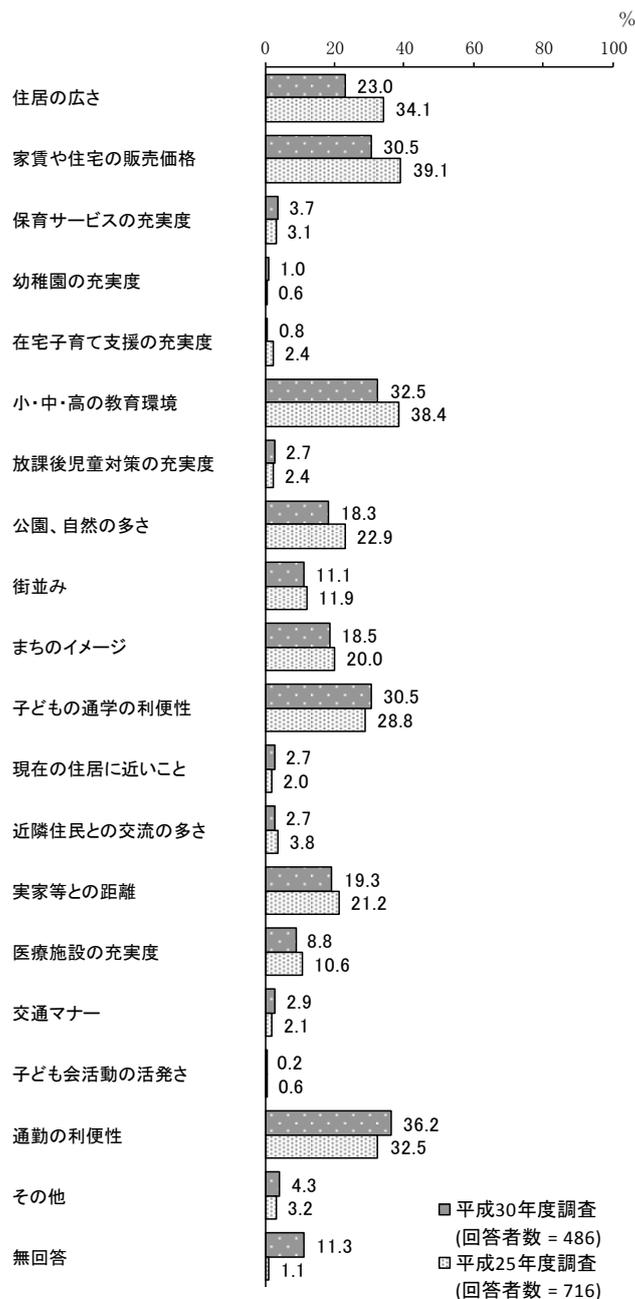
平成 25 年度調査と比較すると、「住み続けたい」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



問 35-2 住む場所を選ぶ際、どんなことを重視しますか。(〇は3つまで)

「通勤の利便性」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「小・中・高の教育環境」の割合が 32.5%、「家賃や住宅の販売価格」、「子どもの通学の利便性」の割合が 30.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「住居の広さ」「家賃や住宅の販売価格」「小・中・高の教育環境」の割合が減少しています。



Ⅲ 自由意見

1 就学前児童

大分類	中分類	小分類	件数
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	3年保育・受け入れの充実について	保育園等の延長保育	4件
		幼稚園の預かり保育の充実	2件
		保育園の年度途中の受け入れ	2件
	施設整備について	幼稚園の増設	1件
		保育所の増設	7件
		待機児童の解消	7件
	保育料金・条件について	保育料金見直し	13件
		幼稚園・保育園・認定こども園の入園条件見直し	3件
	その他	園バスの実施	1件
		保育士について	12件
		その他	10件
2. 小学校就学後の生活について	小学校について	教育内容の充実と見直し	3件
		教員体制の充実	1件
		登下校時の安全確保	3件
		老朽校舎の改修	1件
		給食について	1件
		その他	3件
	児童館・学童クラブについて	時間延長	7件
		休日・長期休暇中の実施	7件
		利用条件見直し	6件
		実施施設の増設	2件
		その他	7件
3. 子育て支援全般について	地域子育てセンター、広場について	地域子育て支援拠点事業の充実	3件
		イベントを増やしてほしい、イベント内容の充実	2件
		その他	6件
	その他の子育て支援サービスについて	病児・病後児保育事業の充実	1件
		障害児への支援充実	2件
		一時預かり事業の充実	5件
		児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し	3件
		その他	6件
	子育てに関する情報について	子育て支援に関する情報の充実	7件
		子育てに関する相談先の充実	7件
		その他	3件

大分類	中分類	小分類	件数
4. 子育て環境について	子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	公園、遊び場等	20件
		防犯、不審者、外灯	9件
		防災（地震、火災、水害等）	1件
		公共施設（図書館、プール、体育館、公民館等）	6件
		道路施設	10件
		その他	3件
	母子の保健について	医療費補助、医療体制の充実	11件
		健診の充実	4件
	その他		6件
5. 子育て中の保護者の状況について	子育てと仕事の両立について	9件	
	保護者のリフレッシュ、子育て不安等について	1件	
6. その他	アンケートについて	13件	
	その他	7件	

【分類別の主な意見】

1 幼稚園・保育園・認定こども園について

（1）園の受入れについて

- ・ 保育所を利用していますが保育時間についてももう少し寛大に利用時間を考えてほしいです。
- ・ 保育園の延長も急に利用したい時（残業時など）に利用できるようにしてほしいです。
- ・ 0才児から保育園を気軽に利用できると嬉しいです。
- ・ 2人目が生まれる際、1人目（上の子）は保育園を退所しなければならないことが不安です。
- ・ 保育士の待遇改善を図り、保育の受け皿を作ってほしいです。
- ・ 年度途中での保育所入所ができるようになってほしいです。

（2）施設整備について

- ・ もっと保育園を増やしてほしいです。
- ・ 待機児童ゼロをお願いします。
- ・ 保育園の建物自体がだいぶ古いと感じるので少しずつでもリフォームをして頂ければと思います。

（3）保育料金について

- ・ 保育料を引き下げてほしいです。
- ・ 働けば働くほど、保育料が上がるので困ります。
- ・ 保育所の入所申請について点数の区別に少し疑問を感じます。
- ・ 幼稚園に補助金制度があるなら保育所も保育料の軽減もしくは市で補助金制度を作ってほしいです。

(4) 保育利用の希望について

- ・ 小規模保育所が多いです。
- ・ 保育所でももう少し習い事を導入してもらえると助かります。
- ・ 認可保育所の保育サービスの充実をしてほしいです。
- ・ 保育所で希望者はバスでの送迎サービスを実施してほしいです。

2 小学校就学後の生活について

(1) 小学校について

- ・ 小学校の老朽化がちょっと心配です。
- ・ 各学校によって、人数のばらつきがあります。
- ・ 車がすれちがうのが難しいぐらい狭い道路が通学路で対策をしてほしいです。
- ・ 小・中学校の給食の継続をお願いします。

(2) 児童館・学童クラブについて

- ・ 学童は6年生まで延長頂きたいです。
- ・ 働く親にとって学童保育の行事が多く、負担に思います。
- ・ 学童保育の開設時間の延長をお願いします。
- ・ 学童保育料を引き下げてほしいです。
- ・ 毎日宿題を済ませてから遊ぶ習慣づけと友人同士教え合う事をしてほしいです。
- ・ 学童保育の夏休み、冬休みだけの一時利用があれば嬉しいです。

3 子育て支援全般について

(1) 地域子育てセンター、広場について

- ・ 子育て支援センターが近くにないので増やしてほしいです。
- ・ 地域子育て支援センターに、駐車場があると行きやすいです。
- ・ 子育て支援センターや子育てイベントの内容の質を上げてほしいです。
- ・ 子育て支援センターも空いている時間（行ける時間）が他の市と比べ短いのが不便です。

(2) 子育て支援事業について

- ・ 給食 教材費を無償にするなどの支援方法もしてほしいです。
- ・ 障がいのある方への支援・理解の充実をしてほしいです。
- ・ 子どもの数が多い方が負担なので、税金の控除がどの所得でも一律は負担です。
- ・ 産後ケアを充実させてほしいです。
- ・ 病後児等の受け入れできる施設が増え、急病にも対応頂けるとありがたいと思います。

(3) その他の子育ての情報や相談について

- ・ 気軽に子供の発達相談ができる場所がほしいです。
- ・ 様々な情報を提供していただきたいです。
- ・ 教室等のお知らせを広報等で確認しておりますが郵送があれば助かります。
- ・ 子育てに関して年長者の意見が気軽に聞ける環境があれば良いと思います。

4 子育て環境について

(1) 公園・遊び場について

- ・ 子どもが思いっきり遊べる公園などが増えてほしいです。
- ・ 歩道が狭い場所が多く夜間街灯が少ないです。
- ・ 歩道に段差が多いです。
- ・ 市民プールがあったらよいと思います。
- ・ 公共施設の老朽化等は気になります。
- ・ 遊具が公園に少なく、古くなっているものも多いので充実させていただけたらと思います。

(2) 医療費補助・医療体制について

- ・ 保健センター利用時の交通アクセスを改善してもらいたいです。
- ・ 子供の医療費の支援金、非常に助かっております。
- ・ 夜間診療可能な小児科が市内に無く、非常に不安です。
- ・ 歯科検診を無料でして欲しいです。
- ・ 休日診療所の小児科のスタッフの態度が悪いのが気になります。

5 子育て中の保護者の状況について

- ・ 気軽に預けられてたとえ数時間でもリフレッシュできれば助かります。
- ・ 共働き家庭への支援の充実をしてほしいです。
- ・ 職場、在宅勤務の他に、市内で子どもを遊ばせながら、仕事ができるスペースがほしいです。
- ・ もっと子供を産みたくなるような国や自治体の支援や環境づくりをお願いしたいです。
- ・ フルタイム勤務のお母さんだけでなくパートで働く母親に対する支援もお願いします。

6 その他

- ・ 市役所の皆様によくして頂いており、これから色々と利用させて頂きたいと思います。
- ・ 中学、高校の進学校が少ないです。

2 小学生児童

大分類	中分類	小分類	件数	
1. 幼稚園・保育園・認定こども園について	施設整備について	認定こども園の増設	1件	
		待機児童の解消	1件	
	保育料金・条件について	保育料金見直し	3件	
		幼稚園・保育園・認定こども園の入園条件見直し	1件	
	その他	その他	3件	
2. 小学校就学後の生活について	小学校について	教育内容の充実と見直し	9件	
		教員体制の充実	8件	
		登下校時の安全確保	6件	
		老朽校舎の改修	2件	
		いじめ問題	1件	
		英語教育の充実	1件	
		校庭の開放	1件	
		給食について	1件	
		P T A 関連・子ども会	15件	
		その他	11件	
	児童館・学童クラブについて	時間延長	4件	
		休日・長期休暇中の実施	16件	
		利用条件見直し	12件	
		利用料見直し	2件	
		実施施設の増設	12件	
		その他	22件	
	3. 子育て支援全般について	すくすく教室について	事業の充実	1件
			イベントを増やしてほしい、イベント内容の充実	2件
			その他	2件
その他の子育て支援サービスについて		病児・病後児保育事業の充実	1件	
		障害児への支援充実	4件	
		一時預かり事業の充実	1件	
		児童手当の充実、各種サービス利用料の見直し	5件	
		その他	10件	
子育てに関する情報について		子育て支援に関する情報の充実	3件	
		子育てに関する相談先の充実	3件	

大分類	中分類	小分類	件数
4. 子育て環境について	子どもの遊び場、まちづくり、公共施設等について	公園、遊び場等	34件
		防犯、不審者、外灯	5件
		防災（地震、火災、水害等）	2件
		公共施設（図書館、プール、体育館、公民館等）	4件
		道路施設	15件
		その他	7件
	母子の保健について	医療費補助、医療体制の充実	17件
		健診の充実	1件
		地域のつながり、協力等について	2件
		その他	8件
5. 子育て中の保護者の状況について	子育てと仕事の両立について	5件	
	保護者のリフレッシュ、子育て不安等について	1件	
	その他	1件	
6. その他	アンケートについて	2件	
	その他	6件	

【分類別の主な意見】

1 幼稚園・保育園・認定こども園について

- ・ 保育園に通う際に兄弟が別の園に入園している方が多いのでどうかしてほしいです。
- ・ 保育園、幼稚園の無償化などより待機児童を減らしてほしいです。
- ・ 施設（園）によって保育サービスに差があり、標準的な水準になるよう指導してほしいと思います。
- ・ 3人目無料は年が離れると意味がなく保育料は無料とならず苦しいです。

2 小学校就学後の生活について

（1）小学校についての体制や内容

- ・ 小中学校の改修、設備の充実してほしいです。
- ・ 小・中学校には塾に通わなくても対応できる教育の充実を望みます。
- ・ 学校の登下校の時に通学路に見守ってくれる人がほしいです。
- ・ 学校においても教育の指導に差が多く、学校によっても大きく異なってる気がします。
- ・ 小学校の参観日を減らしてほしいです。
- ・ 夏に学校プール開放などもしてほしいです。
- ・ もっと英語教育に力を入れてほしいです。
- ・ 小学校でももう少し1人1人に対してきめ細かい学習指導をしてほしいです。

（2）小学校の先生や周囲との関わりについて

- ・ 同学年なのにクラスにより授業の質が違います。

- ・ 教師のゆとりのなさを改善してほしいです。
- ・ 小学校、中学校の教師について、相談しやすく対応してくれる機関があればよいと思います。
- ・ 学校は、暴力をふるう子供や、嫌がらせをする子供がとて多いように感じる。そのような子供に育たないよう教えてほしいです。
- ・ 小、中学校の連携ができていないと思います。
- ・ PTA や地域委員など自治会の活動内容の見直しをしてほしいです。

(3) 児童館・学童クラブについて

- ・ 学童保育も6年生まで通えるようになるとうれしいです。
- ・ 長期休み時に気軽に利用できる児童館などの施設を増やしてほしい。
- ・ 学童の費用が高いです。
- ・ 開所の時間を拡大してほしいです。
- ・ 学童の指導員の先生を減らさないで欲しいです。
- ・ 学童保育に関して指導内容が全くわからないため、今後の利用に向け不安があります。
- ・ 自習や習い事のようなこともしてほしいです。
- ・ 学童に児童館を併設してほしいです。

3 子育て支援全般について

(1) すくすく教室について

- ・ すくすく教室が良い、もっとたくさん開催してほしいです。
- ・ 「お茶」や「プログラミング」「将棋」等、普段できない体験ができるのはとてもよいと思います。

(2) 子育て支援サービス事業について

- ・ 教育の場が障害の有無や支援が必要な子、そうでない子もみんなが一緒に学べる環境になってほしいなと思います。
- ・ 差が出ないよう医療費や学費の無料化や支援、放課後の学習や習い事の支援などをさらに充実させていただきたいです。
- ・ 一時的に利用できる預かり方があると、パート勤務者には大変助かります。
- ・ おむつ、おしりふき、ミルク等の割引など利用できる内容や店を増やしてほしいです。
- ・ 文科系の習い事の場所が近くにあったらと思います。
- ・ 子育てにお金がかかるのは、中学から大学まで、その時期の経済的支援をしてほしいです。
- ・ 市立中学校、高校の授業料の経済的支援をしてほしいです。
- ・ 税金をあまり払っていない低所得者への対策ばかりでなく一定の対策をしていただきたいです。
- ・ もっと市営住宅を増やしてほしいです。

(3) その他の子育て支援サービスについて

- ・ 子の発達などについての相談をするところがほしいです。
- ・ こどもの事で困ったり悩んだりした時に話を聞いて相談にのってくださった先生方や、場所があった事でとても助けられています。
- ・ ファミリーサポートセンター等の情報も充実していれば活用しながら安心して働けます。

4 子育て環境について

(1) 公園・遊び場について

- ・ ボール遊びが思いっきりできる公園、スペースの充実させてほしいです。
- ・ 子どもたちがのびのび安心して遊ぶことができる場所がほしいと思います。
- ・ スポーツセンターの設備を改善したり子どもが運動できる場所をしっかりと整備してほしいです。
- ・ 室内型の公園が便利な場所にあるとうれしいです。
- ・ 大きい公園が近くに欲しいです。
- ・ 草がたくさん生えベンチにも座れないので草を抜いてほしいです。

(2) 公共施設等について

- ・ 市内に大きなグラウンドなどあればいいと思います。
- ・ 震災などの災害も増えており、子供の安全確保など不安だらけです。
- ・ 不審者対応をしっかりパトロールしてほしいです。
- ・ JR、阪急の駅周辺や交通量の多い道路への歩道整備をして欲しいです。
- ・ 通学路の狭い道が多く、街灯が暗いです。

(3) 医療費補助・医療体制について

- ・ 夜間や休日に常に小児科医師が待機し、救急受け入れしてもらえる病院の体制を整えてほしいです。
- ・ 小さい頃に受けていた予防接種が今と異なるものがあり必要なものはわかりやすく、発信してほしいです。
- ・ インフルエンザなど、予防接種（自費）を学校で安く打てるようにしてほしいです。
- ・ 子どもの医療費補助の期間をもっとのばしてほしいです。

(4) 母子の環境と地域協力について

- ・ 介護をしながら仕事をしていますが別居だと保育時間が就労証明書でしか判断してもらえないのはおかしい気がします。
- ・ 保護者間の SNS、メール、LINE などの付き合い方の上手な方法など講習があれば参加したいです。
- ・ 地域のつながりも必要だと思いますが、仕事をされている家庭は休みも子どもだけで外へ出していたり、地域に参加できなかつたりするので、ボランティアなど必要な気がします。
- ・ シニアの方に多い印象だが子連れへの配慮がないところがあります。

5 子育て中の保護者の状況について

- ・ 社会全体として、子育てを大切にする意識を高めてほしいです。
- ・ もっと主婦が働きやすい環境を整えてほしいです、預けるためには職を見つけないといけません。
- ・ 働き続けるためのサポートが足りていないと思います。
- ・ 働く母親の負担を社会全体で減らせばと思います。

6 その他

- ・ 中学校での給食が始まるのは、本当に助かります。
- ・ いろいろな場も提供してくださっていますが、子どもの特性で参加が難しい場合もあり、活用しきれないのが残念です。
- ・ よりよい環境になるようご尽力いただいていると感じます。

IV 調査票

1 就学前児童

長岡京市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

就学前児童

調査ご協力のお願い

みなさまには日頃より、長岡京市のまちづくりにご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、長岡京市では子ども・子育て支援事業計画により、各種の子育て支援施策を実施しております。

今回、次期計画の策定にあたり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握するため、アンケート調査を実施させていただきます。

この調査は、就学前のお子さんがいらっしゃるご家庭に、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、子ども・子育て支援事業計画策定の検討にのみ利用させていただきます。ご回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にものたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。つきましては、ご多忙のことと存じますが、**地域の子ども・子育て支援のため必要なサービス量を推計するための重要な調査**ですので、調査の趣意をご理解いただき、ご協力くださいましたようお願い申し上げます。

平成30年11月

長岡京市

長岡京市では、「長岡京市子どもをすこやかに育むまち宣言」を行っています。

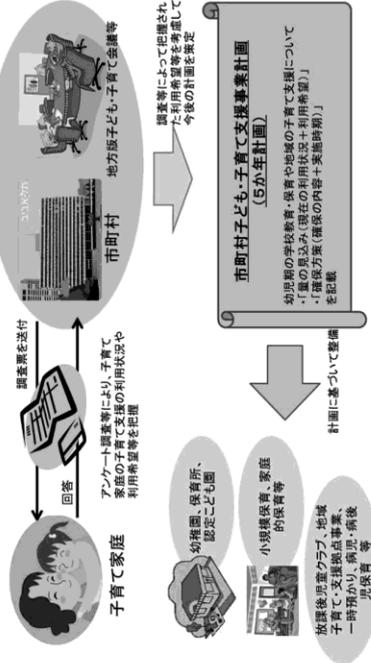
【記入にあたってのお願い】

- アンケートは、お子さんの保護者の方が、特にことわりのある場合を除き封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が説明欄によって異なりますので、注意書きにしてください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入ください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。
- 説明によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや失印に当たってご回答ください。特にことわりのない場合は次の説明へお進みください。
- ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

長岡京市 健康福祉部 子育て支援課
電話 075-9555-9558（直通）

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返送用封筒（切手不要）に入れて封をし、**12月21日（金）**までに郵便ポストに投函ください。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実にいかされます



【子ども・子育て支援制度】

◆子ども・子育て支援制度は、平成27年4月にスタートした制度で、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

◆子どもの成長においては、乳幼児期における他者との関わりや基本的な生き残りの力、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを旨としています。

◆子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を受けることが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

【用語の定義】 この調査票における用語の定義は以下のとおりです

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所：児童福祉法に定める、保育が必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認可外保育施設：児童福祉法上の保育所に該当しない保育施設
- 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て支援：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

長岡京市 子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査票

すべてのの方に、封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの地域の小学校区はどこですか。(Oは1つ)

小学校区がわからない場合は、「11. わからない」に住所をご記入ください。

- 1. 神足小学校
- 2. 長法寺小学校
- 3. 長岡第三小学校
- 4. 長岡第四小学校
- 5. 長岡第五小学校
- 6. 長岡第六小学校
- 7. 長岡第七小学校
- 8. 長岡第八小学校
- 9. 長岡第九小学校
- 10. 長岡第十小学校
- 11. わからない(住所:)

問2 長岡京市にお住まいになって、通算して何年になりますか。(Oは1つ)

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上10年未満
- 5. 10年以上15年未満
- 6. 15年以上20年未満
- 7. 20年以上

問3 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。数字は一律に一字)

平成 年 月 生まれ

問4 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。

2人以上のお子さんがいれば、最も多いお子さんの生年月月についてもご記入ください。

お子さんの合計は 人 末子の生年月月は 平成 年 月 生まれ

問5 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。(Oは1つ)

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. その他()

問6 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(Oは1つ)

- 1. 配偶者・パートナーがいる
- 2. 配偶者・パートナーがいない

問7 母親、父親の該当する年齢階層にOをつけてください。(母親、父親、それぞれOは1つ)

※ひとり親家庭の方は、母親又は父親のお答えください。

母親 1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳以上
父親 1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳以上

問8 お子さんの同居の同居の状況はどれに当てはまりますか。婚姻はお子さんから見た関係です。(Oはいくつでも)

- 1. 父母同居
- 2. 父同居(ひとり親家庭)
- 3. 母同居(ひとり親家庭)
- 4. 祖父同居
- 5. 祖母同居
- 6. その他()

問9 子どもさんの祖父母が近くにお住まいですか。(Oは1つ)

※近くとは、徒歩30分以内程度に行き来できる範囲です。

1. 住んでいる

2. 住んでいない

問10 お子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。婚姻はお子さんから見た関係です。(Oは1つ)

- 1. 父母ともに
- 2. 主に母親
- 3. 主に父親
- 4. 主に祖父母
- 5. その他()

すべてのの方に、子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問11 お子さんが日常的に通っている施設はどれですか。(Oは1つ)

- 1. 幼稚園
- 2. 認可保育所
- 3. 認可外保育施設
- 4. 認定こども園
- 5. その他()

問12 現在通っている保育施設について、全体的に満足していますか。(それぞれについて、Oは1つ)

項目	大変満足	ほぼ満足	やや不満	不満	よくわからない
施設・環境(園舎・園庭・玩具など)	1	2	3	4	5
子どもへの接し方・日常の遊び(保育内容)	1	2	3	4	5
行事(保育参観や運動会など)	1	2	3	4	5
食事	1	2	3	4	5
病気やケガの時の対応	1	2	3	4	5
保護者への情報伝達	1	2	3	4	5
悩みごとなどへの相談対応	1	2	3	4	5
保護者の要望・意見への対応	1	2	3	4	5
保護者同士のコミュニケーション	1	2	3	4	5
安全対策	1	2	3	4	5
衛生対策	1	2	3	4	5

問13 お子さんの子育てに、大きく影響すると思う環境はどれですか。(Oはいくつでも)

- 1. 家庭
- 2. 地域
- 3. 幼稚園
- 4. 保育所(認可・認可外)
- 5. 認定こども園
- 6. その他()

問14 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(Oはいくつでも)

- 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

問15 子育てをすすめる中で、日頃次のようなことがあったり、感じたりすることはありますか。(それぞれについてOは1つ)

項目	あてはまる	なんとなくあてはまる	ほとんどあてはまらない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
日常的に孤立感や孤独感を感じる	1	2	3	4	5
子育てが楽しいと感じる	1	2	3	4	5
子どもを叱りすぎているような気がする	1	2	3	4	5
子どもに手をあげてしまうことがある	1	2	3	4	5
子どもの世話をしないことがある	1	2	3	4	5

問 16 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか。(○は1つ)

1. 非常に不安や負担を感じる
2. なんとなく不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担などは感じない
4. 不安や負担は全く感じない
5. なんともいえない

問 17 子育てに関して、日常悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 病気や養育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもとの時間が十分にとれないこと
6. 仕事が十分できないこと
7. 自分のやりたいたいことが十分できない、自由な時間が持てないこと
8. 夫婦で楽しむ時間がないこと
9. 子どもの教育に関すること
10. 友だちつきあい(いじめ等を含む)に関すること
11. 登園拒否、不登校などの問題について
12. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
13. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
14. 話し相手や相談相手、協力者がいないこと
15. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などの理解が少ないこと
16. 保護者同士の交流・つきあいが難しいこと
17. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
18. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
19. 子どもが病気がちであること
20. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
21. 子育てで出費がかさむこと
22. 住居が狭いこと
23. 特になし
24. その他()

問 18 子育て支援について、特に重要な支援・対策は何だと思われますか。(○は3つまで)

1. 子育てに関する相談受付体制の強化
 2. 地域における子育て支援の充実
 3. 保育園入園待機児童の解消
 4. 妊娠・出産に関する支援
 5. 子どもの教育環境の整備・充実
 6. 仕事と家庭生活の両立
 7. 経済的な安定
 8. 保育サービスの充実
 9. 地域での子どもの活動拠点の充実
 10. 母親・乳児の健康に対する安心
 11. 子育てしやすい住居・環境の整備・充実
 12. 子どもを狙った犯罪や事故の減少
 13. 要保護児童(※)に対する支援
 14. その他()
- (※) 要保護児童：保護者に監護されることが不相当であると認められる児童や保護者がいない児童

問 19 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

1. いる/ある ⇒ 問 19-1ハ
2. いない/ない ⇒ 問 20ハ

問 19で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 19-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか。(○はいくつでも)

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育てサークル・NPO・子育て支援施設(児童館等)
5. 保健所
6. 保育所
7. 幼稚園
8. 認定こども園
9. 民生委員・児童委員
10. かかりつけの医師
11. 東京都の子育て関連担当窓口(家庭児童相談員・保健師等)
12. 地域子育て支援センター
13. 児童相談所
14. 民間の電話相談
15. その他()

問 20 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(○は3つまで)

1. 身近な場での窓口
 2. 専門的な情報
 3. 職員の対応スキル
 4. 地域機関等へのつながり
 5. 安心して相談できる環境
 6. その他()
- (子どもの預かり、ブライバシーの配慮等)

問 21 ご近所や地域の人々との付き合いはどのようですか。(○は1つ)

1. 親しい
2. 付き合いがありやや親しい
3. 少々付き合いがある
4. 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度
5. 分らない

問 22 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。(○は1つ)

1. 現在参加しており、今後も参加するつもりである
 2. 現在参加しているが、今後は参加するつもりはない
 3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
 4. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない
- ⇒ 問 22-1ハ

問 22で「2~4」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-1 参加していない理由、または今後参加しない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 活動の情報や参加方法を知らないから
2. 身近な場所で参加できる活動がないから
3. 活動に参加する余裕や時間がないから
4. 気軽に参加したり、やめたりできないから
5. 人間関係がわずらわしいから
6. 特に必要を感じないから
7. その他()

問 23 お子さんは日中に主にどこで遊ぶことが多いですか。(○は1つ)

1. 公園
2. 子ども交流コーナー(長岡京こらさ・パンピオ)
3. 子どもの友人宅
4. 親族宅
5. 知人宅
6. 児童館
7. 子育て支援センター
8. 自宅
9. 乳幼児が遊べる場所
10. その他()

問 24 遊び場で困ること・困ったことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 近くに遊び場がない
2. 遊び場や周辺環境が悪く、安心して遊べない
3. 遊び場周辺の道路が危険である
4. 思い切り遊ぶための十分な広さがない
5. 遊具などの種類が充実していない
6. 遊具などの設備が古くて危険である
7. トイレなどが不衛生である
8. 雨の日に遊べる場所がない
9. 遊び場に同じ歳くらいの遊び仲間がいらない
10. いつも開散としていて寂しい感じがする
11. 特に意見はない
12. その他 ()

問 25 お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配
2. 歩道の段差などベビーカー等の通行が困難
3. 交通機関や運物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. 授乳する場所や必要な設備がない
5. オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない
6. 小さな子どもの食事に対応された場所がない
7. 買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない
8. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪被害にあわないか心配
9. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
10. 困っているときに手を貸してくれる人が少ない
11. 特に困ること・困ったことはない
12. その他 ()

問 26 お子さんの休日や夜間の急病時には、どのように対応されていますか。(最も当てはまるもの1つに○)

1. 休日応急診療所
2. かかりつけ医
3. 電話相談
4. 受診できる医療機関を知らない
5. その他 ()

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 27 お子さんが生まれた時、父兄のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)
また、「3. 取得していない」に○をした方はその理由を1～15より選び、口内に番号をご記入ください。(該当する番号すべてを記入)

母親 (いずれか1つに○)	父親 (いずれか1つに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない
取得していない理由(下記1～15のうち該当する番号を記入)	取得していない理由(下記1～15のうち該当する番号を記入)

1. 配偶者が育児休業制度を利用した
2. 配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
3. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
4. 仕事が忙しかった
5. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
6. 仕事に戻るのが難しそうだった
7. 昇給・昇格などが遅れそうだった
8. 収入減となり、経済的に苦しくなる
9. 保育所(園)などに預けることができた
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他 ()

問 27 で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。(該当しない方は問 27-10A)
問 27-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

	母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
2. 現在も育児休業中である	2	2
3. 育児休業中に離職した	3	3

問 27-1 で母親、父親のいずれかで「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方について
 問 27-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

※次の場合は「1」と回答ください
 ①年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した
 ②年度初めでの認可保育所入所を希望したが、実際には復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

母親 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった
 父親 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 27-3 実際に育児休業から職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、希望としては、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたいですか。(お勤め先の育児休業の制度の期間内で母親、父親のそれぞれについて、口内に数字でご記入ください。(数字は一律に一桁))

母親	実際の期間	□	希望の期間	□
父親	実際の期間	□	希望の期間	□

問 27-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたいですか。母親、父親のそれぞれについて、口内に数字でご記入ください。(数字は一律に一桁)

母親	3歳まで取得できた場合の希望の期間	□
父親	3歳まで取得できた場合の希望の期間	□

問 27-3 で実際の復帰と希望が異なる方について
 問 27-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由を、母親、父親のそれぞれについてお答えください。(○はいくつでも)

(1) 「希望」より早く復帰した方

	母親 (○はいくつでも)	父親 (○はいくつでも)
1. 希望する保育所に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5. その他 ()	5	5

(2) 「希望」より遅く復帰した方

	母親 (○はいくつでも)	父親 (○はいくつでも)
1. 子どもの成長を重視したため	1	1
2. 希望する保育所に入らなかったため	2	2
3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	3	3
4. 配偶者や家族の希望があったため	4	4
5. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	5	5
6. 子どもをみてくれる人がいなかったため	6	6
7. その他 ()	7	7

問 27-6 育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)
 問 27-7 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由をお答えください。(母親、父親それぞれに○は3つまで)

	母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1	1
2. 利用した	2	2
3. 利用したかったが、利用できなかった(利用できなかった)	3	3

問 27-6 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方について
 問 27-7 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由をお答えください。(母親、父親それぞれに○は3つまで)

	母親 (○は3つまで)	父親 (○は3つまで)
1. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	1	1
2. 配偶者が子育てに専念している。祖父母等の親族にみてもらえなど、制度を利用する必要がなかった	2	2
3. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	3	3
4. 仕事が忙しかった	4	4
5. 短時間勤務にする給与が減額され、経済的に苦しくなる	5	5
6. 短時間勤務にする医療費の負担が先順位が下がる	6	6
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7	7
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)	8	8
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
10. その他 ()	10	10

問 27-7で「3.職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があった」と回答した方にかがいます。

問 27-8 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった理由は何ですか。
(母親、父親それぞれに○は3つまで)

	母親 (○は3つまで)	父親 (○は3つまで)
1. 取得している人がいないから	1	1
2. 業務が他の人の負担となるから	2	2
3. 職場の人の理解が得られないから	3	3
4. 上司に理解が得られないから	4	4
5. その他 ()	5	5

問 27-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。

問 27-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる施設等があれば、1歳になるまで育児休業を取りますが、そのことを。(母親、父親それぞれに○は1つ)

母親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に復帰したい
父親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問 27で「2. 取得した(取得中である)」「3. 取得していない」に○をつけた方にかがいます。
問 27-10 子どもが原則1歳(※1)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(※2)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。

※1: 保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳です。
※2: 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間取付けた育児休業に相当する措置のことです。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 27-11 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることをお答えください。(○はいくつでも)。

1. 急な残業が入ってしまう	2. 子どもが急病時の対応
3. 職場の理解が得られない	4. 保育所が見つからない
5. 子どもと接する時間が少ない	6. その他 ()
7. 特になし	

すべての方にかがいます。

問 27-12 子育てと介護を同時に行っている(いた)ことがありますか。(○は1つ)

	母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. 同時におこなっている(いた)	1	1
2. 同時におこなっていない	2	2

問 27-12で「1. 同時に行っている(いた)」と回答した方にかがいます。
問 27-13 仕事についてはどうしましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

	母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. 仕事を継続	1	1
2. 仕事を休職	2	2
3. 勤務形態を変更	3	3
4. 仕事を辞めた	4	4

問 27-12で「1. 同時に行っている(いた)」と回答した方にかがいます。

問 27-14 大変だと感じている(いた)事があれば、当てはまる番号に○をつけてください。(母親、父親それぞれに○は3つまで)

	母親 (○は3つまで)	父親 (○は3つまで)
1. 精神的、体力的に苦しい	1	1
2. 費用が家計を圧迫している	2	2
3. 子ども、親(義親)の世話を十分にできない	3	3
4. 時間の捻出が困難である	4	4
5. 協力者及び協力的体制の構築が困難である	5	5
6. 職場の理解が得られない	6	6
7. 配偶者、兄弟、親戚等の理解が得られない	7	7
8. 誰に相談したらよいかわからない	8	8
9. その他 ()	9	9

すべての方に、お子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

※ひとり親家庭の場合は、母親又は父親のみお答えください。

問 28 お子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

（1～6の項目について、母親、父親それぞれに○は1つ）

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就業をいいます。

	母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. フルタイムで就業しており、産休・育休・育児・介護休業中ではない	1	1
2. フルタイムで就業しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3. パート・アルバイト等で就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4. パート・アルバイト等で就業しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5. 以前は就業していたが、現在は就業していない	5	5
6. これまで就業したことがない	6	6

就業している方（問28で「1」～「4」に○をつけた方）にうかがいます。（「5」「6」に○をつけた方は問28-2へ）

※勤務パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) - 1 母親と父親の週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間（就業時間を含む）」を、口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）

母親	1週間当たり	日	1日当たり	時間
父親	1週間当たり	日	1日当たり	時間

(1) - 2 母親と父親の家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）
時間は、必ず（例）08時～17時のように、2.4時間制、3.0分単位でお答えください。

母親	家を出る時間	時	分	0	時	分	0	分
父親	家を出る時間	時	分	0	時	分	0	分

(1) - 3 育児と仕事を両立するうえで望ましいと考えられる母親と父親の家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）
時間は、必ず（例）08時～17時のように、2.4時間制、3.0分単位でお答えください。

	理想の	理想の
母親	家を出る時間	家を出る時間
父親	家を出る時間	家を出る時間

パート・アルバイト等で就業している方（問28で「3」「4」に○をつけた方）にうかがいます。

（「1」「2」に○をつけた方は問29へ）

問 28-1 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就業）への転換希望はありますか。

（1～4の項目について、母親、父親それぞれに○は1つ）

	母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等の就業を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 28 の「母親」または「父親」について、「5. 以前は就業していたが、現在は就業していない」または「6. これまで就業したことがない」に○をつけた方にうかがいます。（該当しない方は問29へ）

問 28-2 就業したいという希望はありますか。（○は1つ）

選んだ番号に口がある場合は、口内に数字をご記入ください。（数字は一律に一字）

(1) 母親

1. 今は子育てや家事などに専念したい（就業の予定はない）	→	希望する就業形態	→	1週当たり	日	1日当たり	時間
2. 1年より先、一番下の子どもが	→	希望する就業形態	→	1週当たり	日	1日当たり	時間
3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい	→	希望する就業形態	→	1週当たり	日	1日当たり	時間

(2) 父親

1. 今は子育てや家事などに専念したい（就業の予定はない）	→	希望する就業形態	→	1週当たり	日	1日当たり	時間
2. 1年より先、一番下の子どもが	→	希望する就業形態	→	1週当たり	日	1日当たり	時間
3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい	→	希望する就業形態	→	1週当たり	日	1日当たり	時間

すべての方に、お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的に利用しているものを指します。具体的には、幼稚園や保育所（認可・認可外）など、問29-1に示した事業が含まれます。

問 29 お子さんは現在、幼稚園や保育所などを利用されていますか。（○は1つ）

1. 利用している	⇒	問 29-1 へ
2. 利用していない	⇒	問 29-5 へ

問29-1～問29-4については、問29で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問 29-1 お子さんは、平日どのような教育・保育を定期的に利用していますか。(○はいくつでも)

1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）
2. 幼稚園（預かり保育を利用）
3. 保育所（認可外）
4. 認定こども園
5. 家庭的保育
6. 小規模な保育施設
7. 事業者の家庭等で子どもを保育する事業（市の認可を受けた定員おむね6～19人もの）
8. その他の認可外の保育施設
9. ベビーシッターなど従業員用・院内保育所
10. ファミリーサポートセンター
11. その他（ ）

問 29-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

問 29-1で選んだ番号（主に利用している番号2つまで）を、下記の「番号」の欄にご記入の上、現在と希望について、1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。（数字は一律に一桁）
時間は、必ず（例）09時～17時のように2.4時間制でご記入ください。
なお、利用時間に成じた負担が発生します。

番号	利用日数・時間・時間帯			
	現在	希望	現在	希望
	1週間当たり 日	1週間当たり 日	時間→ 時～時	時間→ 時～時
	1週間当たり 日	1週間当たり 日	時間→ 時～時	時間→ 時～時
	1週間当たり 日	1週間当たり 日	時間→ 時～時	時間→ 時～時
	1週間当たり 日	1週間当たり 日	時間→ 時～時	時間→ 時～時

問 29-3 現在、利用している教育・保育の場所をお答えください。(○は1つ)

1. 長岡京市内
2. 他の市区町村(具体名:)

問 29-4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 子どもの教育や発達を第一に考えているため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介している
5. 子育てをしている方が病氣や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ）

問 29-2 「2. 利用していない理由」に○をつけた方にかがいます。

問 29-5 利用していない理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 父母のいずれかがみかみかしているため、利用する必要がない
2. 子どもがまだ小さいため、利用しなくなった
3. 子どもが祖父母や親戚の人がみかみかしている
4. 近所の人や父母の友人、知人がみかみかしている
5. 利用したいが、幼稚園や保育所に空きがない
6. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
7. 利用したいが、延べ、夜間等の時間帯の条件が合わない
8. 利用したいが、内容や場所など、納得できない
9. その他（ ）

すべての方に、幼児教育・保育の無償化が実施された場合を想定して、お子さんの教育・保育の利用意向についてうかがいます。

問 30 政府は、消費税引き上げの時期に合わせて、認可・認可外を問わず、3歳から5歳までのすべての子どもと、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、現在は利用料が発生しますが、無償になる方向です。その場合、現在、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）
2. 幼稚園（預かり保育を利用）
3. 保育所
4. 認定こども園
5. 小規模な保育施設（6～19人）
6. 家庭的保育（5人以下）
7. 事業所内保育所・院内保育所
8. その他の認可外の保育施設
9. ベビーシッターなど居宅訪問型保育
10. ファミリーサポートセンター
11. その他（ ）

問 30-1 教育・保育を利用したい場所をお答えください。(○は1つ)

1. 長岡京市内
2. 他の市区町村(具体名:)

問 30の「1. 幼稚園（預かり保育の利用なし）」または「2. 幼稚園（預かり保育を利用）」に○をつけ、かつ「3」～「11」にも○をつけた方にかがいます。(該当しない方は問 31へ)

問 30-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問 31 0歳児における子育てに対する考えは以下のどれにあたりますか。現在のあなたの考えに最も近いものをお答えください。対象のお子さんが1歳児以上のときは、0歳時だったときのことを振り返り、お答えください。(○は1つ)

1. 育児休業制度が整っていれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい
2. 一時預かりなど、不定期な保育サービスを利用できれば、今後1年以上は在宅で子育てをしたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したいので、保育サービスを利用したい

すべての方に、お子さんの地域の地域子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 32 お子さんは、現在、地域子育て支援センター（朝日保育園内エンゼル、保健センター内たんぽぽ、海印保育園内さんさんのふ、さくらんぼの4ヶ所において、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（〇はいくつでも）
また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）

1. 地域子育て支援センター	→ 1週当たり <input type="text"/> 回	もしくは	1ヶ月当たり <input type="text"/> 回	程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具休名： <input type="text"/> ）	→ 1週当たり <input type="text"/> 回	もしくは	1ヶ月当たり <input type="text"/> 回	程度
3. 利用していない				
4. 既に就園しており利用する必要はない				

問 33 問 32 のような地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（〇は1つ）
また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）
なお、これらの事業の内、特別プログラムの利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい	→ 1週当たり <input type="text"/> 回	もしくは	1ヶ月当たり <input type="text"/> 回	程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	→ 1週間当たり更に <input type="text"/> 回	もしくは	1ヶ月当たり <input type="text"/> 回	程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない				
4. 既に就園しており利用する必要はない				

問 34 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに〇）

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことのある	今後利用したい
①市の生涯教室（母親学級）・離乳教室	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
②市の情報・相談サービス・健康相談	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
③家庭教育に関する学級・講座	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
④保育園の子育て相談	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑤幼稚園の教育相談や講演会等	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑥教育支援センター・教育相談	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑦地域子育て支援センター	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑧保育園の一時保育	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑨幼稚園の預かり保育	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑩保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑪児童館	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑫ファミリーサポートセンター（※1）	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑬家庭児童相談室	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑭市が発行している子育て情報誌、子育て支援アプリ	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

※1）会員制による市民の一時預かりを中心とした相互援助活動

すべての方に、お子さんの土曜・休日、長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望についてうかがいます。

問 35 お子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育（※1）の利用希望はありますか。（土曜日、日曜・祝日ごとに〇は1つ、一時的な利用は除きます）
希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～17時のように2.4時間制でご記入ください。（数字は一律に一字）

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※1 教育・保育とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

①土曜日	1. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで
	2. ほぼ毎週利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで
	3. 月に1～2回は利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで
②日曜日	1. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで
	2. ほぼ毎週利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで
	3. 月に1～2回は利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで

問 35の④もしくは⑤で、「2. ほぼ毎週利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。

問 35-1 毎週利用したい理由は何ですか。（〇はいくつでも）
1. 毎週仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため 4. その他（ ）

問 35の⑥もしくは⑦で、「3. 月に1～2回は利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。

問 35-2 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（〇はいくつでも）
1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため 4. 息抜きのため
5. その他（ ）

【幼稚園】を利用されている方にうかがいます。

問 36 お子さんについて、夏休み・冬休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。（〇はいくつでも）
希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～17時のように2.4時間制でご記入ください。（数字は一律に一字）

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	時まで

問36で「2. ほぼ毎日利用したい」に○をつけたい方がいます。

問 36-1 ほぼ毎日利用したい理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. ほぼ毎日仕事が入るため
2. 親族の介護や手伝いが必要なため
3. その他 ()

問36で「3. 週に数日利用したい」に○をつけたい方がいます。

問 36-2 毎日ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

平日の教育・保育を利用する方のみ、お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

お子さんが急な病や、怪我をして保育園や学校ができない、まだもう少し幼稚園、保育園等や学校に行かせるのは心配という時に、病中・病後のお子さんをお預かりする病児・病後児保育室、東京都には、おひさま病児保育室(厚生年金府病院)、病児・病後児保育室なる(牛舎病院)があります。

平日に幼稚園、保育園等に通っていると答えた保護者の方(問29で「1」に○をつけたい)にうかがいます。(利用していらっしゃる方以外は問38へ)

問37 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだことはありますか。(○は1つ)

1. あった ⇒ 問37-1へ
2. なかった ⇒ 問38へ

問 37-1 お子さんが病気やケガで幼稚園、保育園などを休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる番号(1～7)に○をつけてください。(○はいくつでも)
○をつけた場合、それぞれのおおよその日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に二桁)

1年間の対応	日数
1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
2. 父親が休んだ	□□ 日
3. 母親が休んだ	□□ 日
4. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
6. ベビーシッターを利用した	□□ 日
7. その他 ()	□□ 日

次頁問37-5へ

問37-1で「2. 父親が休んだ」「3. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけたい方がいます。

問37-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ)
「1. 利用したい」に○をした方は、日数についても口内に数字でご記入ください。
(数字は一律に一桁)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい(利用希望日数 □□ 日) ⇒ 問37-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問37-4へ

問37-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけたい方がいます。

問37-3 上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの形態が望ましいと思われましたか。(○はいくつでも)

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設したもの
2. 小児科に併設したもの
3. 地域住民等が保育するもの(例：ファミリーサポートセンター等)
4. その他 ()

※回答後、問38へお進みください

問37-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけたい方がいます。

問37-4 利用したいと思わない理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 親が仕事を休んで看るのが当然と思うから
2. 親が休むことができないから
3. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
4. 地域の事業の質に不安がある
5. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料がわからない
8. その他 ()

※回答後、問38へお進みください

問 37-1 で「4」から「7」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 37-5 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで書きたいと書かれたか。問 37-1 の「4」から「7」の日数のうち、仕事を休んで書きたかったおおよその日数について数字でご記入ください。
(数字は一律に一字)

できれば仕事を休んで書きたかった日数 日

問 37-6 休んで書ることができなかつた理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 仕事が忙しくて休めない
2. 子どもの看護を理由に休めない
3. 自営業なので休めない
4. 休暇日数が足りないので休めない
5. その他 ()

すべての方に、お子さんの不規則の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 38 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不規則の就労など)で不規則に利用している事業はありますか。利用している事業について、当てはまる番号(1~7)に○をつけてください。(○はいくつでも)
また、1年間のおおよその利用日数も□内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり (理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を超え、不規則に利用)	<input type="text"/> 日
3. ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/> 日
4. 夜間看護等事業：トワイライストデイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="text"/> 日
6. その他 ()	<input type="text"/> 日
7. 利用していない	<input type="text"/> 日

→ 問 38-1 へ

※回答後、問 39 へお進みください

問 38 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 38-1 現在利用していない理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 対象者になるのかどうかわからない
8. 利用方法(手続き等)がわからない
9. その他 ()

問 39 お子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不規則の就労など)の場合、事業を利用したいと思いませんか。また、年間何日くらい利用する必要がありますか。

① 利用希望の有無について、1、2の番号どちらか1つに○

② 「1. 利用したい」に○をした人は、ア～エのうち、利用したい理由に○。(○はいくつでも) また、必要な日数について、□内におおよその数字を記入。(数字は一律に一字) なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用している事業	日数(年間)
1. 利用したい → ア～エについてもお答えください	
ア. 私有(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	<input type="text"/> 日
ウ. 不規則の就労	<input type="text"/> 日
エ. その他 ()	<input type="text"/> 日

1に○をした人は、ア～エを回答後、問 39-1 へ

問 39 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

→問 39-1 問 39 の目的でお子さんを預ける場合、次のいずれの形態が望ましいと思いませんか。(○はいくつでも)

1. 一時預かり
2. 幼稚園の預かり保育
3. ファミリーサポートセンター
4. 夜間看護等事業：トワイライストデイ
5. ベビーシッター
6. その他 ()

問 40 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不規則の就労など)により、お子さんを預けがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについて、1、2の番号どちらか1つに○

① 家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについて、1、2の番号どちらか1つに○
② 「1. あった」に○をした人は、ア～エのうち、実際にあった対応に○。(○はいくつでも) また、それぞれの日数について、□内に数字を記入。(数字は一律に一字)

「短期入所生活援助事業(ショートステイ)・・・児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

1年間の対応	日数
1. あった → ア～エについてもお答えください	
ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	<input type="text"/> 泊
ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	<input type="text"/> 泊
エ. 子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
オ. その他 ()	<input type="text"/> 泊

1に○をした人は、ア～エを回答後、問 40-1 へ、それ以外の人は問 41 へ

2. なかつた → 問 41 へ

※回答後、問 40-1 へお進みください

問40で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

問40-1 その場合、頼みやすかったですか。(○は1つ)

1. 大変頼みにくい
2. どちらかというと頼みにくい
3. どちらかというと頼みやすい
4. 頼みやすい

お子さんの、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問41 お子さんについて、小学校(1～4年生)のうちは、放課後(平日の小学校、支庁学校等終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも)
また、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)
時間は必ず(例) 17時 のように2.4時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…学童保育とも呼ばれます。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「すくすく教室(放課後子ども教室)」…地域の方々の協力を得て、放課後(週1回程度)や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

「放課後等デイサービス」…支援を必要とする障がいのある子どもが放課後や週末に通う療育機能と居場所機能をもった福祉サービス。

1. 自宅	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
2. 祖父母宅や友人・知人宅	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
4. 児童館	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
5. すくすく教室(放課後子ども教室)	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
7. ファミリーサポートセンター	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
8. 放課後等デイサービス	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
9. その他(公民館、公園など)	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												



問42 お子さんについて、小学校高学年(5、6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも)
また、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。「6. 放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)
時間は必ず(例) 17時 のように2.4時間制でご記入ください。
だいたい先のことになります。現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
2. 祖父母宅や友人・知人宅	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
4. 児童館	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
5. すくすく教室(放課後子ども教室)	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
7. ファミリーサポートセンター	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
8. 放課後等デイサービス	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												
9. その他(公民館、公園など)	→	週	<input type="checkbox"/>	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>												

問41または問42で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

問43 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(土曜日、日曜日・祝日ごとに○は1つ)
利用希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。(数字は一律に一字)
時間は、必ず(例) 09時～17時 のように2.4時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

土曜日	1. 1～4年生の間は利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時まで
日曜日	2. 高学年(5、6年生)になっても利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時まで
祝日	3. 利用する必要はない								
日曜日	1. 1～4年生の間は利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時まで
祝日	2. 高学年(5、6年生)になっても利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時まで
日曜日	3. 利用する必要はない								

問44 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休学期間の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ)
利用希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。(数字は一律に一字)
時間は、必ず(例) 09時～17時 のように2.4時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 1～4年生の間は利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時まで
2. 高学年(5、6年生)になっても利用したい	→	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時	<input type="checkbox"/>	時まで
3. 利用する必要はない								

問 41 または問 42 で「4. 児童館」「5. すぐく教室（放課後子ども教室）」「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問 45 放課後の居場所について心配だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っていないとは思えない
2. 運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない
3. 体験活動の実施される回数が少ない
4. 子どもが望むような体験活動が少ない
5. 決められた体験活動が多く、子どもが自由に過ごせない
6. 高学年の子どもの参加しやすい（参加しにくい）活動が少ない
7. 運営スタッフの目的が十分に行き届いていない
8. 運営スタッフと子どもへの対応の仕方や子育てについての考え方が合わない
9. 開設時間が短い
10. 経済的負担（保険料・利用料など）がかり過ぎる
11. 特になし

問 46 お子さんの放課後に必要と思うものは何ですか。（○は2つまで）

1. 大人の見守りによる安全・安心な居場所
2. 学びのきっかけとなる体験活動
3. 自由遊び
4. 宿題の支援
5. 学力を高めるための学習支援
6. 運動系の習い事
7. 文化系の習い事
8. 将来の職業の参考になる体験活動

すべての方に、子育て支援対策の全般とその他についてうかがいます。

問 47 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について○をつけてください。（○は1つ）



問 48 子どもを働やかに生み育てるために、市にどのようなことを特に期待しますか。（○は5つまで）

1. 子育てに関する相談・情報提供の充実
2. 保護者同士が交流できる場の充実
3. 家事や子育て等で男女がともに協力し助け合うことなどの啓発の推進
4. 子育ての意識・大切さなどの普及・啓発
5. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実
6. 妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実
7. 小児救急医療体制の充実
8. 児童虐待防止対策の推進
9. 障がい児に対する教育・保育への配慮・支援
10. 乳児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実
11. ひとり親家庭など多様な家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
12. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動の推進
13. 学童期の子どもの放課後対策の充実
14. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実
15. 親子で一緒に楽しめるイベント等
16. 子どもの「生きる力」を育むための教育の推進
17. 非行防止などの青少年健全育成対策の推進
18. 仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発
19. 道路や施設などのバリアフリー化の推進
20. 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進
21. 特になし
22. その他（ ）

問 49 子育てに必要な施策などの情報どのように入手されていますか。（○はいくつでも）

1. 親族（親、きょうだいなど）
2. 近所の人、地域の知人、友人
3. 子育てサークルの仲間
4. 保育所、幼稚園、学校
5. 市役所や市の機関
6. 市の広報やパンフレット（子育てガイドなど）
7. テレビ、ラジオ、新聞
8. 子育て雑誌、育児書
9. インターネット
10. コミュニティ誌
11. 子育て支援アプリ（ながすく！）
12. 情報の入手手段がわからない
13. 情報の入手先がない
14. その他（ ）

問 50 お子さんが就学した後のお住まいの場所について、どうお考えですか。（○は1つ）

1. 住み続けたい
2. 市内で引っ越したい
3. 市外へ引っ越したい
4. わからない

問 50-1 上記の理由をご記入ください。

問 50-2 住む場所を選ぶ際、どんなことを特に重視しますか。（○は3つまで）

1. 住居の広さ
2. 家賃や住宅の販売価格
3. 保育サービスの充実度
4. 幼稚園の充実度
5. 在宅子育て支援の充実度
6. 小・中・高の教育環境
7. 放課後児童対策の充実度
8. 公園、自然の多さ
9. 街並み
10. まちのイメージ
11. 子どもの通学の利便性
12. 現在の住居に近いこと
13. 近隣住民との交流の多さ
14. 実家等との距離
15. 医療施設の充実度
16. 交通マナー
17. 子ども会活動の活発さ
18. 通勤の利便性
19. その他（ ）

問 51 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

お忙しい中、調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご返函ください。

長岡京市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

小学生児童

調査ご協力のお願い

みなさまには日頃より、長岡京市のまちづくりにご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、長岡京市では子ども・子育て支援事業計画により、各種の子育て支援施策を実施しております。

今回、次期計画の策定にあたり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握するため、アンケート調査を実施させていただきます。

この調査は、小学生のお子さんがいいらっしゃるご家庭に、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、子ども・子育て支援事業計画策定の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりは一切ございません。つきましては、ご多忙のことと存じますが、**地域の子ども・子育て支援のため**の**必要なサービスを推計するための重要な調査**ですので、調査の趣意をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

長岡京市

長岡京市では、「長岡京市子どもをすこやかに育むまちな言」を行っております。

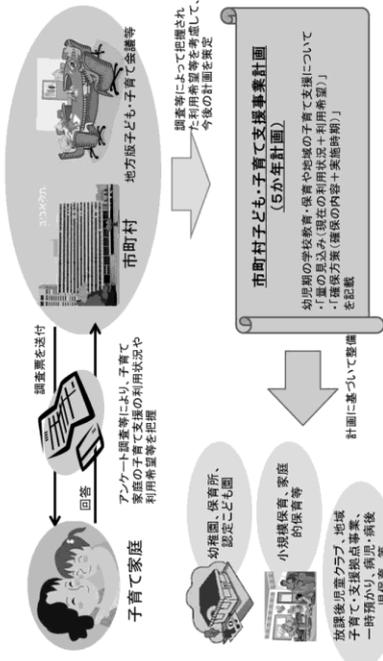
【記入にあたってのお願い】

- アンケートは、お子さんの保護者の方が、特にことわりのある場合を除き封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただいた場合と、数字などをご記入いただいた場合がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただいた数が複数によって異なりますので、注意書きにしたがってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時刻(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時は18時)でご記入ください。
- 時刻によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや失印にいたしましたご回答ください。特にことわりのない場合は次の説明へお進みください。
- ご回答いただくうえで不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

長岡京市 健康福祉部 子育て支援課
電話 075-9555-9558 (直通)

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の**返送用封筒**(切手不要)に入れて封をし、**12月21日(金)**までに郵便ポストに投函ください。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実にかかせません



【子ども・子育て支援制度】

◆子ども・子育て支援制度は、平成27年4月にスタートした制度で、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

◆子どもの成長においては、乳児期におけるしっかとりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学習期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

◆子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもち、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てで子どもが成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

【用語の定義】この調査票における用語の定義は以下のとおりです

- ・子育て支援：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・留守家庭児童会：地域により「学習保育」「放課後児童クラブ」とも呼ばれています。長岡京市では留守家庭児童会と呼ばれ、両親の就業等により、放課後に保護・育成が困難な家庭の児童(小学生1～4年生)を健やかに育成することを目的としています。利用にあたっては、利用者負担があります。

長岡市 子ども・子育て支援事業計画にかかる二一ス調査票

すべての方に、封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいの地域の小学校区はどこですか。(〇は1つ)

- 1. 神足小学校
- 2. 長法寺小学校
- 3. 長岡第三小学校
- 4. 長岡第四小学校
- 5. 長岡第五小学校
- 6. 長岡第六小学校
- 7. 長岡第七小学校
- 8. 長岡第八小学校
- 9. 長岡第九小学校
- 10. 長岡第十小学校

問2 長岡京市にお住まいになって、通算して何年になりましたか。(〇は1つ)

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上10年未満
- 5. 10年以上15年未満
- 6. 15年以上20年未満
- 7. 20年以上

問3 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字をご記入ください。数字は一律に一字)

平成 □ □ 年 □ □ 月 □ □ 生まれ

問4 お子さんは何人ですか。人数を数字でご記入ください。

2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月についてもご記入ください。

お子さんの合計は □ □ 人 末子の生年月月は 平成 □ □ 年 □ □ 月 □ □ 生まれ

問5 調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみられた関係でお答えください。(〇は1つ)

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. その他()

問6 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

- 1. 配偶者・パートナーがいる
- 2. 配偶者・パートナーがいない

問7 母親、父親の該当する年齢階層に〇をつけてください。(母親、父親、それぞれ〇は1つ)

※ひとり親家庭の方は、母親又は父親のみお答えください。

母親	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳以上
父親	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳以上

問8 お子さんの同居の状況はどれに当たりますか。婚姻はお子さんからみられた関係です。(〇はいくつでも)

- 1. 父母同居
- 2. 父母居(ひとり親家庭)
- 3. 母同居(ひとり親家庭)
- 4. 祖父母同居
- 5. 祖母同居
- 6. その他()

問9 子どもさんの祖父母が近くにお住まいですか。(〇は1つ)

※近くとは、概ね徒歩30分以内程度に行き来できる範囲です。

- 1. 住んでいる
- 2. 住んでいない

問10 お子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。婚姻はお子さんからみられた関係です。(〇は1つ)

- 1. 父母ともに
- 2. 主に母親
- 3. 主に父親
- 4. 主に祖父母
- 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問11 お子さんの子育てに、大きく影響すると思う環境はどれですか。(〇はいくつでも)

- 1. 家庭
- 2. 地域
- 3. 小学校
- 4. その他()

問12 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

問13 子育てをすす中で、日頃次のようなことがあったり、感じたりすることはありますか。(それぞれについて〇は1つ)

項目	あてはまる	ほとんどあてはまる	なんとなくあてはまる	ほとんどいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
日常的に孤立感や孤独感を感じる	1	2	3	4	5	5
子育てが楽しいと感じる	1	2	3	4	5	5
子どもを叱りすぎているような気がする	1	2	3	4	5	5
子どもに手をあげてしまうことがある	1	2	3	4	5	5
子どもの世話をしないことがある	1	2	3	4	5	5

問14 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか。(〇は1つ)

- 1. 非常に不安や負担を感じる
- 2. なんとなく不安や負担を感じる
- 3. あまり不安や負担などは感じない
- 4. 不安や負担は全く感じない
- 5. なんとなくいえない

問 15 子育てに関して、日常悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

1. 病気や栄養・栄養に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもとの時間が十分にとれないこと
6. 仕事で十分でないこと
7. 自分のやりたいことが十分でない、自由な時間が持てないこと
8. 夫婦で楽しむ時間がないこと
9. 子どもの教育に関すること
10. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
11. 登園拒否、不登校などの問題について
12. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
13. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
14. 話し相手や相談相手、協力者がいないこと
15. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などの理解が少ないこと
16. 保護者同士の交流、つきあいが難しいこと
17. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
18. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
19. 子どもが病気がちであること
20. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
21. 子育てで出費がかさむこと
22. 住居が狭いこと
23. 特になし
24. その他()

問 16 子育て支援について、特に重要な支援・対策は何だと思われますか。(〇は3つまで)

1. 子育てに関する相談受付体制の強化
2. 地域における子育て支援の充実
3. 保育園入園待機児童の解消
4. 妊娠・出産に関する支援
5. 子どもへの教育環境の整備・充実
6. 仕事と家庭生活の両立
7. 経済的な安定
8. 保育サービスの充実
9. 地域での子どもの活動拠点の充実
10. 母親・乳児の健康に対する安心
11. 子育てしやすい住居・環境の整備・充実
12. 子どもを狙った犯罪や事故の減少
13. 要保護児童(※)に対する支援
14. その他()

(※) 要保護児童：保護者に監護されることが不適当であると認められる児童や保護者がいない児童

問 17 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

1. いる/ある ⇒ 問 17-1へ
2. いない/ない ⇒ 問 18へ

問 17-1 「1. いる/ある」に〇をつけた方にうかがいます。

問 17-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 学校の先生
5. 放課後児童クラブや放課後等デイサービスの先生
6. 医師など医療関係者
7. 民生委員・児童委員
8. 家庭児童相談室
9. 教育支援センター
10. 母子・父子自立支援員
11. 児童相談所
12. 民間の電話相談
13. その他()

問 18 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 身近な場での窓口
 2. 専門的な情報
 3. 職員の対応スキル
 4. 地域機関等へのつなぎ
 5. 安心して相談できる環境
 6. その他()
- (子どもの預かり、プライバシーの配慮等)

問 19 ご近所や地域の人々とのお付き合いはどうですか。(〇は1つ)

1. 親しい
2. 付き合いがありやや親しい
3. 少々付き合いがある
4. 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度
5. 分らない

問 20 あなたは、PTAサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。(〇は1つ)

1. 現在参加しており、今後も参加するつもりである
 2. 現在参加しているが、今後は参加するつもりはない
 3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
 4. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない
- ⇒ 問 20-1へ

問 20-1 「2～4」に〇をつけた方にうかがいます。

問 20-1 参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 活動の情報が参加方法を知らないから
2. 身近な場所でも参加できる活動がないから
3. 活動に参加する余裕や時間がないから
4. 気軽に参加したり、やめたりできないから
5. 人間関係がわずらわしいから
6. 特に必要を感じないから
7. その他()

問 21 お子さんの休日や夜間の急病時には、どのように対応されていますか。(最も当てはまるもの1つに○)

1. 休日急診診療所	2. かかりつけ医	3. 電話相談
4. 受診できる医療機関を知らない	5. その他 ()	

すべての方に、お子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

※ひとり親家庭の場合は、母親又は父親のみお答えください。

問 22 お子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

(1～6の項目について、母親、父親それぞれに○は1つ)

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就業をいいます。

	母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. フルタイムで就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2. フルタイムで就業しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3. パート・アルバイト等で就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4. パート・アルバイト等で就業しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5. 以前は就業していたが、現在は就業していない	5	5
6. これまで就業したことがない	6	6

就業している方(問 22 で「1」～「4」に○をつけた方)にうかがいます。(「5」「6」に○をつけた方は問 22-2 へ)

※就業パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) - 1 母親と父親の週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間(就業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)

母親	1週間当たり	日	1日当たり	時間
父親	1週間当たり	日	1日当たり	時間

(1) - 2 母親と父親の家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)時間は、必ず(例)08時～17時のように、2.4時間制、30分単位でお答えください。

母親	家を出る時間	時	分	帰宅時間	時	分
父親	家を出る時間	時	分	帰宅時間	時	分

(1) - 3 育児と仕事を両立するうえで望ましいと考えられる母親と父親の家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)

時間は、必ず(例)08時～17時のように、2.4時間制、30分単位でお答えください。

	理想の	
母親	家を出る時間	帰宅時間
父親	家を出る時間	帰宅時間

パート・アルバイト等で就業している方(問 22 で「3」「4」に○をつけた方)にうかがいます。

(「1」「2」に○をつけた方は問 23 へ)

問 22-1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度以上の就業)への転換希望はありますか。

(1～4の項目について、母親、父親それぞれに○は1つ)

	母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等の就業を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問 22 の「母親」または「父親」について、「5. 以前は就業していたが、現在は就業していない」または「6. これまで就業したことがない」に○をつけた方にうかがいます。(該当しない方は問 23 へ)

問 22-2 就業したいという希望はありますか。(○は1つ)

選んだ番号に口がある場合は、口内に数字をご記入ください。(数字は一般に一字)

(1) 母親

1. 今は子育てや家事などに専念したい(就業の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就業したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい

→ 希望する就業形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→ 週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 今は子育てや家事などに専念したい(就業の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就業したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい

→ 希望する就業形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→ 週当たり 日 1日当たり 時間

問 23-2 放課後児童クラブに対してどのようなように感じておられますか。(〇はいくつでも)

1. 定員を制限してほしい
2. 利用時間を延長してほしい
3. 施設・設備を改善してほしい
4. 指導内容を工夫してほしい
5. 現在のままでよい
6. その他()

問 23 で「4. 児童館」「5. すくすく教室(放課後子ども教室)」「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に〇をつけた方にかかっています。

問 24 放課後の居場所について利用している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 17時以降の保育希望に対応できるから
2. 長期休暇中(夏休み等)の保育希望に対応できるから
3. 自由に過ごせる環境が整っているから
4. 運営スタッフの対応が良いから
5. イベント内容が魅力的だから
6. 活動方針についての考え方が合うから
7. 子どもが希望したから
8. その他()

問 25 お子さんの放課後に必要と思うものは何ですか。(〇は2つまで)

1. 大人の見守りによる安全・安心な居場所
2. 学びのきっかけとなる体験活動
3. 自由遊び
4. 宿題の支援
5. 学力を高めるための学習支援
6. 運動系の習い事
7. 文化系の習い事
8. 将来の職業の参考になる体験活動

問 23 で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」以外に〇をつけた方におかかっています。

問 26 利用していない理由をお答えください。(最も当てはまるもの1つに〇)

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
3. 就労しているが、対象が1年生から4年生までに限られているから
4. 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間が短いから
5. 就労しているが、利用料がかかるから
6. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしていないから
7. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
8. 就労しているが、他の施設に預けているから
9. その他(具体的に:)

問 27 お子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。(〇は1つ)
 「1. 利用したい」を選んだ人は、希望する日数、時間(1日当たり)、時間帯も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず2.4時間制で記入してください。

1. 利用したい	週	<input type="text"/> 日	くらい				
	1日当たり	<input type="text"/>	時間	→	下校時	→	<input type="text"/> 時
	うち土の利用希望は	<input type="text"/>	時間	→	時間帯	→	<input type="text"/> 時
	1日当たり	<input type="text"/>	時間	→	時間帯	→	<input type="text"/> 時
	学校の長期休業期間(夏休みなど)	<input type="text"/>	時間	→	時間帯	→	<input type="text"/> 時
	1日当たり	<input type="text"/>	時間	→	時間帯	→	<input type="text"/> 時
2. 今後もしない							

問 27 で「1. 利用したい」に〇をつけた方におかかっています。(該当しない方は問 28へ)

問 27-1 利用したい理由をお答えください。(〇は1つ)

1. 現在就労している
2. 就労予定がある
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならぬ
5. 病氣や障がいがある
6. 学生である/就労したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他(具体的に:)

問 28 放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『すくすく教室(放課後子ども教室)』がありますが、その利用意向はありますか。(〇は1つ)

1. 利用意向がある	→	<input type="text"/> 日	くらい
2. 意向がない			
3. 利用できる放課後子ども教室がない			

問 29 病名のお子さんについて、小学5年生以降の放課後の過ごし方として、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

1. 放課後児童クラブを利用したい
2. すくすく教室(放課後子ども教室)を利用したい
3. 学習塾など学習にかかわる習い事をさせたい
4. ピアノ教室やサッカー教室など文化・スポーツにかかわる習い事をさせたい
5. 利用を希望するサービスは持たない
6. その他(具体的に:)

すべての方に、お子さんの病気の療養の対応についてうかがいます。

お子さんが急な発熱や、怪我をして学校ができません、まだもう少し学校に行かせるのは心配という時に、病中・病後のお子さんをお預かりする病児・病後児保育室、昼間訪問には、おひさま病児保育室（済生会京都府病院）、病児・病後児保育あすなろ（千春会病院）があります。

問 30 この1年間に、お子さんが病氣やケガで学校を休んだことはありますか。（○は1つ）

1. あった ⇒ 問 30-1へ 2. なかった ⇒ 問 31へ

問 30-1 お子さんが病氣やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対応として当てはまる番号（1～8）に○をつけてください。（○はいくつでも）
○をつけた場合、それぞれのおおよその日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字）

1年間の対応		日数
1. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた		□ □ 日
2. 父親が休んだ	----->> 添質問 30-2へ	□ □ 日
3. 母親が休んだ		□ □ 日
4. (同居者を含む) 親族、知人に子どもをみてもらった		□ □ 日
5. 病児・病後児の保育を利用した		□ □ 日
6. ベビーシッターを利用した		□ □ 日
7. 子どもだけで家にいた		□ □ 日
8. その他 ()		□ □ 日

添質問 30-5へ

問 30-1 で「2. 父親が休んだ」「3. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 30-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（○は1つ）

「1. 利用したい」に○をした方は、日数についても□内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい（利用希望日数 □ □ 日） ⇒ 問 30-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 30-4へ

問 30-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設したもの
2. 小児科に併設したもの
3. 地域住民等が保育するもの（例：ファミリーサポートセンター等）
4. その他 ()

※回答後、問 31へお進みください

問 30-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-4 そう思われる理由をお答えください。（○はいくつでも）

1. 親が仕事を休んで看るのが当然と思うから
2. 親が休むことができるから
3. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
4. 地域の事業の質に不安がある
5. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料がわからない
8. その他 ()

※回答後、問 31へお進みください

問 30-1 で「4」～「8」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 30-5 その際、仕事が休めたら、何日仕事を休んで看たいと思われましたか。問 30-1の「4」～「8」の日数のうち、仕事を休んで看たかったおおよその日数について数字でご記入ください。（数字は一律に一字）

できれば仕事を休んで看たかった日数 □ □ 日

問 30-6 休んで看ることができなかった理由をお答えください。（○はいくつでも）

1. 仕事が忙しくて休めない
2. 子どもの看護を理由に休めない
3. 自営業なので休めない
4. 休職日数が足りないので休めない
5. その他 ()

すべての方に、病名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問31 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、不定期の勤務など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこととはありましたか。

- (預け先が男からなかった場合も含みます)
- ① 家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについて、1、2の番号どちらから1つに○
 ② 「1. あった」に○をした人は、ア～オのうち、実際にを行った対応に○。(○はいくつでも)
 また、それぞれの日数について、口内に数字を記入。(数字は一律に一字)

「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」…児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

1年間の対応		日数
1. あった →ア～オについてもお答えください		
1に○をした人のうち、アに○をした人は問31-1へ、それ以外の人は問32へ	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	エ. 子どもを同行させた	泊
	オ. その他（ ）	泊
2. なかった → 問32へ		

問31で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方うかがいます。(ア以外を選択した方は問32へ)

→ 問31-1 その場合、頼みやすかったですか。(○は1つ)

1. 大変頼みにくい
 2. どちらかというと頼みにくい
 3. どちらかというと頼みやすい
 4. 頼みやすい



すべての方に、子育て支援対策の全般とその他についてうかがいます。

問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、1～5の番号のうち、該当する番号に○をつけてください。(○は1つ)



問33 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。(○は5つまで)

- 子育てに関する相談・情報提供の充実
- 保護者同士が交流できる場の充実
- 家事や子育て等で男女がともに協力し助け合うことなどの啓発の推進
- 子育ての意義・大切さなどの普及・啓発
- 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実
- 妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実
- 小児救急医療体制の充実
- 児童虐待防止対策の推進
- 乳児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実
- ひとり親家庭など多様な家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
- 子育てポランティアなど地域で子育てを支える活動の推進
- 学童期の子どもの放課後対策の充実
- 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実
- 子どもの「生きる力」を育むための教育の推進
- 非行防止などの青少年健全育成対策の推進
- 仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発
- 道路や施設などのバリアフリー化の推進
- 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進
- 特にない
- その他（ ）

問34 子育てに必要な施策などの情報を知りたい方に入手されていますか。(○はいくつでも)

- 親族（親、きょうだいなど）
- 近所の人、地域の知人、友人
- 子育てサークルの仲間
- 保育所、幼稚園、学校
- 市役所や市の機関
- 市の広報やパンフレット（子育てガイドなど）
- テレビ、ラジオ、新聞
- 子育て雑誌、育児書
- インターネット
- コミュニティー誌
- 子育て支援アプリ（ながすく！）
- 情報の入手手段がわからない
- 情報の入手先がない
- その他（ ）

